

テキストの使い方と学習方法

はじめに

このテキストは、これからパソコンを始める方、挑戦したけれど難しくて一度挫折した方に、楽しくわかりやすくパソコンをやっていただくように考えて作られたテキストです。

1つ1つの操作に画像が付いているので、パソコン用語が分からなくても、操作できるようになっています。パソコン用語は理解できてから少しづつ覚えていきましょう。

テキストの学習にあたって

まず、このテキストを使っていただるために、必ず下記のことは約束してください。そうでないとせっかく今からテキストを進めていただいても、身に付かず、時間の無駄になってしまいます。

●「実際の操作内容」の部分だけ操作する。マークや説明をしっかり見る

「完成例」は今から取り組む操作の確認です。

これだけを見ながら操作ができるわけではありません。このテキストでは、覚えていたいことに的を絞って説明していますので、テキスト中のマークや説明を最低1回は読むように心がけましょう。

(テキスト内のマークの説明は次ページを参照してください。)

●操作は必ず順番に！ 1回は操作しましょう

生徒様の中には、ここはわかるから読み飛ばそうとされる方や、順番に書いてある操作を何個か飛ばして進めようとする方がいらっしゃいますが、途中で操作がうまくいかず、大幅にやり直すことになります。パソコンは1つボタンが違ったり、必要な操作を飛ばしたり、ひとつ違う操作をするだけで全く違う結果になることがあります。1つ1つ丁寧に操作しましょう。

●わからないところをそのままにしない

パソコンを覚えるということは「家づくり」に似ています。1か所でもいい加減なところがあると欠陥住宅になり、家が倒壊するかもしれません。パソコンでもいい加減なところを作らず、わからないところをそのままにしないで繰り返しやってみたり、説明を読んだり、先生に聞いたりして学習し、各章ごとにある練習問題もしっかり取り組みましょう。

登場人物紹介

このテキストには先生が1人と、若い方代表と中高年の方代表として生徒様が2人登場します。この3人と一緒にテキストを楽しくすすめていきましょう。

「私にもできるかなあ？不安だわ。」



「パソコンって、用語が難しくてなかなか覚えられないんですよね。」



「大丈夫！このテキスト通り、丁寧に進めば、楽しく覚えられるし、このテキストをマスターすれば、世界で唯一のオリジナルアルバムを作れるようになりますよ。」



ウメさん

子供にパソコンを買ってもらったのがきっかけ。パソコンは全くの初心者

ケンちゃん

簡単なインターネットやメールはできるけど、パソコンは苦手

くじら先生

「生徒さんに喜んでもらう、満足してもらう」がモットーのパソコンの先生

テキスト内で使われているマークについて

1. (1) ①などの見出し部分

……ここでは、これから行う操作がどういう意味を持った操作なのかを説明しています。

実際の操作内容

……実際に使う操作の方法を説明しています。

目標

……各操作で何を覚えてほしいかを説明しています。



…………間違いややすい操作や、操作を行うにあたり特に注意してほしいことを説明しています。

余裕があれば読んでね

…………パソコンの操作方法だけ覚えたい方は特に読む必要はありませんが、知っていると後々便利な情報や、役立つ情報を説明しています。

ご参考までに

…………パソコンを使っていると、こんな画面も表示される場合がありますよ。とか、こんな操作方法もありますよ。とか、学習に余裕があれば読んでいただければという情報を説明しています。



…………くじら先生の吹き出し内は、各操作中のポイントや注意の中でも、特に読んで理解してほしい重要な箇所です。

☆☆こまできれいな練習問題で理解度を試してください。☆☆

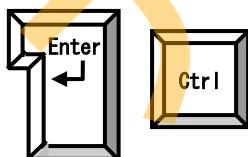
…………単元ごとの練習問題を用意しています。各単元での復習操作になりますので、単元ごとに理解度を試してください。このテキストでは総合問題を含めて全部で4ヶ所あります。

カチッ

…………クリックの操作を行う箇所です。



…………文字入力の操作を行う箇所です。



など

…………該当するキーを入力する箇所です。

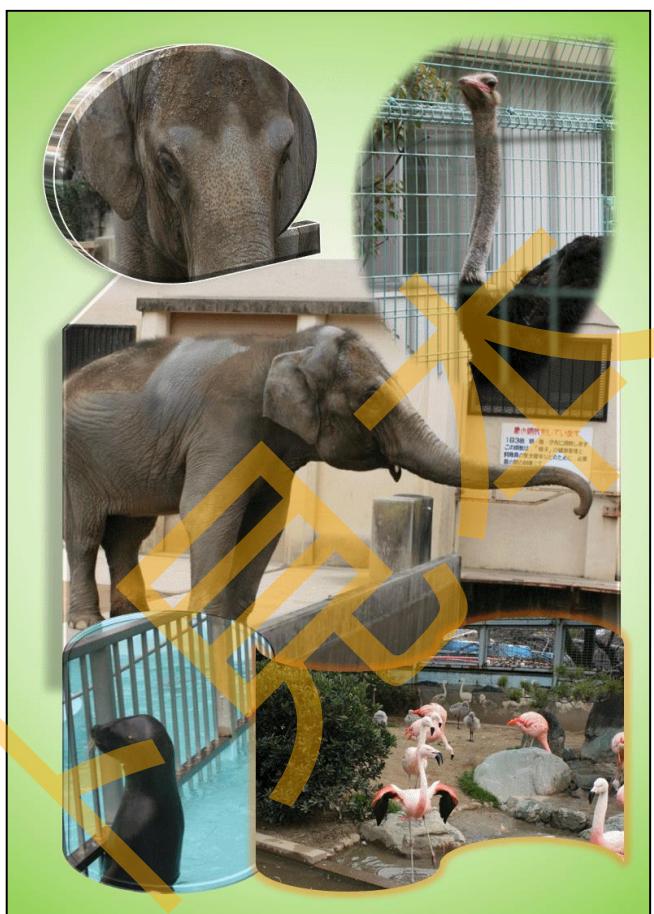
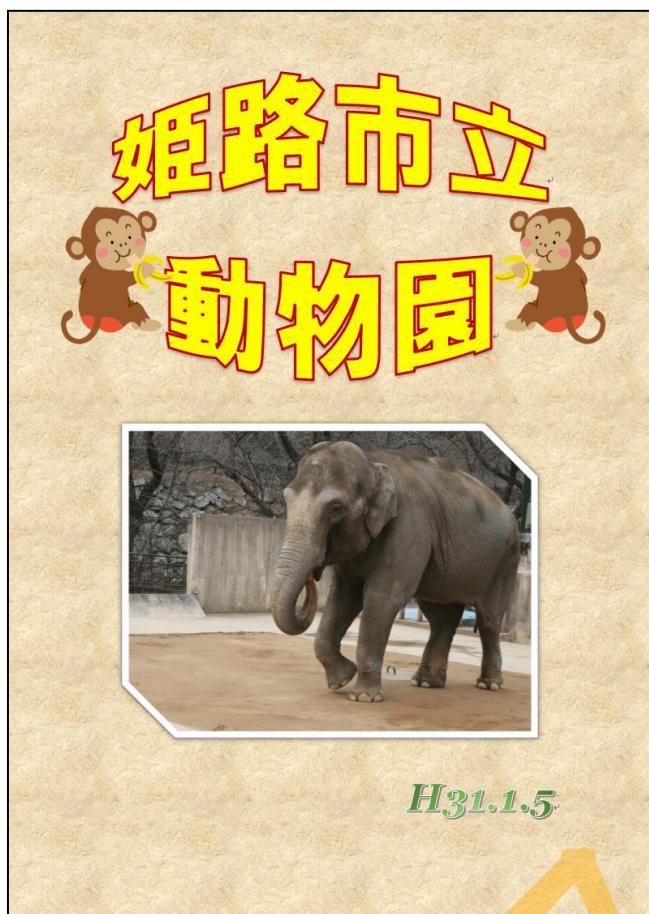
エンター [Enter] キーや コントロール [Ctrl] キー以外のキー入力もありますので、マークと操作の指示に従ってください。

●「クイックアクセスツールバー」に「新規作成」、「開く」、「クイック印刷」、「印刷プレビューと印刷」ボタンが追加されていることを前提としています。(クイックアクセスツールバーのボタンの追加と削除はP245に表記しています)

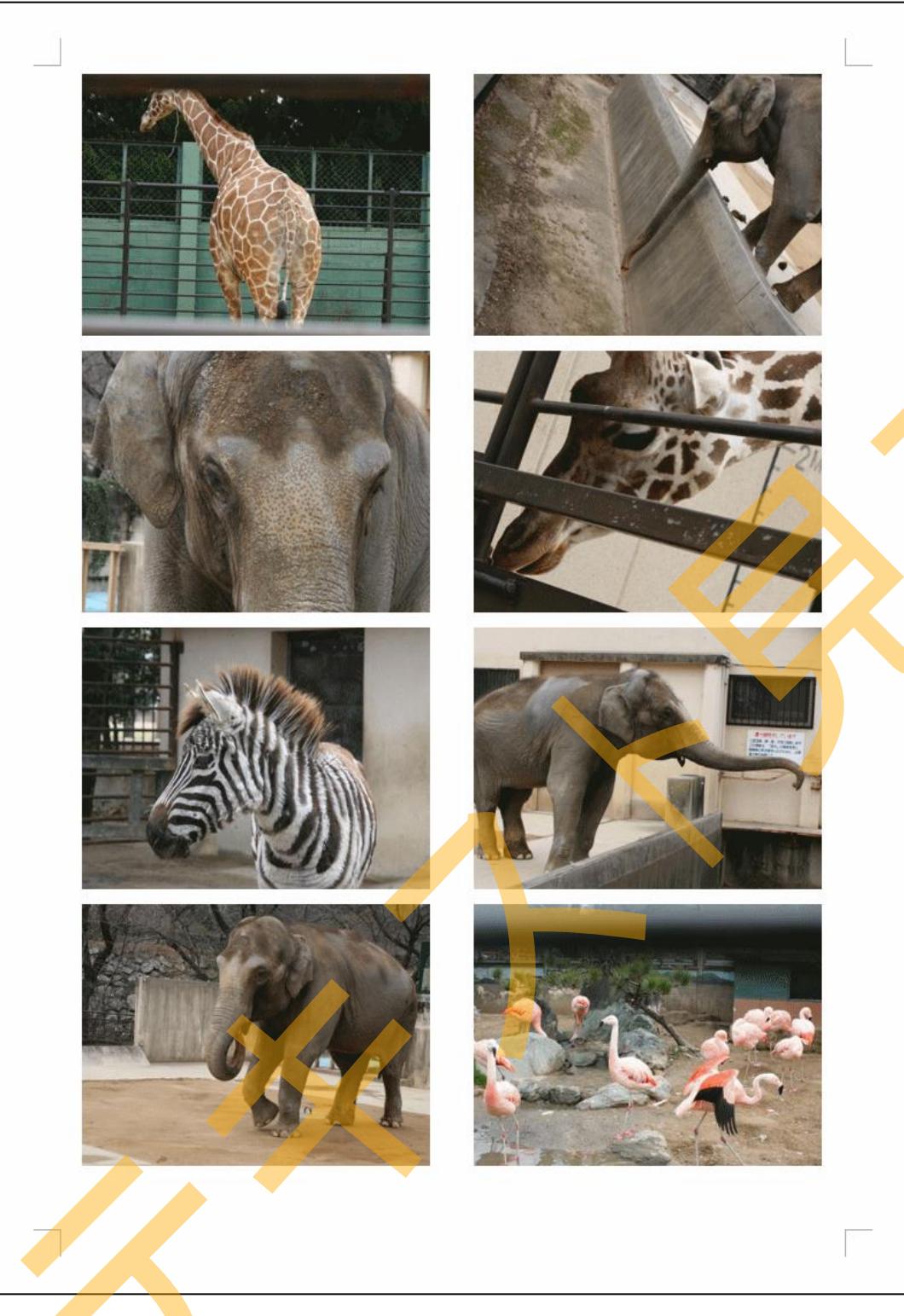
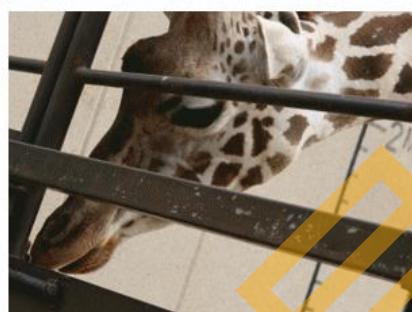
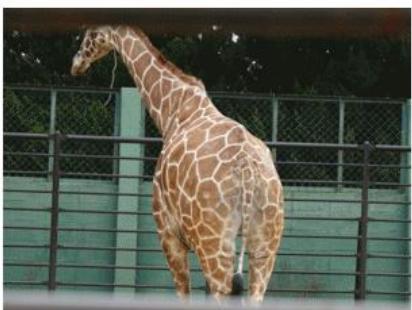
●タッチパネルでの基本操作については、P261に記載しています。

このテキスト内で作成するアルバムの完成例

●アルバム動物園



● アルバム（表）



目 次

1. ワードでアルバムを作る	1
(1) ワードで作成したいいろいろなアルバム	2
(2) ワードでアルバムを作成する際の注意点	3
(3) テキストのあらすじ	4
2. アルバムの表紙を作る	6
(1) 2ページ目の作成	7
(2) 表示倍率の変更	9
(3) 写真の挿入	12
① 写真の挿入	12
② 文字列の折り返しの設定（図の書式設定）	16
③ 写真にスタイルを適用する	19
④ 写真のサイズ変更	22
⑤ 写真の移動	24
⑥ 写真を中心配置	26
(4) アルバムの保存	28
(5) タイトルの作成	33
① ワードアートの挿入	33
② ワードアートのフォントの変更	37
③ ワードアートのフォントサイズの変更	39
④ ワードアートの文字の塗りつぶしの変更	41
⑤ ワードアートの線の色の変更	43
⑥ ワードアートの線の太さの変更	45
⑦ ワードアートの変形	47
⑧ ワードアートの移動	49
⑨ ワードアートを中心配置	51
⑩ グラデーションの設定	55
(6) オンライン画像の挿入	61
① オンライン画像の挿入	61
② 画像のコピー	68
③ 画像の左右反転	70
(7) アルバムの上書き保存	73
3. 写真の形状、効果を変更する	74
(1) 写真の形状を変更する	76
(2) 写真に効果を設定する	79
(3) 配置、大きさを調整する	82
(4) 2枚目以降の写真を挿入する	85
(5) レイアウトの調整	92
① 写真を中心配置	92
② 写真の順序を入れ替える	94
③ レイアウトの最終調整	95

4. 図形の中に写真を挿入する 96

(1) 図形を描く	99
① 図形を描く	99
② 図形の種類	102
(2) 図形の中に写真を挿入する	103
(3) 図形のサイズ変更	108
① 数値を入力して図形のサイズを変更する	109
② ドラッグして図形のサイズを変更する	113
(4) 図形の枠線を非表示にする	116
(5) 図形の移動	118
(6) 図形のコピー	124
(7) 写真の変更	127
(8) 図形の変更	131
(9) 図形の変形	134
(10) 図形を左右反転する	137
(11) 図形の整列	139
(12) 図形を上下反転する	146
(13) 縦長の写真を挿入する	148
(14) 図形の順序を入れ替える	158
(15) 残りの写真を挿入する	160
(16) 不要なページを削除する	162

5. アルバムの装飾 164

(1) アルバムの背景に色を付ける	164
① 四角形を描く	164
② 四角形を用紙の中央に配置する	167
③ 四角形にグラデーションを設定する	171
④ 四角形の枠線の色を非表示にする	180
⑤ 四角形を最背面に配置する	182
⑥ 四角形をコピーする	184
⑦ 表紙の背景をテクスチャに変更する	188
(2) コメントの挿入	190
① 吹き出しを描く	190
② 表示倍率を100%に戻す	193
③ 吹き出しの中に文字を入力する	195
④ 吹き出しにスタイルを適用する	197
⑤ 入力した文字への書式設定	199
⑥ 吹き出しのサイズ変更	203
⑦ 吹き出しの移動	206
⑧ 吹き出しの変形	208

6. 印刷	210
(1) 写真を印刷するのに適した用紙	210
(2) 印刷イメージの確認	211
① 印刷プレビューの表示	211
② 2ページ目以降の確認	213
(3) 印刷の実行	216
◆オリジナルアルバムの注文について	221
 7. その他の写真の挿入方法	 222
(1) ページ設定	223
① 用紙サイズの設定	223
② 印刷の向きの設定	226
③ 余白の設定	228
(2) 表の挿入	231
(3) 写真の挿入	233
(4) 写真のサイズ変更	237
(5) 写真の配置	240
(6) 表の枠線を非表示にする	242
◆クイックアクセスツールバーにボタンを追加・削除する	245
◆リボンの表示オプションの変更	247
◆デジタルカメラの画像をパソコンに取り込む	248
◆テキストの手引き	257
◆タッチパネルの基本操作	261
◆索引	262



1. ワードでアルバムを作る

皆さん、デジカメで撮影した写真を、どのようにして印刷していますか？ほとんどの方は、そのままプリンターでハガキサイズやレジ判で印刷し、それをアルバムにはさんでいることだと思います。このテキストでは、撮った写真をそのまま印刷するのではなく、もうひとつステップアップして、ワードでアルバムを作成してから印刷します。



ケンちゃん



先生。
デジカメで撮った写真をそのまま印刷するのと、ワードでアルバムを作るとどう違うの？



ウメさん

そうねえ。ケンちゃんのいうとおり、具体的に
どう違うのかが知りたいわね。



くじら先生

デジカメで撮った写真をそのまま印刷すれば、
写真は四角いまま印刷されますよね？
ワードでアルバムを作れば、写真の形を変えたり、
写真の周りにぼかしや影を付けたり、タイトルをつけたりできるんですよ。

ケンちゃん「ということは、デジカメで撮った同じ写真でも、カメラ屋さんで印刷してもらったり、プリンターでハガキサイズやレジ判に印刷したものと全く違ったものができるってことだよね？」

くじら先生「その通りです。ウメさんは、どんなアルバムを作つてみたいですか？」

ウメさん「やっぱり、孫の写真をアルバムにしてみたいわね。」

くじら先生「ケンちゃんは、どんなアルバムを作つてみたいですか？」

ケンちゃん「今度、旅行に行くから写真をいっぱい撮ってきて、ワードでアルバムを作成するのに挑戦するよ。まずは、このテキストをマスターすることだね。」

くじら先生「難しいところもあるかとは思いますが、このテキストをマスターして、世界でたった1つのオリジナルアルバムを作成してみてください。ワードでアルバムを作成した一例が次のようなものになります。」

(1) ワードで作成したいろいろなアルバム



(2) ワードでアルバムを作成する際の注意点

ワードでアルバムを作成する際の注意点は、**写真の容量**です。

このテキストでは、A4用紙でアルバムを作成していきます。その中に、複数の写真を挿入するため、1枚の写真の容量が大きいと1ページの容量が相当大きくなってしまいます。そうすると、データの処理に時間がかかるため、ワードでアルバムの作成中や編集中にパソコンが動かなくなったり、作成したアルバムをメールで送信できなかったり、また送信できたとしても相手がなかなか受信できなかったりします。

このような理由から、ワードでアルバムを作成する際には、必ず、**写真の容量を小さくしてから取り組む**ようにしてください。写真の容量を小さくする方法は、「**JTrim**」のテキストに記載しています。まだ「**JTrim**」のテキストを学習されていない方は、インストラクターに確認してください。



上図の MB (メガバイト)、KB (キロバイト) というのはパソコンでの画像の容量の単位です。

1024KB (キロバイト) → 1MB (メガバイト)
1024MB (メガバイト) → 1GB (ギガバイト)

となり、容量が 1.35MB から 63.9KB に変更され、容量が小さくなったのがわかります。

単位の大きさ順

小 → 大
B KB MB GB

焦らず、ゆっくりと、一歩ずつ進みましょう。それが近道です。

(3) テキストのあらすじ

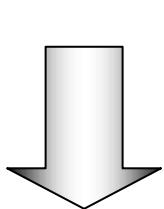
このテキストでは、表紙を含めて合計 3 ページのアルバムと、表を使ったアルバムを作成していきます。

それぞれのページで難しいところがあると思いますが、このテキストを順に読み進めていただければ、皆さん普段撮られた写真でアルバムを作成できるようになります。このテキストは中高年の方のためにわかりやすく、やさしく説明していますから安心して読み進めていきましょう。

テキストを読み進めていただくうちに、どうしてこんな機能を覚えなければいけないの？と、わからなくなれば目次とともにこのあらすじも読み直してください。

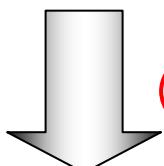
●テキストの流れ

2. アルバムの表紙を作る



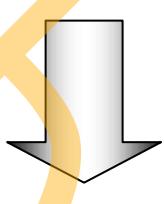
2 ページ目の作成方法や、写真をワードの文書内に挿入する方法、タイトルやイラストを入れたりする方法を学びのね。

3. 写真の形状、効果を変更する



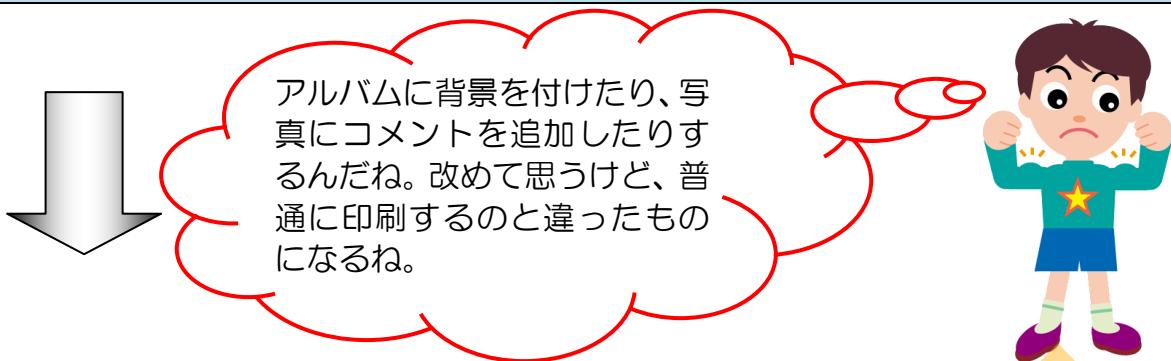
ここから 2 ページ目の作成だね。写真の形を変えたり、影やぼかしなどの効果を与えた。撮った写真を普通に印刷するより見栄えがするね。

4. 図形を描いてその中に写真を入れる

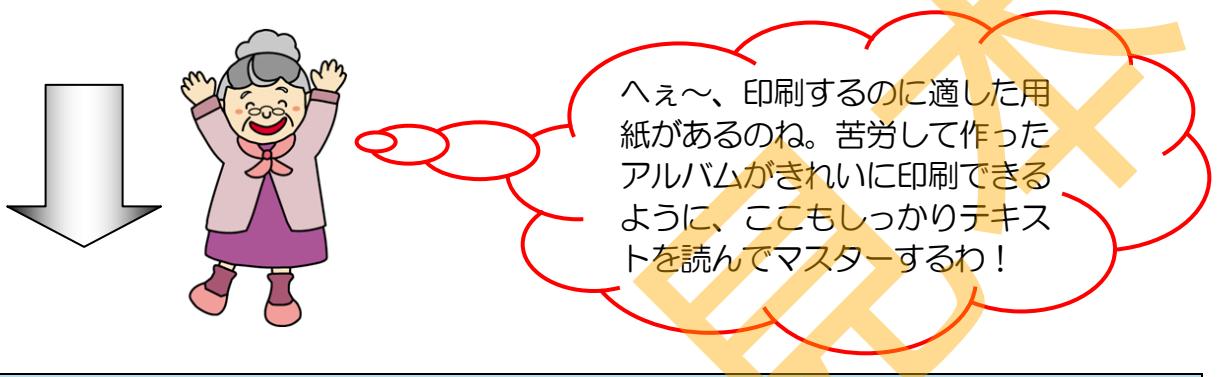


3 ページ目は、2 ページ目と違う方法でアルバムを作るのね。いろいろな方法を覚えたほうが、自分で作るときに幅が広がるってものね。

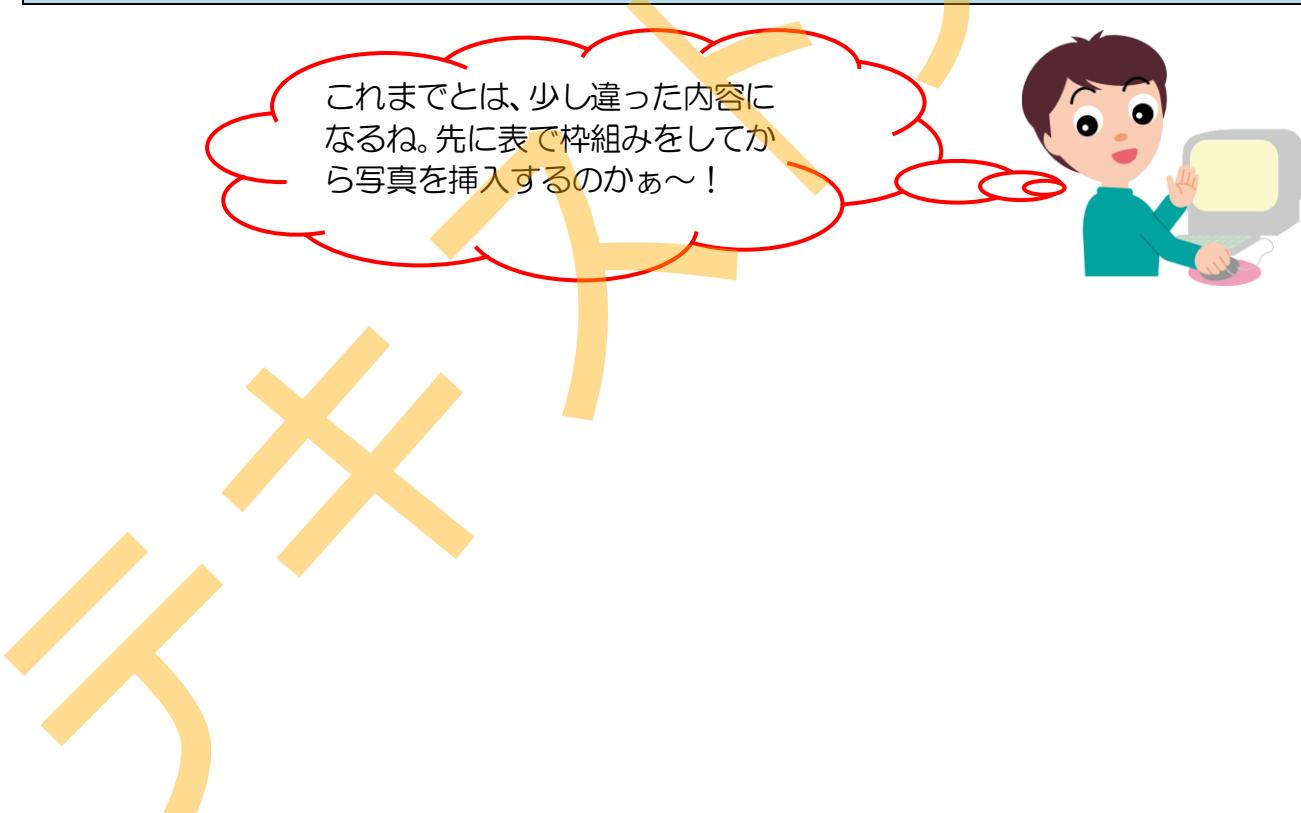
5. アルバム全体をより見栄えがするものに仕上げる



6. 作成したアルバムを印刷する



7. 表の中に写真を挿入する



2. アルバムの表紙を作る

これから、実際にアルバム作成にチャレンジしていただきますが、このテキストでは、一冊のアルバムとして見た場合に、表紙があつた方が見栄えがするため、アルバムの表紙を作成しています。

【表紙の完成例】



H31.1.5

(1) 2ページ目の作成

なぜ、表紙も作っていないのに2ページ目を作成するの？



ケンちゃん「先生。まだ表紙も作っていないのに、なぜ先に2ページ目を作成するの？普通に考えれば、先に表紙を作って、次に2ページ目の作成だと思うんだけど…」

くじら先生「そうですね。先に写真などを入れて、表紙を作成してから2ページ目を作成してもいいのですが、この方法だと操作が非常に難しくなるんですよ。このテキストでは、簡単にワードでアルバムを作成していただくために、2ページ目を先に作成しているんですよ。」

ケンちゃん「そうなのかな～～～。簡単にワードでアルバムを作るための工夫だと考えればいいね。」

くじら先生「はい。簡単にワードでアルバムを作成するには、今から作成する次のページを先に作ることが最もいい方法ですよ。」



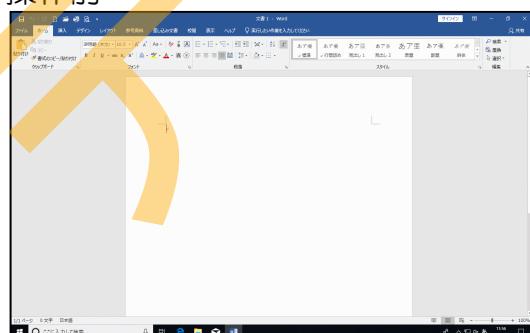
2ページ目を作成するには、何通りか方法がありますが、ここでは【挿入】タブの【ページ】グループから行います。

■ [挿入] タブ

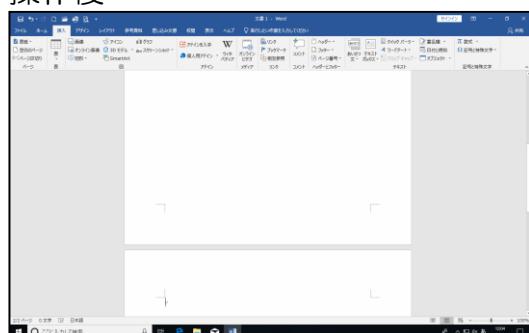


◆ 2ページ目の作成方法をマスターしましょう。

操作前

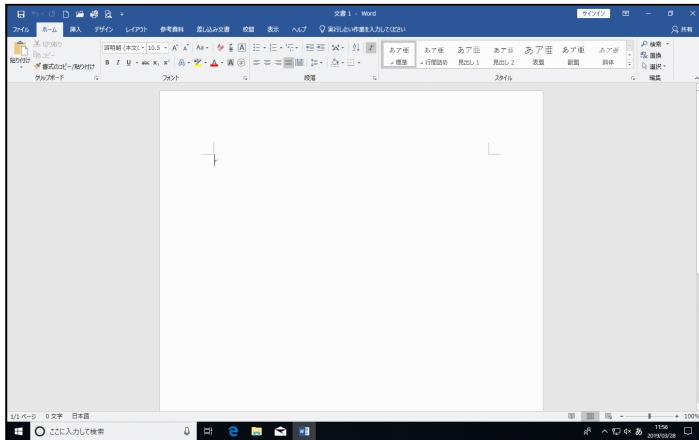


操作後



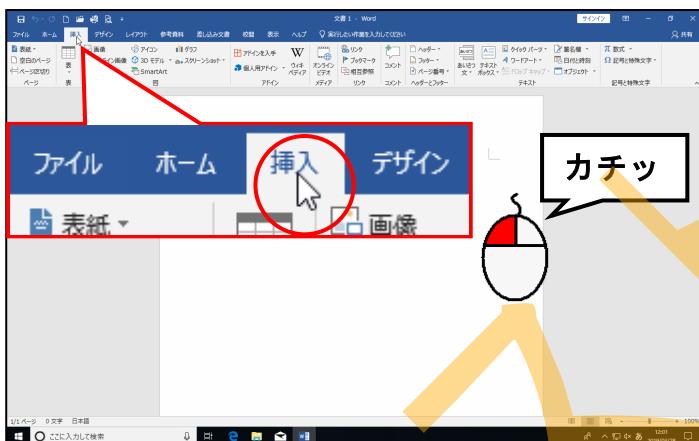
操作は次ページからです！

ワードを起動し、新規文書を用意します。



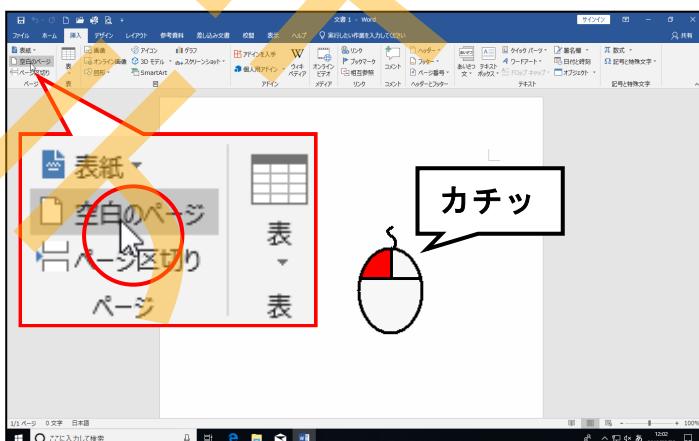
本

[挿入] タブにポイントし、クリックします。

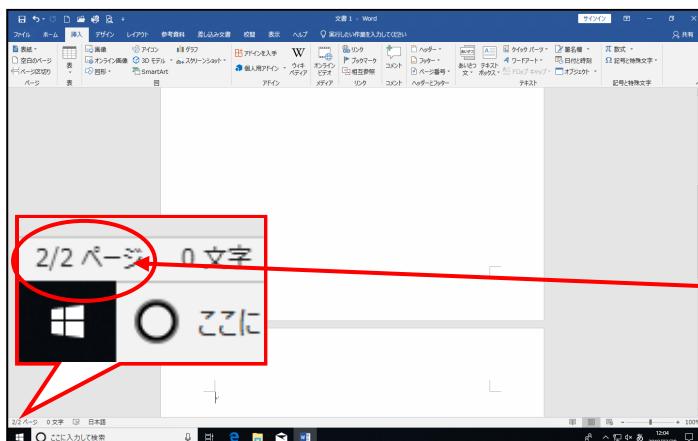


印

[ページ] グループにある 空白のページ [空白のページ] ボタンにポイントし、クリックします。



印



● □ 空白のページ [空白のページ] ボタンをクリックすると、2ページ目が作成されます。

● ページ数の確認は、ステータスバーで確認できます。

2/2 ページ

現在画面上に表示されているページ番号
／総ページ数

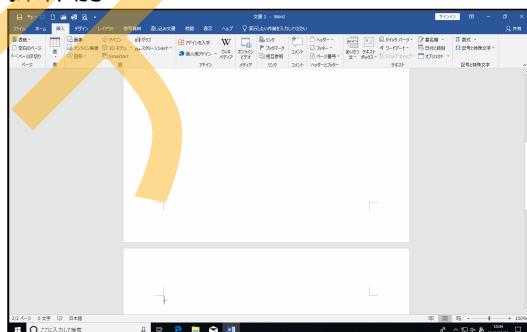
(2) 表示倍率の変更

ワードでアルバムを作成する場合、バランスを取りやすいうように全体的なイメージを確認しながら写真やイラストを配置します。

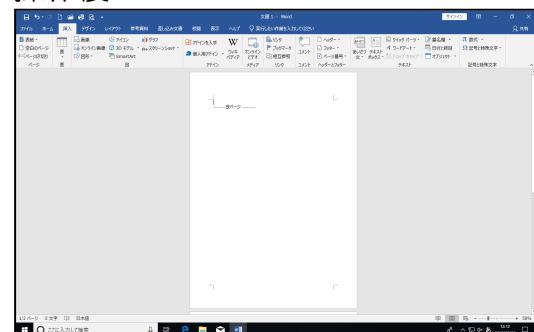
ここでは、ページ全体が表示されるように表示倍率を変更してみましょう。

◆表示倍率の変更方法をマスターしましょう。

操作前

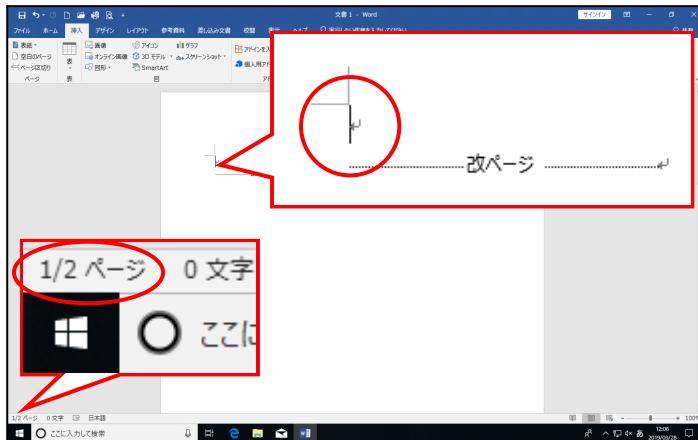


操作後

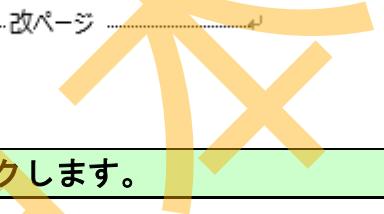


操作は次ページからです！

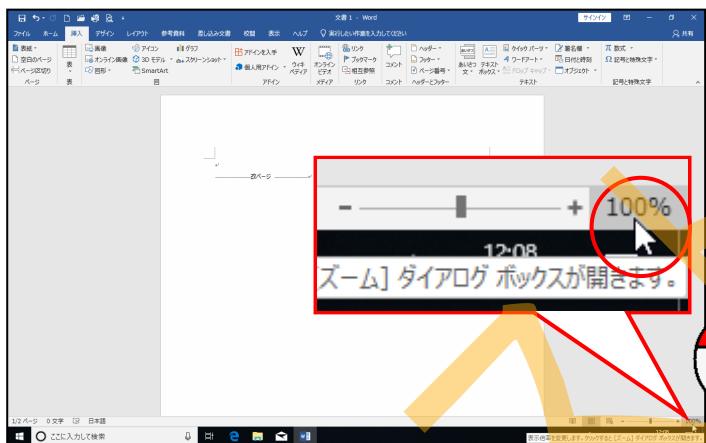
1ページ目にカーソルを移動します。



●前節で □ 空白のページ [空白のページ] ボタンをクリックし、2ページ目を作成しました。その際に、1ページ目の最終段落には、下図のような改ページマークが表示されます。改ページマークが表示されていない場合は、[ホーム] タブの [段落] グループにある [編集記号の表示／非表示] ボタンをクリックします。



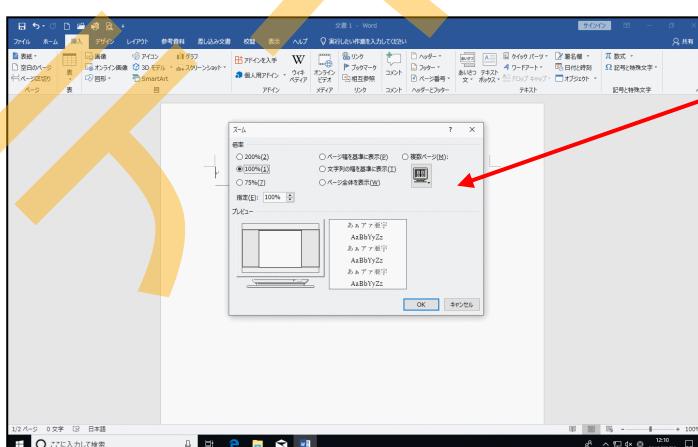
画面右下にある 100% [ズーム] ボタンにポイントし、クリックします。



● 100% [ズーム] ボタンにポイントすると、次のようなメッセージが表示されます。

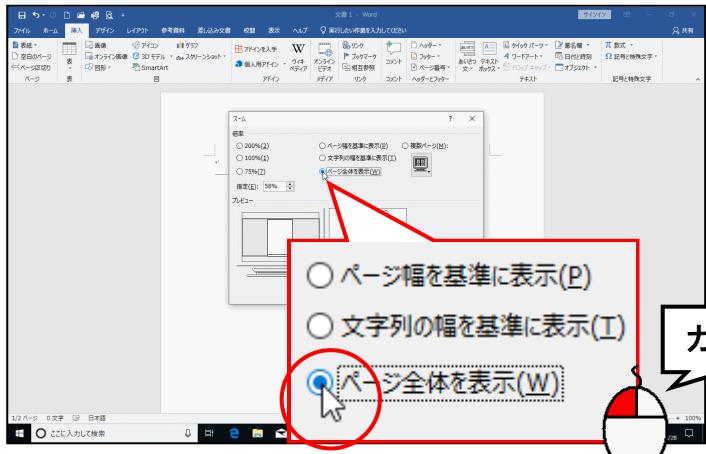
表示倍率を変更します。クリックすると [ズーム] ダイアログ ボックスが開きます。

カチッ



● 100% [ズーム] ボタンをクリックすると、左のように [ズーム] ダイアログボックスが表示されます。

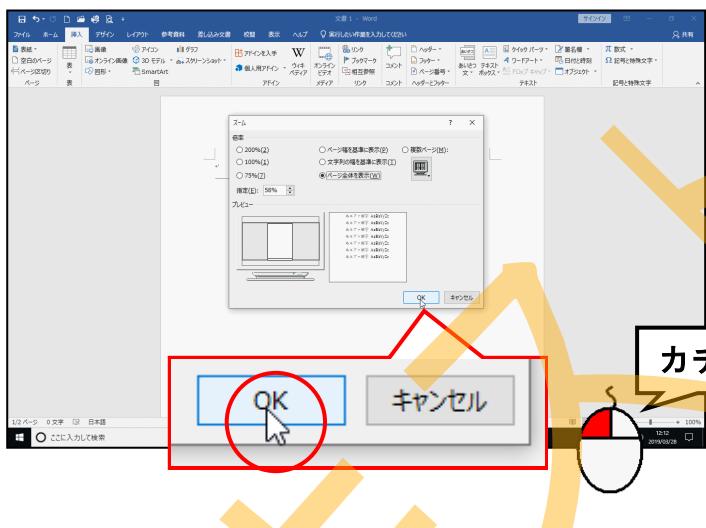
表示された【ズーム】ダイアログボックスから【ページ全体を表示(W)】にポイントし、クリックします。



● [ページ全体を表示(W)] をクリックすると、左に ● が表示されます。

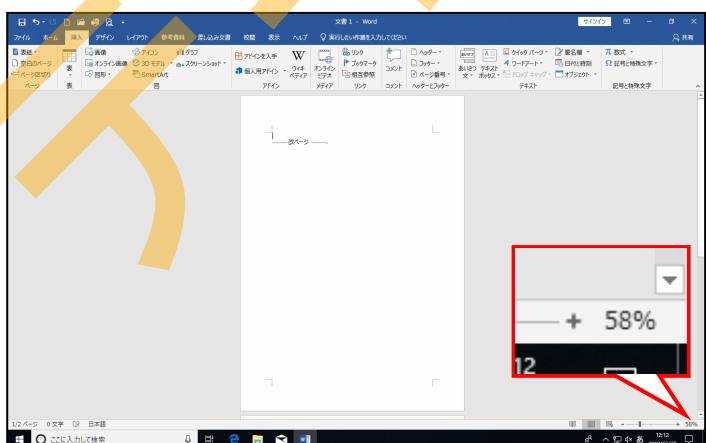
カチッ

【ズーム】ダイアログボックスの右下にある【OK】ボタンにポイントし、クリックします。



カチッ

● [OK] ボタンをクリックすると、表示倍率が縮小されて、ページ全体が表示されます。



● 左図では、表示倍率が 58% になっていますが、お使いのパソコンによって表示倍率は異なります。

(3) 写真の挿入

2ページ目の作成、表示倍率の変更ができたところで、ここからは、写真やイラスト、ワードアートなどを挿入してアルバムを本格的に作成していきます。

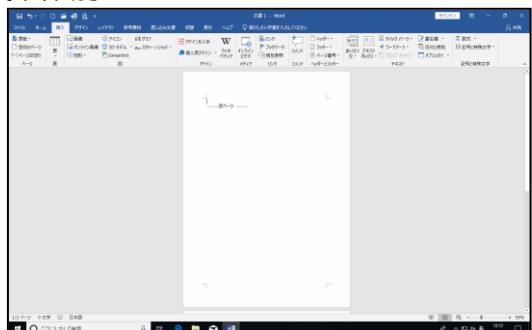
① 写真の挿入

ここでは、表紙（1ページ目）に写真（象5）を挿入します。

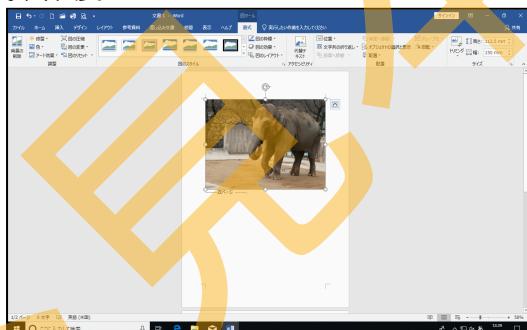
写真はカーソルのある位置に挿入されるので、カーソルの位置を確認してから挿入しないと、とんでもない場所に表示されかねません。

◆写真の挿入方法をマスターしましょう。

操作前



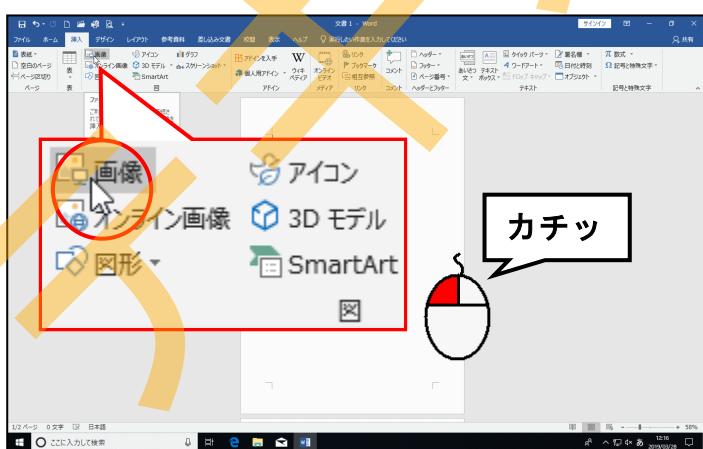
操作後



注意!

操作は下からです！

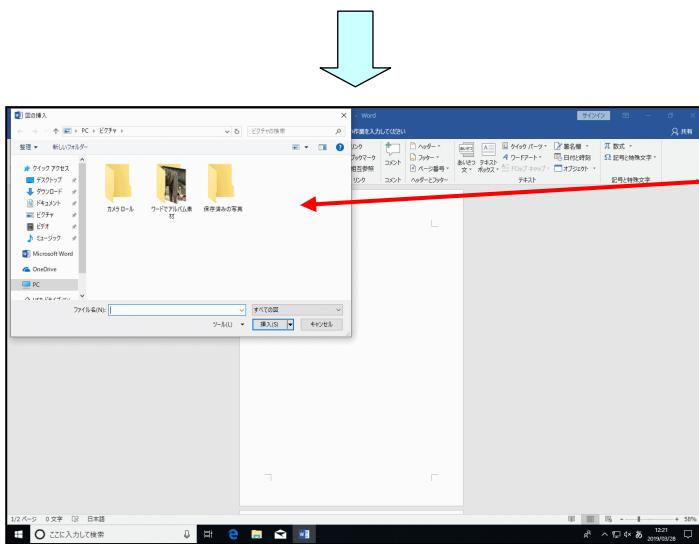
1ページ目の先頭にカーソルがあることを確認し、[図] グループにある 画像 [画像] ボタンにポイントし、クリックします。



注意!

● [挿入] タブが選択されていることを確認してから操作してください。



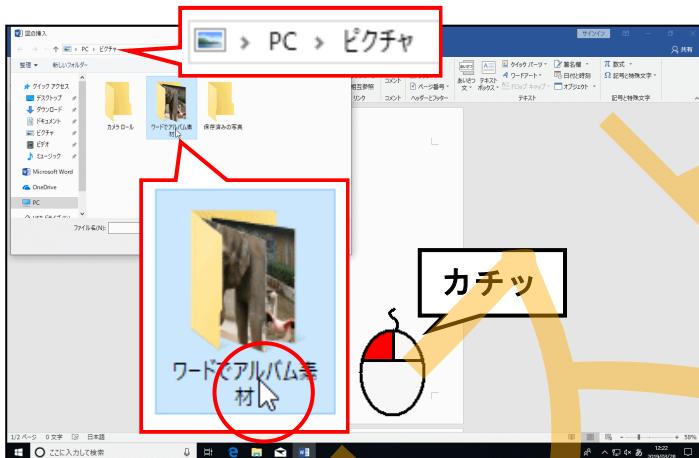


- [画像] ボタンをクリックすると、[図の挿入] ダイアログボックスが表示されます。

- プレビューウィンドウ内のアイコンなどの表示は、設定によって異なります。



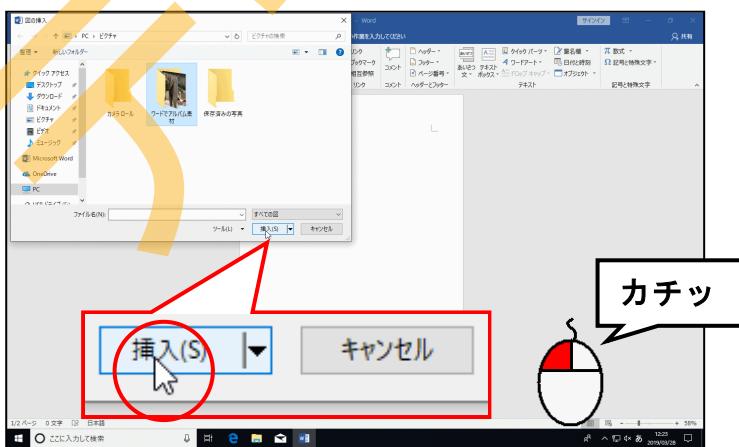
[図の挿入] ダイアログボックスが「ピクチャ」になっていることを確認して、[ワードでアルバム素材] フォルダーにポイントし、クリックします。

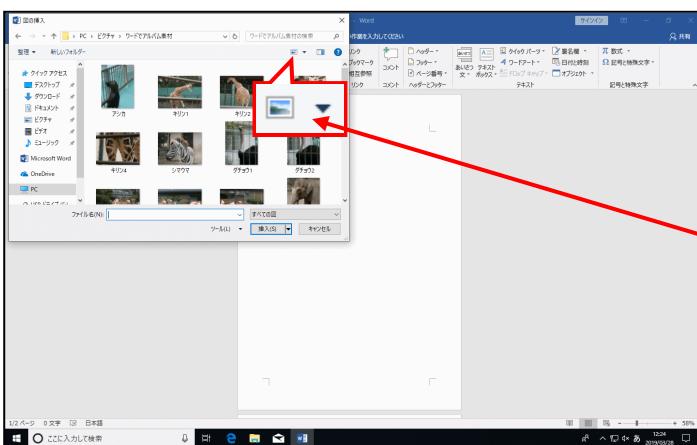


注意!

- このテキストで作成するアルバムの素材は、[ピクチャ] フォルダーの [ワードでアルバム素材] フォルダーにすべて保存していますが、皆さんがオリジナルのアルバムを作成する場合、素材となる写真をどこに保存したかによって、ファイルの場所は変わってきます。

[図の挿入] ダイアログボックス右下にある [挿入(S)] ボタンにポイントし、クリックします。

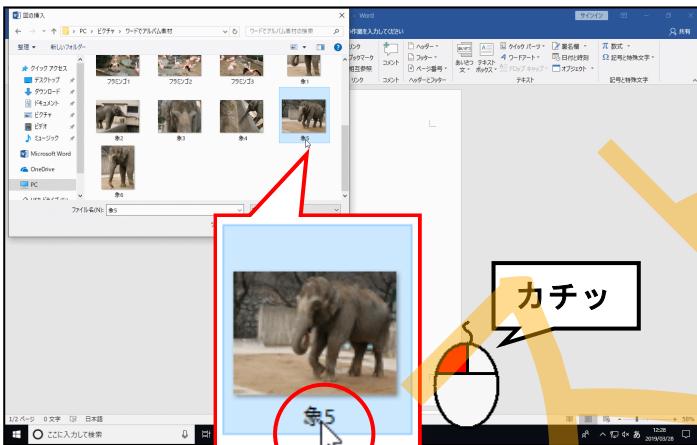




● [挿入(S)] ボタンをクリックすると、[ワードでアルバム素材] フォルダーの中身が表示されます。

● [ワードでアルバム素材] フォルダーの中身が左のように表示されない場合は、[図の挿入] ダイアログボックスの右上にある の ▾ をクリックして、 をクリックしてください。

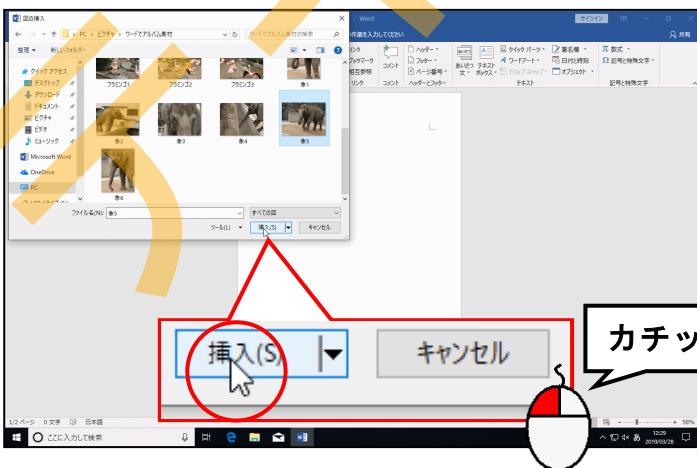
表示された一覧から「象5」にポイントし、クリックします。

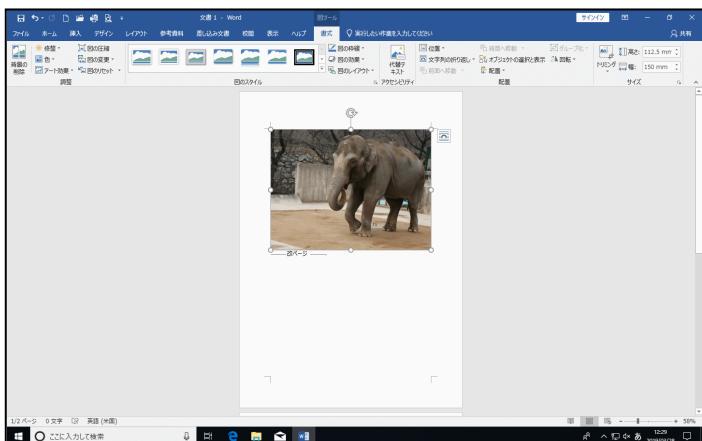


● 「象5」の写真を挿入するために、クリックして選択します。

● [図の挿入] ダイアログボックスの右端に表示されたスクロールバーを使って「象5」を探しましょう。

[図の挿入] ダイアログボックス右下にある [挿入(S)] ボタンにポイントし、クリックします。





- [挿入(S)] ボタンをクリックした時点で、アルバムの表紙（1ページ目）に「象5」の写真が挿入されます。

ご参考までに

■挿入した写真の削除方法

挿入した写真が選択されている状態（削除したい写真の周りに ○ が表示されている状態）で [Delete] キー、または [Back Space] キーを押します。
写真の周りに ○ が表示されていなければ、写真の中にポイントし、マウスポインターが ✎ の状態でクリックします。



② 文字列の折り返しの設定（図の書式設定）

アルバムの表紙（1ページ目）に写真が挿入されたところで、ここからは写真に対して様々な書式を設定していきます。

写真は、挿入直後「行内」というレイアウトになっています。このレイアウトでは、写真を思った位置に移動することができません。そこで、ここでは写真のレイアウトを「前面」に変更して、思った位置に移動できるようにしましょう。

レイアウトの設定は、次に示す [レイアウト オプション] ボタンか、図ツールの [書式] タブの [配置] グループにある [文字列の折り返し] ボタンを使って設定します。

■ [レイアウト オプション] ボタン

画像を挿入すると、画像の右上に [レイアウト オプション] ボタンが表示されます。このボタンを使って画像のレイアウトを設定することができます。

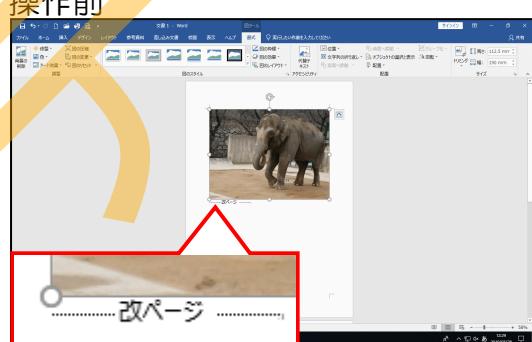


■ 図ツール [書式] タブ [文字列の折り返し] ボタン

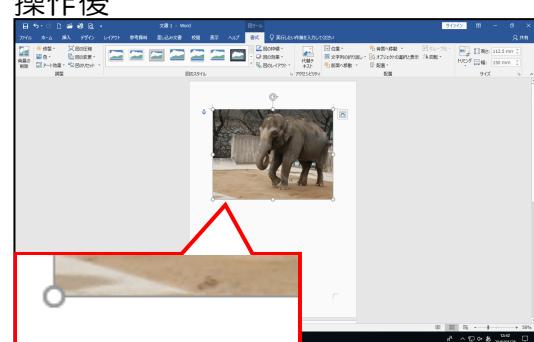


◆文字列の折り返しの設定方法をマスターしましょう。

操作前

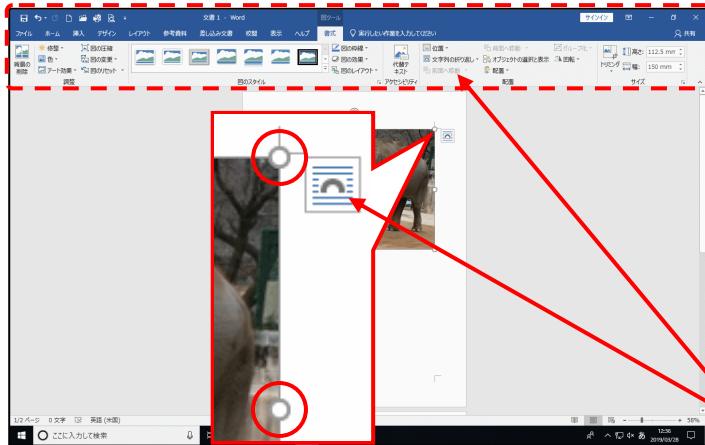


操作後



操作は次ページからです！

挿入した写真の周りに ○ が表示されていることを確認します。

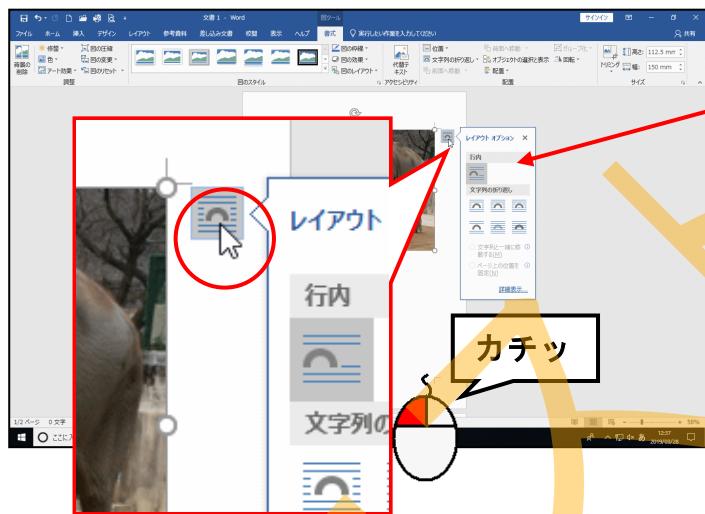


- ○ が表示されていれば、挿入した写真が選択されています。表示されていなければ、挿入した写真にポイントし、マウスポインターが ↑ になったところでクリックします。

注意!

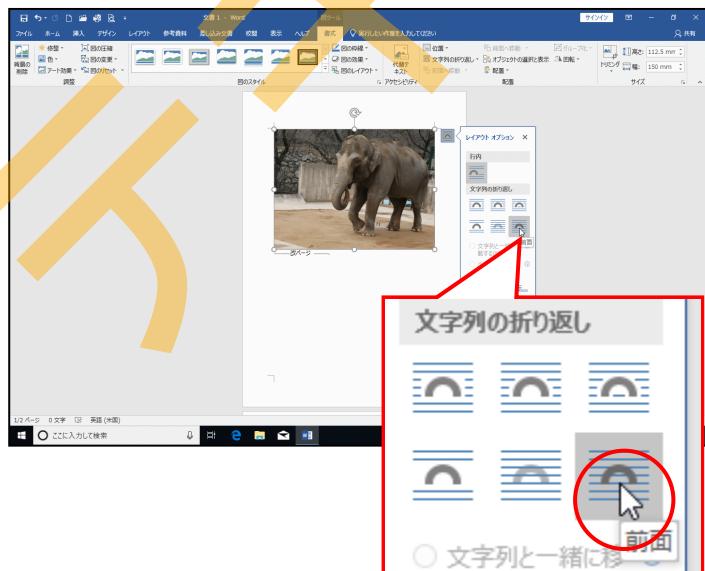
- 写真が選択されていれば、[レイアウトオプション] ボタン、[書式] タブが表示されます。

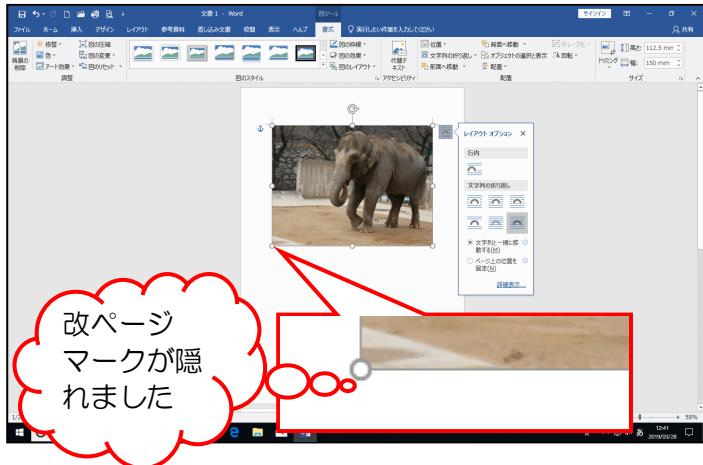
写真右上にある [レイアウトオプション] ボタンにポイントし、クリックします。



- [レイアウトオプション] ボタンをクリックすると、左のようにレイアウトの種類が表示されます。

表示された折り返しの中から [「前面」] にポイントし、クリックします。

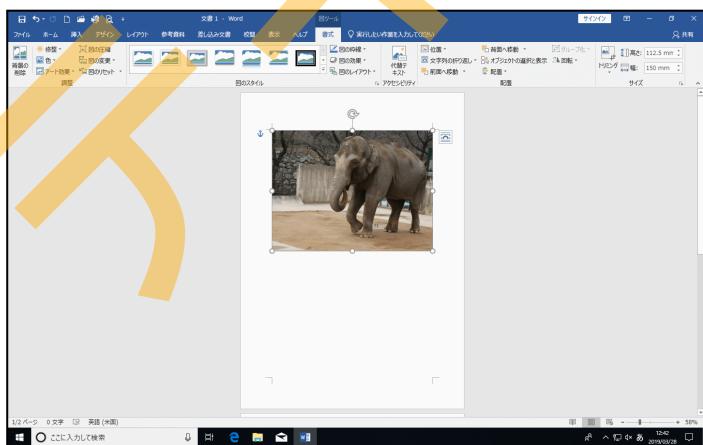
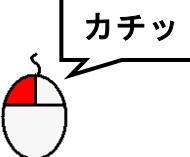
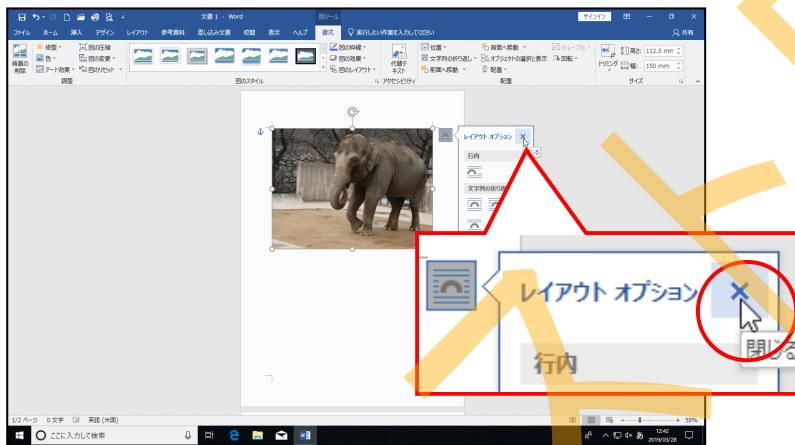




- 「前面」をクリックした時点で、写真の下に表示されていた改ページマークが写真の背面に隠れます。



[レイアウト オプション] の × [閉じる] ボタンにポイントし、クリックします。



③ 写真にスタイルを適用する

スタイルって何？？

ウメさん「先生。写真にスタイルを適用するってどういうこと？」

くじら先生「写真（図）の形を変えたり、枠線を設定したり、効果を加えたりと様々な設定をすることです。」

ウメさん「なんか、イメージができないわねえ～～。」

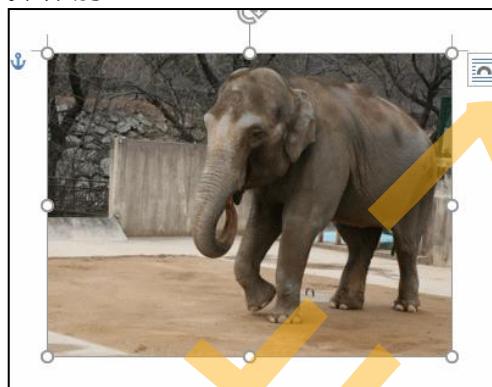
くじら先生「言葉では、なかなか難しいですね。下図の操作後を見てください。四角だった写真の2つの角が取れて、枠線が付いていると思います。」



スタイルの設定は、図ツールの【書式】タブの【図のスタイル】グループで行います。

◆写真にスタイルを設定する方法をマスターしましょう。

操作前



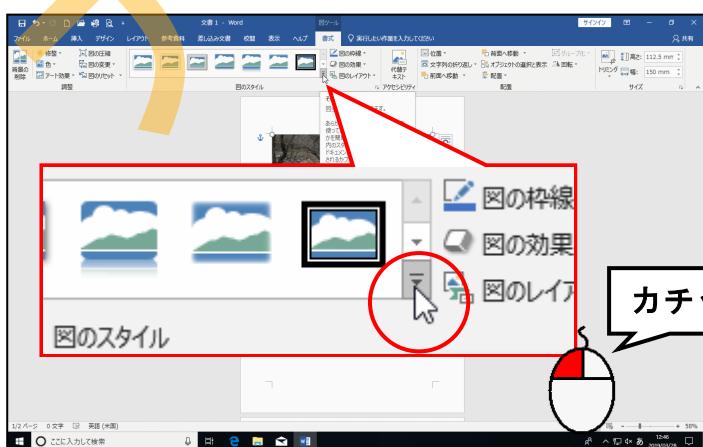
操作後



注意!

操作は下からです！

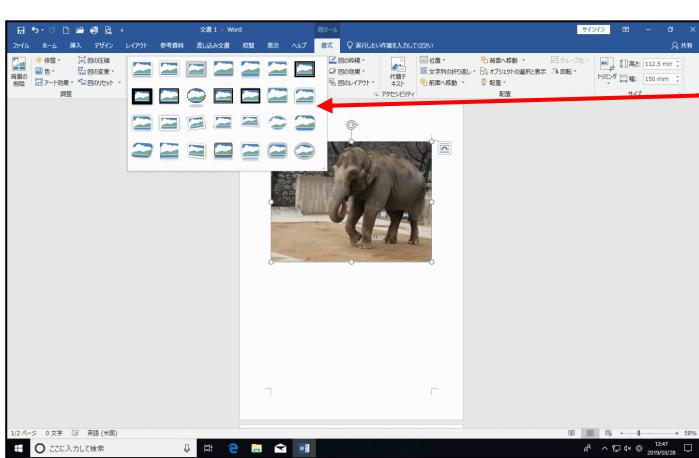
【図のスタイル】グループにある [その他] ボタンにポイントし、クリックします。



注意!

- 【書式】タブが選択されていない方は、【書式】タブをクリックして選択してください。

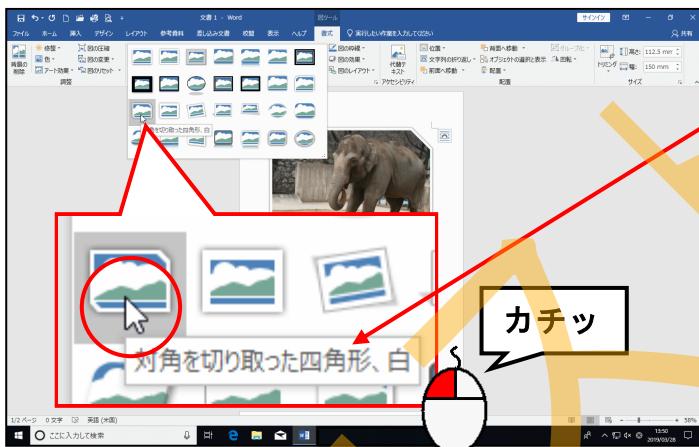




- [その他] ボタンをクリックすると、左のようにスタイルの一覧が表示されます。



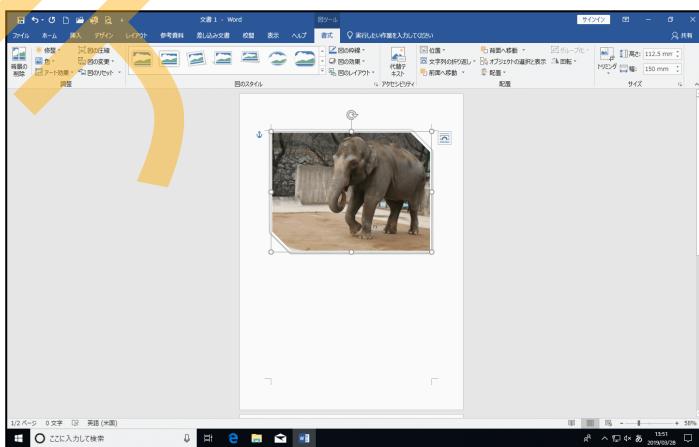
表示されたスタイルの一覧の中から「対角を切り取った四角形、白」にポイントし、クリックします。



- 該当のスタイルにポイントすると、左のようにスタイルの名前が表示されます。

注意!

- お使いのパソコンによって、スタイルの名称が違う場合があります。下図を参考に選びましょう。



- 「対角を切り取った四角形、白」をクリックすると、左のようにスタイルが設定されます。

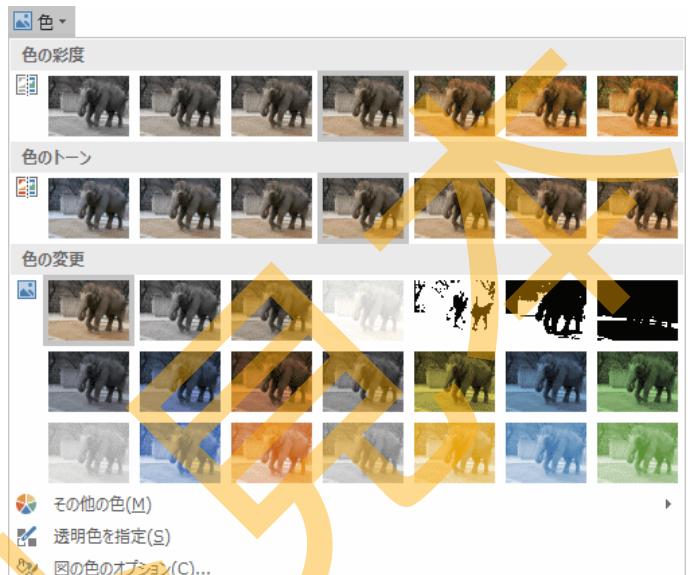
ご参考までに

■ 握入した写真の色調の変更方法



挿入した写真に、セピア色や写真全体の色調を薄くするウォッシュアウトを設定する場合、以下のように操作します。

色調を変更したい写真を選択し、図ツールの【書式】タブの【調整】グループから [色] ボタンをクリックし、右図のように表示される種類から選択します。



■ 握入した写真にアート効果を付ける



挿入した写真に、アート効果を設定する場合、以下のように操作します。アート効果を設定したい写真を選択し、図ツールの【書式】タブの【調整】グループから [アート効果] ボタンをクリックし、右図のように表示される種類から選択します。

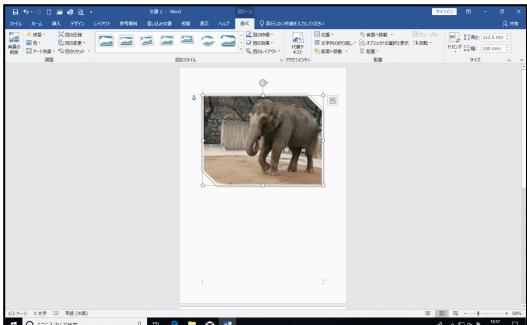


④ 写真のサイズ変更

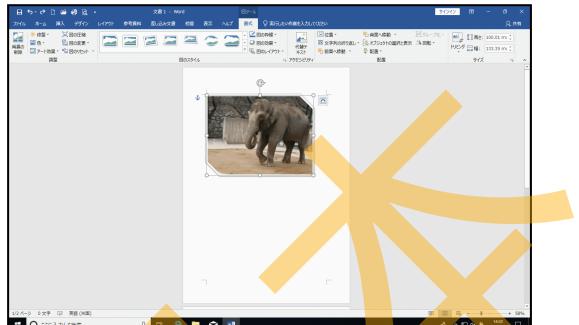
ここでは、現在挿入されている写真を、もう少し小さくしてみましょう。

◆写真のサイズを変更する方法をマスターしましょう。

操作前

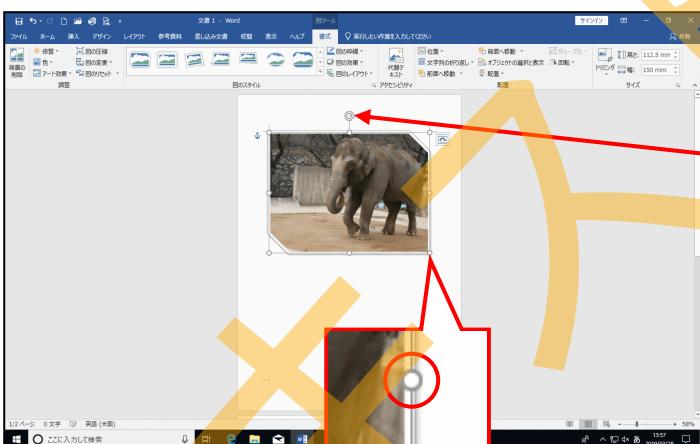


操作後



操作は下からです！

写真の周りに ○ (サイズ変更ハンドル) が表示されていることを確認します。

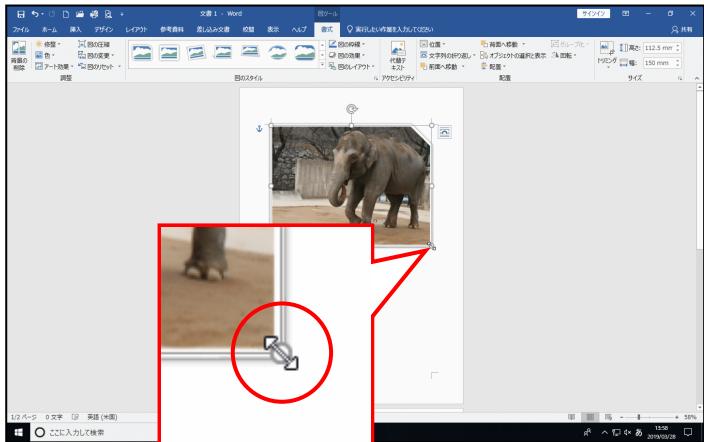


余裕があれば読んでね

●写真中央上に表示された ⌂ (回転ハンドル) は、図形を回転させるためのハンドルです。ポイントすると下図のようにマウスポインターが変わるので、ドラッグすると写真が左右に回転します。



写真の右下に表示された ○ (サイズ変更ハンドル) にポイントします。



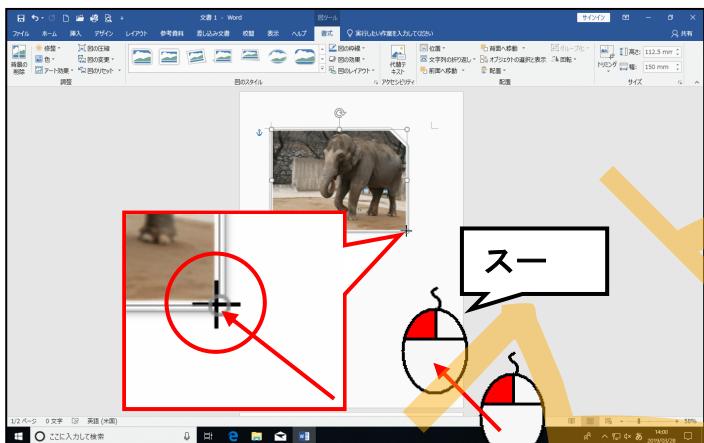
- 写真の右下の ○ (サイズ変更ハンドル) にポイントすると、マウスポインターが ↗ の状態になります。

余裕があれば読んでね

- ポイントするハンドルによって、マウスポインターは次のようにいろいろな形に変わります。



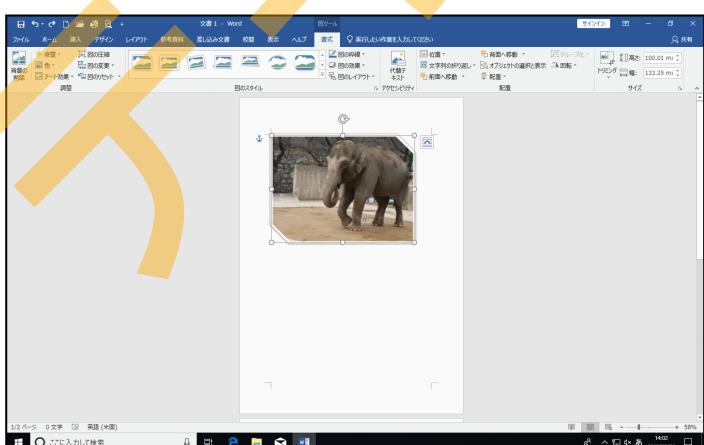
マウスポインターが ↗ に変わったことを確認し、左上に向かってドラッグします。



- ○ (サイズ変更ハンドル) をドラッグすると、マウスポインターが + の状態になります。

余裕があれば読んでね

- 写真の縦と横の比率を変えずに大きさを調整する場合は、マウスポインターが ↗ もしくは ↘ の状態でドラッグします。



- マウスから指を離した時点で、写真のサイズが確定します。



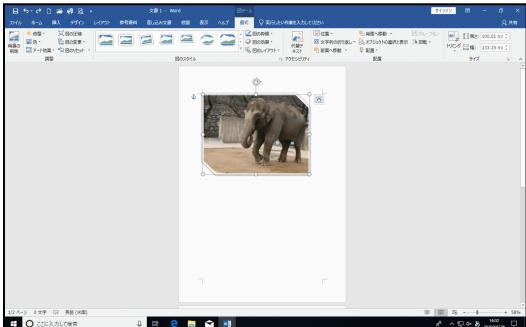
- ワード上で写真のサイズを変更しても、写真本来の大きさや容量は変更されません。画面上での大きさを変更するだけです。

⑤ 写真の移動

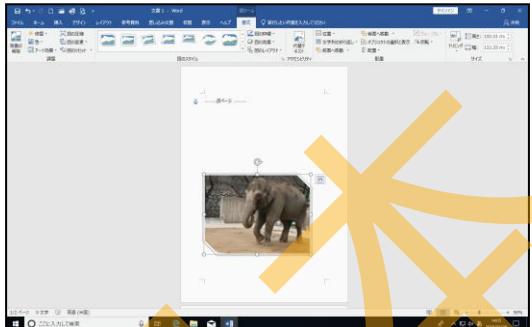
ここでは、写真を表紙の中央下辺りに移動してみましょう。

◆写真を移動する方法をマスターしましょう。

操作前

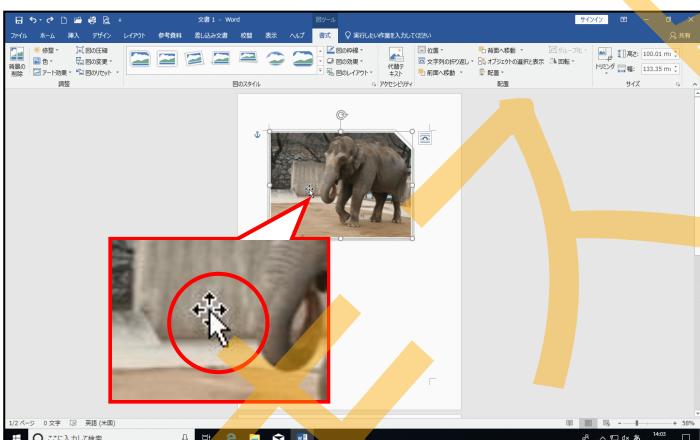


操作後



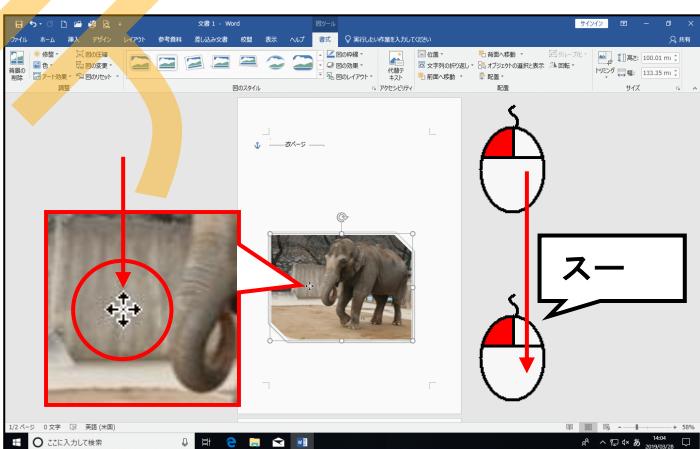
操作は下からです！

写真の中にマウスポインターを移動します。



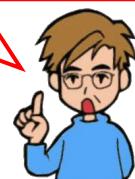
●写真にポイントすると、マウスポインターの形が になります。

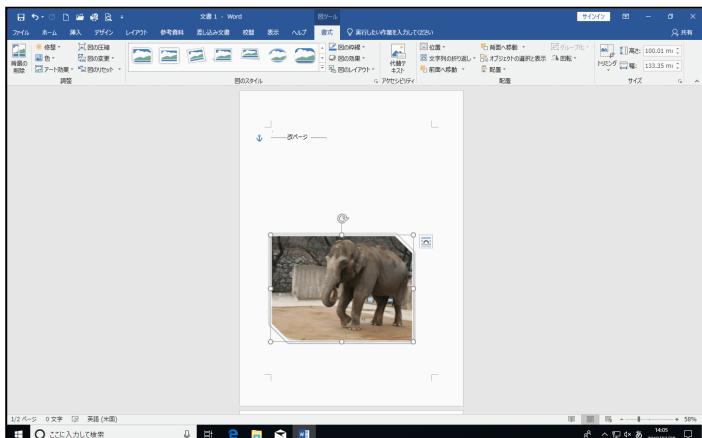
そのまま、下に向かってドラッグします。



●ドラッグ中のマウスポインターの形は の状態になっています。

●写真を水平、垂直に移動したい場合は、[Shift] キーを押した状態でドラッグします。





●マウスから指を離した時点で、写真の位置が確定します。



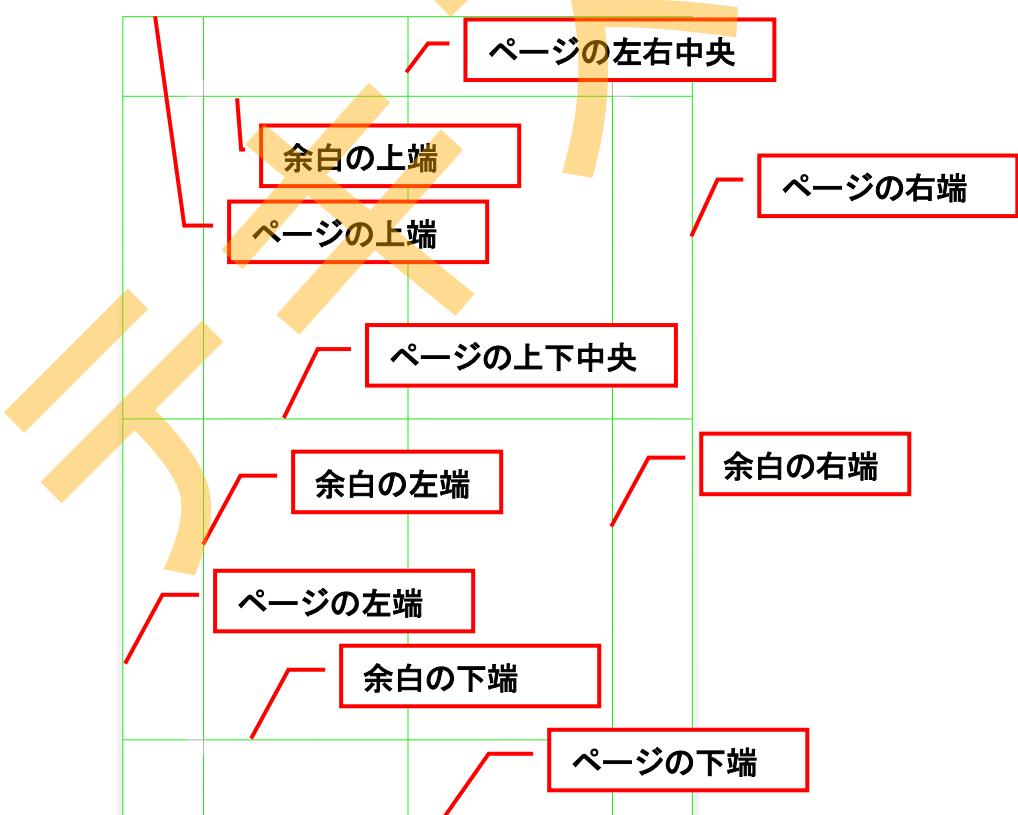
ご参考までに

■配置ガイド

文書内の画像や図形など（総称してオブジェクトといいます）を移動したり、サイズ変更したりすると、黄緑色の線の配置ガイドが表示されます。

この配置ガイドを利用すると、オブジェクトの大きさや配置を決定する際の目安となり便利です。

下図は、配置ガイドが表示される主な場所です。



⑥ 写真を中央に配置

⑤では、マウスを使って写真を移動しましたが、これでは自分でしか中央に配置できません。ここでは、写真の横位置をきっちりと左右中央に配置してみましょう。写真の配置を変更する場合、図ツールの【書式】タブの【配置】グループで設定します。

◆写真を左右中央に配置する方法をマスターしましょう。

操作前

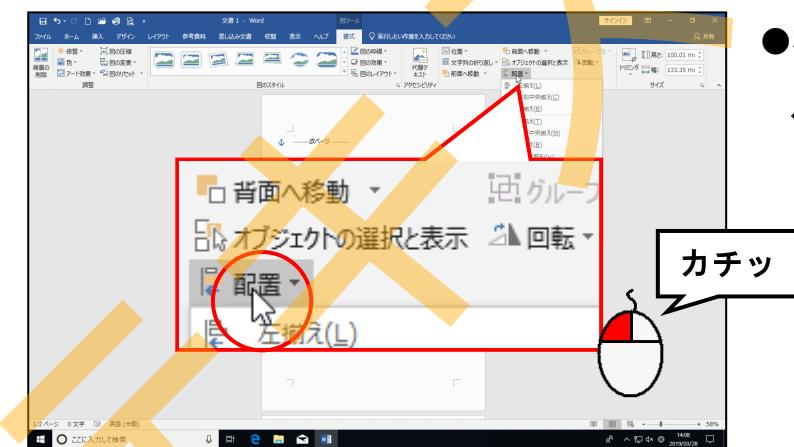


操作後



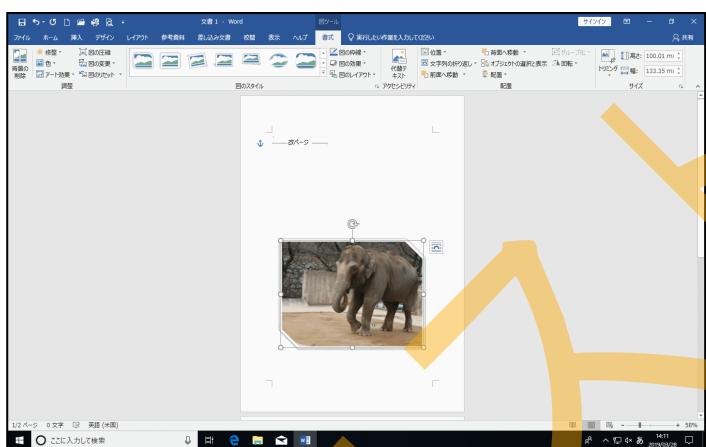
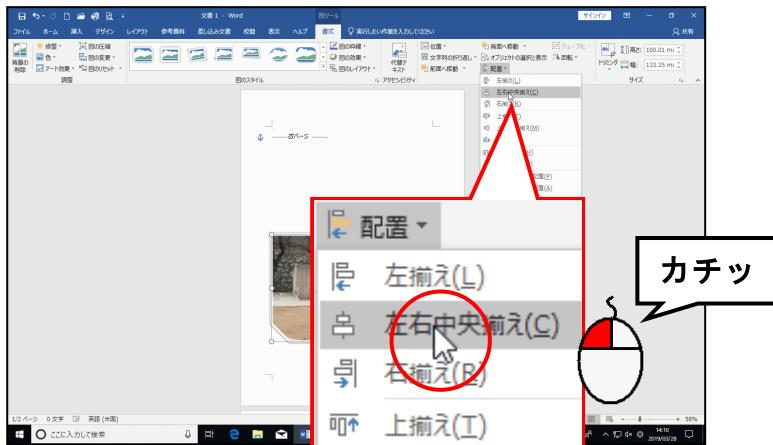
操作は下からです！

写真の周りに が表示されていること、【書式】タブが選択されていることを確認し、【配置】グループにある 配置 【配置】ボタンにポイントし、クリックします。



●写真が選択されていない方は、写真にポイントし、マウスポインターが の状態でクリックして選択してください。

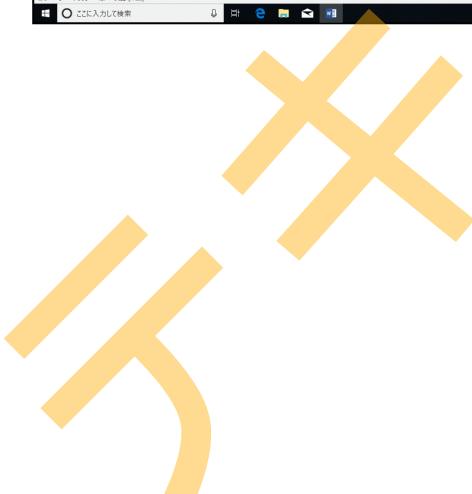
表示された一覧から【左右中央揃え(C)】にポイントし、クリックします。



● 【左右中央揃え(C)】をクリックした時点で、写真が用紙の水平方向の中央に配置されます。

注意!

● 写真を中央に配置した後は、ドラッグして写真を移動しないようにしてください。写真をドラッグして移動してしまうと、中央揃えの設定が解除されてしまいます。

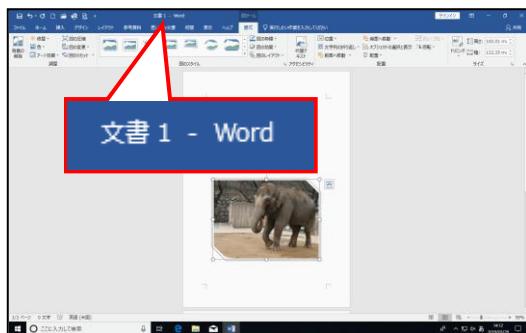


(4) アルバムの保存

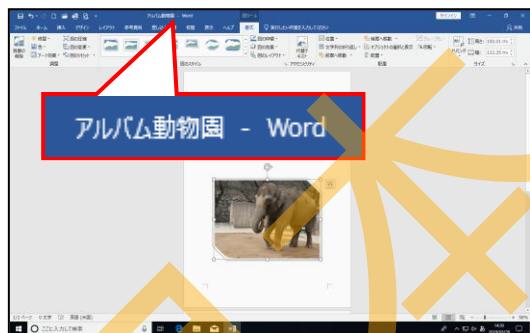
ここまで作成してきたアルバムを「アルバム動物園」という名前を付けてUSBメモリーに保存してみましょう。

◆USBメモリーにアルバムを保存する方法をマスターしましょう。

操作前



操作後

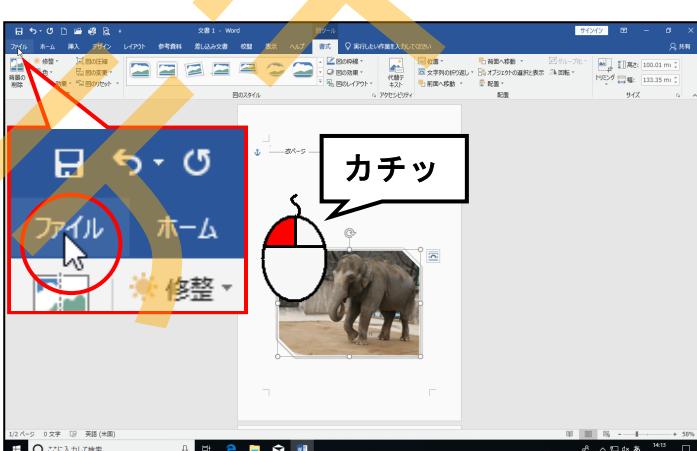


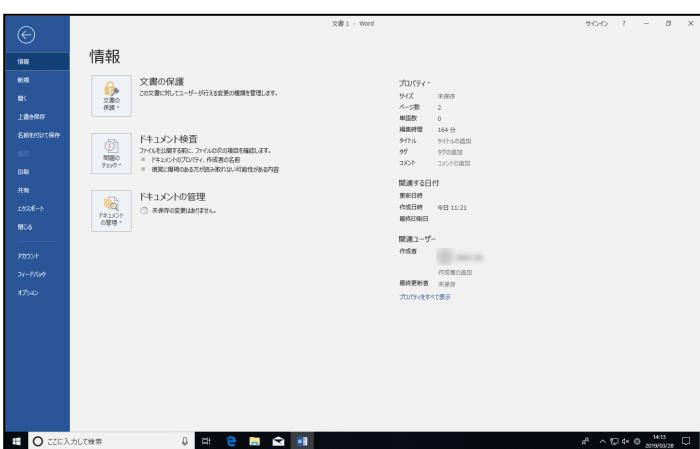
操作は下からです！



操作に入る前にUSBメモリーをパソコンに差し込んでおきましょう。

画面左上にある【ファイル】タブにポイントし、クリックします。



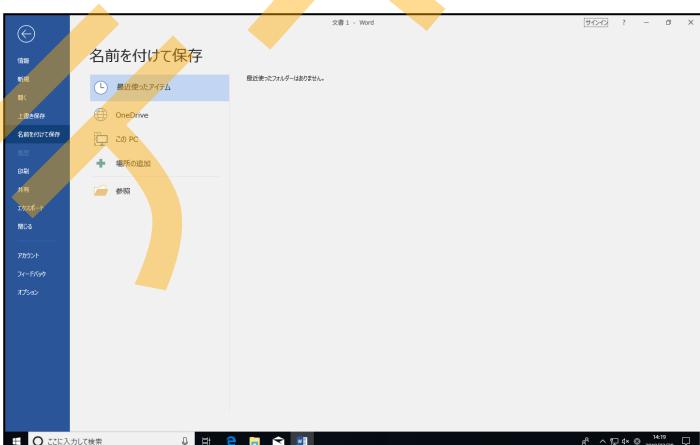


本

[名前を付けて保存] にポイントし、クリックします。

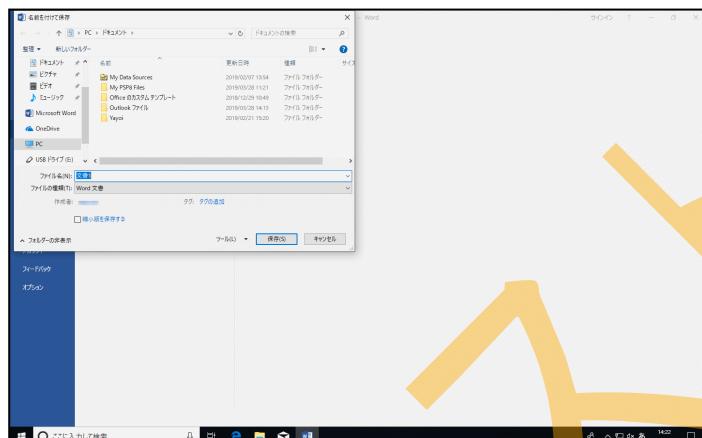
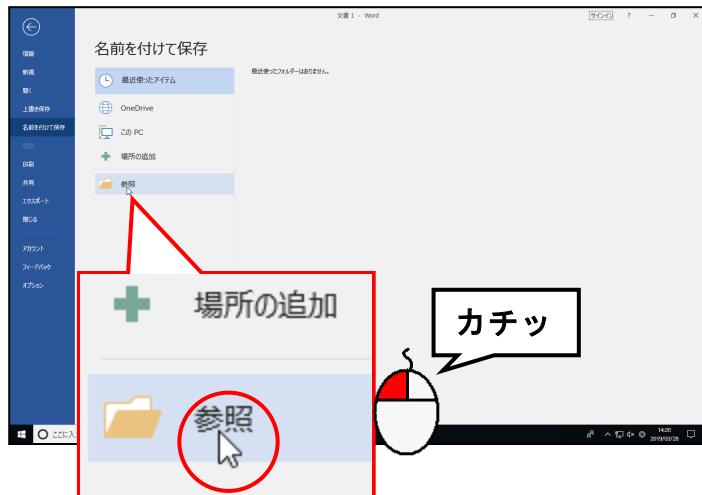


旨



下

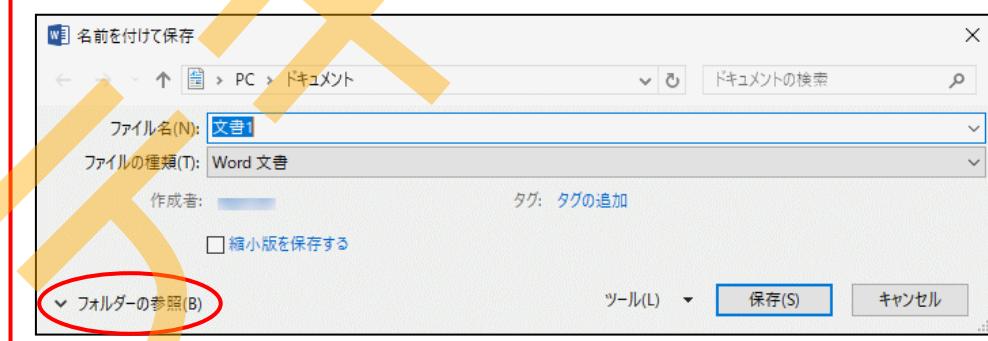
「参照」にポイントし、クリックします。



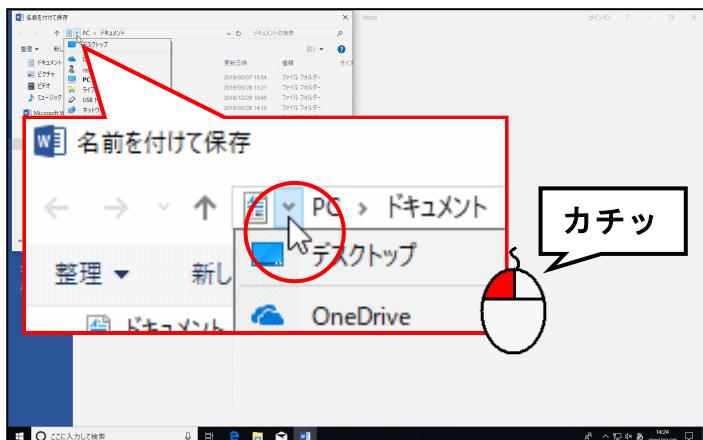
● 「参照」をクリックすると、左のように【名前を付けて保存】ダイアログボックスが表示されます。

● お使いのパソコンによって、【名前を付けて保存】ダイアログボックス内のファイルやフォルダーの表示方法が左図と違う場合があります。

【名前を付けて保存】ダイアログボックスが下のように細長い場合は、【名前を付けて保存】ダイアログボックスの左下の【フォルダーの参照(B)】をクリックすると、テキストのようにダイアログボックスが縦に広がります。



「PC」の左にある にポイントし、クリックします。



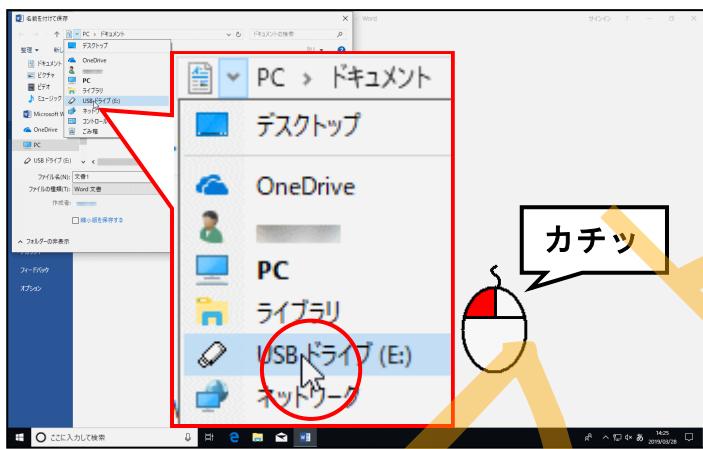
- 下図のように表示される場合は、「ユーザー」の左側にある をクリックします。



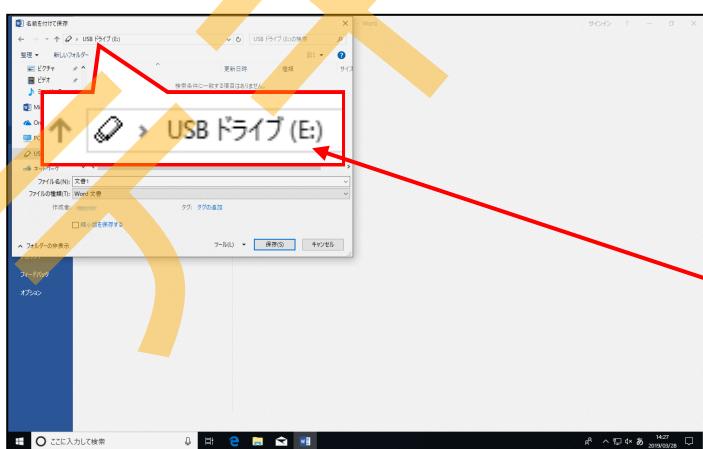
- 「PC」の左にある は、クリックした時点で、左のように に変わります。



表示された一覧から [USB ドライブ(E:)] にポイントし、クリックします。



- お使いのパソコンによって、USB ドライブの後ろが「(E:)」とは限りません。



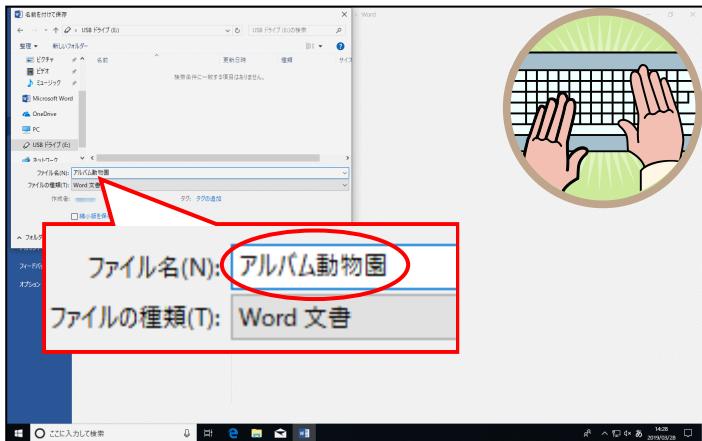
- ここまで行った操作が保存先の指定方法です。自分がどこに保存するかを指定する操作は、このようにして行います。これはワードに限らずパソコンを操作する場合に共通の操作となります。

- [USB ドライブ(E:)] をクリックすると、[保存先] ボックスに [USB ドライブ(E:)] が表示されます。

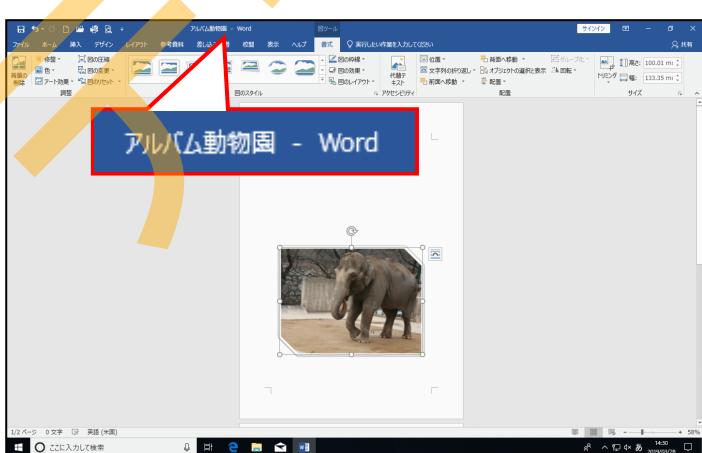
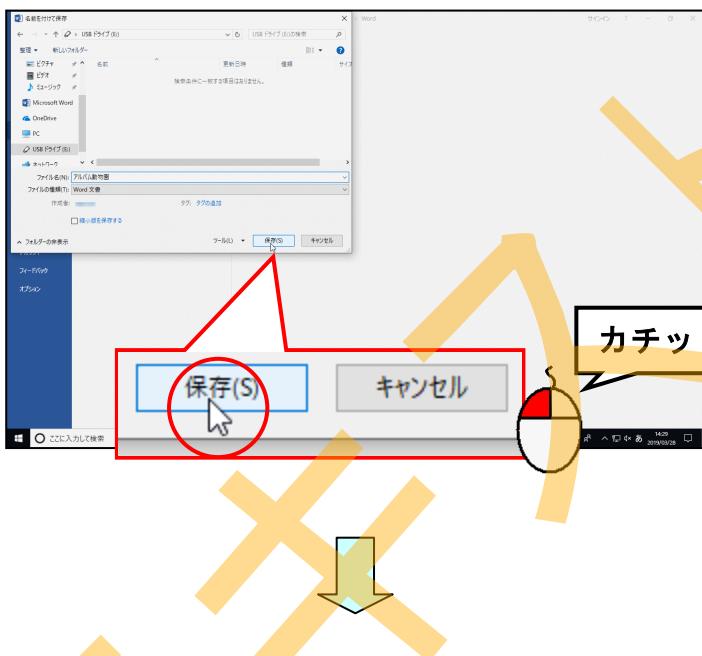
必ず確認を!!



[ファイル名(N):] ボックスに入力されている文字を「アルバム動物園」に変更して文字を確定します。



[名前を付けて保存] ダイアログボックスの右下にある [保存(S)] ボタンにポイントし、クリックします。



- 保存操作が完了すれば、タイトルバーに「アルバム動物園」と表示されます。

(5) タイトルの作成

アルバムのタイトル作成

ケンちゃん「ここからは、アルバムのタイトルを作るんだね。」

くじら先生「はい。ワードアートを使ってアルバムのタイトルを作ります。」

ケンちゃん「ワードアート？ それって何？ 普通に文字を打つのと違いがあるの？」

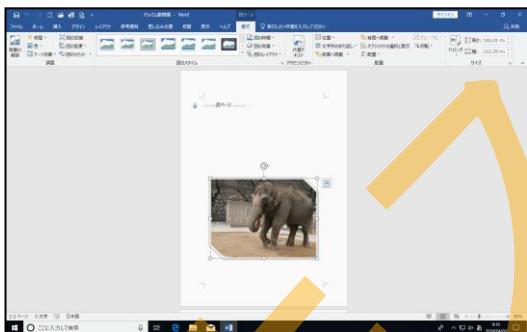
くじら先生「ワードアートは、文字の色や形などの装飾ができるんです。普通に文字を入力するより、インパクトがあり、見栄えのするタイトルが作れるんです。」



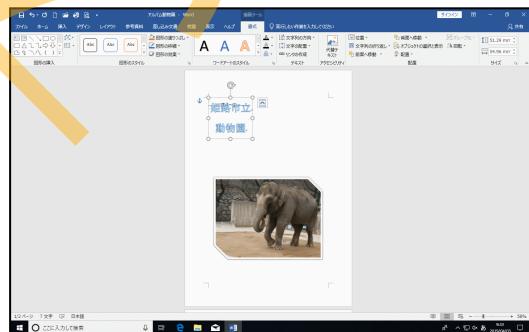
① ワードアートの挿入

◆ワードアートを挿入する方法をマスターしましょう。

操作前



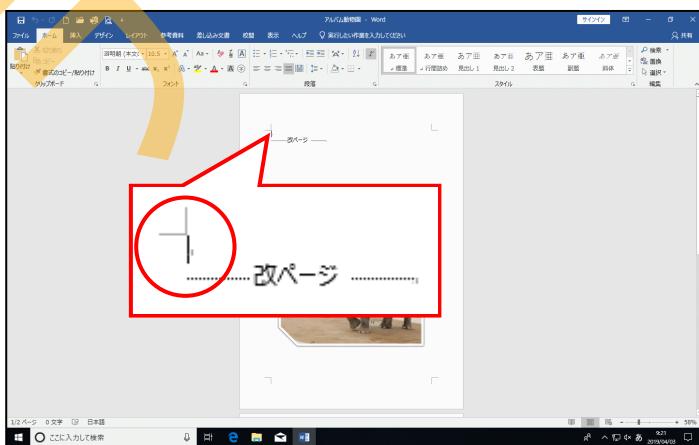
操作後



注意!

操作は下からです！

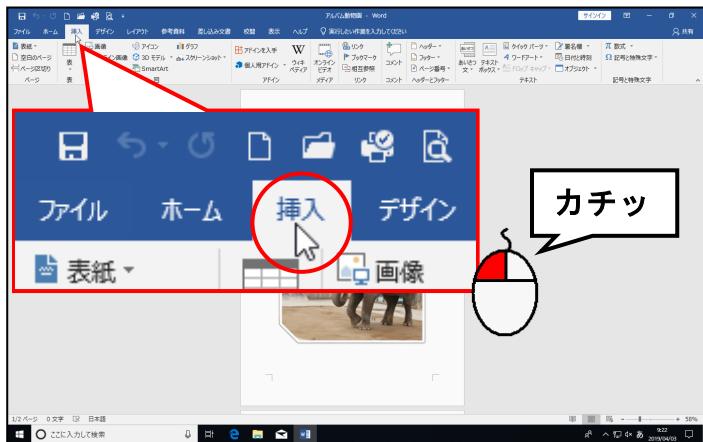
1ページ目の先頭にカーソルを移動します。



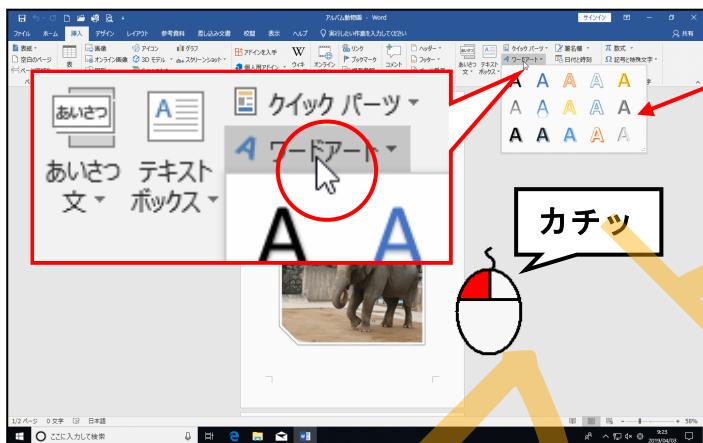
●画面を縮小表示しているため、カーソルが小さく表示されます。

●「ワードアート」はカーソルがある行に挿入されるため、ワードアートを挿入したい行にカーソルを移動します。

[挿入] タブにポイントし、クリックします。

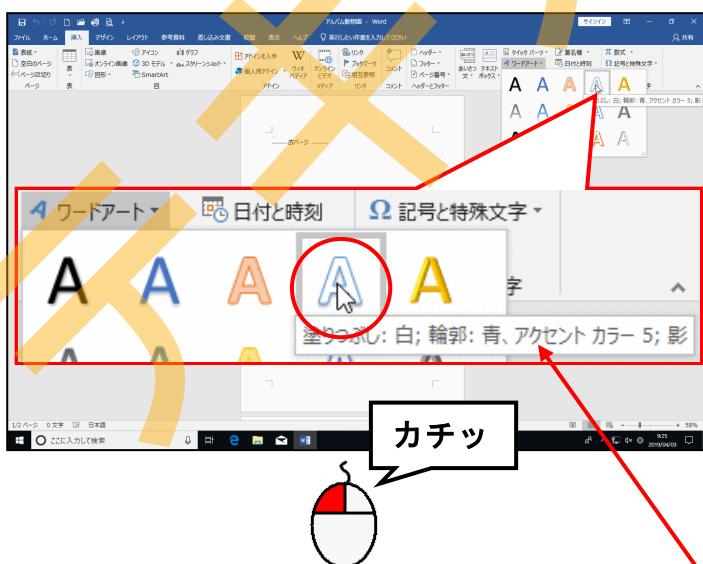


[テキスト] グループにある **ワードアート**・[ワードアート] ボタンにポイントし、クリックします。

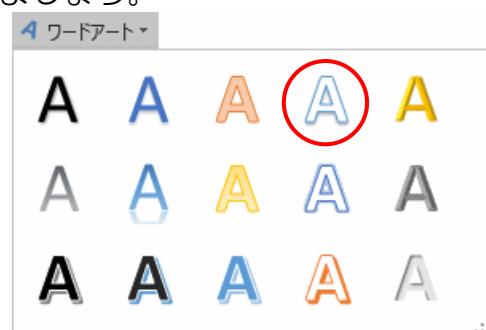


- **ワードアート**・[ワードアート] ボタンをクリックすると、左のようにワードアートの一覧 ([ワードアートギャラリー]) が表示されます。

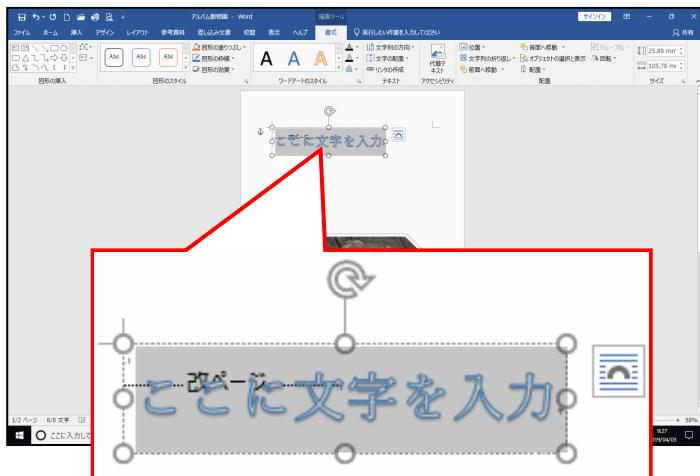
表示された [ワードアートギャラリー] の「塗りつぶし：白；輪郭：青、アクセント カラー5；影」にポイントし、クリックします。



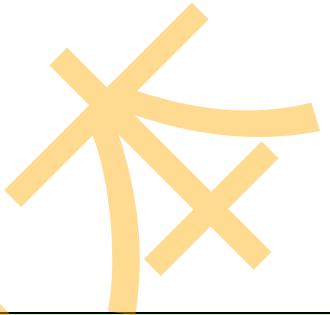
- お使いのパソコンによって、ワードアートスタイルの名称が違う場合があります。下図を参考に選びましょう。



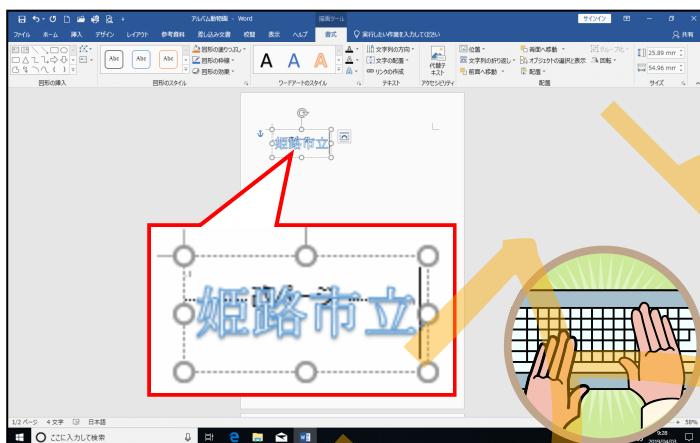
- 目的のワードアートスタイルにポイントすると、ワードアートスタイルの種類がポップヒントとして表示されます。



- 「塗りつぶし：白；輪郭：青、アクセント カラー5；影」をクリックすると、左のように「ここに文字を入力」が表示されます。



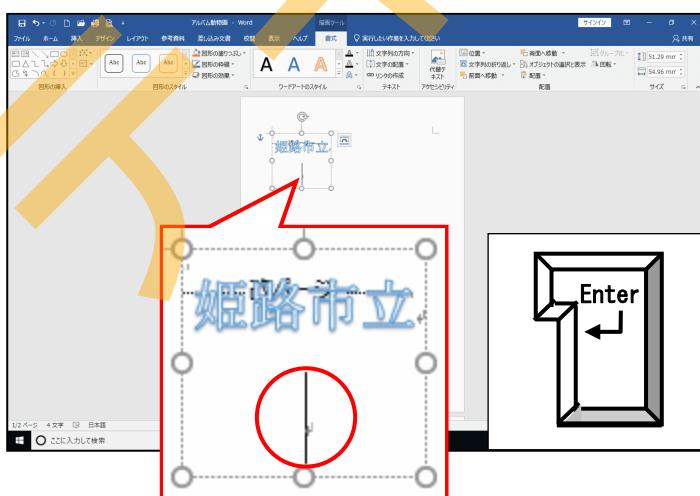
「姫路市立」を入力します。



- 「ここに文字を入力」がグレーに選択された状態で「姫路市立」を入力すると、選択されていた文字列（「ここに文字を入力」）に上書きされます。

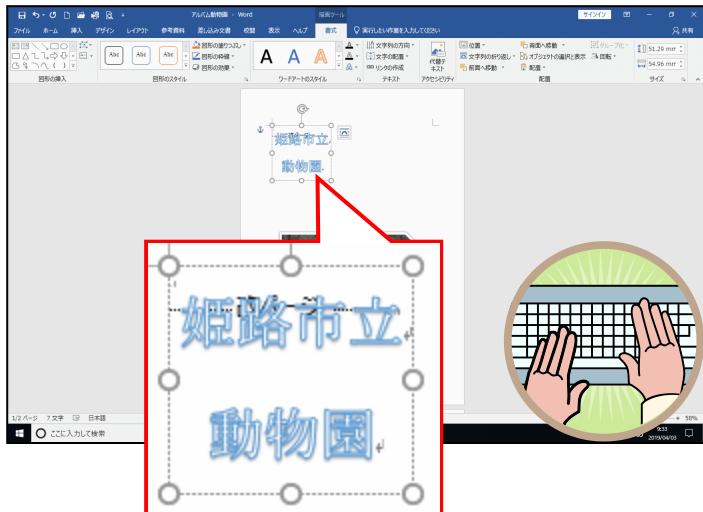


「姫路市立」の後ろにカーソルがあることを確認して、[Enter] キーを押して、改行します。



- [Enter] キーを押すと、改行されてカーソルが 2 行目に移動します。

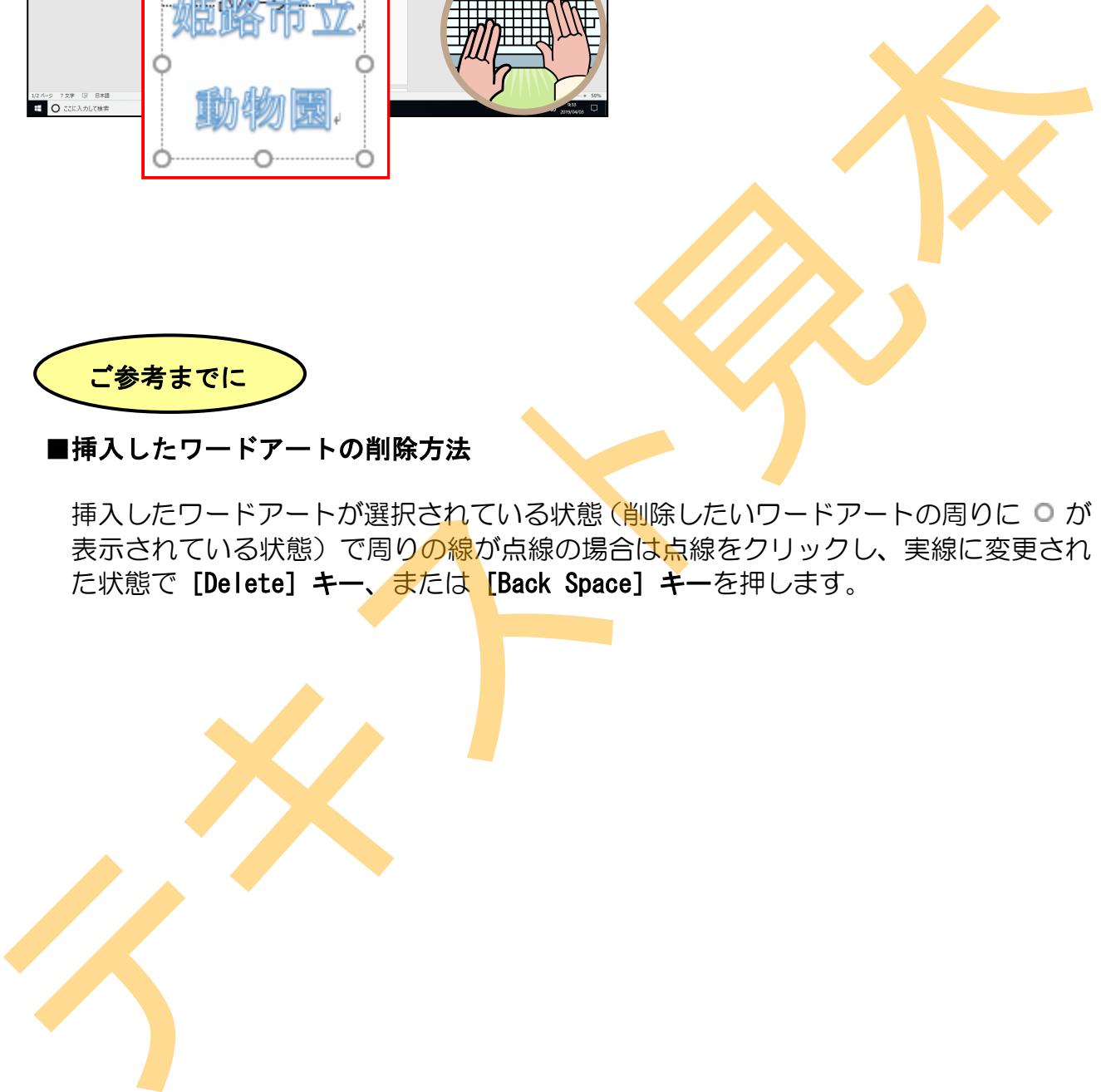
「動物園」を入力します。



ご参考までに

■挿入したワードアートの削除方法

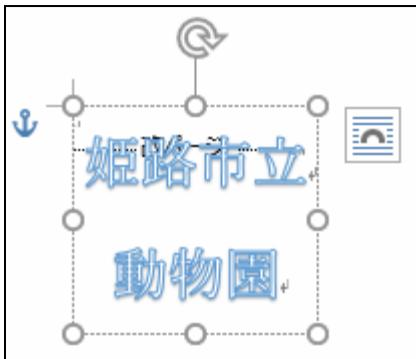
挿入したワードアートが選択されている状態（削除したいワードアートの周りに○が表示されている状態）で周りの線が点線の場合は点線をクリックし、実線に変更された状態で [Delete] キー、または [Back Space] キーを押します。



② ワードアートのフォントの変更

◆ワードアートのフォントを変更する方法をマスターしましょ。

操作前

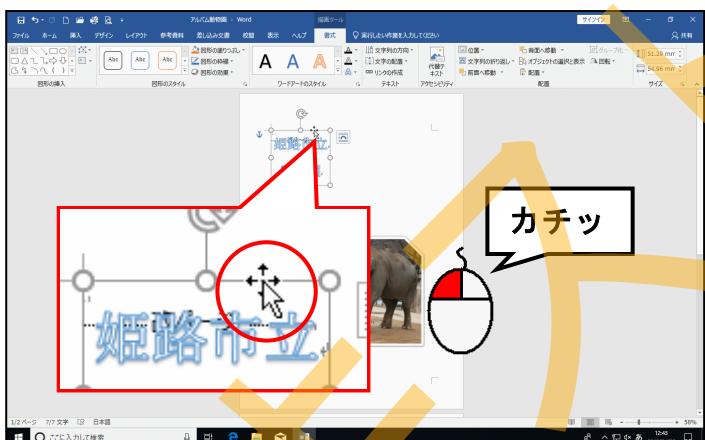


操作後



操作は下からです！

ワードアートの枠線にポイントし、クリックします。

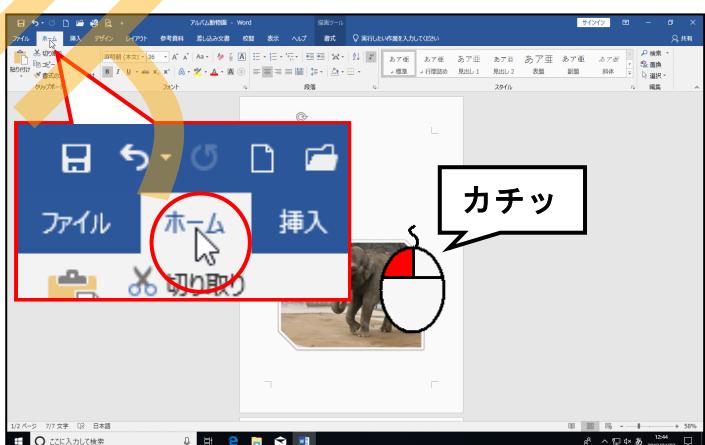


- ワードアートの枠線にポイントすると、マウスポインターが↑↓に変わります。



- ワードアートの枠線をクリックした時点で、点線の状態から実線の状態に変わります。

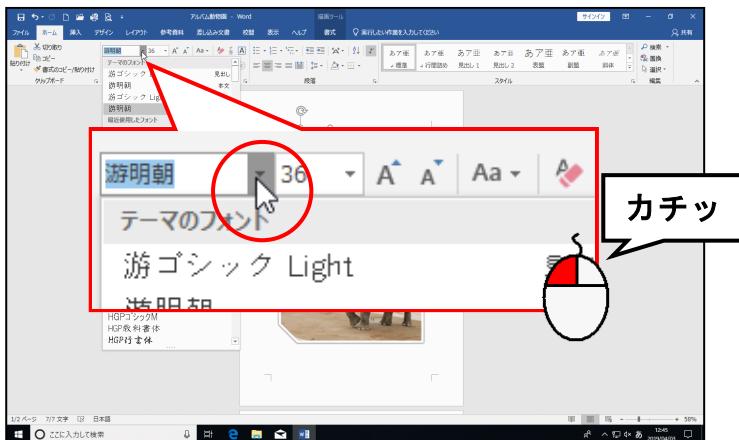
[ホーム] タブにポイントし、クリックします。



[フォント] グループにある

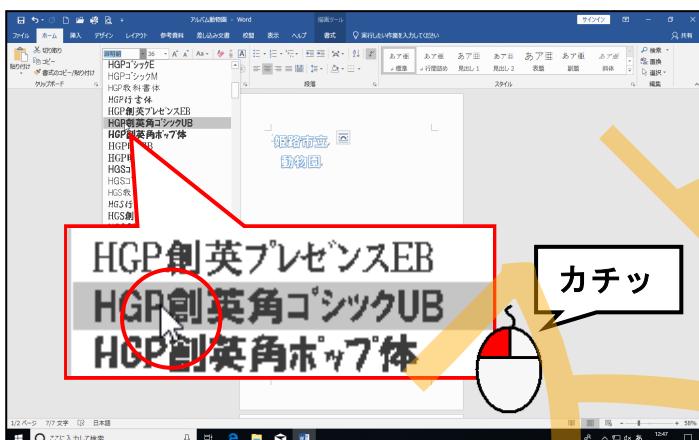
游明朝 (本文)

[フォント] ボックス右の▼にポイントし、クリックします。



- 游明朝 (本文) [フォント] ボックス右の▼をクリックすると、フォントの一覧が表示されます。

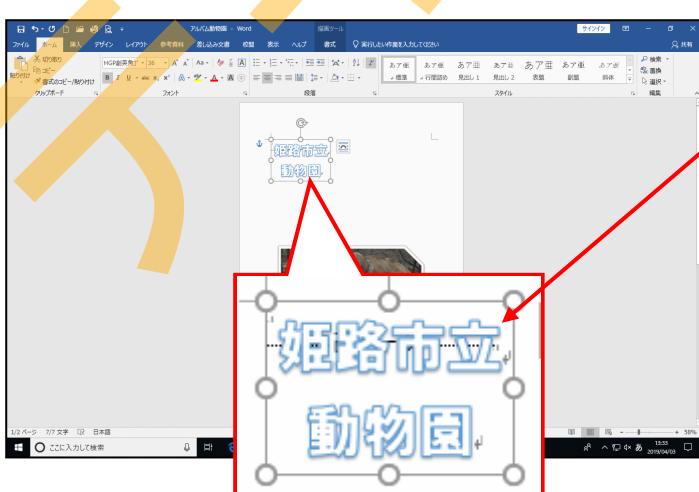
表示されたフォントの一覧から「HGP 創英角ゴシック UB」にポイントし、クリックします。



- 表示されたフォント（書体）の一覧に「HGP 創英角ゴシック UB」がない場合は、右側にあるスクロールボタン (▼) をクリックして「HGP 創英角ゴシック UB」を探してください。

余裕があれば読んでね

- フォント以外に、ワードアートのスタイルを変更したい場合は、[ホーム] タブの [フォント] グループにある **B** [太字] ボタン、*I* [斜体] ボタンをクリックします。



- 「HGP 創英角ゴシック UB」をクリックすると、ワードアートの「姫路市立動物園」の書体が「HGP 創英角ゴシック UB」に変更されました。

③ ワードアートのフォントサイズの変更

タイトルとして挿入したワードアートですが、フォントサイズが小さすぎます。ここでは、ワードアートのフォントサイズを大きくしてみましょう。

◆ワードアートのサイズの変更方法をマスターしましょう。

操作前

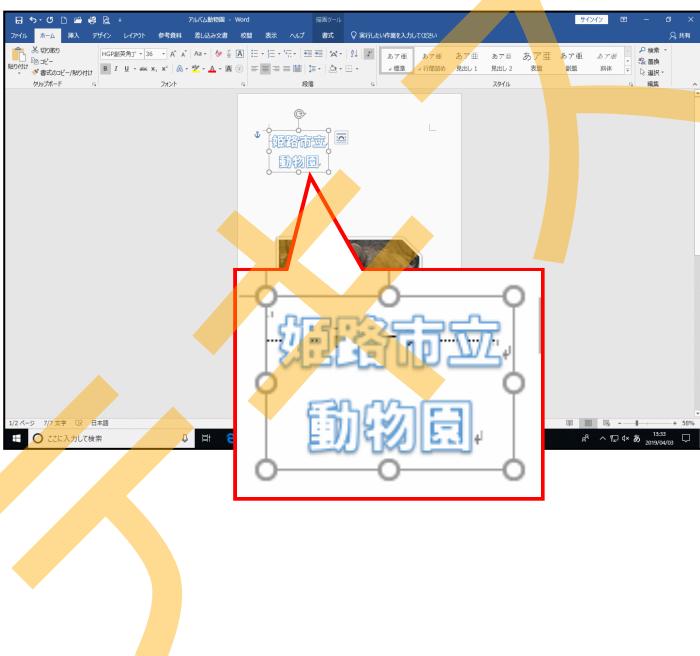


操作後



操作は下からです！

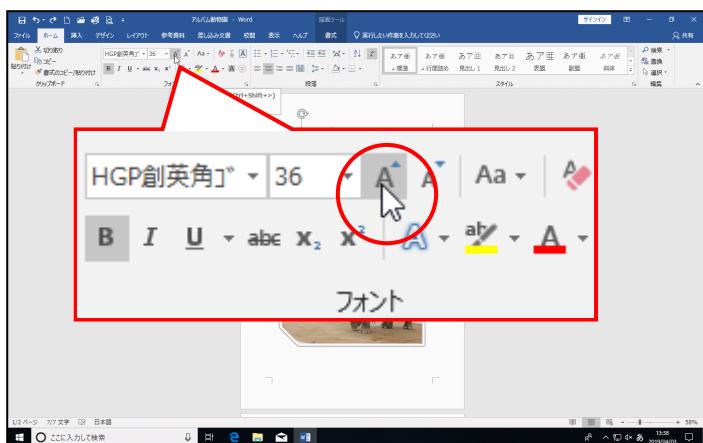
ワードアートの周りに ● (サイズ変更ハンドル) が表示されていることを確認します。



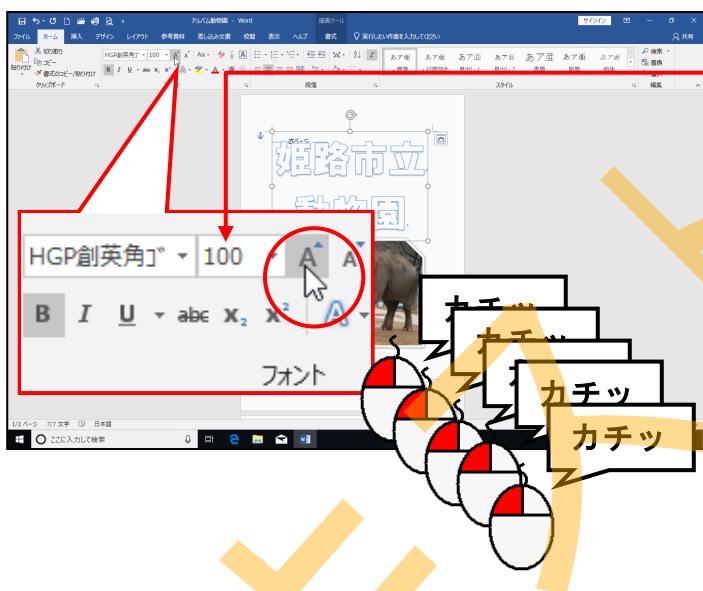
- 下図のようにワードアートの枠線が点線の場合は、フォントサイズの変更ができないので、枠線をクリックし、実線にしましょう。



[フォント] グループにある A [フォント サイズの拡大] ボタンにポイントします。



そのまま5回クリックします。



● A [フォント サイズの拡大] ボタンを5回クリックすると、ワードアートのフォントサイズが「100pt」になりました。

● フォントサイズを大きくしたことによって、下図のようにワードアートと象の写真が重なった方は、象の写真をワードアートと重ならないように、下に移動しましょう。移動後は、P26 ⑥ 写真を中心配置の操作をしておきましょう。



④ ワードアートの文字の塗りつぶしの変更

配置が決定したところで、ワードアートの文字の塗りつぶしの色を変更しましょう。

◆ワードアートの文字の塗りつぶしの変更方法をマスターしましょう。

操作前

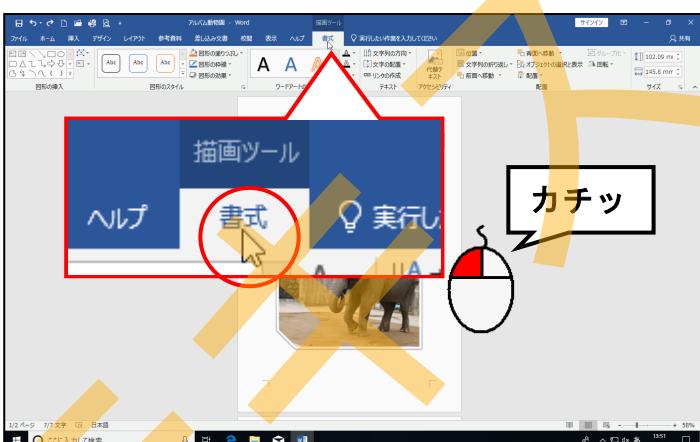


操作後



操作は下からです！

ワードアートの周りに ● が表示されていることを確認し、[書式] タブにポイントし、クリックします。

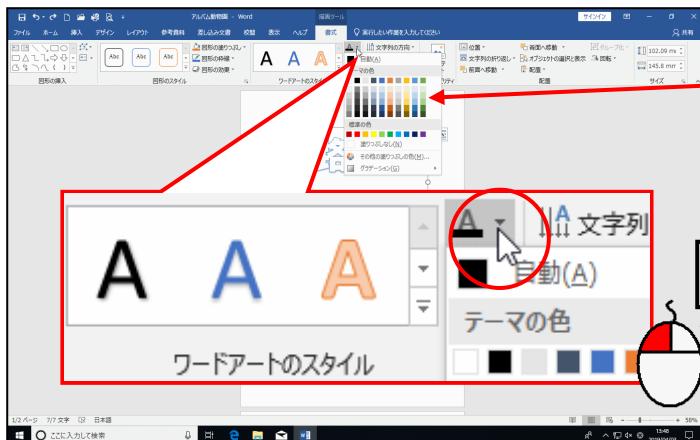


注意!

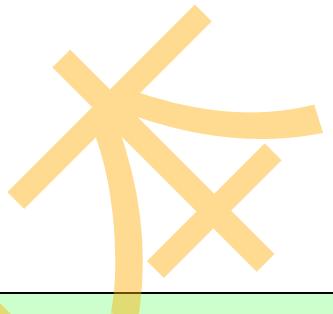
●ワードアート「姫路市立動物園」が選択された状態で操作を行ってください。



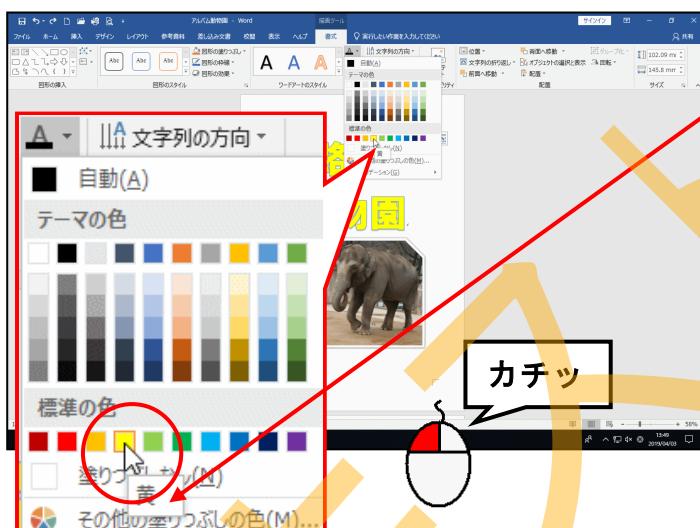
[ワードアートのスタイル] グループにある **A** [文字の塗りつぶし] ボタンの▼にポイントし、クリックします。



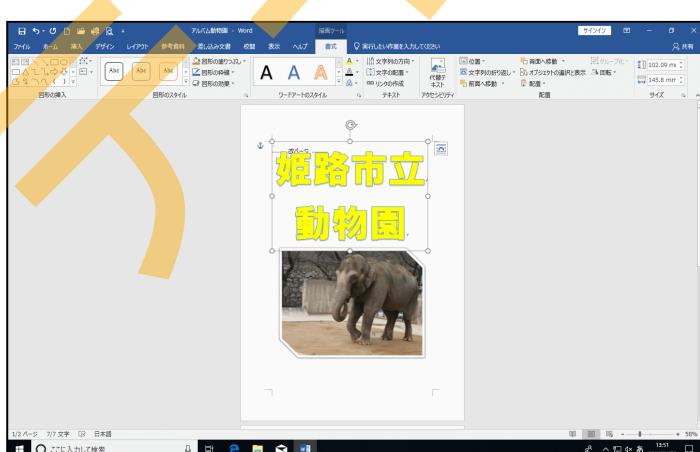
● **A** [文字の塗りつぶし] ボタンの▼をクリックすると、左のように色の一覧が表示されます。



表示された色の一覧から「黄」にポイントし、クリックします。



●該当の色にポイントすると、左のように色の名前が表示されます。



●「黄」をクリックした時点で、ワードアートの文字の塗りつぶしの色が「黄」に変更されました。

⑤ ワードアートの線の色の変更

ワードアートの塗りつぶしの色が変更できたところで、ワードアートの線の色を変更しましょう。

◆ワードアートの線の色の変更方法をマスターしましょう。

操作前

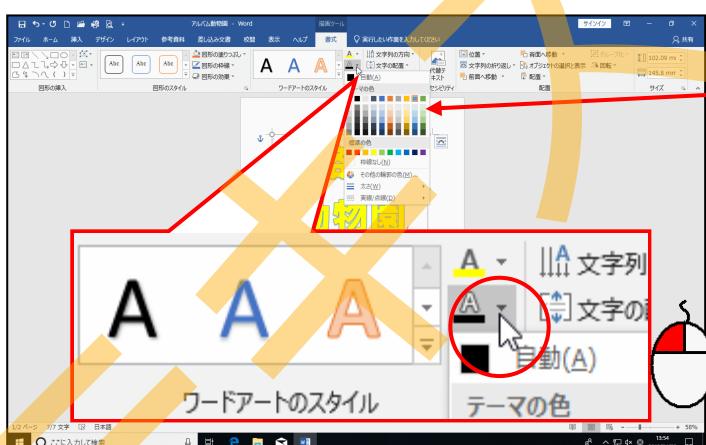


操作後



操作は下からです！

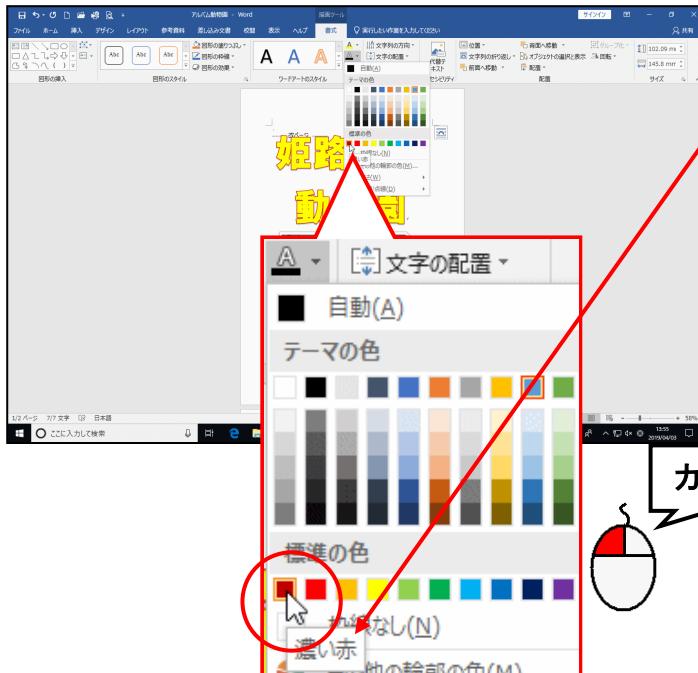
[ワードアートのスタイル] グループにある [文字の輪郭] ボタンの▼にポイントし、クリックします。



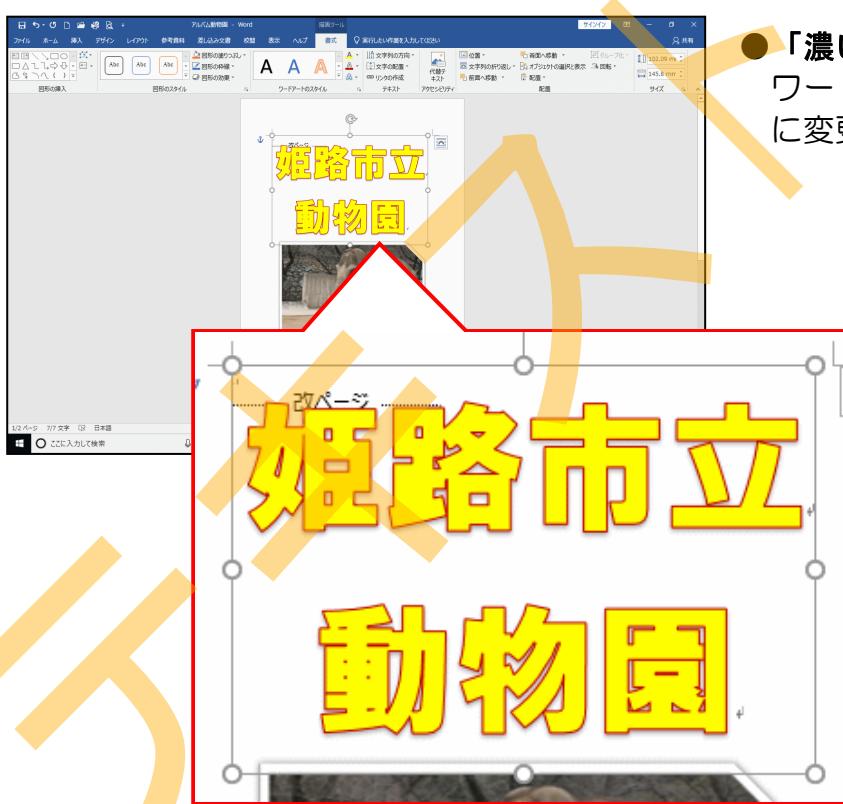
- [文字の輪郭] ボタンの▼をクリックすると、左のように色の一覧が表示されます。

カチッ

表示された色の一覧から「濃い赤」にポイントし、クリックします。



●該当の色にポイントすると、左のように色の名前が表示されます。



●「濃い赤」をクリックした時点で、ワードアートの線の色が「濃い赤」に変更されました。

⑥ ワードアートの線の太さの変更

ワードアートの線の色が変更できたところで、ワードアートの線の太さを変更しましょう。

◆ワードアートの線の太さの変更方法をマスターしましょう。

操作前



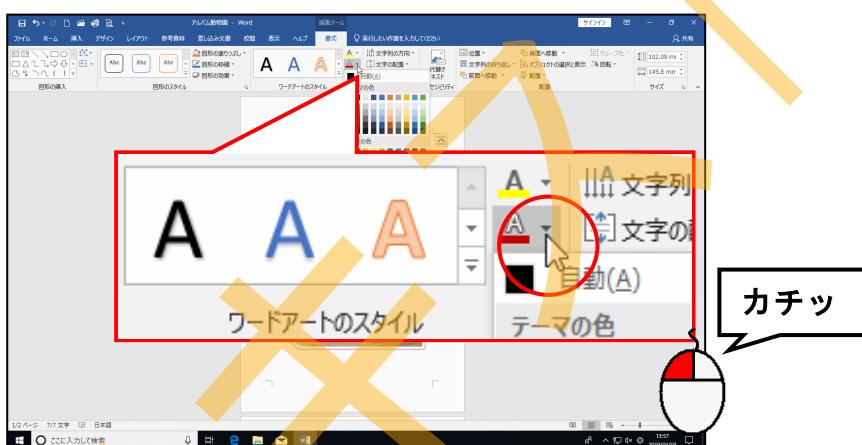
操作後



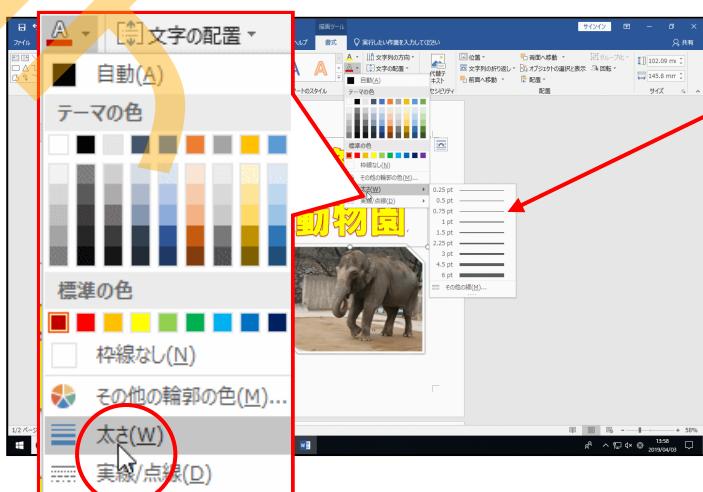
注意!

操作は下からです！

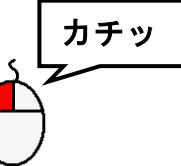
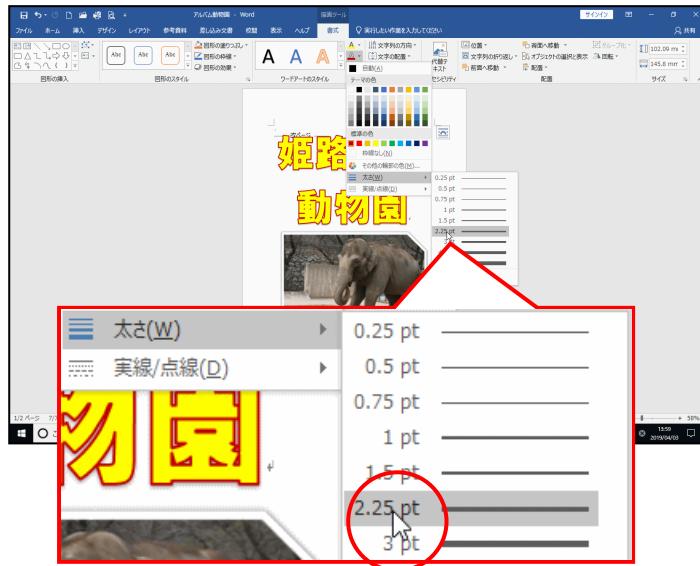
[ワードアートのスタイル] グループにある - [文字の輪郭] ボタンの▼にポイントし、クリックします。



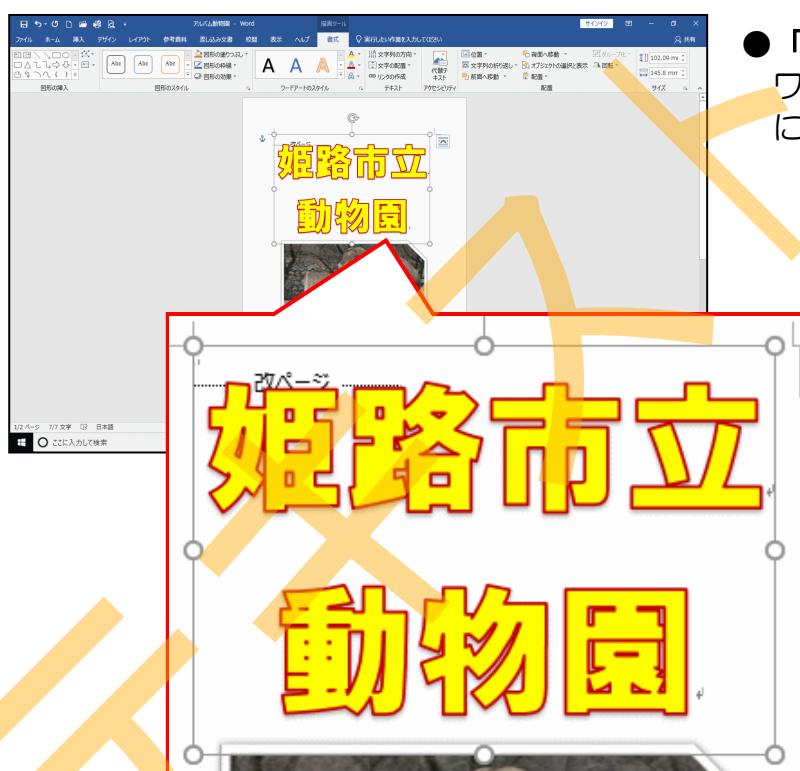
表示された一覧から [太さ(W)] にポイントします。



表示された太さの一覧から「2.25pt」にポイントし、クリックします。



本



● 「2.25pt」をクリックした時点で、ワードアートの線の太さが「2.25pt」に変更されました。

⑦ ワードアートの変形

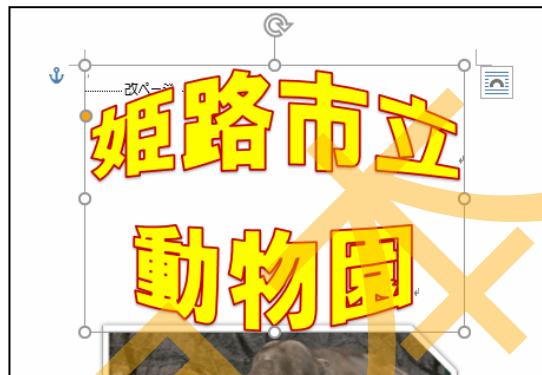
今の状態のワードアートは真っ直ぐです。ワードアートは形を変更することができます。

◆ワードアートを変形する方法をマスターしましょう。

操作前



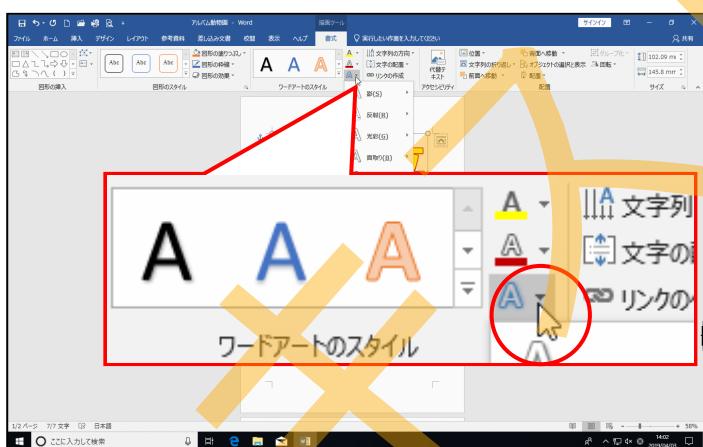
操作後



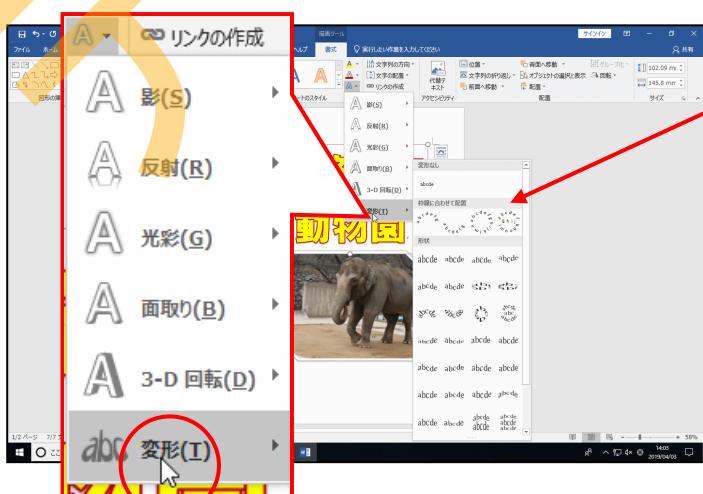
注意!

操作は下からです！

[ワードアートのスタイル] グループにある [文字の効果] ボタンにポイントし、クリックします。

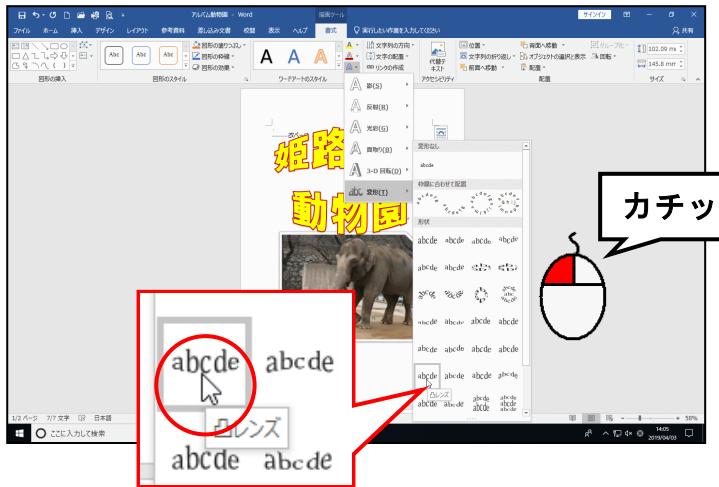


表示された一覧から [変形(T)] にポイントします。

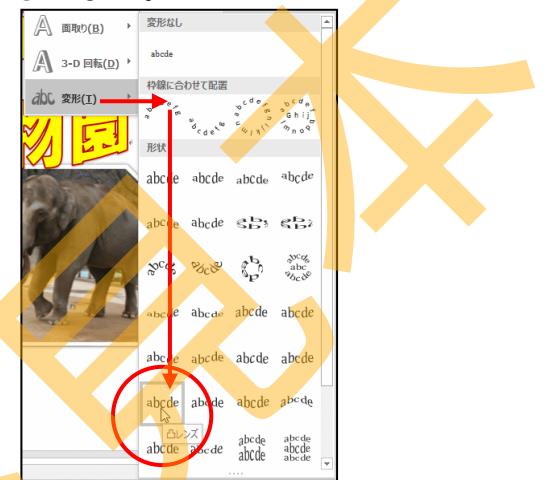


● [変形(T)] にポイントすると、左のように形状の一覧が表示されます。

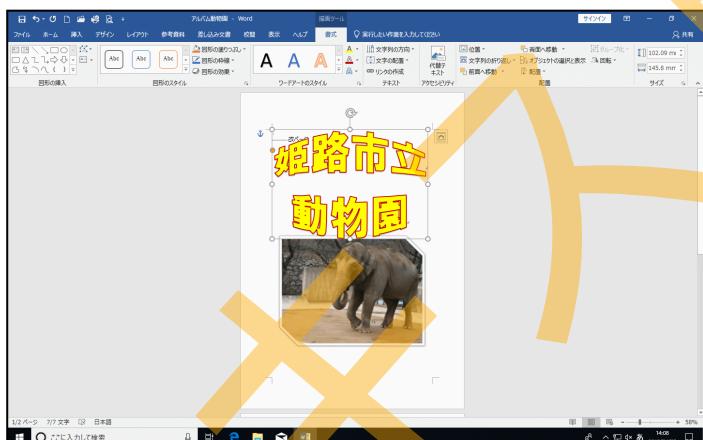
右側に表示された一覧から「凸レンズ」にポイントし、クリックします。



● 「凸レンズ」(お使いのパソコンによって、名称が違う場合があります。下図を参考にしましょう。) をクリックする際は、まず下図のように【変形(T)】にポイントします。右側にメニューが表示されるので、そのまま真横にマウスポインターを移動し、次に目的の変形へ移動しましょう。



● 「凸レンズ」をクリックすると、ワードアートが変形されました。



⑧ ワードアートの移動

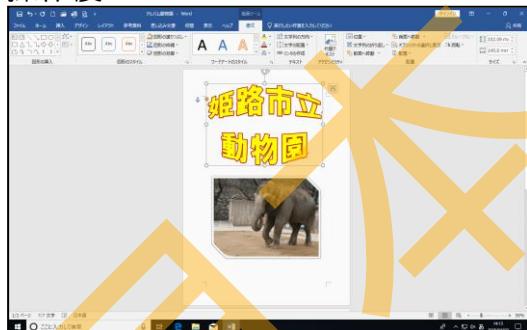
ワードアートも、写真を移動したときと同様に移動することができます。ただしワードアートを移動するには、周りの枠線にポイントすることが重要です。
ここでは、ワードアートを少し上に移動してみましょう。

◆ワードアートを移動する方法をマスターしましょう。

操作前

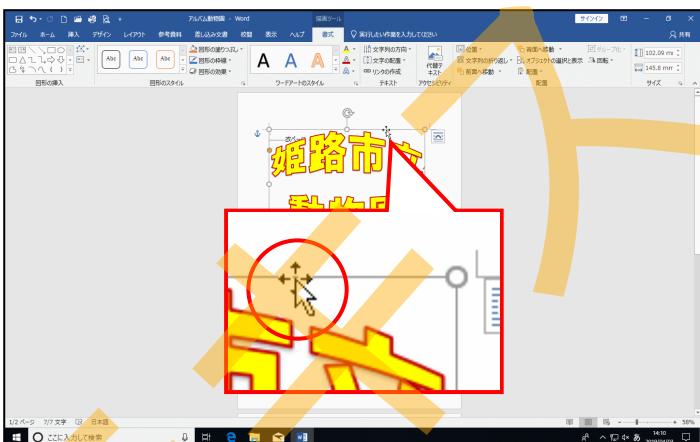


操作後



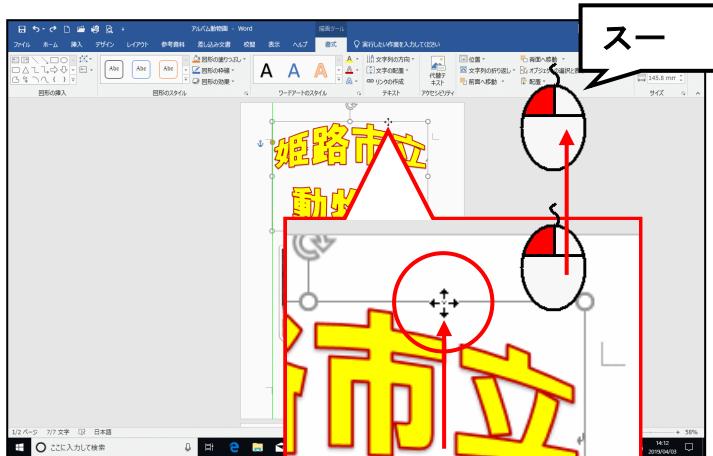
操作は下からです！

ワードアートの周りの枠線にマウスポインターを移動します。



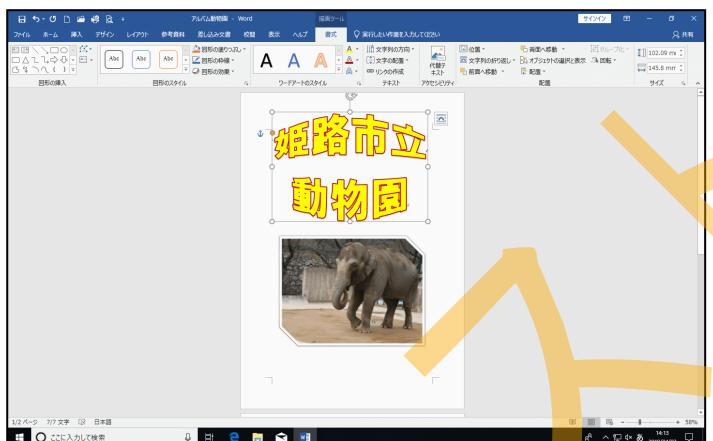
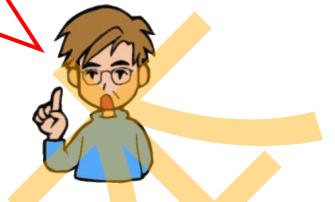
ワードアートの周りの枠線にポイントすると、マウスポインターの形が になります。

そのまま上に向かってドラッグします。



- ドラッグ中のマウスポインターの形は の状態になっています。

- ワードアートを水平、垂直に移動したい場合は、[Shift] キーを押した状態でドラッグします。



- マウスから指を離した時点で、ワードアートの位置が確定します。

- ワードアートの位置を微調整したい場合は、ワードアートが選択された状態（ワードアートの周りに が表示されている）で、キーボードの「→」キー、「←」キー、「↑」キー、「↓」キーをそれぞれ押すと、ワードアートの位置を微調整することができます。



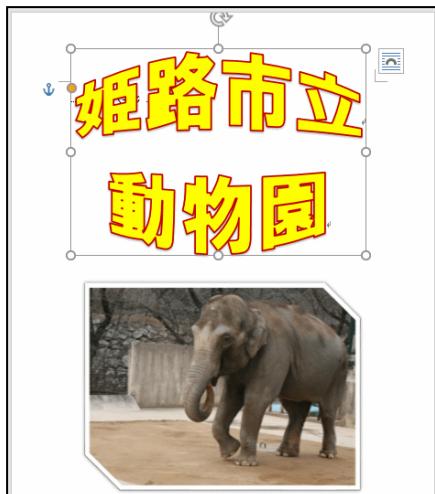
⑨ ワードアートを中央に配置

写真を左右中央揃えしたときと同様に、ここでは、ワードアートの横位置をきっちりと左右中央に配置してみましょう。

ワードアートの配置を変更する場合、描画ツールの【書式】タブの【配置】グループで設定します。

◆ワードアートを左右中央揃えにする方法をマスターしましょう。

操作前

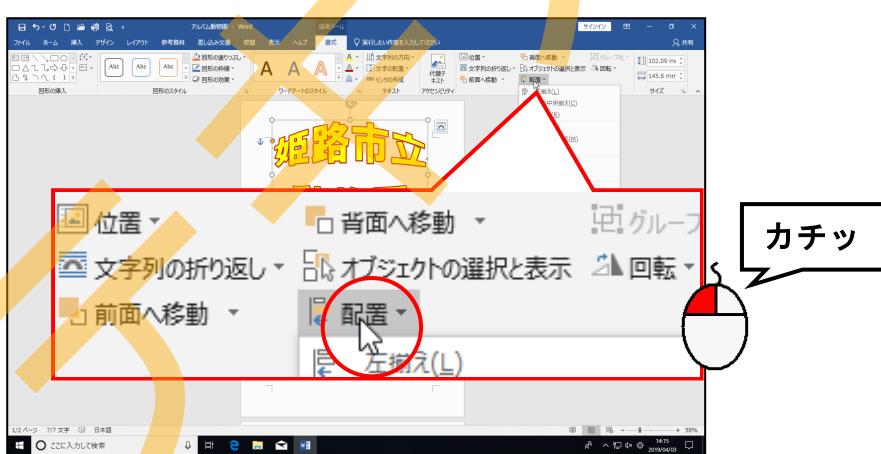


操作後

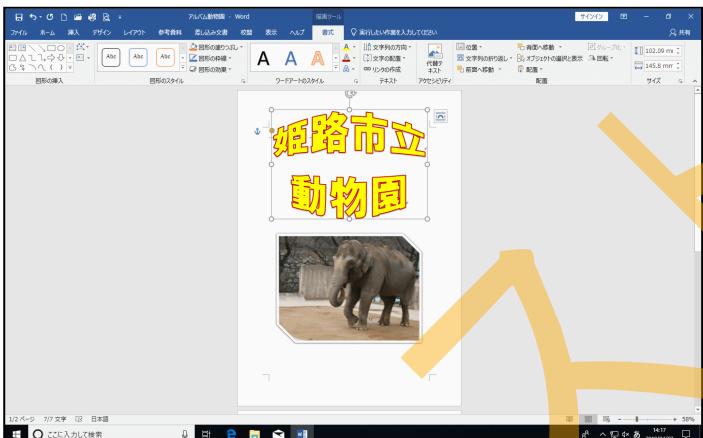
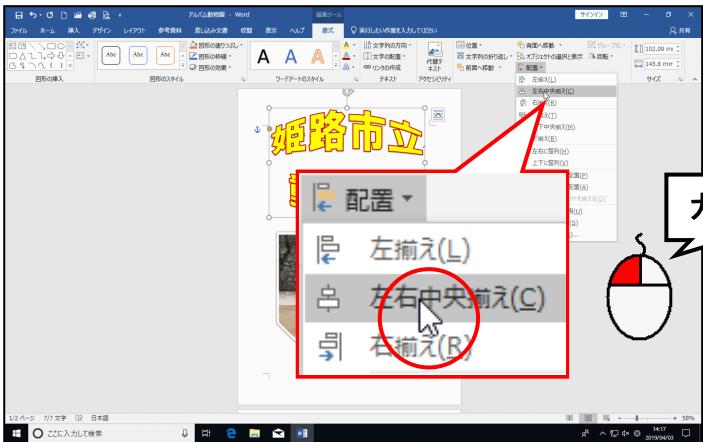


操作は下からです！

ワードアートの周りに○が表示されていること、【書式】タブが選択されていることを確認し、【配置】グループにある 配置▼【配置】ボタンにポイントし、クリックします。

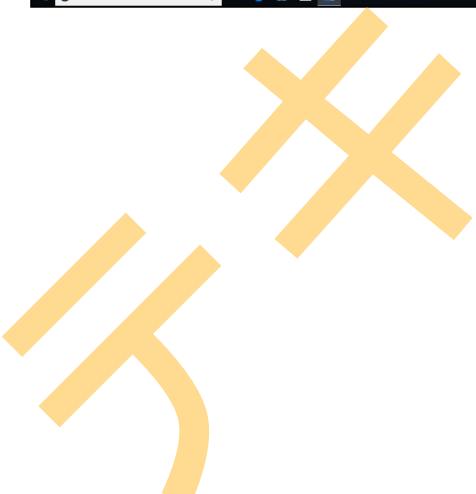


表示された一覧から【左右中央揃え(C)】にポイントし、クリックします。



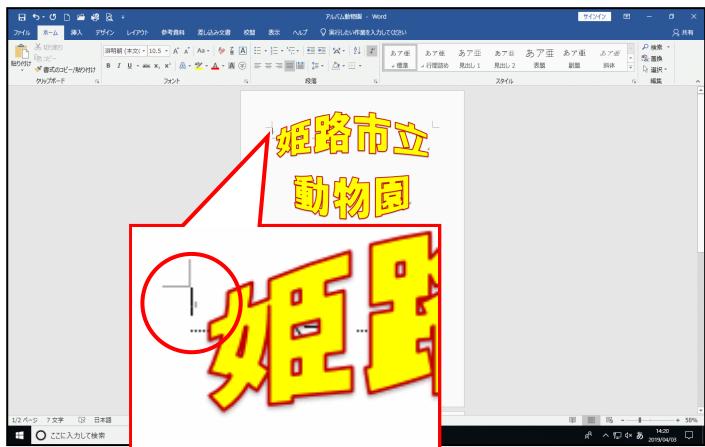
● 【左右中央揃え (C)】をクリックした時点で、ワードアートが用紙の水平方向の中央に配置されます。

● ワードアートを中心配置した後は、ドラッグしてワードアートを移動しないようにしてください。ワードアートをドラッグして移動してしまうと、中央揃えの設定が解除されてしまいます。



◎ 次の操作の準備として、ワードアートをもうひとつ作成しましょう。

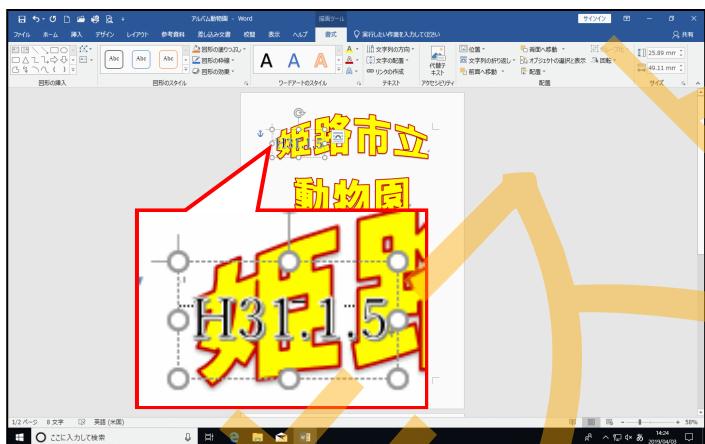
1ページ目の先頭にカーソルを移動します。



- 「ワードアート」はカーソルがある行に挿入されるため、ワードアートを挿入したい行にカーソルを移動します。



[ワードアートギャラリー] の「塗りつぶし：黒、文字色1；輪郭：白、背景色1；影（ぼかしなし）：白、背景色1」を使って、下図のようなワードアートを挿入しましょう。



- ワードアートの挿入方法を忘れた方は、P33 ① ワードアートの挿入を参照してください。

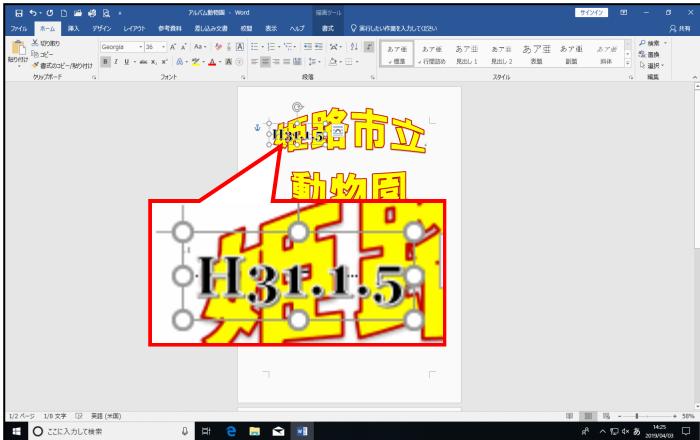
- 「H31.1.5」は、半角で入力してください。



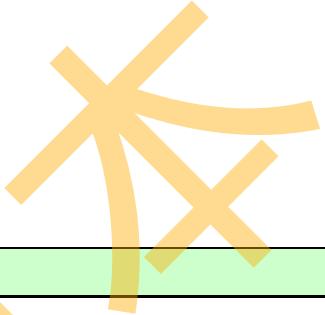
- お使いのパソコンによって、ワードアートスタイルの名称が違う場合があります。下図を参考に選びましょう。



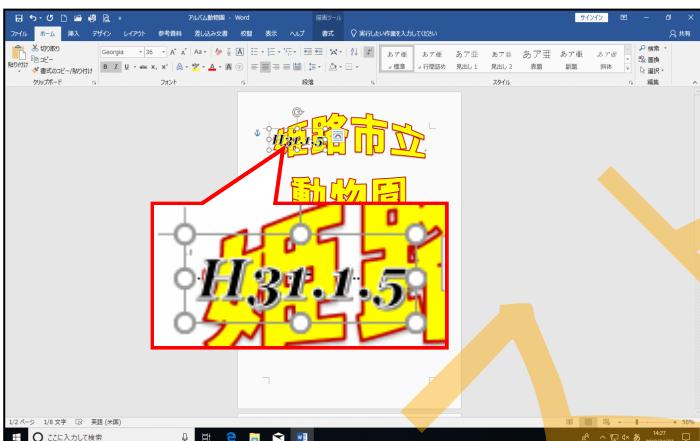
挿入したワードアートのフォントを「Georgia」に変更しましょう。



●ワードアートのフォントの変更方法を忘れた方は、P37 ② ワードアートのフォントの変更を参照してください。

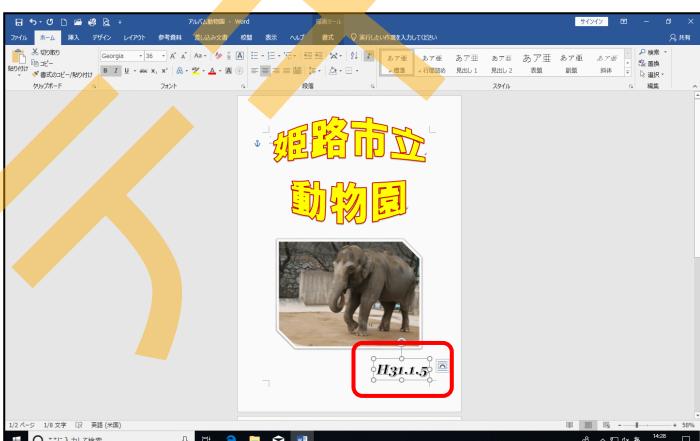


挿入したワードアートに「斜体」を設定しましょう。



●ワードアートを斜体にする方法を忘れた方は、P38 「余裕があれば読んでね」を参照してください。

下図を参考にワードアートを移動しましょう。



●ワードアートを移動する方法を忘れた方は、P49 ⑧ ワードアートの移動を参照してください。

⑩ グラデーションの設定

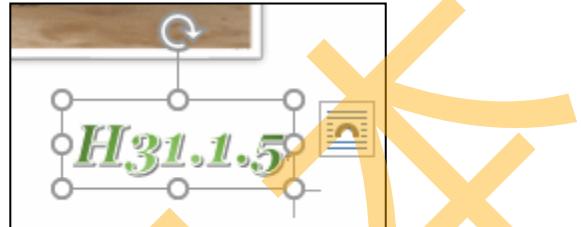
④ ワードアートの文字の塗りつぶしの変更でワードアートの塗りつぶしの色を変更しましたが、ここでは塗りつぶしの色にグラデーションを設定してみましょう。

◆ワードアートの塗りつぶしの色にグラデーションを設定する方法をマスターしましょう。

操作前

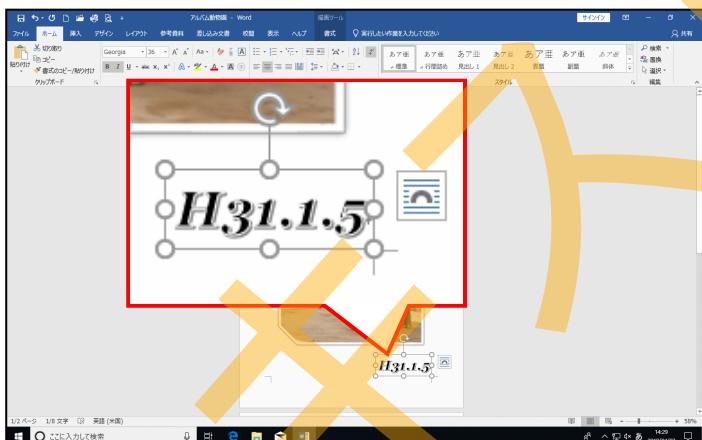


操作後



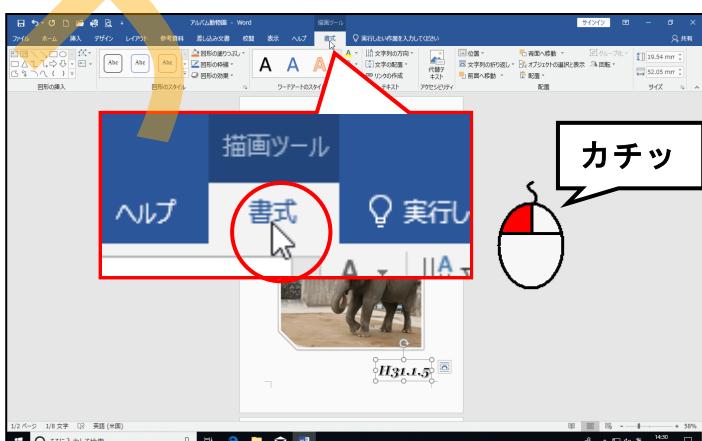
操作は下からです！

「H31.1.5」のワードアートが選択されていることを確認します。

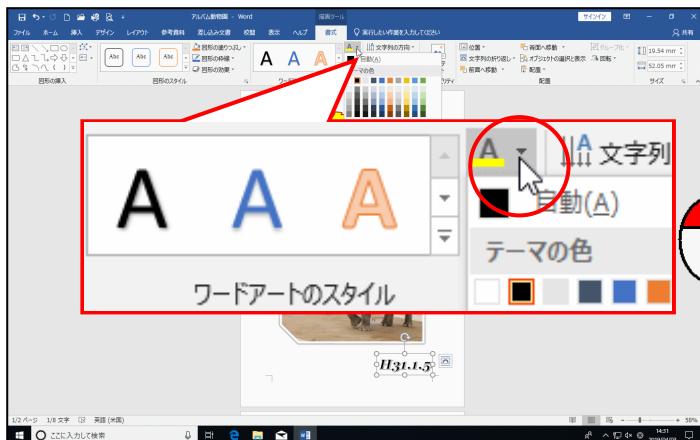


● 「H31.1.5」のワードアートが選択されていない方は、周りの枠線にポイントし、マウスポインターが↑の状態でクリックして選択してください。

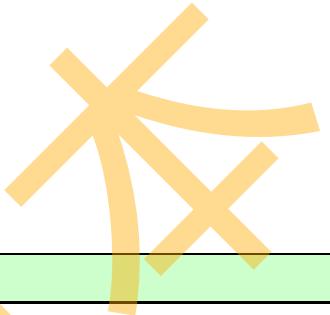
[書式] タブにポイントし、クリックします。



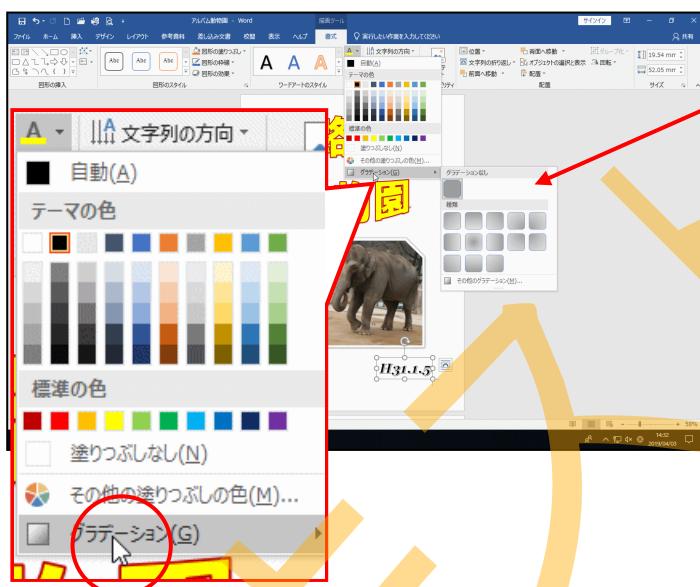
[ワードアートのスタイル] グループにある **A** [文字の塗りつぶし] ボタンの▼にポイントし、クリックします。



カチッ

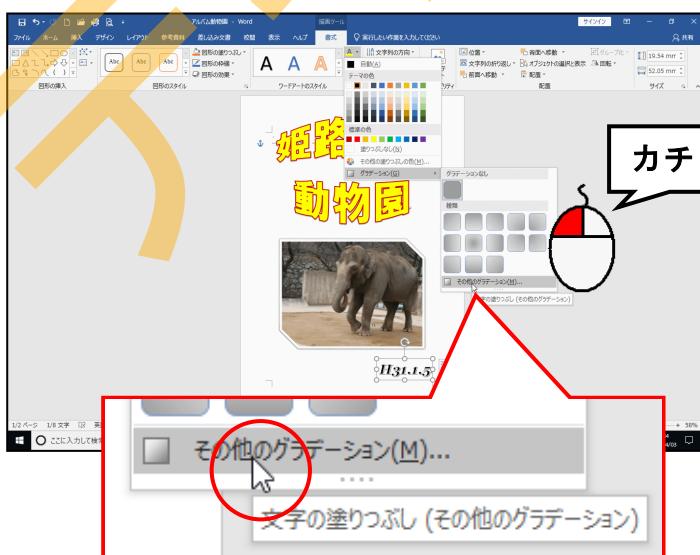


表示された一覧から [グラデーション(G)] にポイントします。



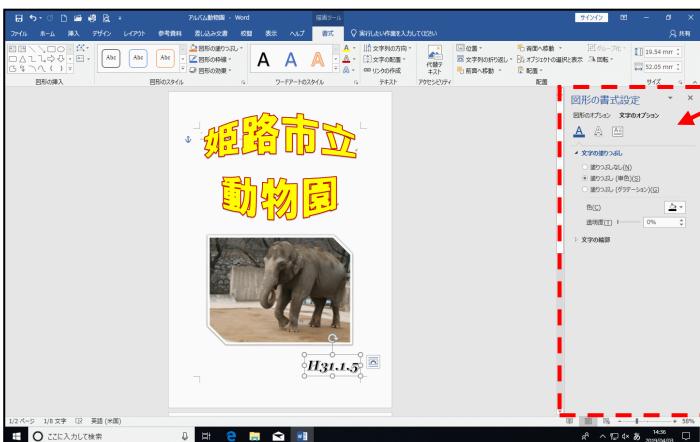
● [グラデーション(G)] にポイントすると、左のようにグラデーションの種類が表示されます。

右側に表示されたサブメニューの一番下にある [その他のグラデーション(M)...] にポイントし、クリックします。



● [その他のグラデーション(M)...] をクリックする際は、まず下図のように [グラデーション(G)] にポイントします。右側にメニューが表示されるので、そのまま真横にマウスポインターを移動しましょう。

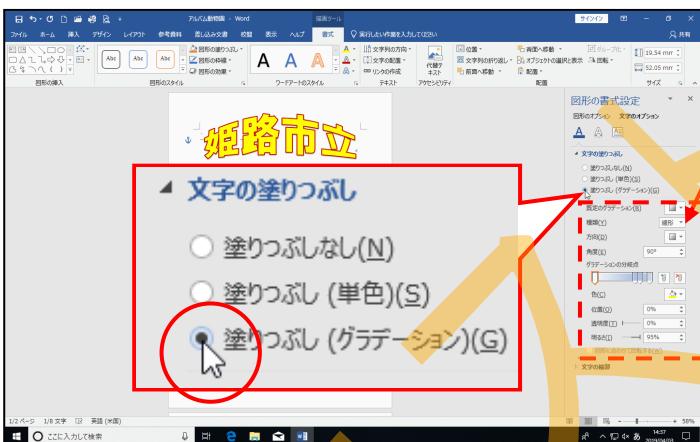




- [その他のグラデーション(M)...] をクリックすると、左のように【图形の書式設定】ウィンドウが画面右に表示されます。



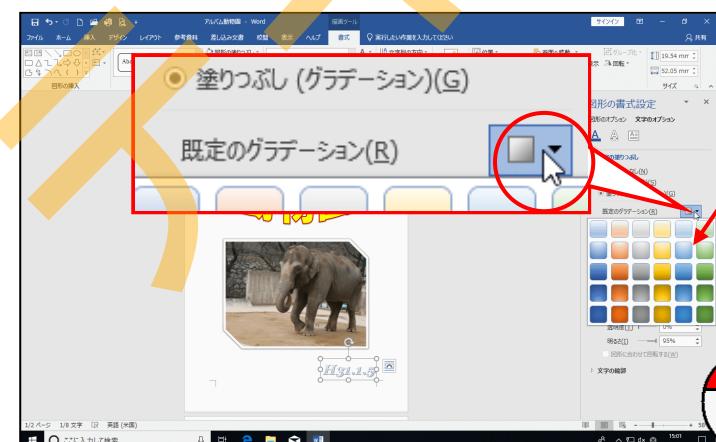
表示された【图形の書式設定】ウィンドウの「文字の塗りつぶし」で【塗りつぶし(グラデーション)(G)】のチェックボックスにポイントし、クリックします。



- 【塗りつぶし(グラデーション)(G)】をクリックすると、左のようにグラデーションのスタイルや種類、方向などを設定する項目が表示されます。



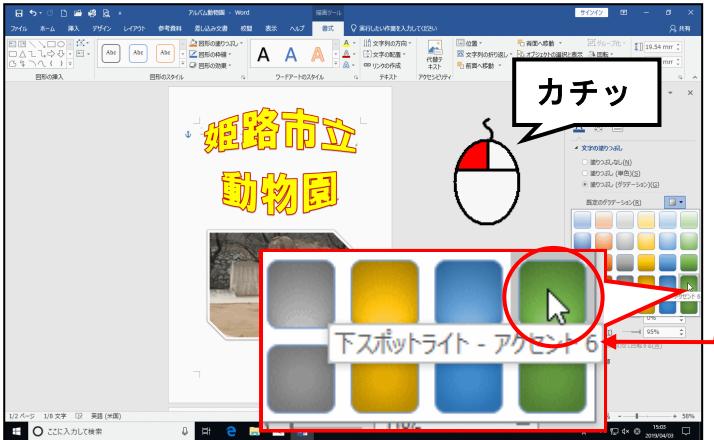
【既定のグラデーション(R)】ボックスの にポイントし、クリックします。



- 【既定のグラデーション(R)】ボックスの をクリックすると、あらかじめワードの中に組み込まれているグラデーションの一覧が表示されます。

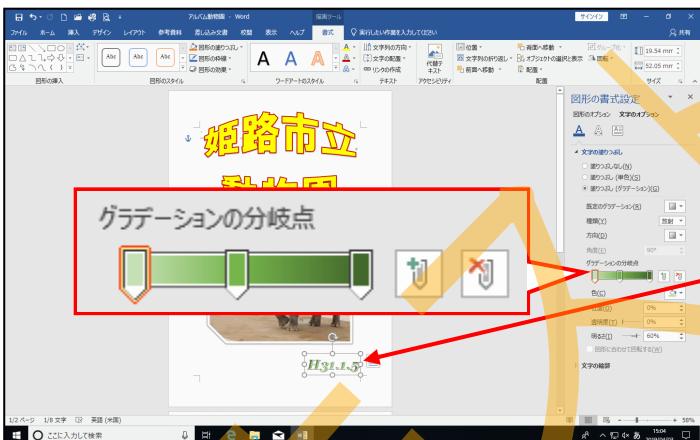


表示された一覧から「下スポットライト-アクセント 6」にポイントし、クリックします。



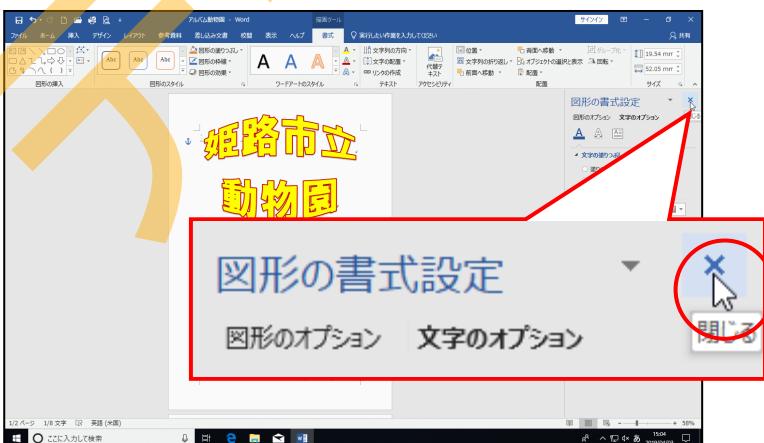
- 該当のグラデーションにポイントすると、左のようにグラデーションの名前が表示されます。

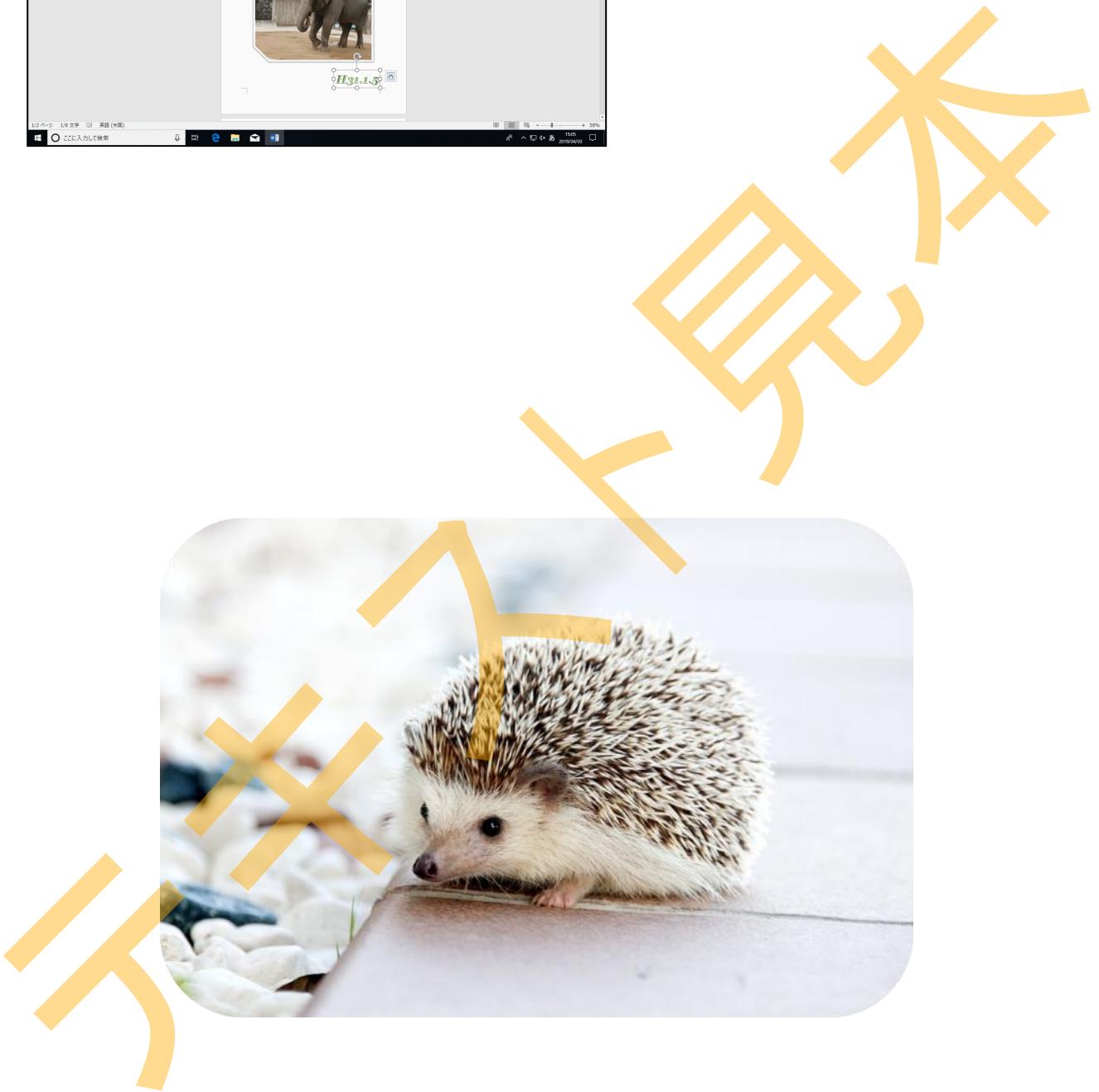
- 「下スポットライト-アクセント 6」は、下図の位置にあります。



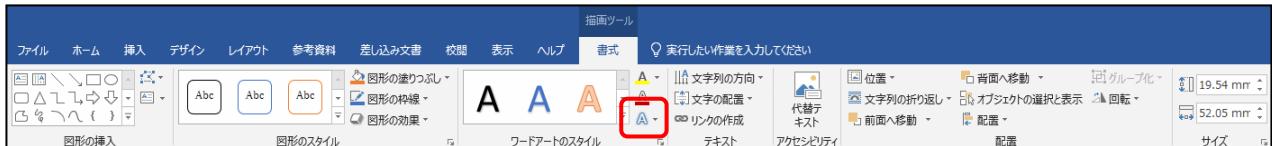
- 「下スポットライト-アクセント 6」をクリックした時点で、「グラデーションの分岐点」の下にある色が「下スポットライト-アクセント 6」に変わります。
また、文書内に表示されているワードアートの色も「下スポットライト-アクセント 6」に変わります。

【図形の書式設定】ウィンドウの × [閉じる] ボタンにポイントし、クリックします。





■ワードアートの文字の効果



ワードアートは、挿入した後でも文字の効果を設定することができます。

文字の効果を設定したいワードアートを選択し、描画ツールの【書式】タブの【ワードアートのスタイル】グループから **A** - 【文字の効果】ボタンをクリックし、右図のように表示される効果の種類（【影(S)】、【反射(R)】、【光彩(G)】、【面取り(B)】、【3-D回転(D)】）から選択します。

- ・影を設定した例

姫路市立

- ・反射を設定した例

姫路市立

- ・光彩を設定した例

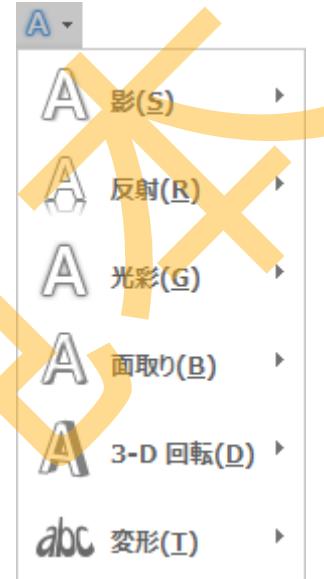
姫路市立

- ・面取りを設定した例（下図は、線の色を「枠線なし」にしています）

姫路市立

- ・3-D回転を設定した例

姫路市立



(6) オンライン画像の挿入

装飾用のイラストを入れよう！！

ウメさん「先生、これで表紙は出来上がりなの？」

くじら先生「そうですね。今のままだと少し味気ない気がしますので、イラストを入れて装飾してみましょう。」

ウメさん「イラストって、ひょっとして絵を自分で描くの？
私は、絵が下手だから…」

くじら先生「ウメさん、大丈夫ですよ。イラストといつてもパソコンが用意してくれているものなので、とっても簡単です。
頑張って、イラストを入れてみましょう！！」



① オンライン画像の挿入

◆オンライン画像を挿入する方法をマスターしましょう。

操作前



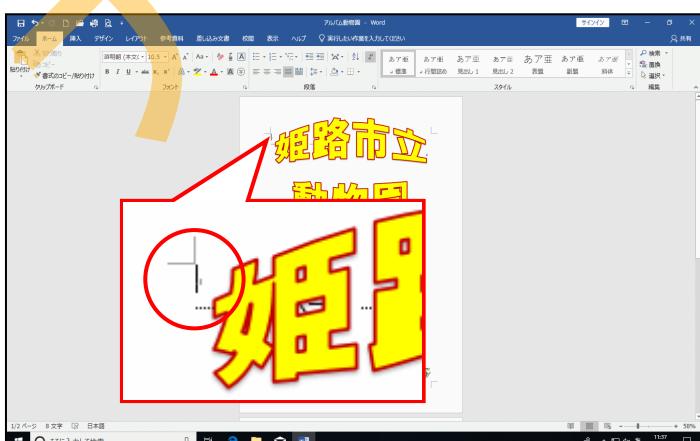
操作後



注意！

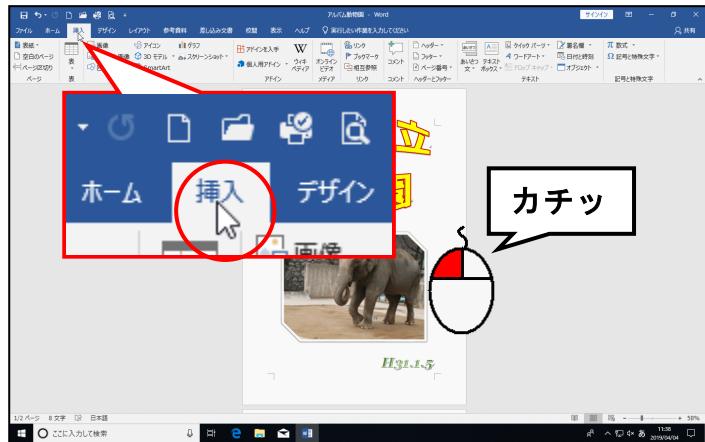
操作は下からです！

1ページ目の先頭にカーソルを移動します。



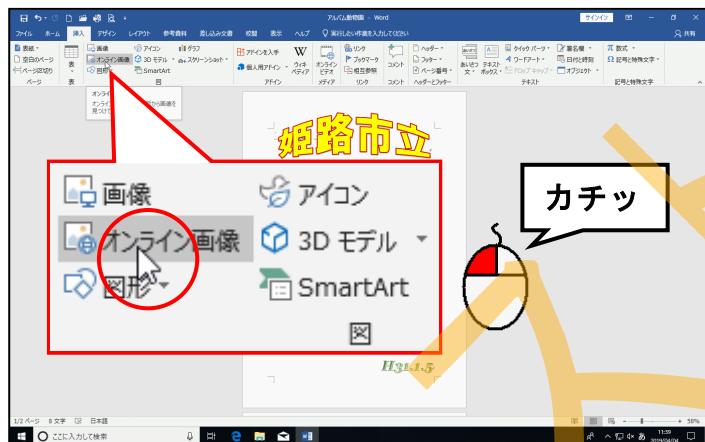
● 「オンライン画像」はカーソルがある行に挿入されるため、オンライン画像を挿入したい行にカーソルを移動します。

画面の左上にある【挿入】タブにポイントし、クリックします。

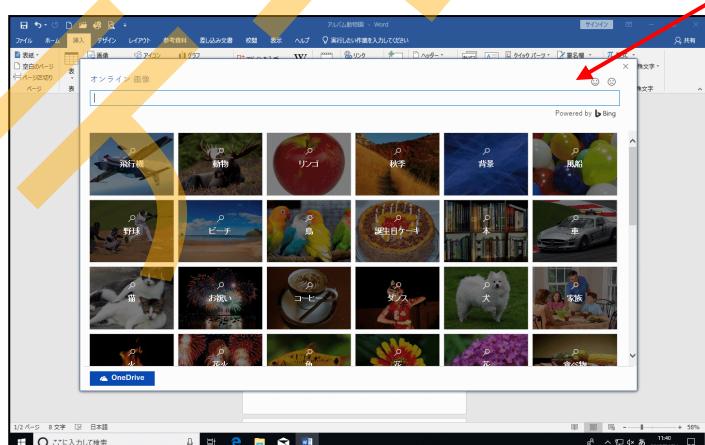


- [挿入] タブをクリックすると、グループ、ボタンの内容が変わります。

[図] グループにある オンライン画像 [オンライン画像] ボタンにポイントし、クリックします。



- オンライン画像 [オンライン画像] ボタンをクリックすると、[オンライン画像] ウィンドウが表示されます。

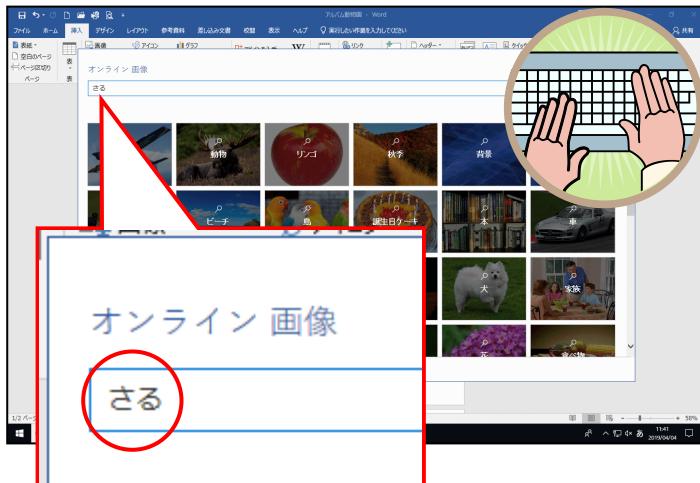


注意!

- オンライン画像を挿入するときは、インターネットに接続していないと、下のようなウィンドウが表示され、画像が挿入できませんので、注意しましょう。

オンライン画像を挿入するには、インターネット接続が必要です。
オフラインの場合は、ご使用のコンピューターから画像を挿入できます。

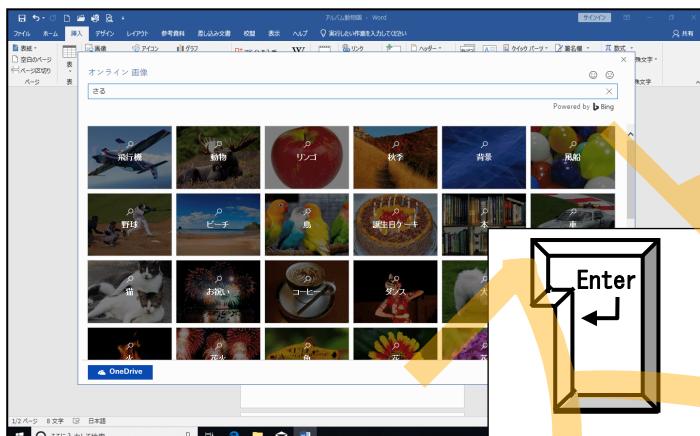
[オンライン画像] ウィンドウのボックスにカーソルが表示されていることを確認して、「さる」と入力し、文字を確定します。



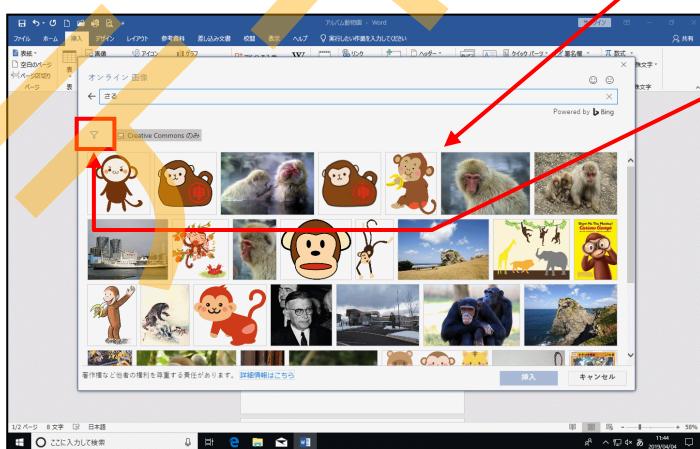
● [オンライン画像] ウィンドウのボックスにカーソルが表示されていない方は、ボックス内をクリックしてカーソルを表示させてから、「さる」と入力しましょう。

● 「さる」と入力することで、「さる」に関する画像（イラストや写真）を表示する準備をしなさいと、パソコンに教えています。

[Enter] キーを押します。

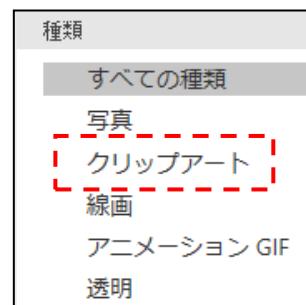


● [Enter] キーを押すと、左のように「さる」に関するオンライン画像が表示されます。

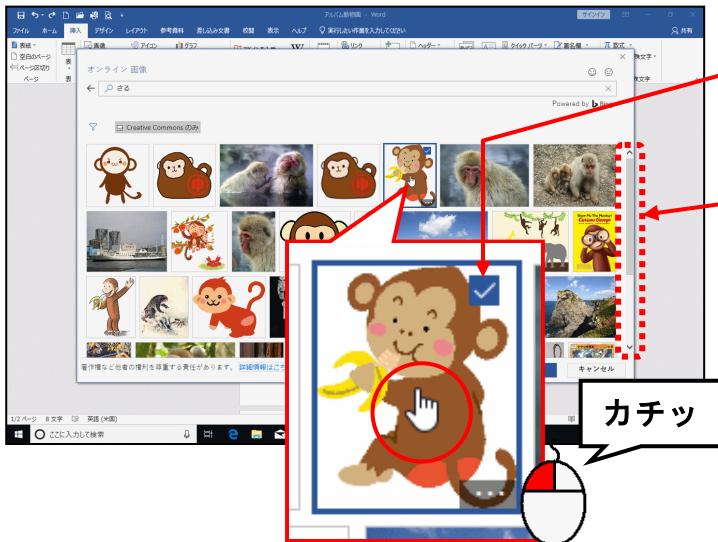


● 表示された画像で好みの画像がない場合は、[フィルター] ボタンをクリックして、下図のように表示される「種類」の中からジャンルを選択してください。

「クリップアート」をクリックすると、主にイラストが表示されます。



目的の画像（イラストや写真）にポイントし、クリックします。



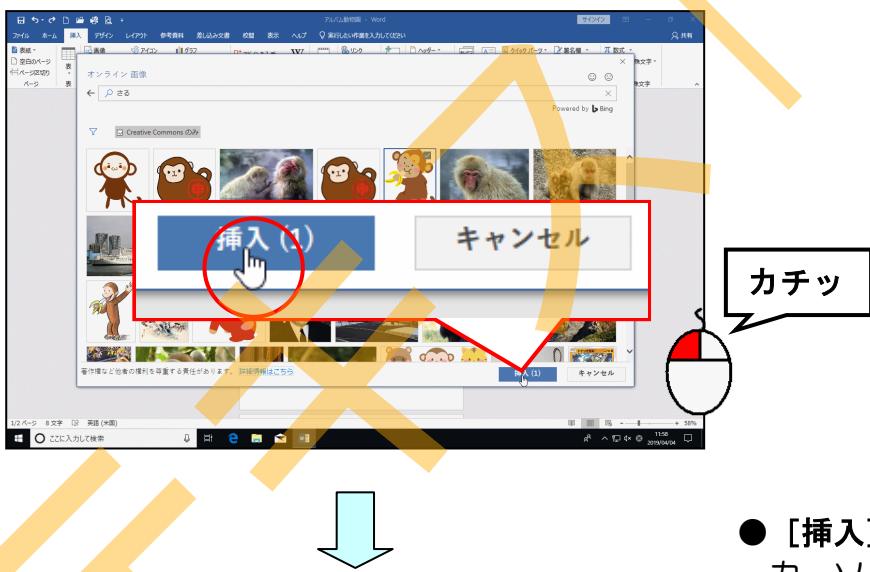
● 目的の画像をクリックすると画像の右上に ✓ が表示されます。

● 目的の画像が表示されていない場合は、表示されるまでスクロールします。スクロールは、[オンライン画像] ウィンドウ右端にある ▼ または ▲ をクリックすることで操作ができます。

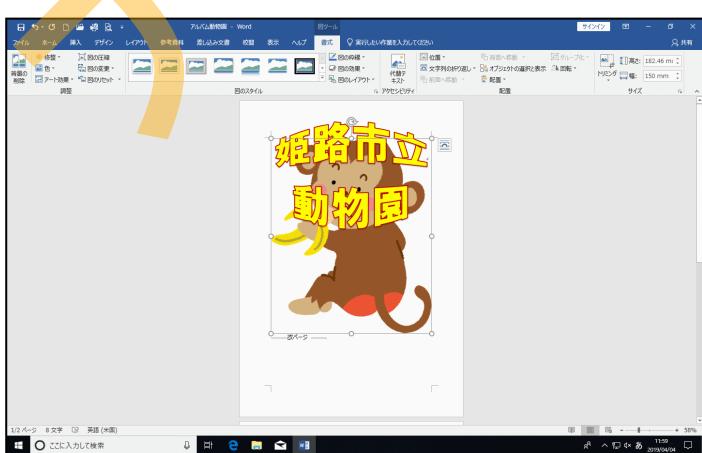
注意!

● 検索する時期によって、テキストと同じ画像（イラストや写真）が検索されない場合があります。目的の画像（イラストや写真）がない場合は、お好きなものを選んでください。

[挿入] ボタンにポイントし、クリックします。



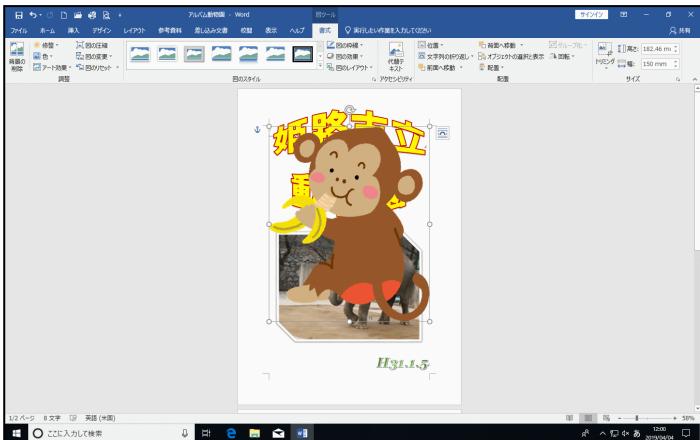
● [挿入] ボタンをクリックすると、カーソルがあった場所に画像（イラストや写真）が挿入されます。



● 插入した画像（イラストや写真）を削除したい場合は、削除したい画像（イラストや写真）をクリックして選択し、[Delete] キー、または [Back Space] キーを押します。



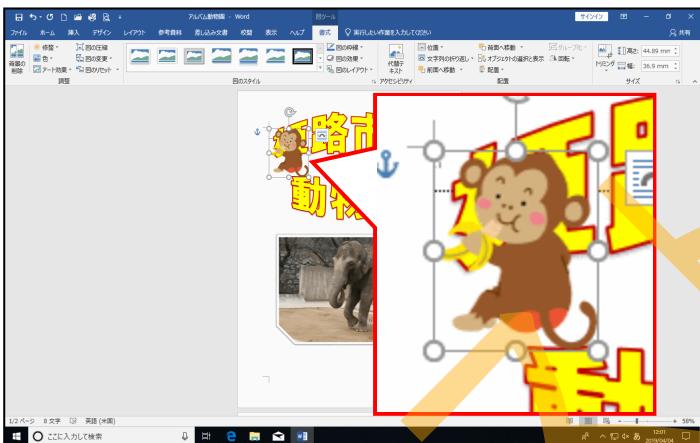
挿入した「さる」の画像の文字列の折り返しを「前面」に設定しましょう。



●文字列の折り返しの設定方法を忘れた方は、P16 ② 文字列の折り返しの設定（図の書式設定）を参照してください。

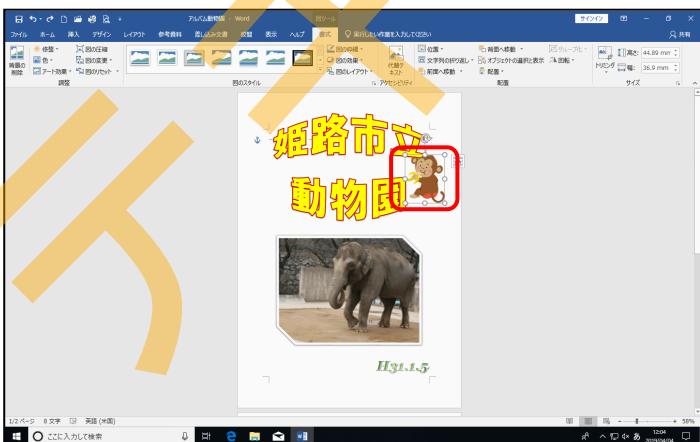
●挿入した画像（イラストや写真）の下に、著作権に関する文字列が表示されている方は P66 「ご参考までに」で、削除方法を記載しています。

下図のように、挿入した「さる」の画像を少し小さくしましょう。



●サイズ変更の方法を忘れた方は、P22 ④ 写真のサイズ変更を参照してください。

下図のように、挿入した「さる」の画像を移動しましょう。

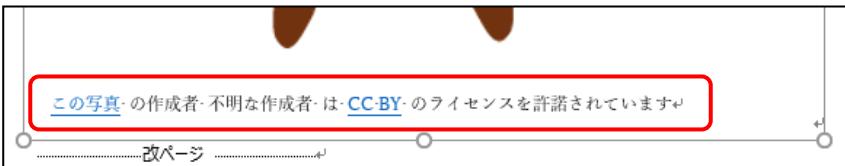


●移動の方法を忘れた方は、P24 ⑤ 写真の移動を参照してください。

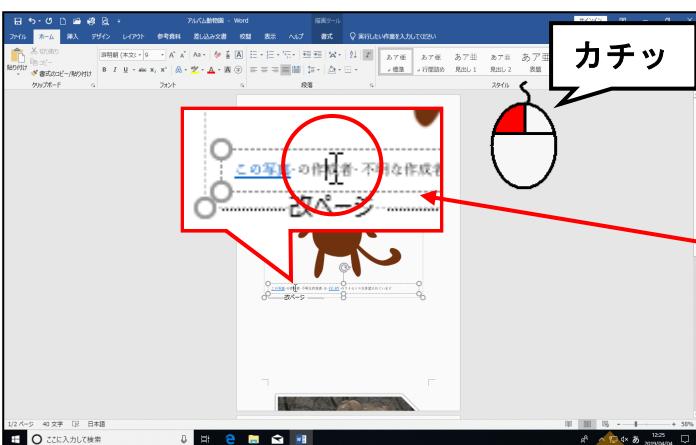
●挿入した画像（イラストや写真）に、白い背景がある方は P67 「余裕があれば読んでね」で、背景を透明に設定する方法を記載しています。

ご参考までに

オンライン画像を挿入した際に、画像の下に、下図のような著作権に関する文章が表示されることがあります。この場合、次のように操作し、著作権の文章を削除します。

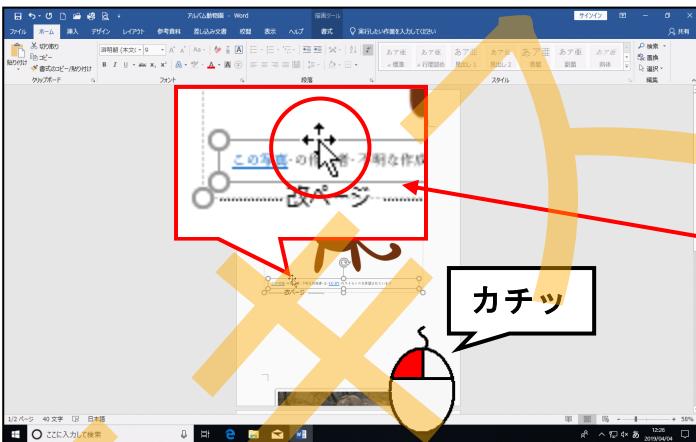


著作権に関する文章の中にポイントし、クリックします。



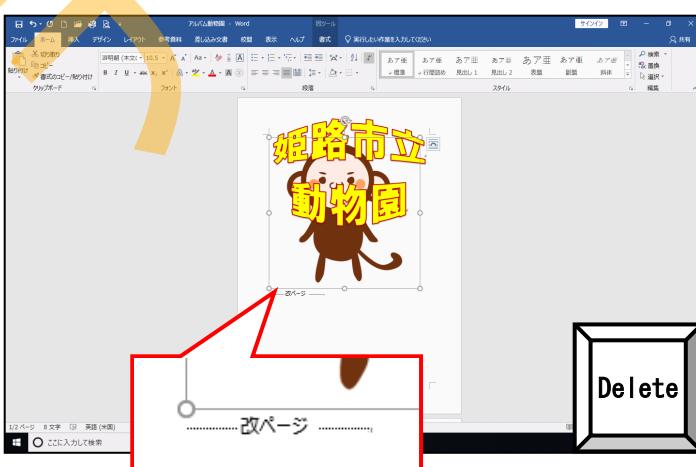
- 著作権に関する文章の中にポイントすると、マウスポインターの形が「」になります。
- クリックすると、文章の周りに点線が表示されます。

著作権に関する文章の周りに表示された点線にポイントし、クリックします。



- 周りに表示された点線にポイントすると、マウスポインターの形が「」になります。
- クリックすると、点線が実線に変わります。

[Delete] キーを押します。

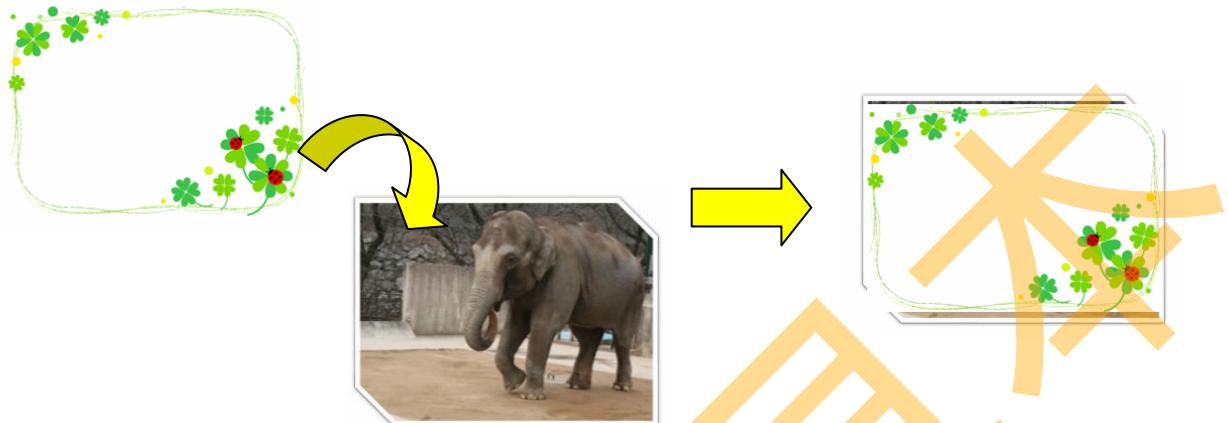


- [Delete] キーを押すと、著作権に関する文章が消え、画像だけが残ります。

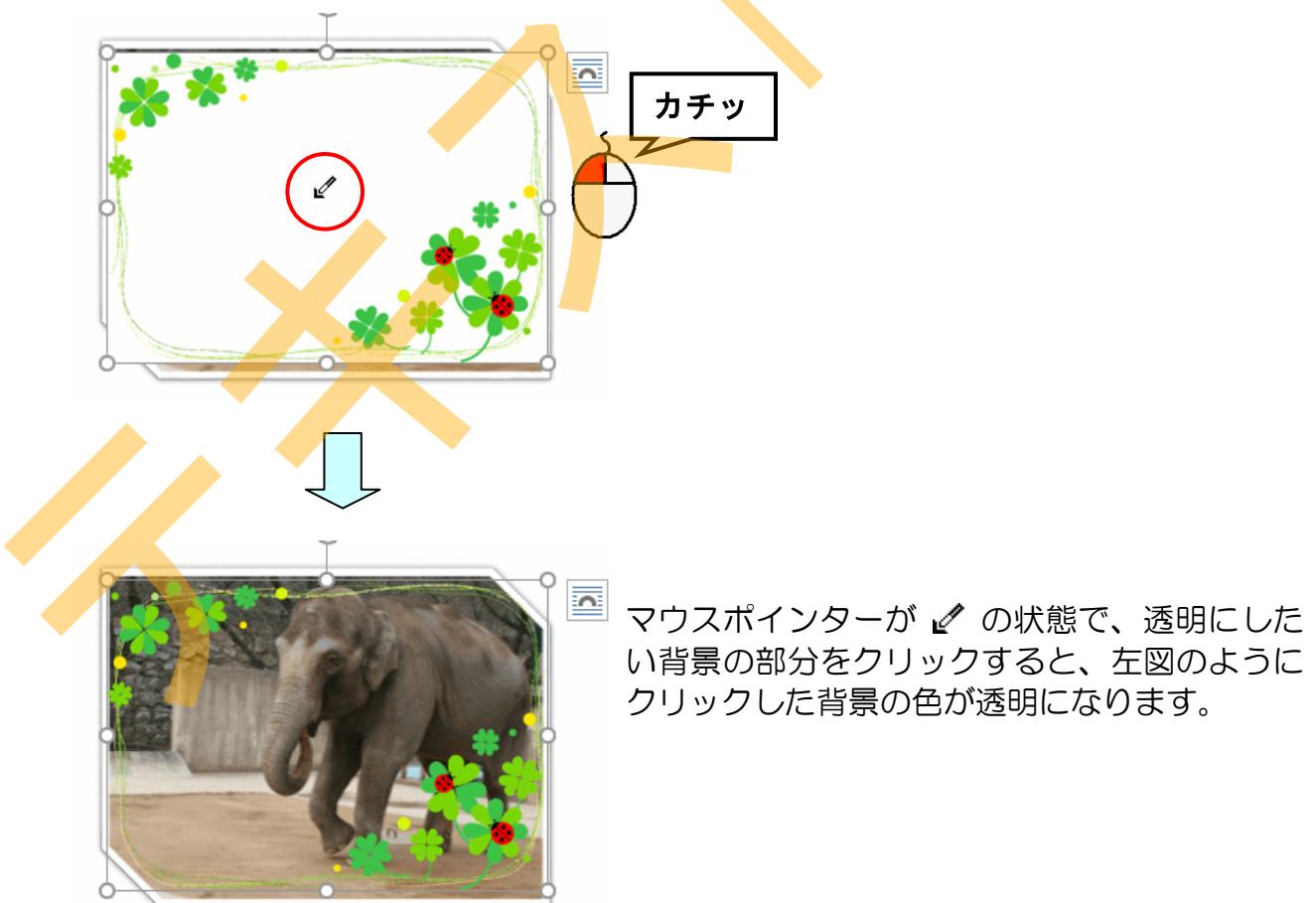
余裕があれば読んでね

■オンライン画像（イラスト）の背景を透明に設定する

挿入した写真にオンライン画像「枠」などのイラストで飾りつけをしたいとき、下図のように、写真の上にイラストを重ねると、枠のイラストの背景が白いために象の写真が隠れてしまうことがあります。



この白い部分を透明にするには、枠のイラストを選択し、**図ツールの【書式】タブの【調整】グループから** **色**・**【色】ボタン**をクリックします。表示された一覧から**【透明色を指定(S)】**をクリックすると、マウスポインターが下図のような形に変わるので、背景の白い部分をクリックします。



マウスポインターが の状態で、透明にしたい背景の部分をクリックすると、左図のようにクリックした背景の色が透明になります。

② 画像のコピー

挿入した画像をコピーして、もうひとつ作りましょう。

◆画像をコピーする方法をマスターしましょう。

操作前

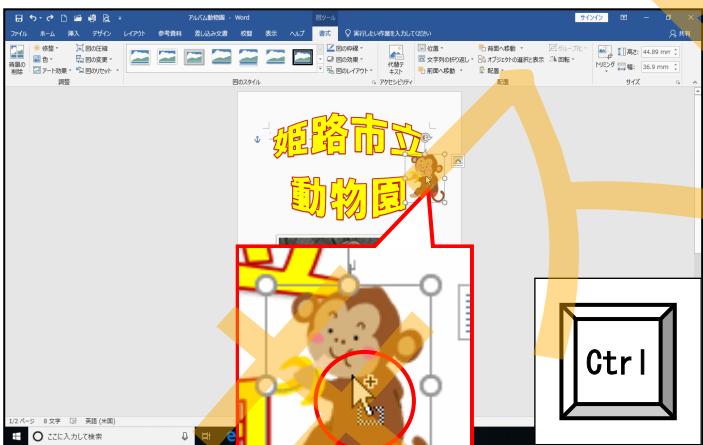


操作後



操作は下からです！

挿入した「さる」の画像にポイントし、マウスポインターが になったところで [Ctrl] キーを押したままにします。

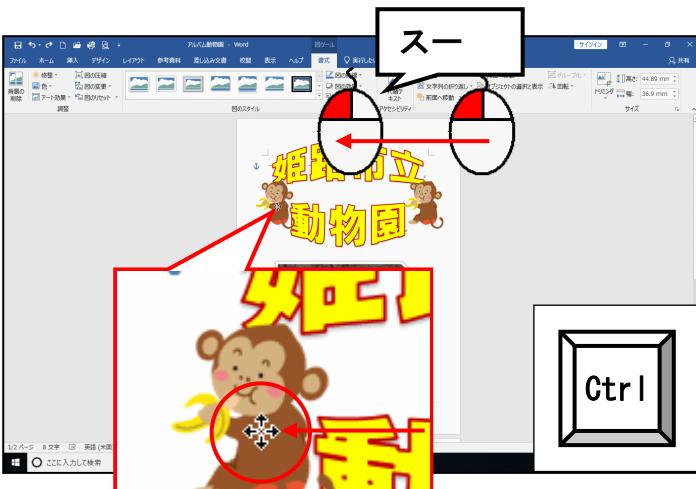


- [Ctrl] キーを押すと、マウスポインターが から に変わります。[Ctrl] キーを押すのは、コピー操作を行うためです。

- 図形をコピーするときは、マウスの左ボタンを押すより先に [Ctrl] キーを押す必要があります。



マウスポインターが になっていることを確認して、[Ctrl] キーを押したまま、左にドラッグします。



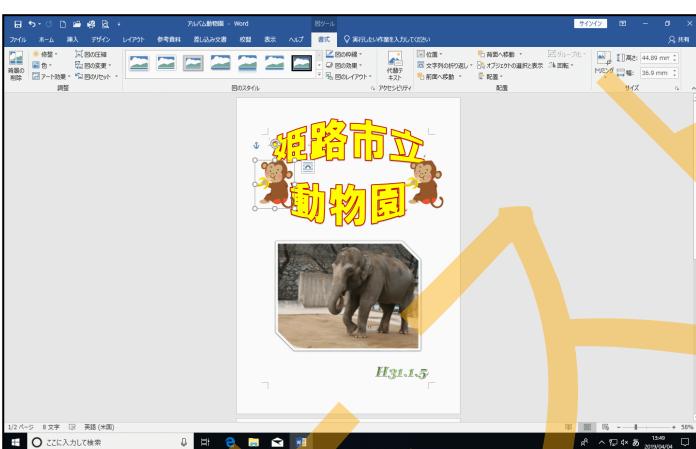
- ドラッグ中は、マウスポインターは の形になります。

- [Shift] キーも一緒に押すと、水平または垂直にコピーすることができます。



余裕があれば読んでね

- [Ctrl] キーを押した状態で [D] キーを 1 度押すと、選択したオブジェクト（図形や画像）をひとつ複写できます。



「さる」の画像以外の部分をクリックして選択を解除しておきましょう。



③ 画像の左右反転

コピーした画像を左右反転してみましょう。

◆画像を左右反転する方法をマスターしましょう。

操作前

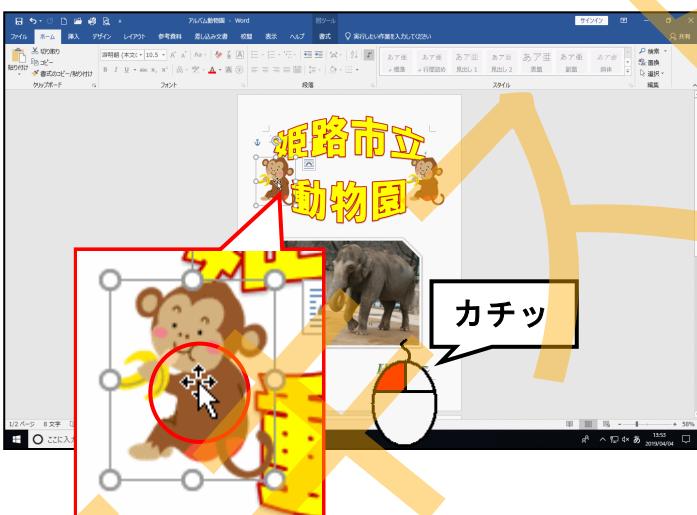


操作後

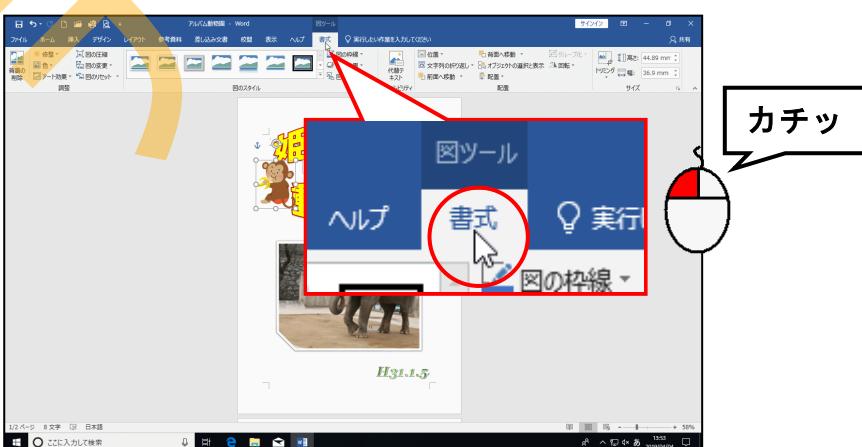


操作は下からです！

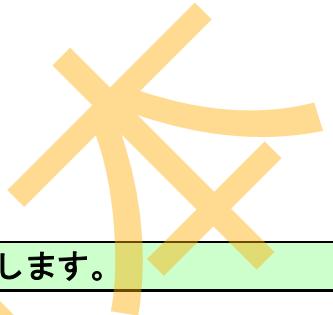
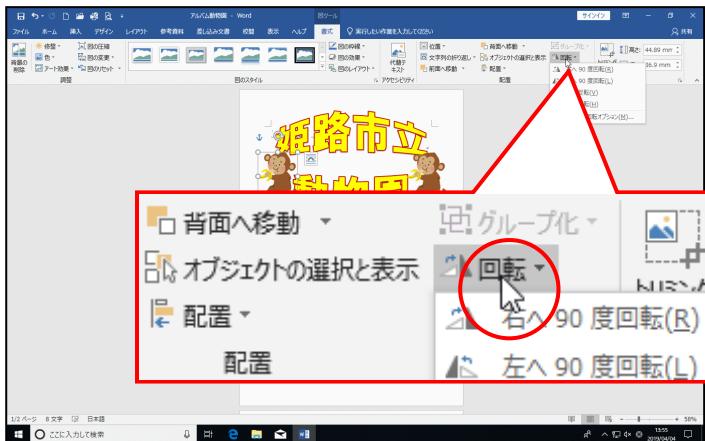
左側の「さる」の画像をクリックして選択します。



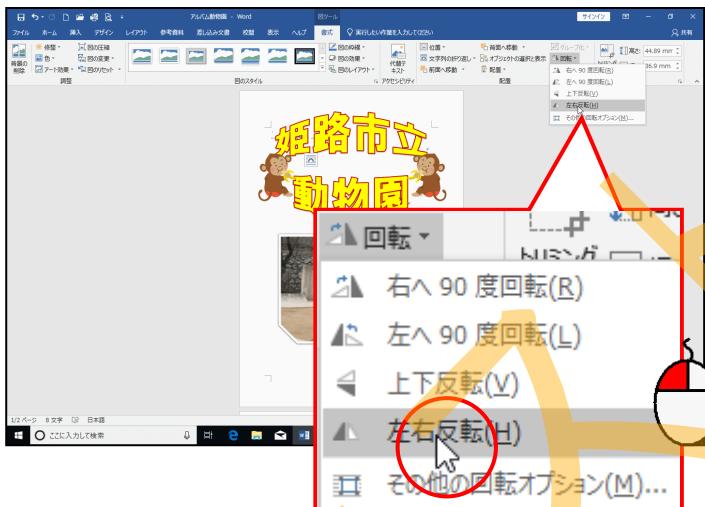
図ツールの【書式】タブにポイントし、クリックします。



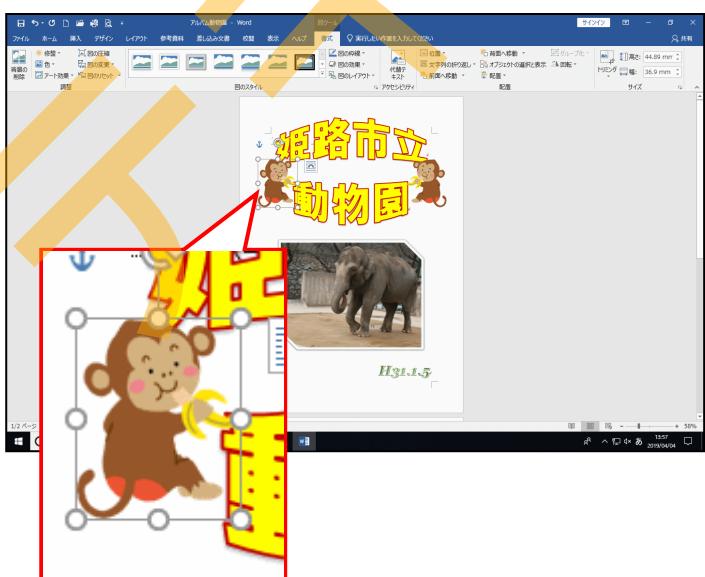
[配置] グループの [回転] ボタンにポイントし、クリックします。



表示されたメニューから [左右反転(H)] にポイントし、クリックします。



- 左右反転すると、左右の向きが逆になります。上下逆向きにする場合は、[上下反転(V)] を選択します。



下図を参考に、「さる」の画像の位置を微調整しましょう。



●画像の位置を微調整したい場合は、
画像が選択された状態（画像の周り
に○が表示されている）で、キー
ボードの「→」キー、「←」キー、「↑」
キー、「↓」キーをそれぞれ押すと、
画像の位置を微調整することができます。



(7) アルバムの上書き保存

ここまで作成したアルバム（アルバム動物園）を上書き保存してみましょう。

◆アルバムを上書き保存する方法をマスターしましょう。

操作前



操作後

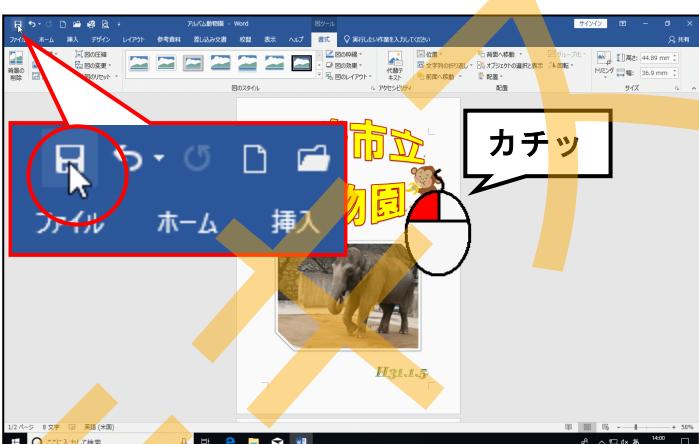


画面上は何も変わりません



操作は下からです！

画面左上（[クイックアクセス] ツールバー）の  [上書き保存] ボタンにポイントし、クリックします。



●保存処理中は、マウスポインターが  の状態になっていますが、少し待つと  の状態に変わり、保存が完了します。

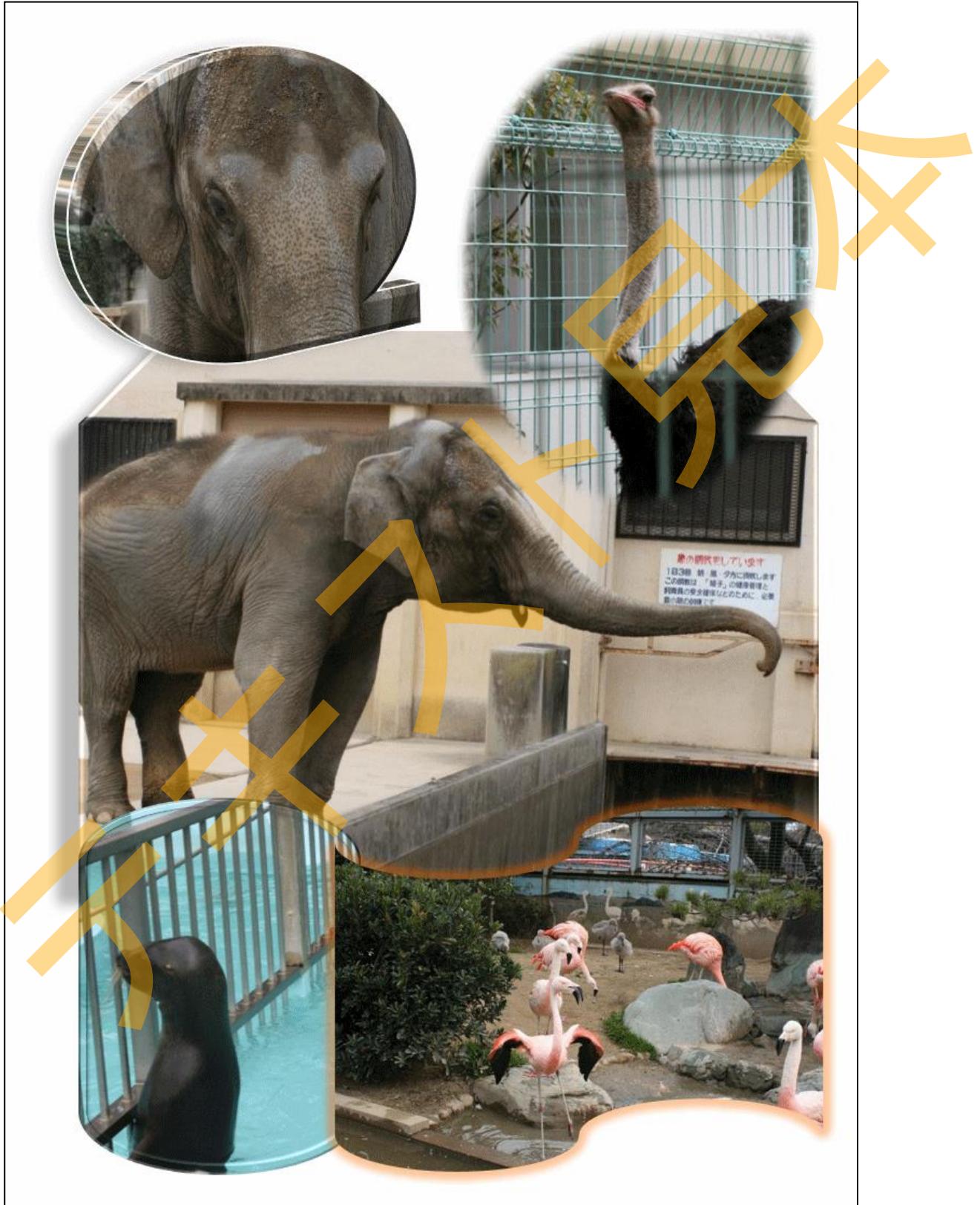
●クイックアクセスツールバーに、 [上書き保存] ボタンが表示されていない方は、P245 を参照してボタンを追加しておきましょう。



3. 写真の形状、効果を変更する

表紙が完成したところで、ここからは2ページ目を作成していきます。
2ページ目では、写真の形状の変更や、様々な効果を設定していきます。

【2ページ目の完成例】



2ページ目の作成



ウメさん「表紙が完成して、いよいよ2ページ目の作成に入るのね。
ここでは、どんなことを学ぶの？」

くじら先生「はい。基本的には、表紙を作成した方法と同じですが、前ページの完成例のように2ページ目では、もう一工夫加えて写真の形状を変更したり、影やぼかしなどの効果を設定したりして、より見栄えのよいアルバムを作成していきます。」

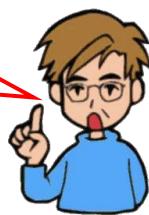
ウメさん「なるほど。写真がいろんな形になっているわね。それ以外にも、前ページの完成例を見ると、2ページ目から複数枚写真が入っているようね。」

くじら先生「そのとおりです。2ページ目からは、複数枚写真を挿入する方法も学んでいきます。」

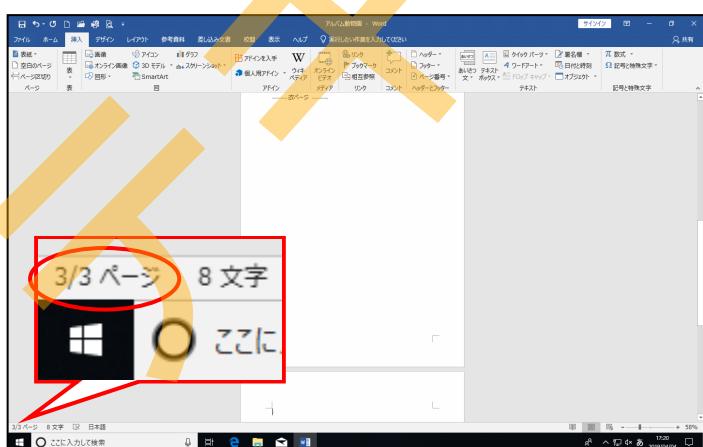


2ページ目を作成する前に、3ページ目を作成しましょう。

P7 (1) 2ページ目の作成でも説明しましたが、簡単にワードでアルバムを作成するために、今から作成する次のページを先に作成します。2ページ目を作成する前に、下図のように3ページ目を先に作成しておきましょう。



2ページ目の先頭にカーソルを移動し、[挿入] タブの [ページ] グループにある
■ 空白のページ [空白のページ] ボタンをクリックして、3ページ目を作成しておきましょう。



● アルバムを作成していく上で、事前に必要な操作です。

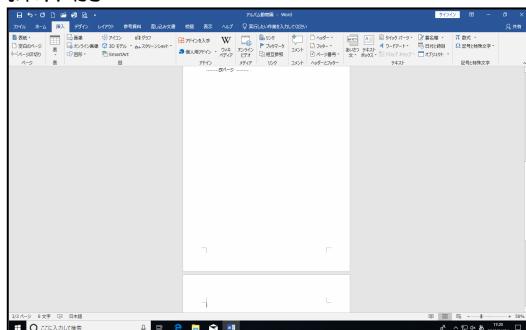


(1) 写真の形状を変更する

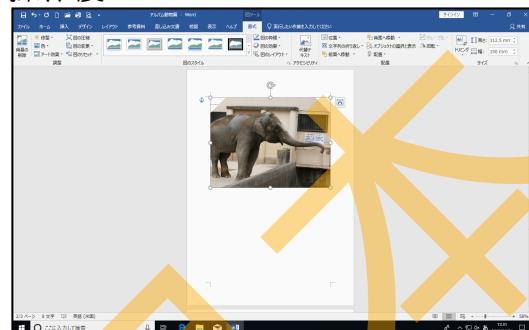
通常、写真を挿入すると四角形ですが、写真自体の形を八角形や台形など、様々な形に変更することができます。

◆写真の形状を変更する方法をマスターしましよう。

操作前

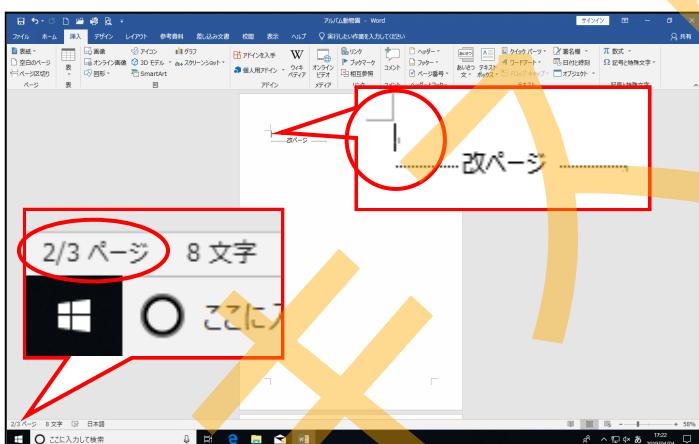


操作後



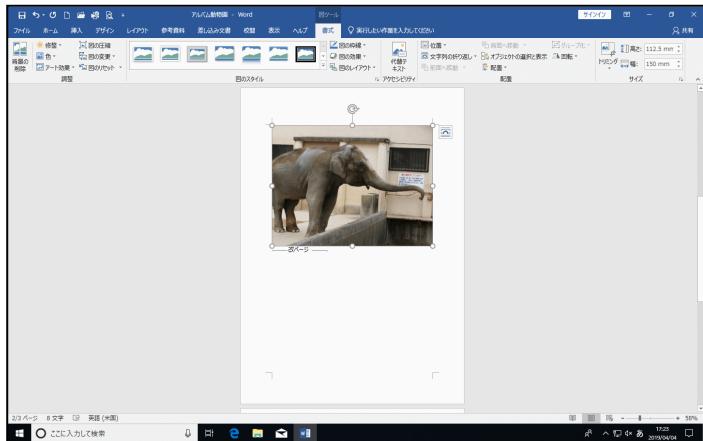
操作は下からです！

2ページ目の先頭にカーソルを移動します。

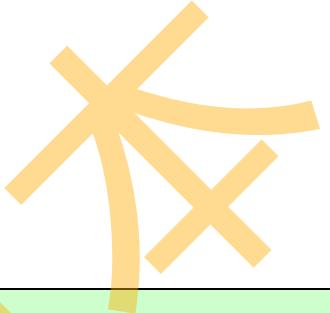


●画面の表示倍率が「ページ全体を表示」になっていない方は、「ページ全体を表示」に設定してから操作してください。(P9 (2) 表示倍率の変更)

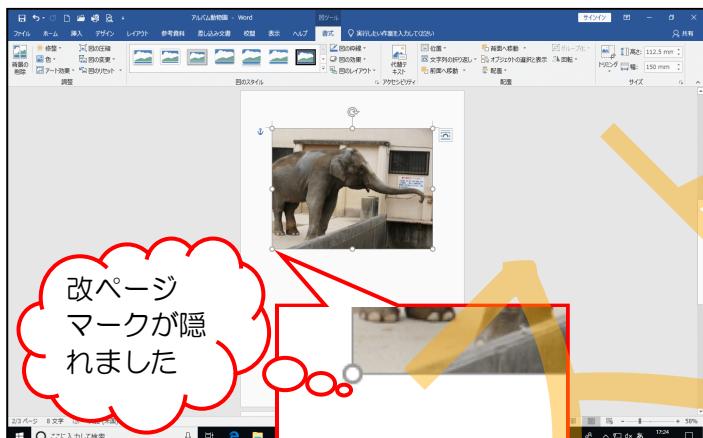
[ピクチャ] フォルダーの [ワードでアルバム素材] フォルダーから「象2」の写真を挿入します。



●写真の挿入方法を忘れた方は、P12 ① 写真の挿入を参照してください。

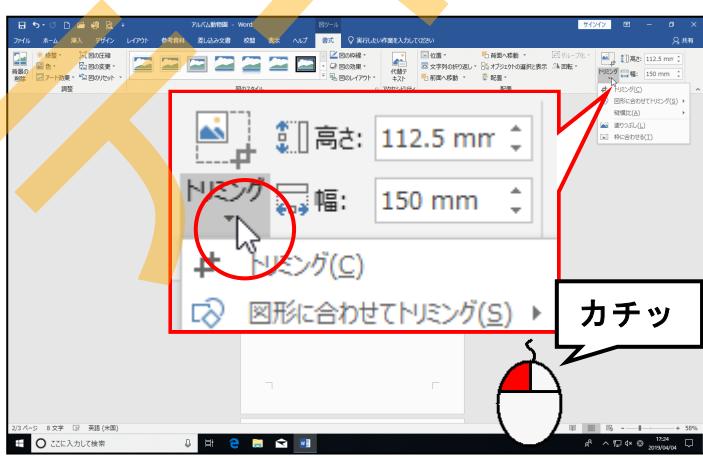


挿入した写真に対する文字列の折り返しを「前面」に変更します。



●文字列の折り返しの変更方法を忘れた方は、P16 ② 文字列の折り返しの設定(図の書式設定)を参照してください。

[サイズ] グループにある [トリミング] ボタンの にポイントし、クリックします。

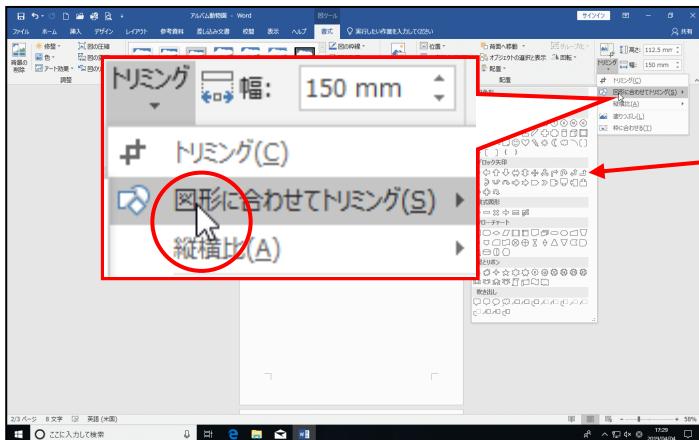


注意!

●写真が選択されていること、図ツールの [書式] タブが選択されていることを確認してから操作してください。



下に表示された一覧から [図形に合わせてトリミング(S)] にポイントします。

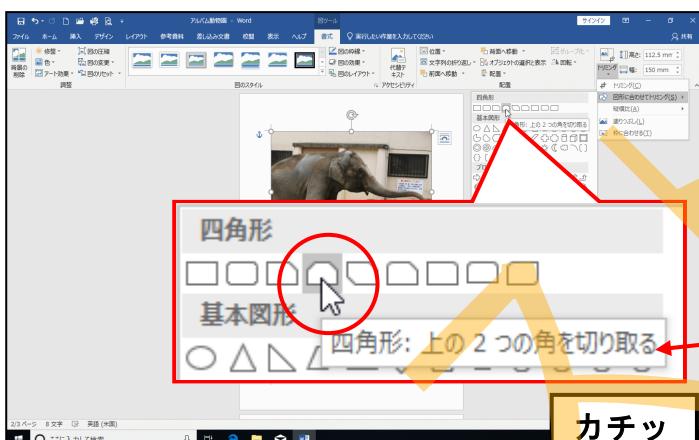


●写真の形状を選択する操作です。

● [図形に合わせてトリミング(S)] にポイントすると、左のように図形の一覧が表示されます。



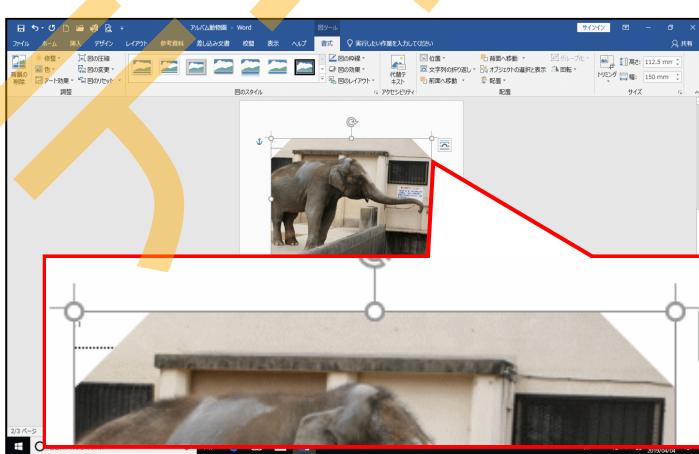
表示された図形の一覧から □「四角形：上の2つの角を切り取る」にポイントし、クリックします。



●お使いのパソコンによって、図形の名称が違う場合があります。下図を参考に選びましょう。



●該当の図形にポイントすると、左のように図形の名前が表示されます。



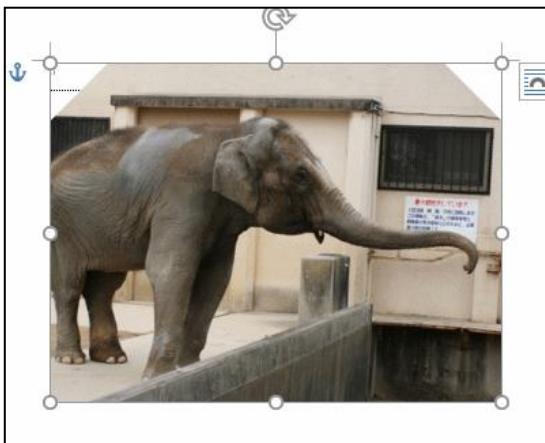
● □「四角形：上の2つの角を切り取る」をクリックした時点で、左のように写真の形状が変更されます。

(2) 写真に効果を設定する

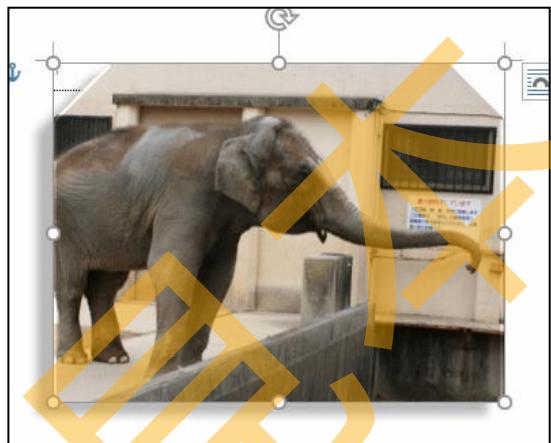
挿入した写真には、影、反射、光彩、ぼかし、面取り、3-D回転など、様々な効果を設定することができます。

◆写真に効果を設定する方法をマスターしましょう。

操作前



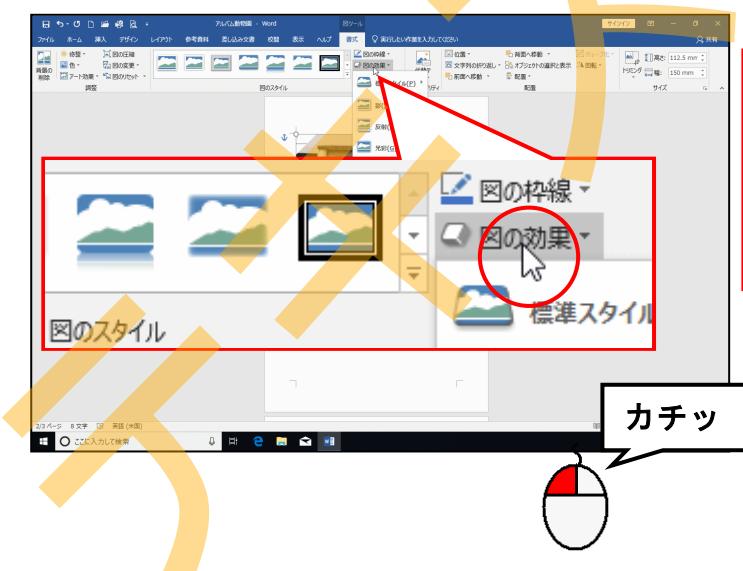
操作後



注意!

操作は下からです！

[図のスタイル] グループにある [図の効果] ボタンにポイントし、クリックします。



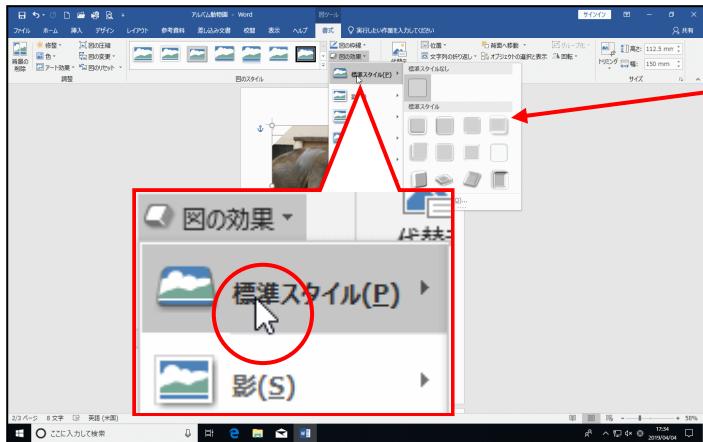
注意!

●写真が選択されていること、図ツールの [書式] タブが選択されていることを確認してから操作してください。



カチッ

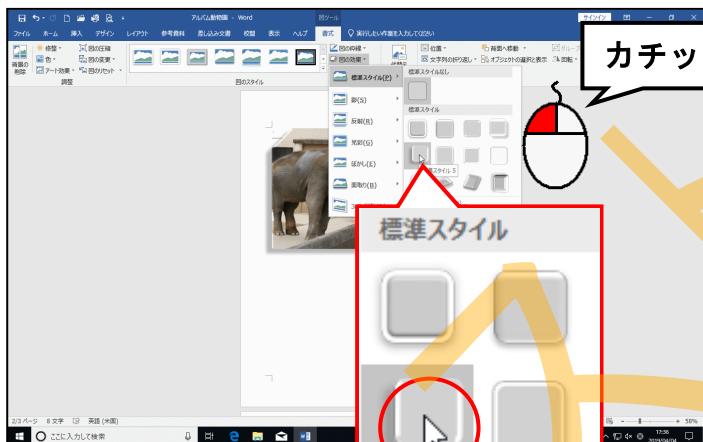
表示された一覧から「標準スタイル(P)」にポイントします。



- [標準スタイル(P)] にポイントすると、左のように標準スタイルの一覧が表示されます。



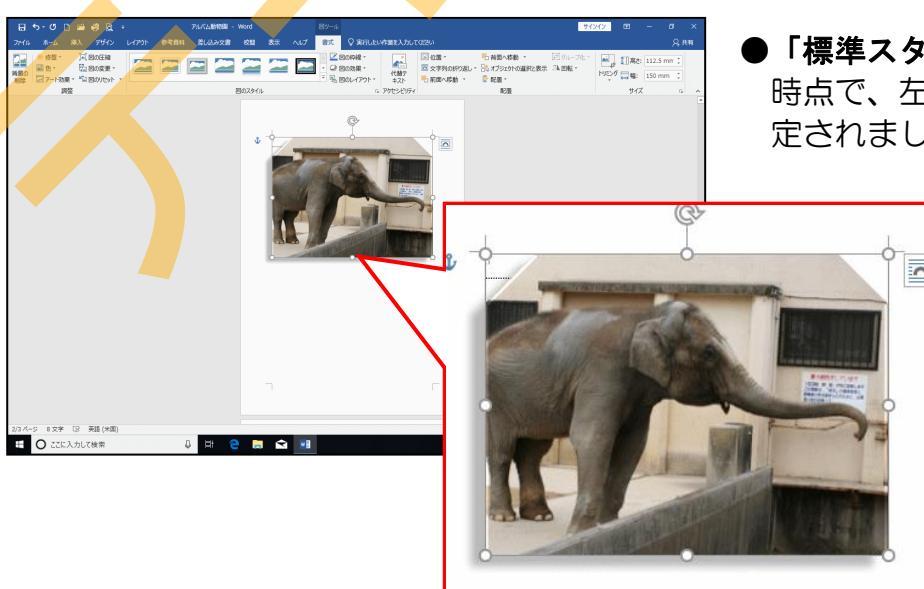
[標準スタイル(P)] の右側に表示された一覧から「標準スタイル5」にポイントし、クリックします。



- お使いのパソコンによって、効果の名称が違う場合があります。下図を参考に選びましょう。



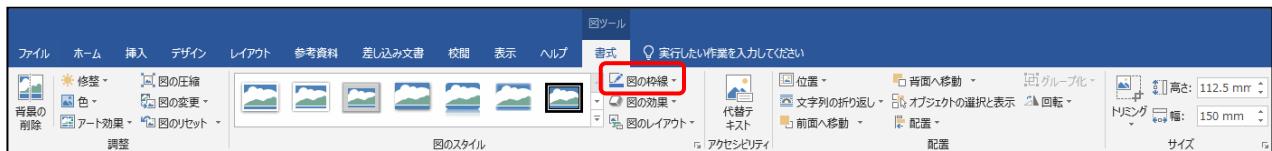
- 該当のスタイルにポイントすると、左のようにスタイルの名前が表示されます。



- 「標準スタイル5」をクリックした時点で、左のように写真に効果が設定されました。

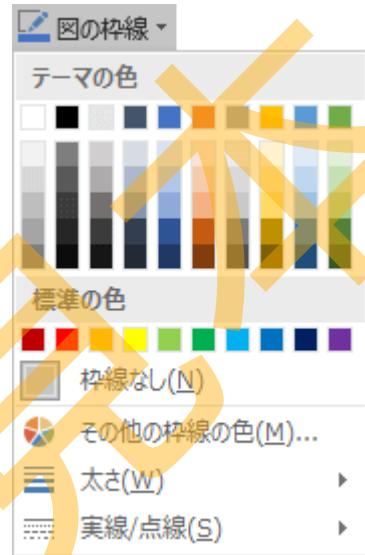
ご参考までに

■写真の枠線の設定



挿入した写真の周りには、枠線を引くことができます。枠線を設定したい写真を選択し、図ツールの【書式】タブの【図のスタイル】グループから [図の枠線] ボタンをクリックし、右図のように表示される色の一覧から選択します。また、枠線の太さや線の種類も設定できます。

・写真に枠線を設定した例



(3) 配置、大きさを調整する

ここでの大きさと配置の調整は、あくまでも「仮」です。

このページにすべての写真を挿入し、形状や効果の設定を行った後、すべての写真の大きさや配置を最終決定していきます。

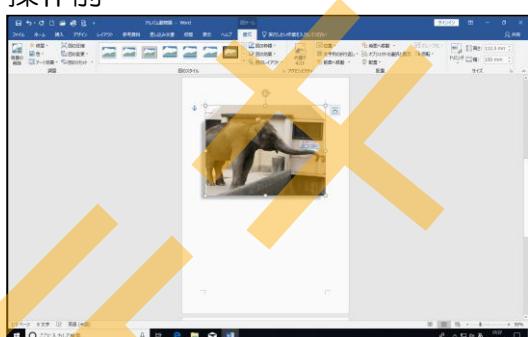
なぜ、「仮」で大きさや配置の変更が必要なのか？？

このテキストでは、挿入した写真の文字列の折り返しをすべて「前面」に設定しています。このように複数の写真を挿入し、文字列の折り返しを「前面」に設定していくと、ワードでは、写真（図）を挿入した順番に重なって表示されていきます。このときに、写真のサイズがすべて同じで、なおかつ、サイズが大きいままだと写真の選択が非常に困難になります。右図は、前節の「象2」に諸設定（形状を変えたり、効果を設定）した写真の大きさ、配置の変更をせずに、2枚目の写真を挿入し、諸設定したものです。前節までに設定した「象2」の写真が選択しづらい状態であることがわかると思います。

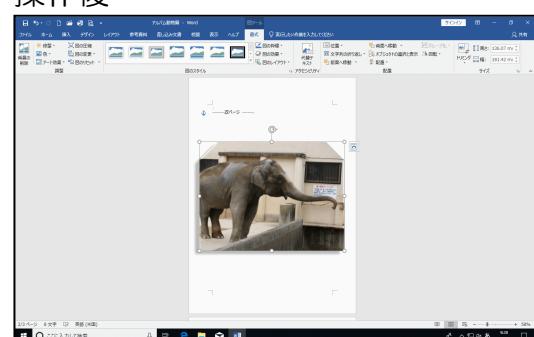


◆写真の配置、大きさを調整する方法をマスターしましょう。

操作前

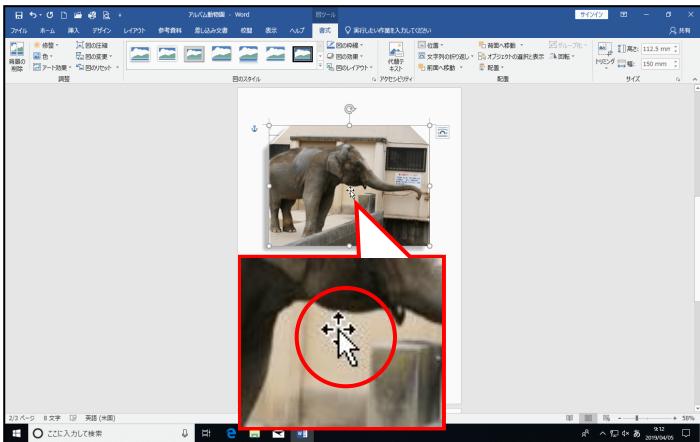


操作後

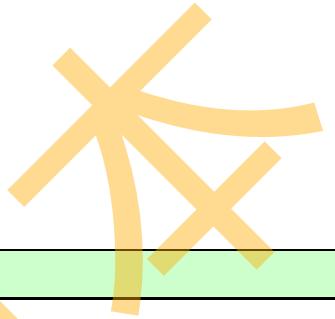


操作は次ページからです！

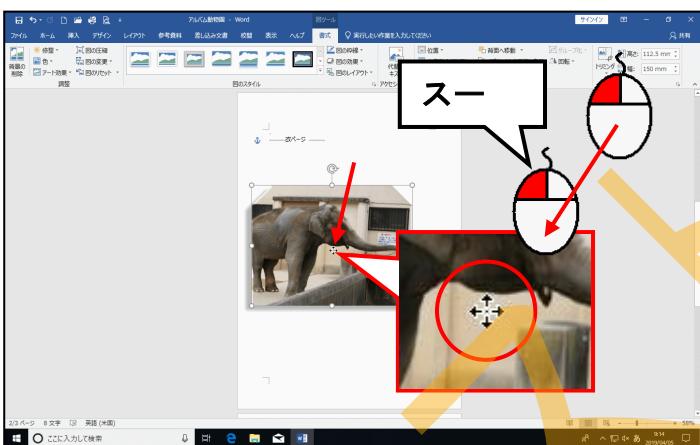
写真の中にマウスポインターを移動します。



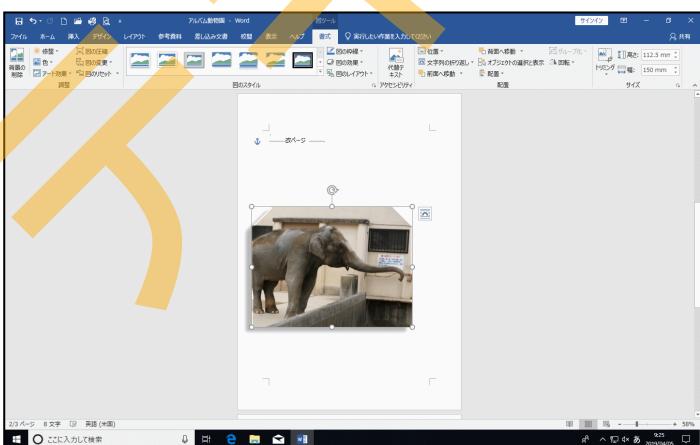
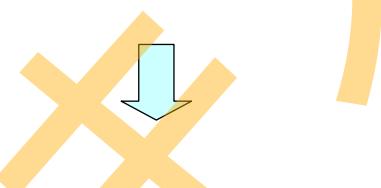
●写真にポイントすると、マウスポンターが↑↓←→の状態になります。



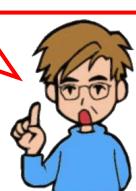
そのまま左下に向かってドラッグします。



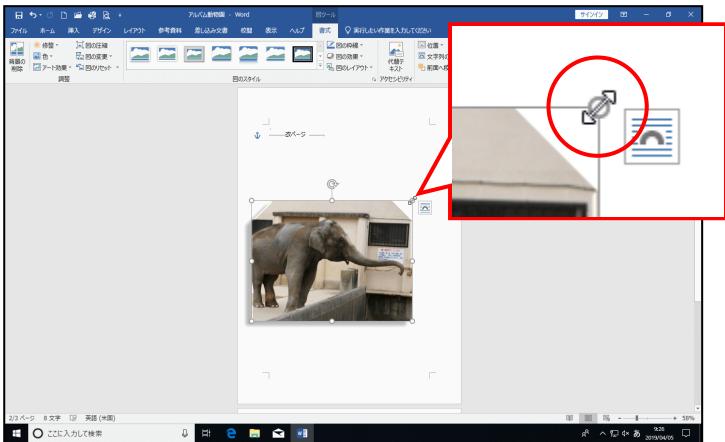
●左図を参考に大体の位置にドラッグしてください。ここで写真的な移動は、あくまでも「仮」です。



●写真的位置を微調整したい場合は、写真が選択された状態（写真の周りに○が表示されている）で、キーボードの「→」キー、「←」キー、「↑」キー、「↓」キーをそれぞれ押すと、写真的位置を微調整することができます。



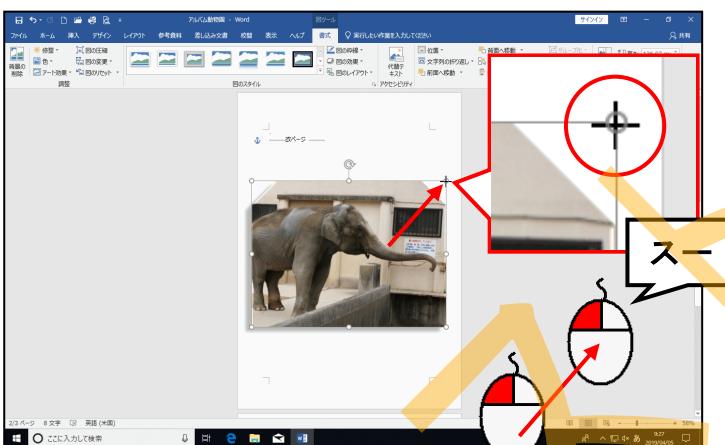
写真の右上に表示された ○ (サイズ変更ハンドル) にポイントします。



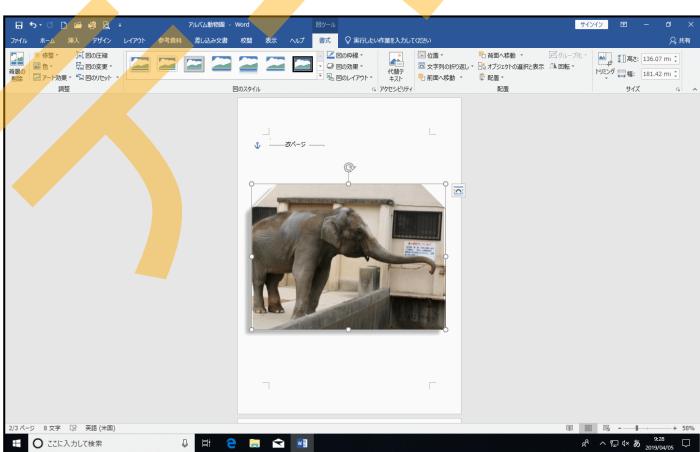
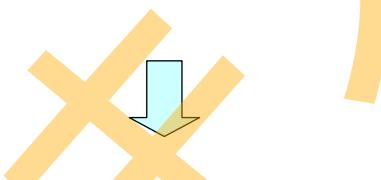
●写真の右上に表示された ○ (サイズ変更ハンドル) にポイントすると、マウスポインターが ↗ の状態になります。



マウスポインターが ↗ に変わったことを確認し、右上に向かってドラッグします。



● ○ (サイズ変更ハンドル) をドラッグすると、マウスポインターが + の状態になります。



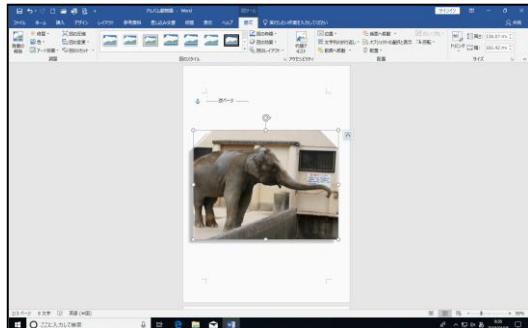
●マウスから指を離した時点で、図形の大きさ、位置が確定します。

(4) 2枚目以降の写真を挿入する

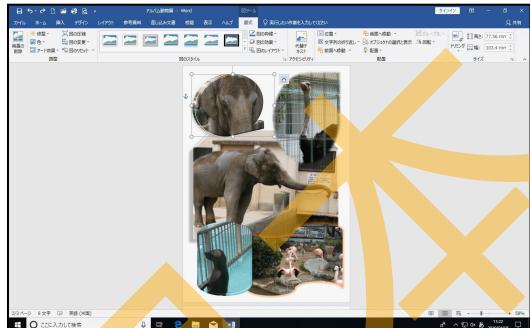
表紙には、1枚の写真しか挿入していませんが、2ページ目からは複数枚の写真を挿入していきます。

◆1ページに複数枚の写真を挿入する方法をマスターしましよう。

操作前

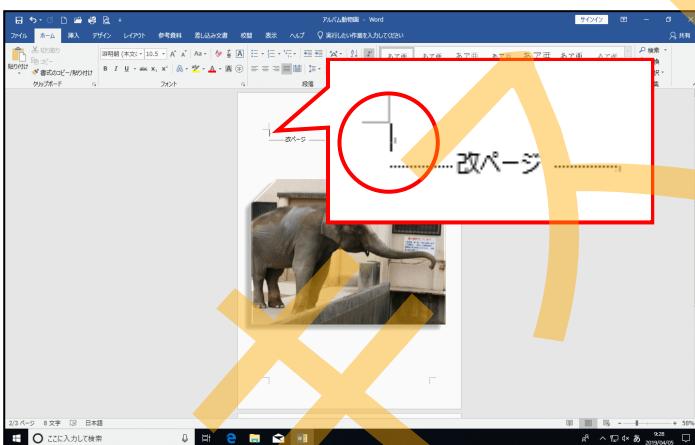


操作後

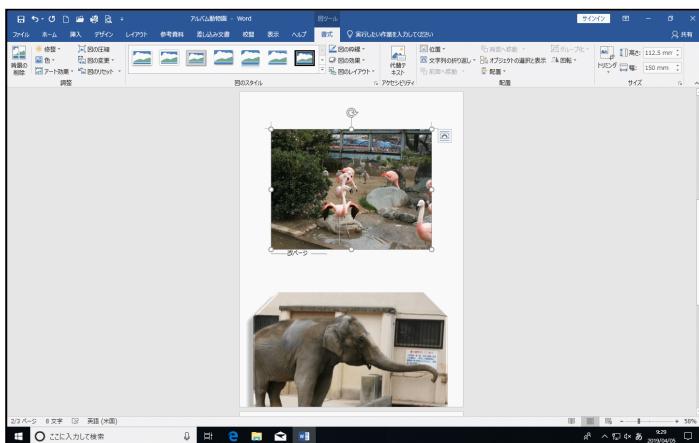


操作は下からです！

2ページ目の先頭にカーソルを移動します。



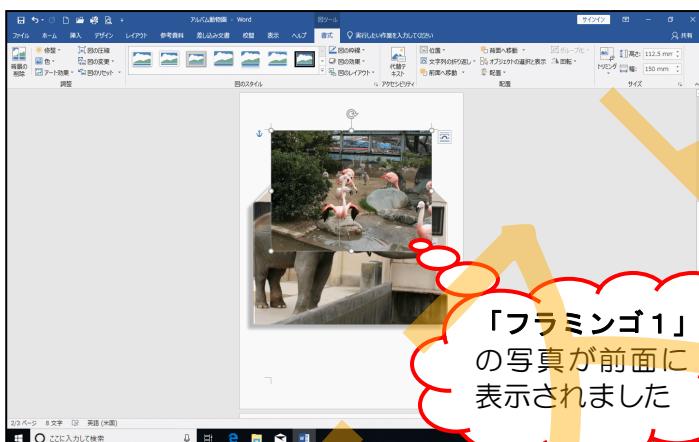
[ピクチャ] フォルダーの [ワードでアルバム素材] フォルダーから「フラミンゴ1」の写真を挿入します。



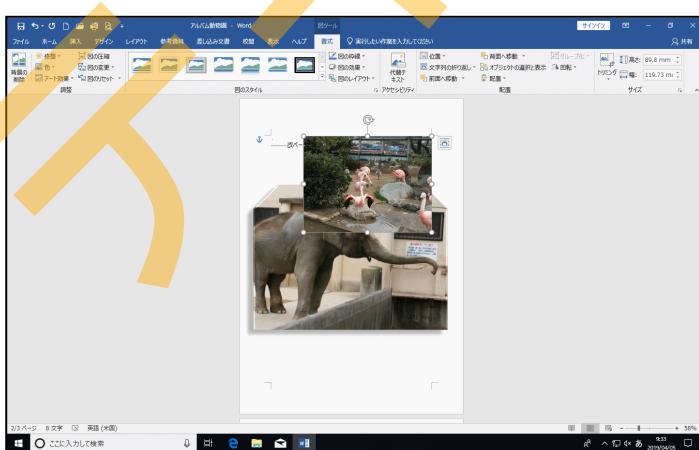
●下図のように「象2」の背面に配置される場合もありますが、次の操作で文字列の折り返しを設定するとテキストと同じ状態になりますのでそのまま操作を進めてください。



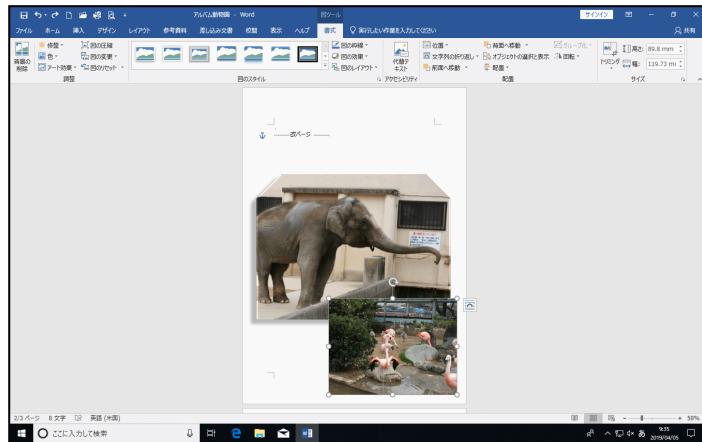
挿入した写真に対する文字列の折り返しを「前面」に変更します。



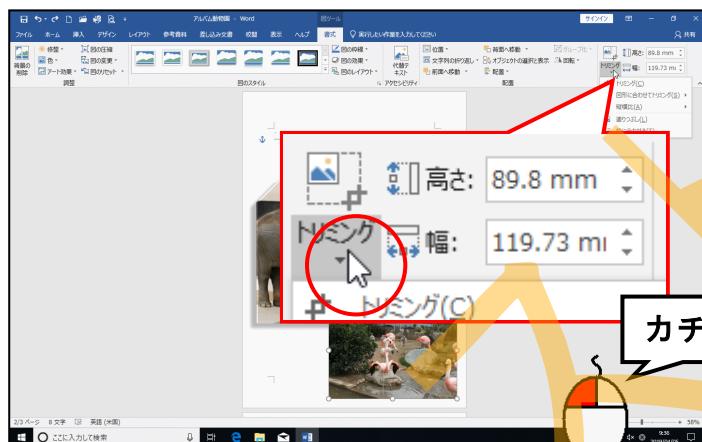
下図を参考に「フラミンゴ1」の写真のサイズを変更します。



下図を参考に「フラミンゴ1」の写真を移動します。



[サイズ] グループにある [トリミング] ボタンの [トリミング] にポイントし、クリックします。

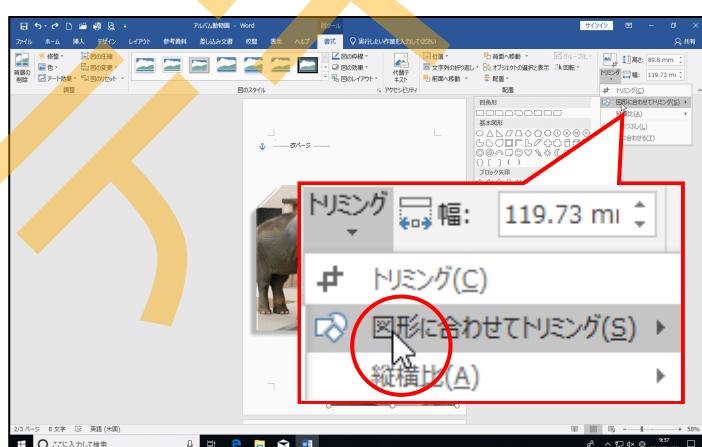


注意!

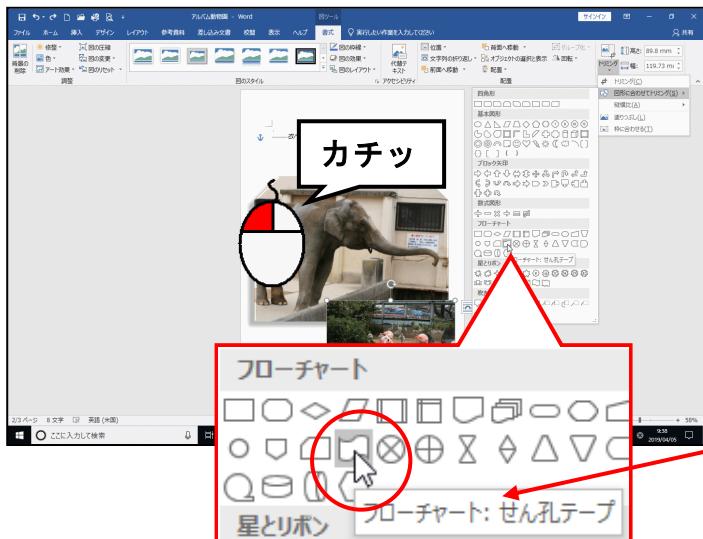
- 「フラミンゴ 1」の写真が選択されていること、図ツールの [書式] タブが選択されていることを確認してから操作してください。



下に表示された一覧の [図形に合わせてトリミング(S)] にポイントします。



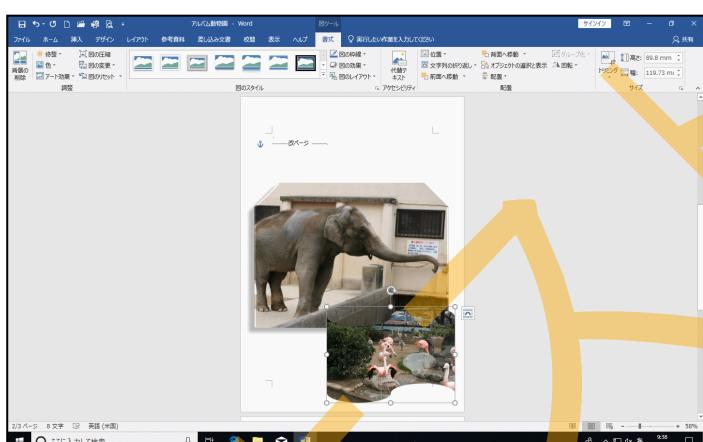
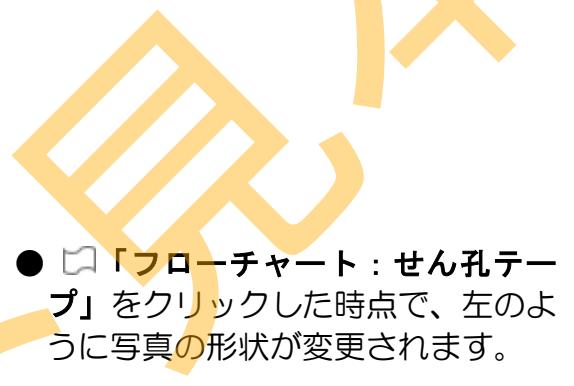
表示された図形一覧の【フローチャート】から 「フローチャート：せん孔テープ」にポイントし、クリックします。



●お使いのパソコンによって、図形の名称が違う場合があります。下図を参考に選びましょう。

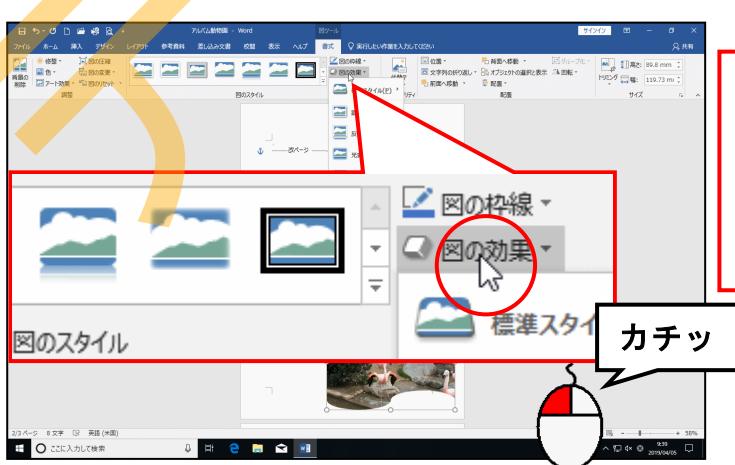


●該当の図形にポイントすると、左のように図形の名前が表示されます。



● 「フローチャート：せん孔テープ」をクリックした時点で、左のように写真の形状が変更されます。

[図のスタイル] グループにある 図の効果 [図の効果] ボタンにポイントし、クリックします。

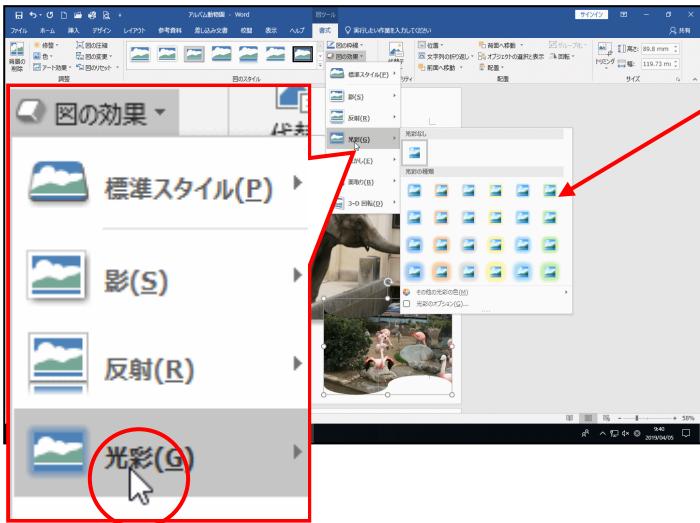


注意!

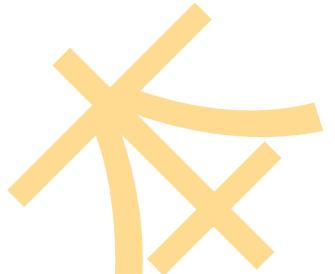
●「フラミンゴ1」の写真が選択されていること、図ツールの【書式】タブが選択されていることを確認してから操作してください。



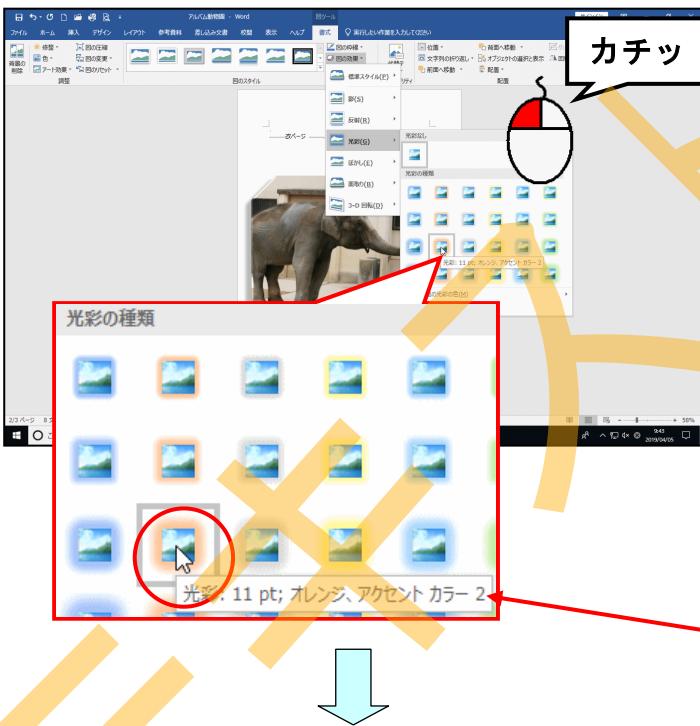
表示された一覧から【光彩(G)】にポイントします。



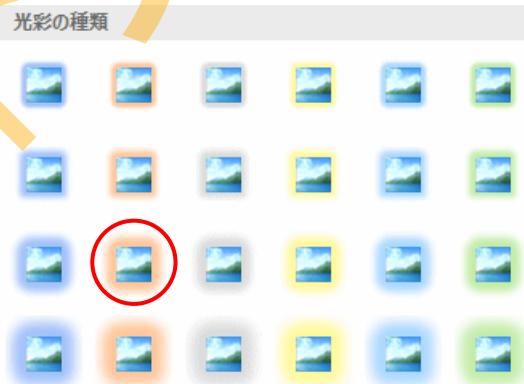
●【光彩(G)】にポイントすると、左のように光彩の一覧が表示されます。



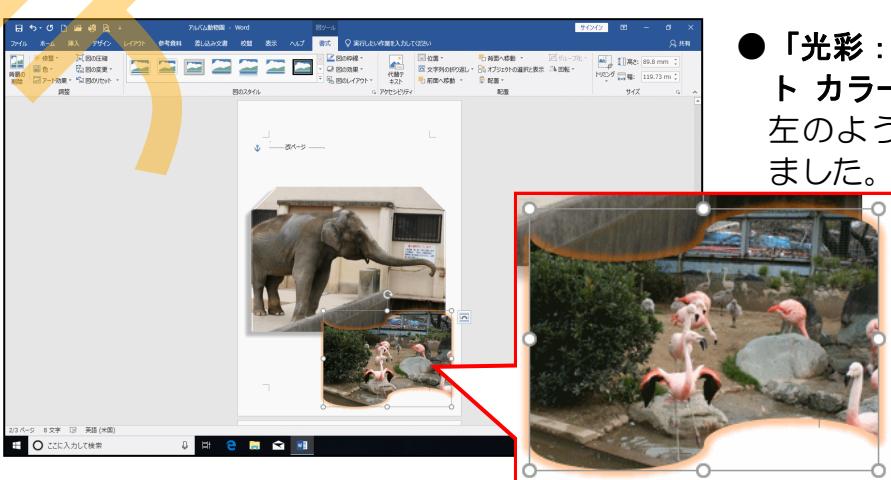
表示された一覧から「光彩 : 11pt ; オレンジ、アクセント カラー2」にポイントし、クリックします。



●お使いのパソコンによって、効果の名称が違う場合があります。下図を参考に選びましょう。



●該当の光彩にポイントすると、左のように光彩の名前が表示されます。

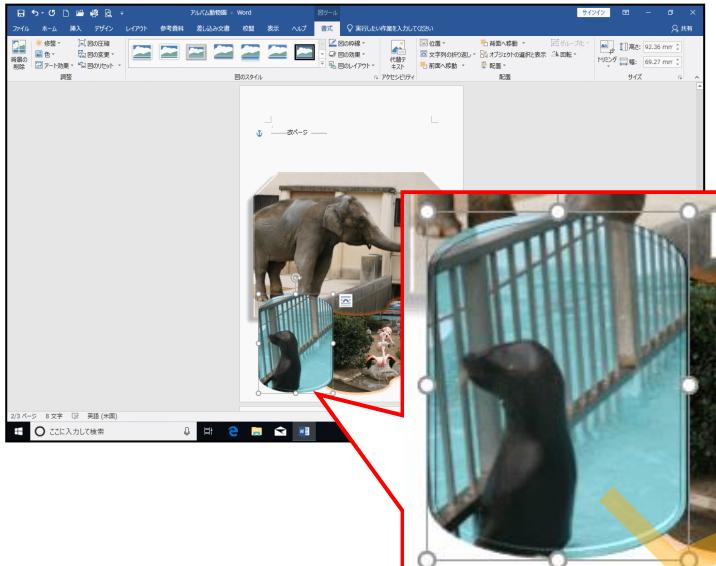


●「光彩 : 11pt ; オレンジ、アクセント カラー2」をクリックした時点で、左のように写真に効果が設定されました。

下図を参考に3枚目の写真を挿入します。

- 挿入箇所…………… 2ページ目の先頭にカーソルを移動して挿入してください
- 挿入写真…………… 「アシカ」
- 文字列の折り返し…………… 前面
- 図形に合わせてトリミング… フローチャート → □ フローチャート：磁気ディスク
- 図の効果…………… 面取り → ハード エッジ

※配置、大きさは、下図を参考に変更してください。
(フラミンゴの写真と重なるように配置しましょう。)



●図形は下図を参照。

フローチャート



●図の効果は下図を参照。

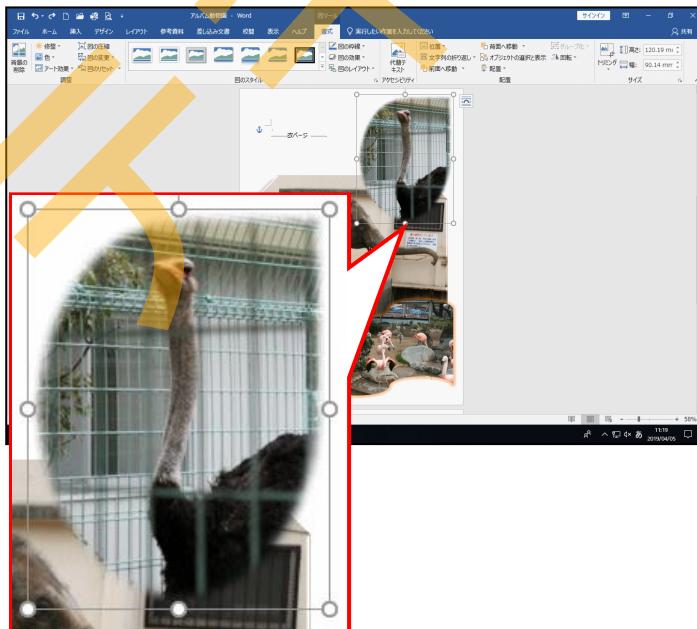
面取り



下図を参考に4枚目の写真を挿入します。

- 挿入箇所…………… 2ページ目の先頭にカーソルを移動して挿入してください
- 挿入写真…………… 「ダチョウ1」
- 文字列の折り返し…………… 前面
- 図形に合わせてトリミング… 基本図形 → □ 涙形
- 図の効果…………… ぼかし → 10 ポイント

※配置、大きさは、下図を参考に変更してください。



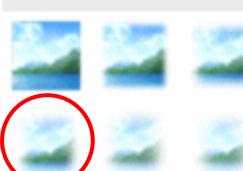
●図形は下図を参照。

基本図形



●図の効果は下図を参照。

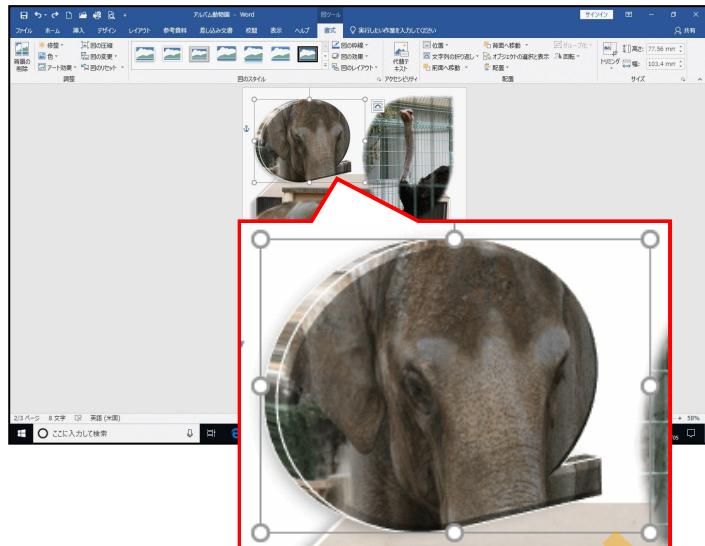
ソフトエッジのバリエーション



下図を参考に5枚目の写真を挿入します。

- 挿入箇所…………… 2ページ目の先頭にカーソルを移動して挿入してください
- 挿入写真…………… 「象3」
- 文字列の折り返し………… 前面
- 図形に合わせてトリミング… フローチャート → Q フローチャート:順次アクセス記憶
- 図の効果…………… 標準スタイル → 標準スタイル9

※配置、大きさは、下図を参考に変更してください。



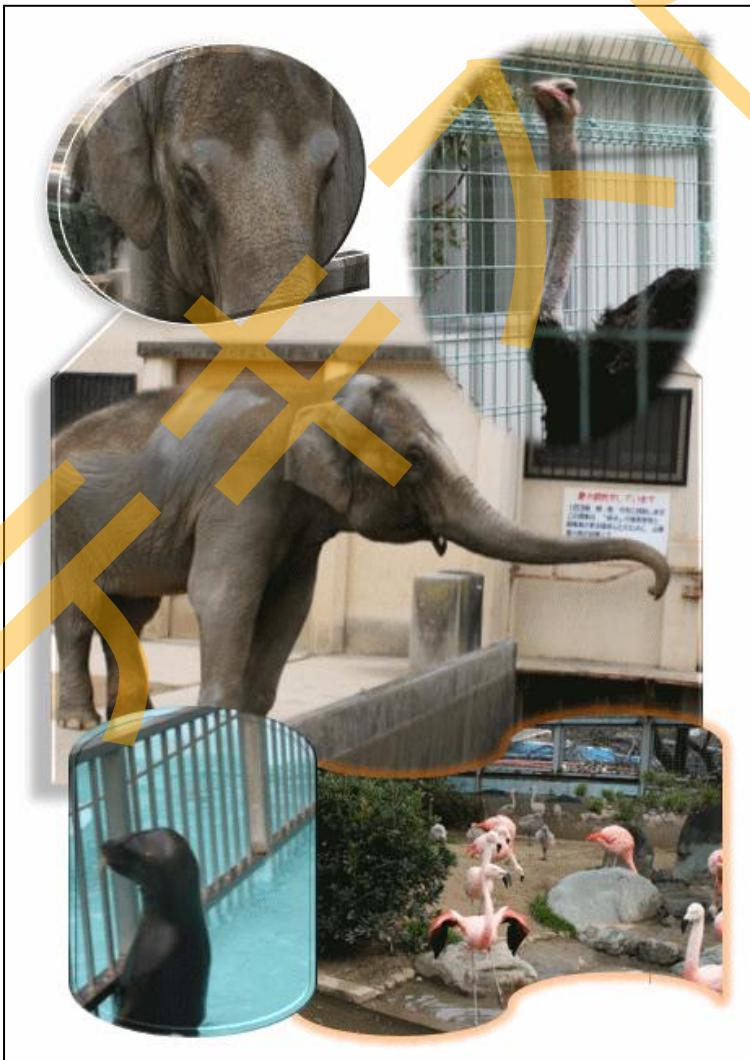
●図形は下図を参照。



●図の効果は下図を参照。



【完成例】



(5) レイアウトの調整

ここからは、先ほどまで作成していた2ページ目全体のレイアウトを整えていきます。レイアウトとは、どの写真をどの位置にどのような大きさで配置するかということです。前節までで、ある程度のレイアウトはできていますが、ここでは、写真の重なりの前面、背面を入れ替えたり、配置や大きさの微調整をしていきます。

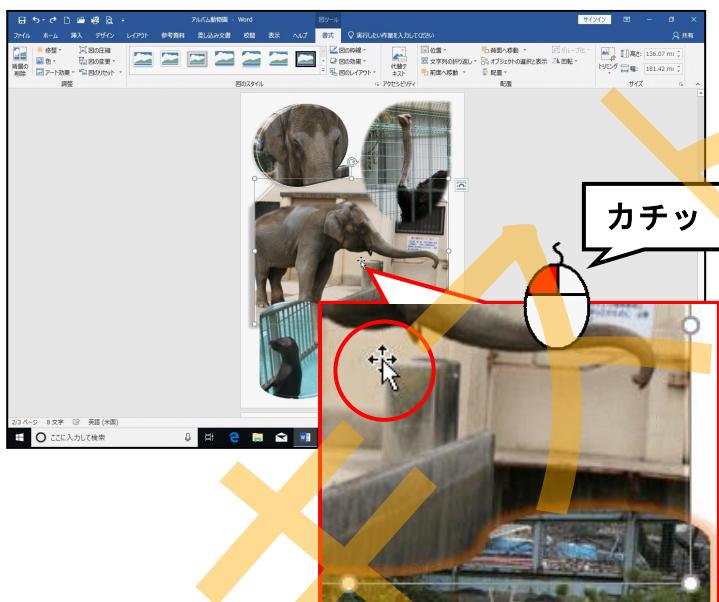
■変更、調整点

- ① 中央の写真（象2）の配置を左右中央揃えに設定する
- ② 右下の写真（フラミンゴ1）を最前面に設定する
- ③ 大きさ、配置など総合的な微調整

① 写真を中心配置

P26 ⑥ 写真を中心配置で、写真を左右中央に配置する方法を学びましたが、ここでも象2の写真を左右の中央に配置してみましょう。

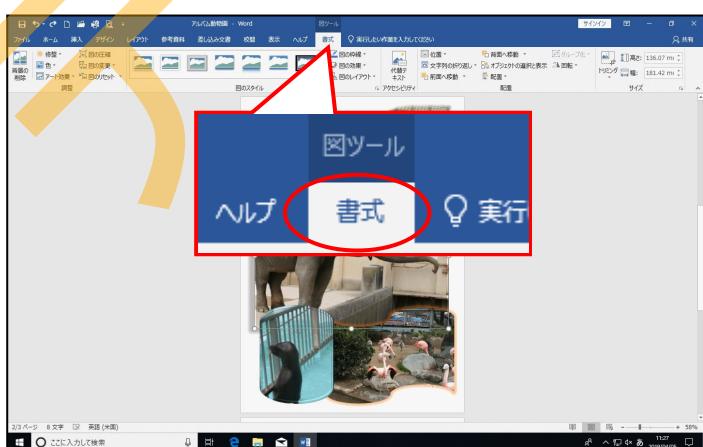
中央の写真（象2）にポイントし、クリックします。



● 中央の写真（象2）にポイントすると、マウスポインターが  の形になります。

● 中央の写真（象2）をクリックすると、選択された印として周りに  が表示されます。

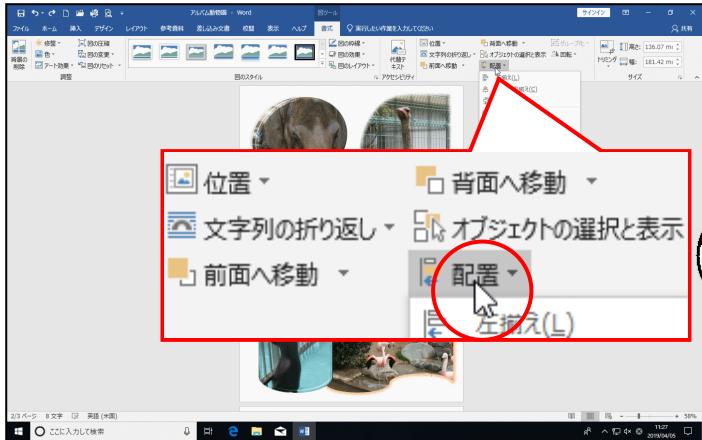
[書式] タブが選択されていることを確認します。



● [書式] タブが選択されていない方は、[書式] タブをクリックして選択してください。

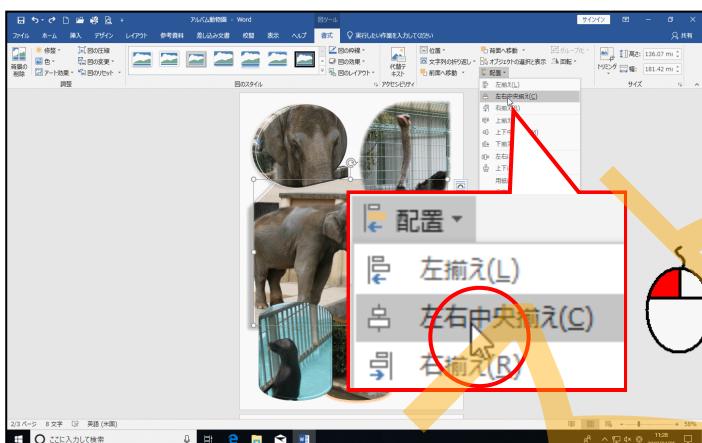


[配置] グループにある 配置ボタンにポイントし、クリックします。



カチッ

表示された一覧から [左右中央揃え(C)] にポイントし、クリックします。

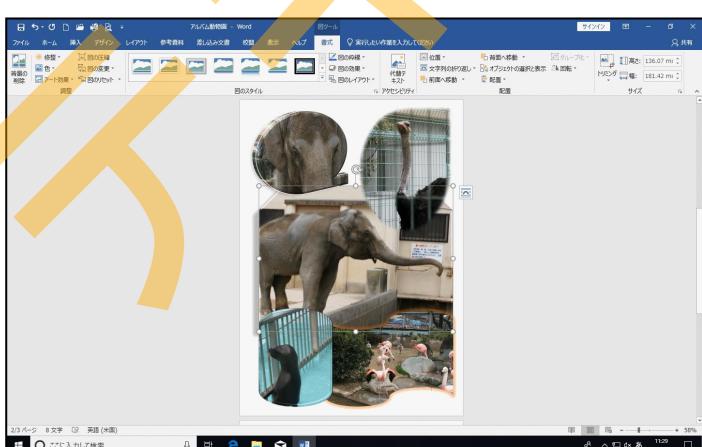


カチッ

- [左右中央揃え(C)] をクリックした時点で、写真が用紙の水平方向の中央に配置されます。

注意!

- 写真を中央に配置した後は、ドラッグして写真を移動しないようにしてください。写真をドラッグして移動してしまうと、中央揃えの設定が解除されてしまいます。



② 写真の順序を入れ替える

現在は、下の「操作前」のようにフラミンゴ 1（右下）がアシカ（左下）の背面にある状態です。この写真の順序を入れ替えて、「操作後」のようにフラミンゴ 1（右下）がアシカ（左下）の前面に配置されるように設定してみましょう。

◆写真の順序を入れ替える方法をマスターしましょう。

操作前

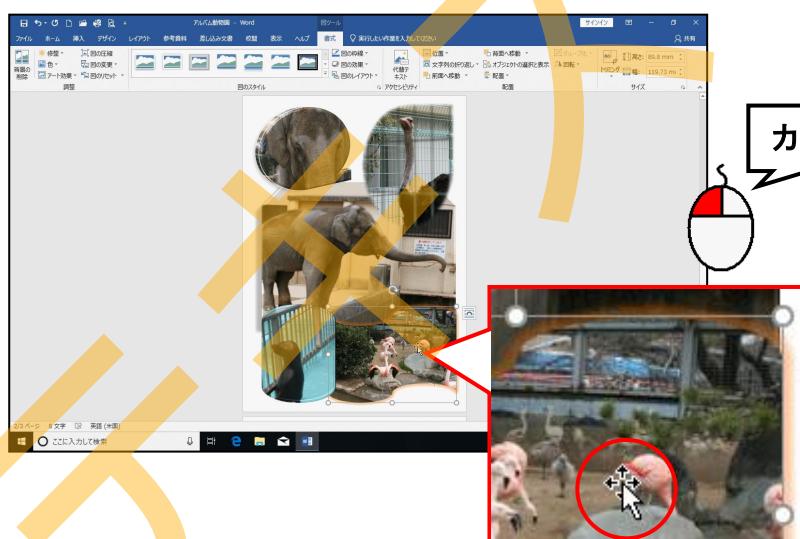


操作後



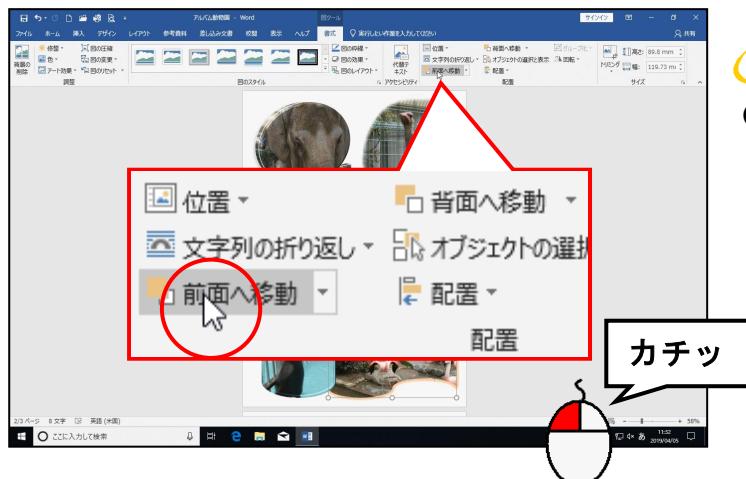
操作は下からです！

フラミンゴ1にポイントし、クリックします。

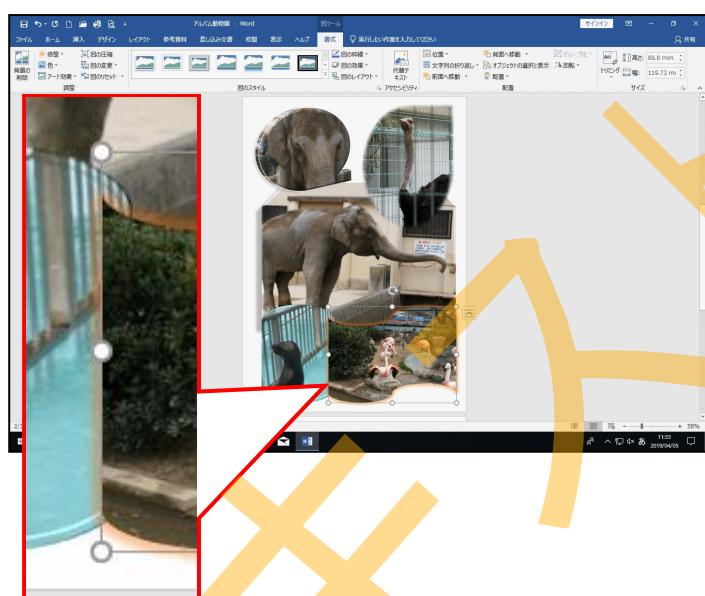


カチッ

[配置] グループにある □ 前面へ移動 ▾ [前面へ移動] ボタンにポイントし、クリックします。



- □ 前面へ移動 ▾ [前面へ移動] ボタンの▼をクリックしないようにしてください。□ 前面へ移動 ▾ [前面へ移動] ボタンの▼をクリックした方は表示された一覧から [前面へ移動 (F)] をクリックしてください。



- □ 前面へ移動 ▾ [前面へ移動] ボタンをクリックした時点で、写真の順番が入れ替わります。

③ レイアウトの最終調整

ここでは、2ページ目の総仕上げとしてレイアウトの最終調整を行います。
大きさや配置の調整をもう一度行い、2ページ目を完成させます。

P74 の【2ページ目の完成例】を参考に2ページ目を完成させてください。

「アルバム動物園」を上書き保存して、ワードの画面を閉じておきましょう。

☆☆ここまでくれば、練習問題1で理解度を試して下さい。☆☆

4. 図形の中に写真を挿入する

2ページ目では、写真を挿入後に写真の形状や効果などを変更しましたが、3ページ目は、2ページ目とは逆に図形を挿入してからその中に写真を挿入してみましょう。

■ 2ページ目の作成工程

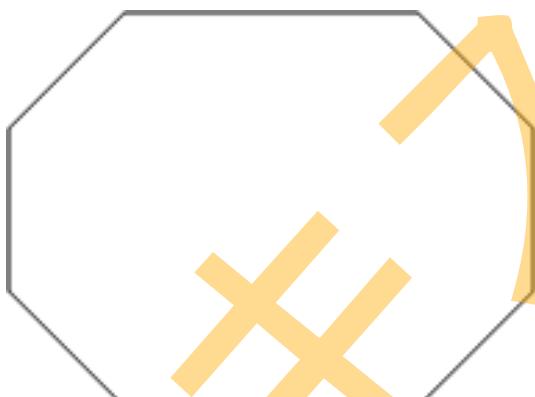


写真を挿入



形状を変更、効果などを設定

■ 3ページ目の作成工程

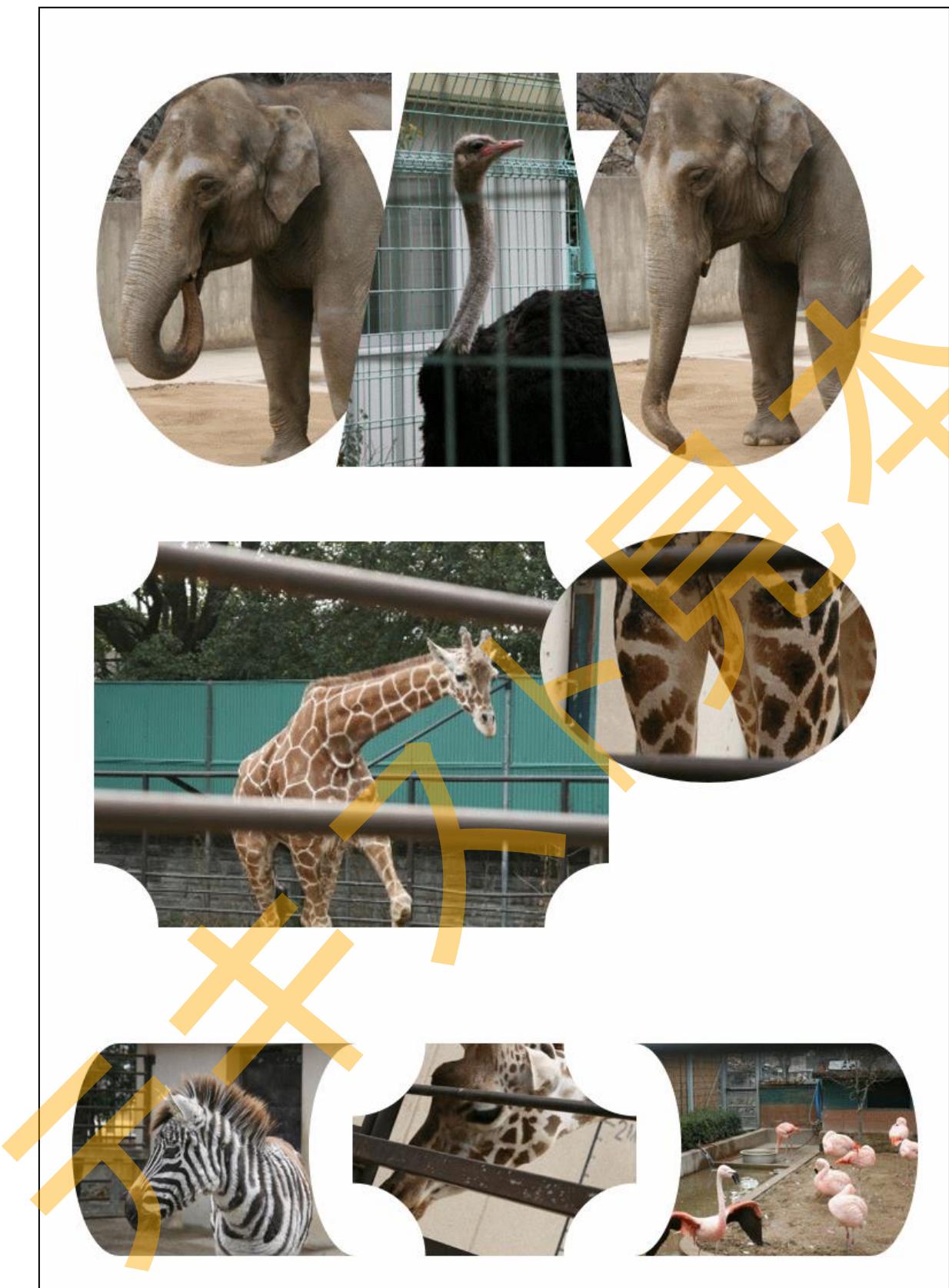


図形を描く



描いた図形の色を写真を挿入することで塗りつぶす

【3ページ目の完成例】



4ページ目の作成？？

ケンちゃん「先生。確かにこのテキストで作っているアルバムは、表紙を含めて合計で3ページのはずだよね？」



くじら先生「そうですね。このテキストで作成しているアルバムは、表紙を含めて合計で3ページです。つまり4ページ目は必要ありません。」

ケンちゃん「じゃあ、どうして4ページ目を作成するの？？」

くじら先生「たとえば、ケンちゃんがワードでアルバムを作成しているときに「このページを最終ページにしよう。」と思っていても、「やっぱりもう1ページ追加したいなあ。」と思われることがあるかもしれません。4ページ目は、その時のための「保険」だと思ってください。」

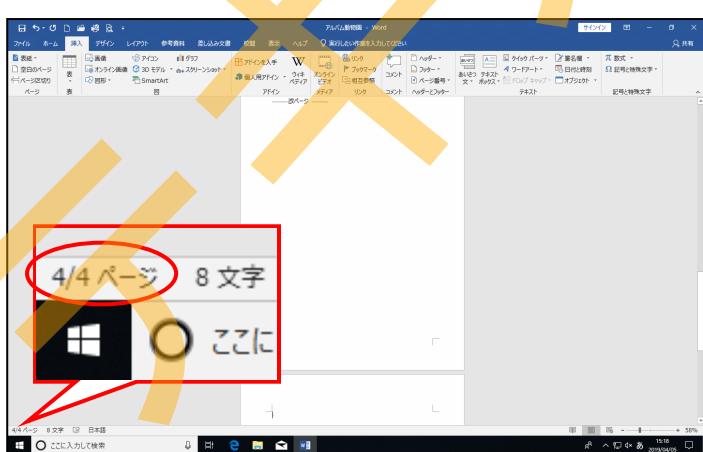
ケンちゃん「なるほど。写真を挿入してページを完成させた後に次のページを追加するのは、すごく難しかったんだよね。」

くじら先生「その通りです。必要ななくなった4ページ目（空白ページ）は、後で削除するので、安心してくださいね。」



3ページ目を作成する前に、4ページ目を作成しましょう。

「アルバム動物園」を開き、3ページ目の先頭にカーソルを移動して、[挿入]タブの[ページ]グループにある 空白のページ [空白のページ] ボタンをクリックして、4ページ目を作成しておきましょう。



注意!
● アルバムを作成していく上で、事前に必要な操作です。



(1) 図形を描く

P96 でも説明しましたが、3 ページ目は、図形を描いてからその中に写真を挿入していきます。ここでは、写真の形状となる図形を描きます。

① 図形を描く

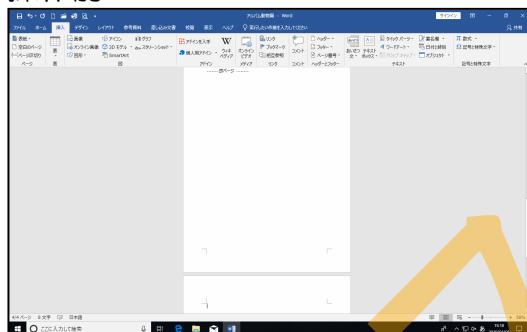
写真の形状となる図形は、[挿入] タブの [図] グループから挿入します。

■ [挿入] タブ

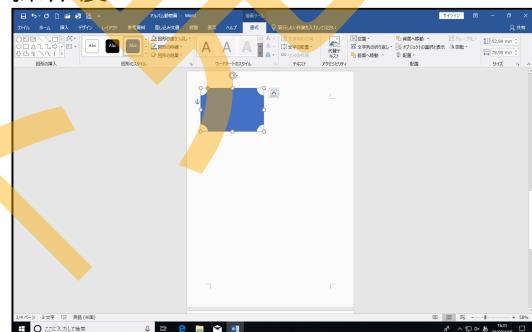


◆図形を描く方法をマスターしましょう。

操作前



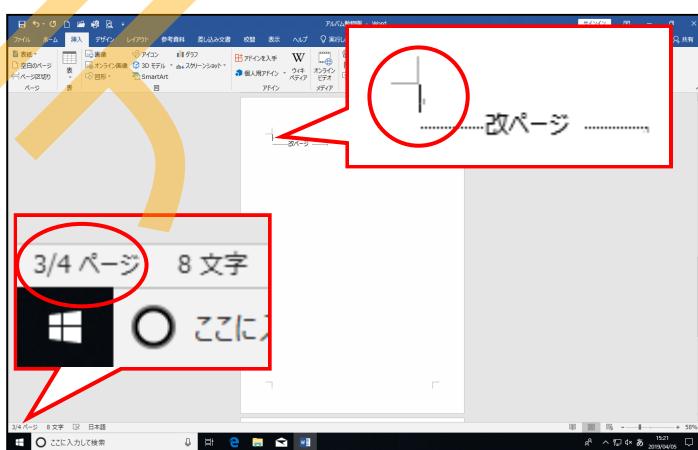
操作後



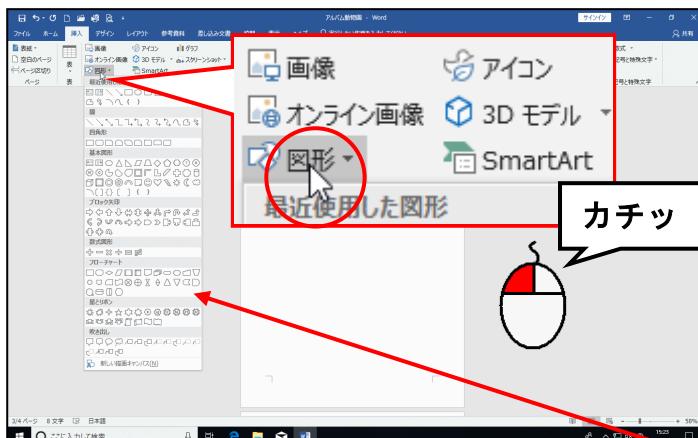
操作は下からです！

写真の形状となる「プローチ」の図形を描いてみましょう。

3 ページ目の先頭にカーソルを移動します。



【図】グループにある 図形・【図形】ボタンにポイントし、クリックします。



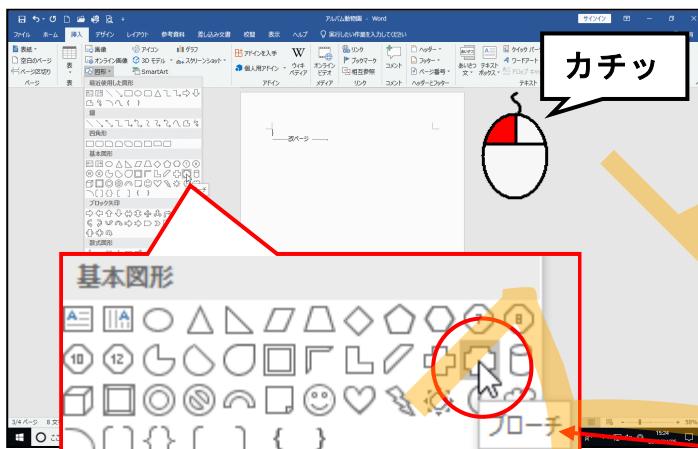
注意!

- [挿入] タブが選択されていることを確認してから操作してください。

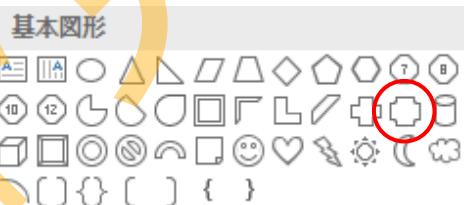


- 図形・【図形】ボタンをクリックすると、描くことができる图形の一覧が表示されます。

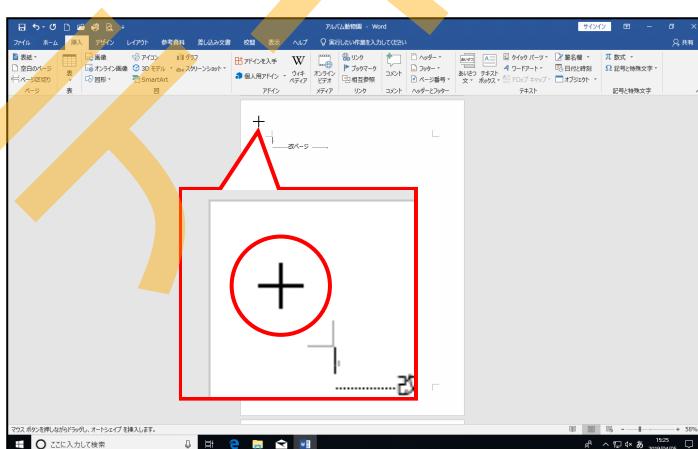
表示された图形一覧の【基本图形】から 「プローチ」にポイントし、クリックします。



- お使いのパソコンによって、图形の名称が違う場合があります。下図を参考に選びましょう。

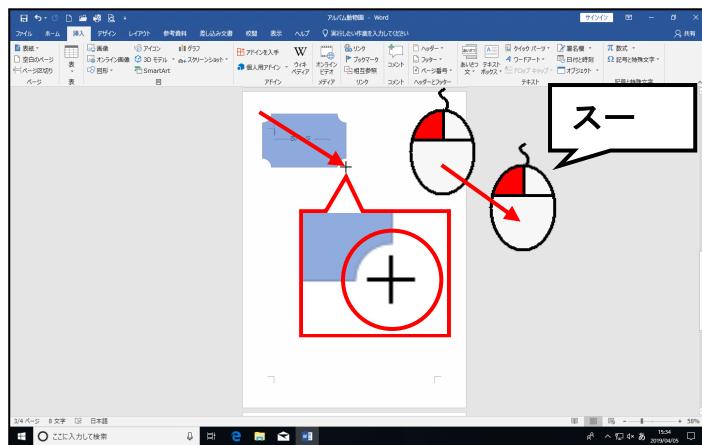


- 該当の图形にポイントすると、左のように图形の名前が表示されます。



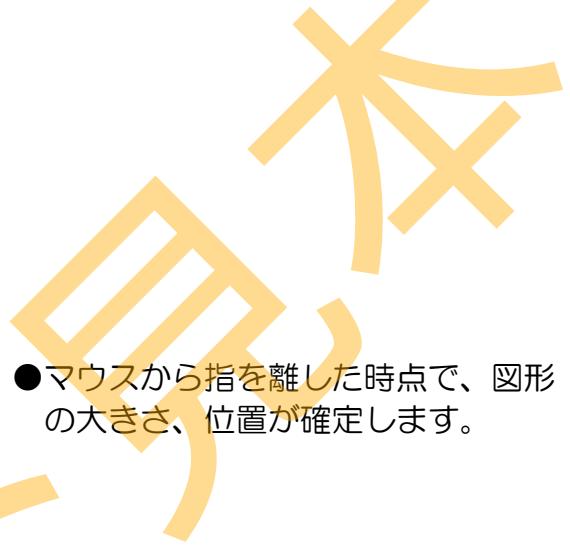
- 「プローチ」をクリックし、マウスポインターを白いページ内に移動すると、マウスポインターが+の状態になります。

マウスポインターが + になっていることを確認して、右下に向かってドラッグします。

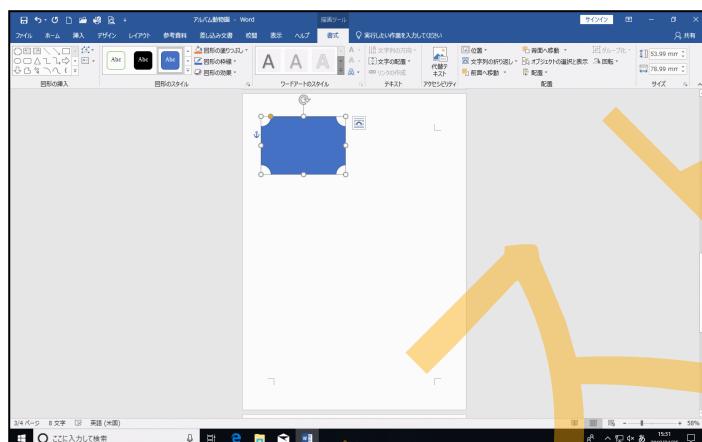


●後で、ブローチの図形を移動して配置を決定しますので、ドラッグする位置は、適当で結構です。

●左ボタンを押した位置が図形を描く時の始点（描く図形の左上）、左ボタンを離した位置が図形の終点（描く図形の右下）になります。



●マウスから指を離した時点で、図形の大きさ、位置が確定します。



ご参考までに

■描いた図形の削除方法

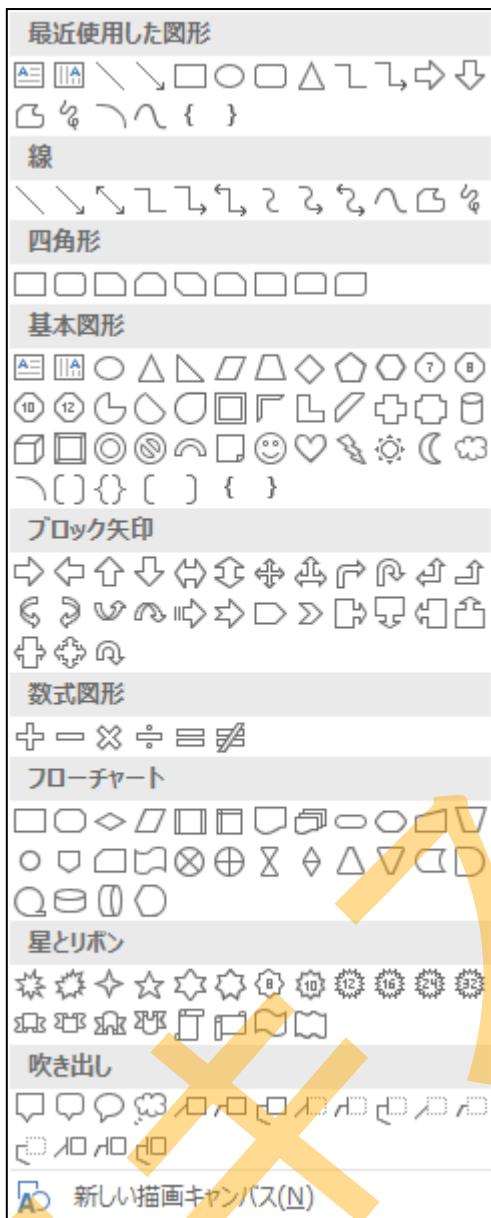
描いた図形が選択されている状態（削除したい図形の周りに ○ が表示されている状態）で [Delete] キー、または [Back Space] キーを押します。

描いた図形が選択されていなければ（図形の周りに ○ が表示されていない状態）、図形の中にポイントし、マウスポインターが ✎ の状態でクリックします。

② 図形の種類

ここでは、描くことができる図形の種類を紹介します。

■図形の種類



(2) 図形の中に写真を挿入する

ここからは、先ほど描いた「ブローチ」の図形の中に写真を挿入します。

図形の中に写真を挿入するには、描画ツールの【書式】タブの【図形のスタイル】グループから挿入します。

図形を描いた場合、写真を挿入したときと違い、描画ツール（写真を挿入した時は、図ツール）が表示されます。

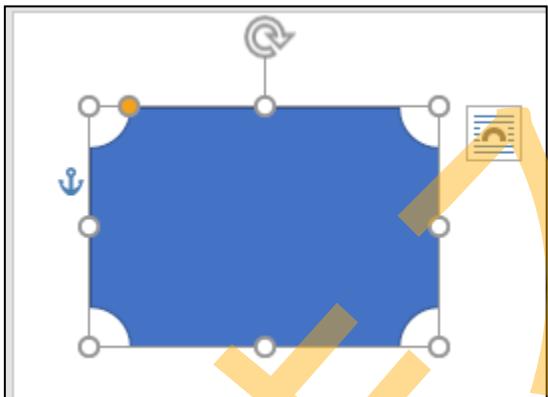
表示される場所は、図ツールと同様に【ヘルプ】タブの右側になります。

■ 描画ツール【書式】タブ



◆図形の中に写真を挿入する方法をマスターしましょう。

操作前



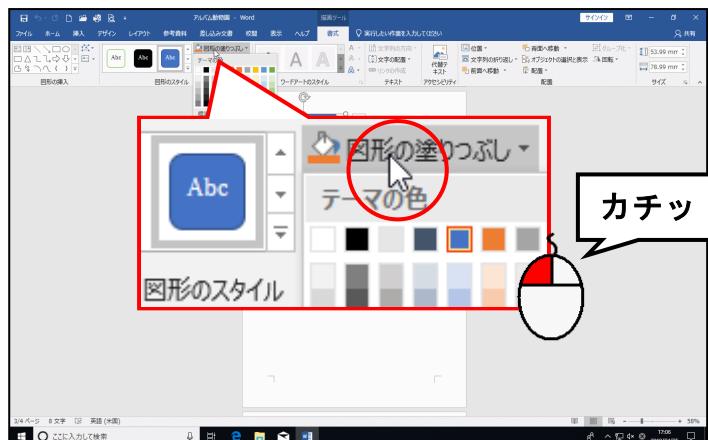
操作後



注意!

操作は次ページからです！

描いた図形の周りに が表示されていること、[書式] タブが選択されていることを確認し、[図形のスタイル] グループにある 図形の塗りつぶし、[図形の塗りつぶし] ボタンの 図形の塗りつぶし にポイントし、クリックします。

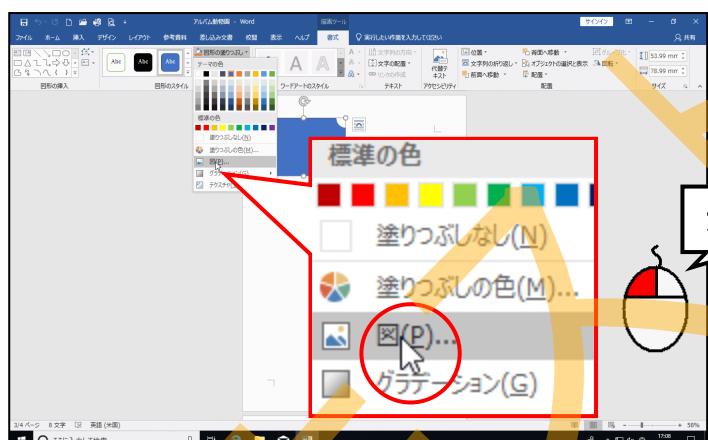


- が表示されていれば、描いた図形が選択されています。表示されていなければ、描いた図形にポイントし、マウスポインターが になったところでクリックします。

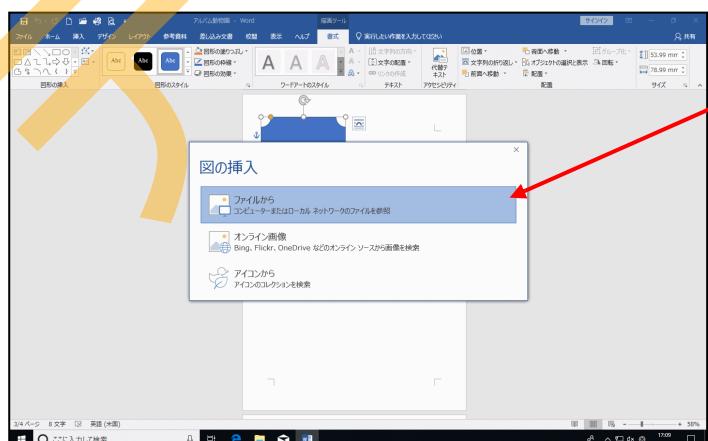


- 図形が選択されていれば、画面上に描画ツールの [書式] タブが表示されます。[書式] タブが選択されていない方は、[書式] タブをクリックしてから操作してください。

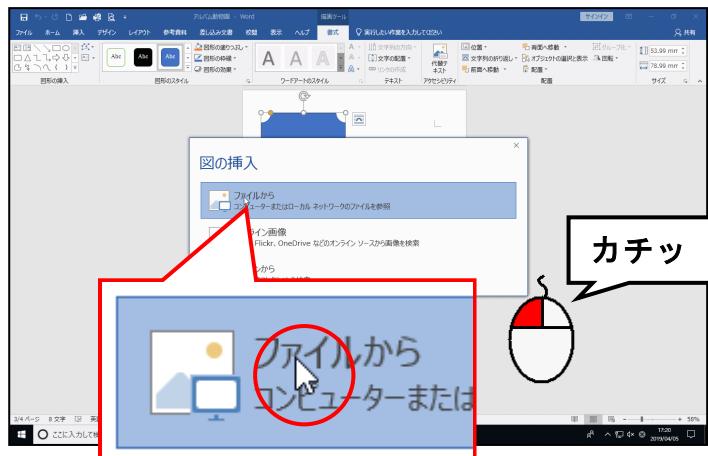
表示された一覧から [図(P)...] にポイントし、クリックします。



- [図(P)...] をクリックすると、左のように [図の挿入] ウィンドウが表示されます。



表示された【図の挿入】ウィンドウで「ファイルから」にポイントし、クリックします。



●「ファイルから」をクリックすると、左のように【図の挿入】ダイアログボックスが表示されます。

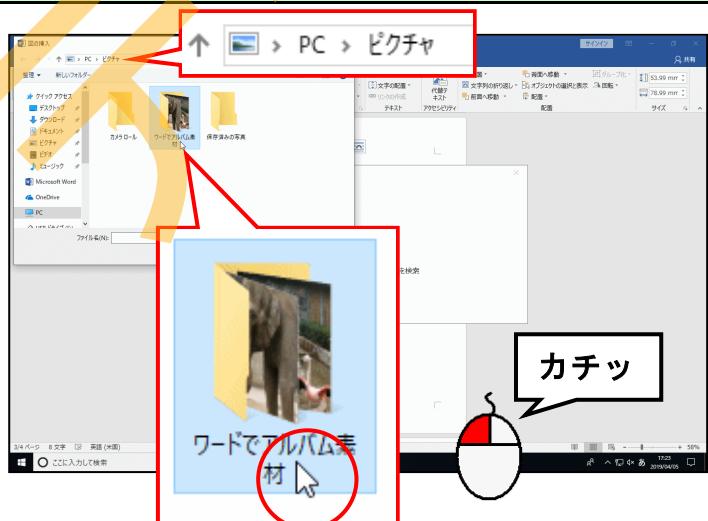
●プレビューウィンドウ内のフォルダーの表示は、設定によって異なります。

注意!

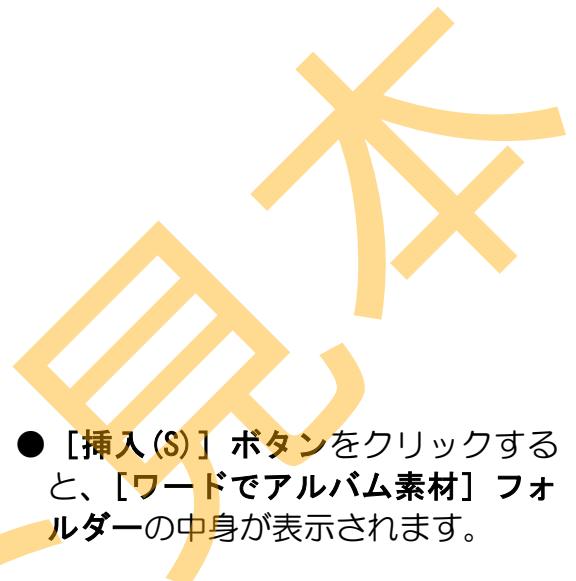
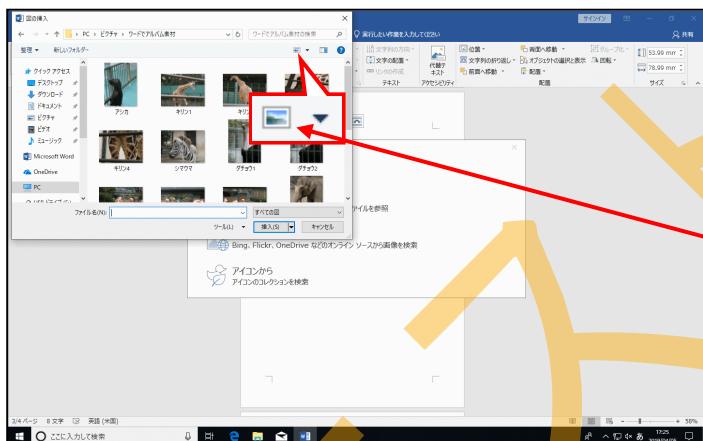
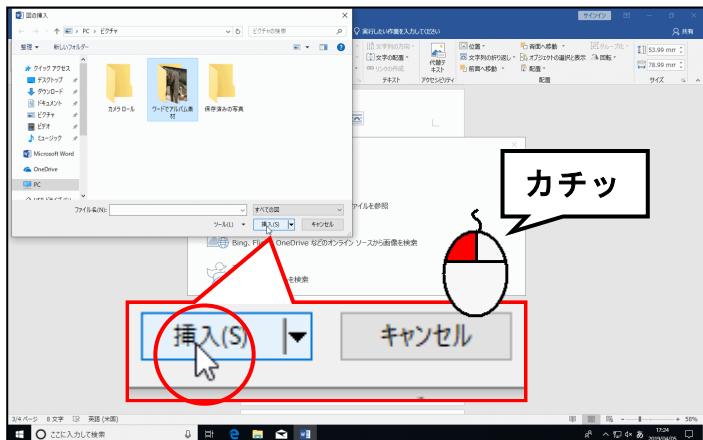
●すでに【ワードでアルバム素材】フォルダーの中身が表示されている状態(P106の真ん中の状態)であれば、P106の一番下の状態から操作してください。



【図の挿入】ダイアログボックスが「ピクチャ」になっていることを確認して、【ワードでアルバム素材】フォルダーにポイントし、クリックします。

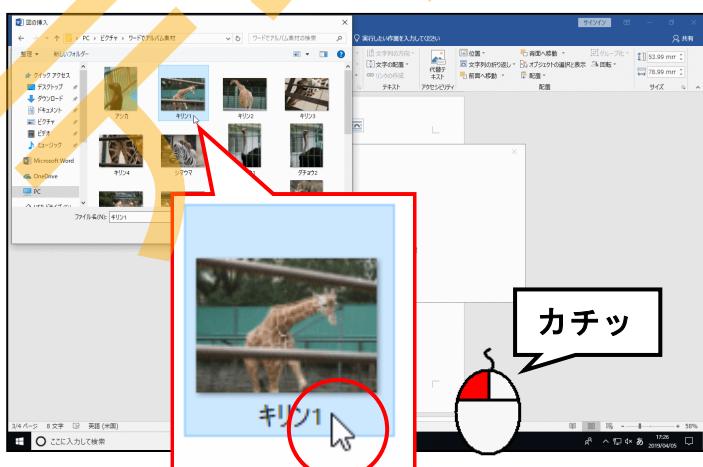


[図の挿入] ダイアログボックス右下にある [挿入(S)] ボタンにポイントし、クリックします。



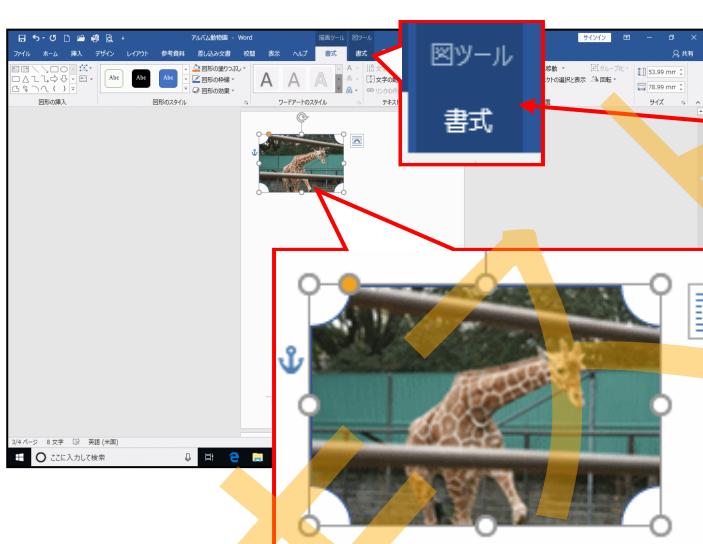
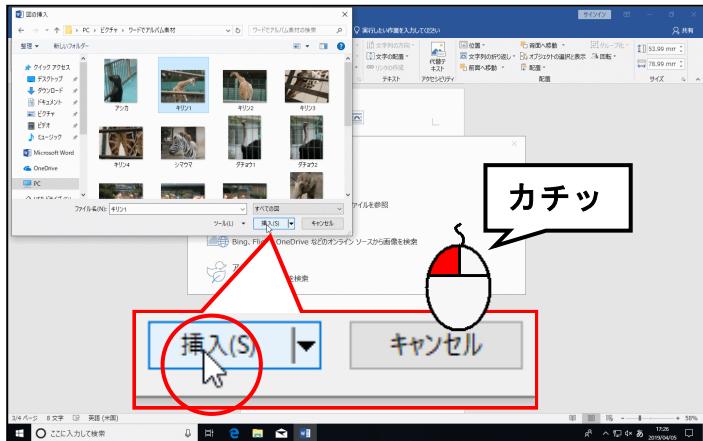
- [挿入(S)] ボタンをクリックすると、[ワードでアルバム素材] フォルダーの中身が表示されます。
- [ワードでアルバム素材] フォルダーの中身が左のように表示されない場合は、[図の挿入] ダイアログボックスの右上にある の ▾ をクリックして、 をクリックしてください。

表示された一覧から「キリン1」にポイントし、クリックします。



- 「キリン1」の写真で図形を塗りつぶします。

[図の挿入] ダイアログボックス右下にある [挿入(S)] ボタンにポイントし、クリックします。



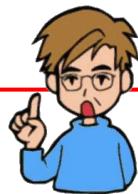
- [挿入(S)] ボタンをクリックした時点で、図ツールの [書式] タブが表示されたと同時に、プローチの図形の中に「キリン1」の写真が挿入されました。

(3) 図形のサイズ変更

プローチの図形の中に写真が挿入されたところで、ここからは、図形のサイズ変更を行います。



■ サイズ変更を行う前に…



通常、デジカメで写真を撮ると、**図1**のように約「4：3」のサイズ比になっています。そのため、図形のサイズ変更をする際にこの比率を守らないと、**図2**のように縦に伸びた写真になったり、横に伸びた写真になったりして、元の写真とはかけ離れたものになってしまふので注意が必要です。(※デジタル一眼レフの場合は、約「3：2」。スマートフォン「android 端末」は多くの方が約「16：9」、「iPhone」は通常約「4：3」)また、図形の中に挿入する写真が、縦長なのか横長なのかによっても注意して見る必要があります。

図1

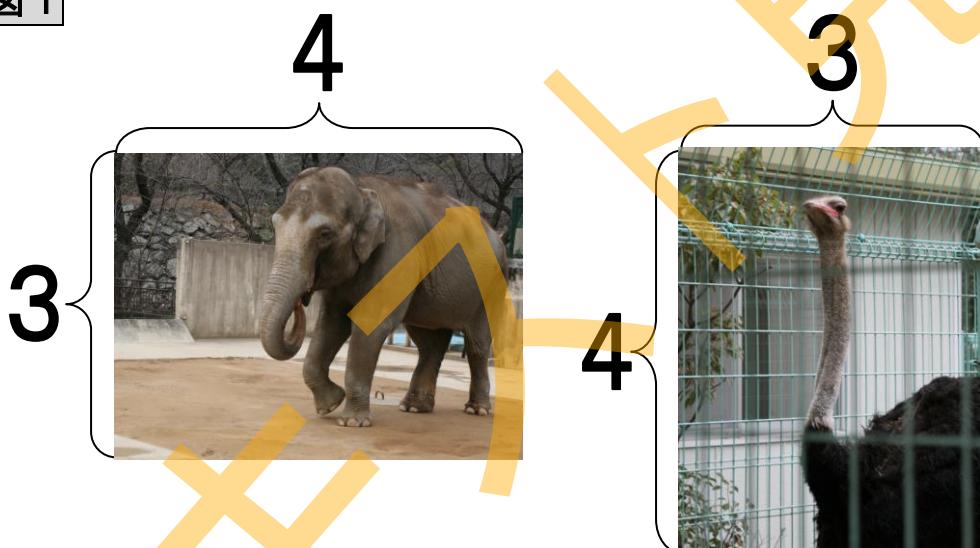


図2



① 数値を入力して図形のサイズを変更する

どうやって4:3の比率を守る？

ウメさん「デジカメで撮った写真の比率が4:3で、その比率を守らないと、元の写真とはかけ離れたものになるということはわかったわ。でも、どうやって4:3の比率を守るの？」



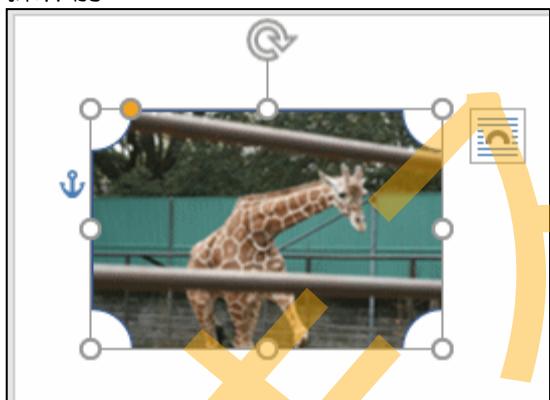
くじら先生「図形のサイズを変更する方法は、大きく分けて「数値を入力してサイズを変更する」方法と「ドラッグでサイズを変更する」方法の2種類があります。図形を描いて写真を挿入した場合、4:3の比率を守るため、まず、「数値を入力してサイズを変更する」方法でサイズ変更を行います。」



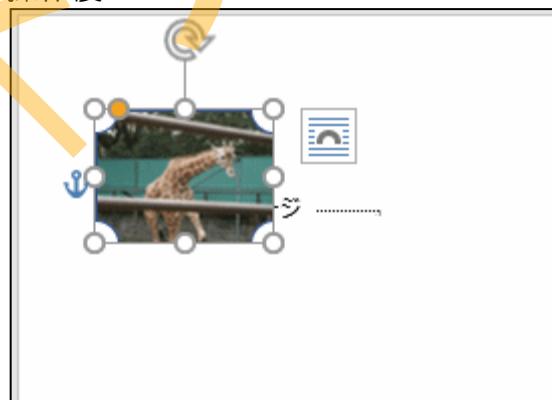
ここでは、描画ツールの【書式】タブの【サイズ】グループで図形のサイズを設定してみましょう。

◆数値を入力して図形のサイズを変更する方法をマスターしましょう。

操作前



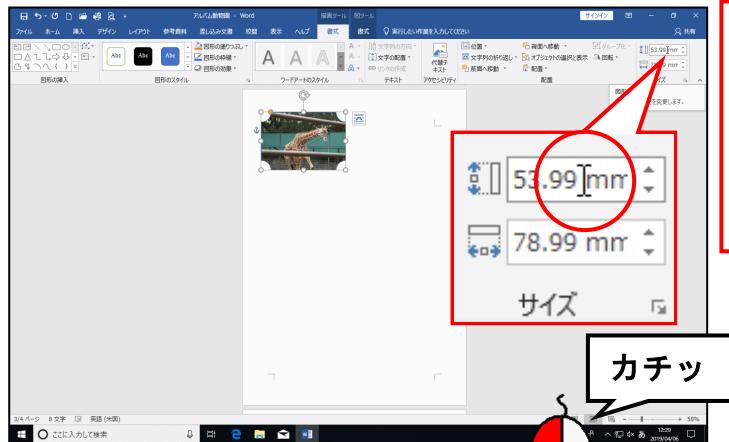
操作後



注意！

操作は次ページからです！

[サイズ] グループにある [図形の高さ] ボックスの中にポイントし、クリックします。

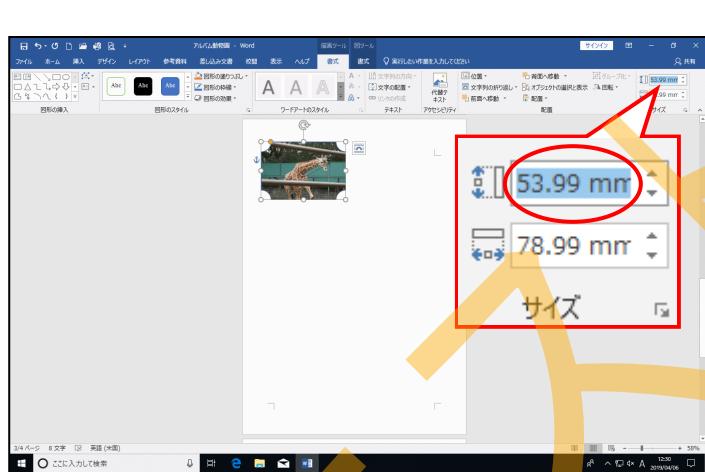


注意!

- ブローチの図形が選択されていること、描画ツールの [書式] タブが選択されていることを確認してください。



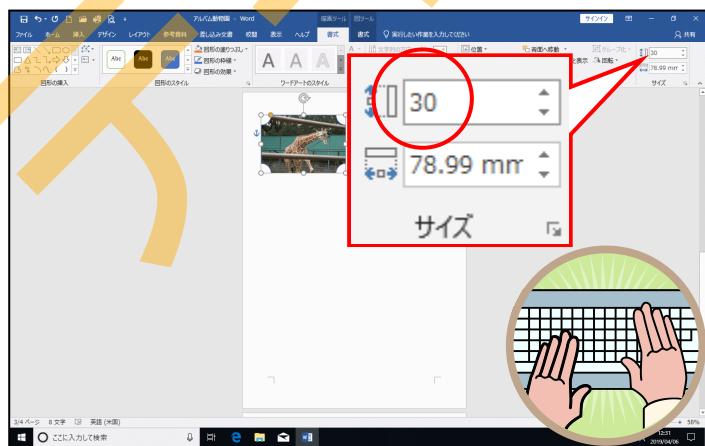
カチッ



- [図形の高さ] ボックスにポイントすると、マウスポインターが I になります。また、[図形の高さ] ボックス内に、左と同じ数字が表示されているとは限りません。

- [図形の高さ] ボックスの中でクリックすると、ボックス内に表示されていた数値が反転表示され、選択されます。

[図形の高さ] ボックス内の数値が反転表示されていることを確認して、「30」を入力します。

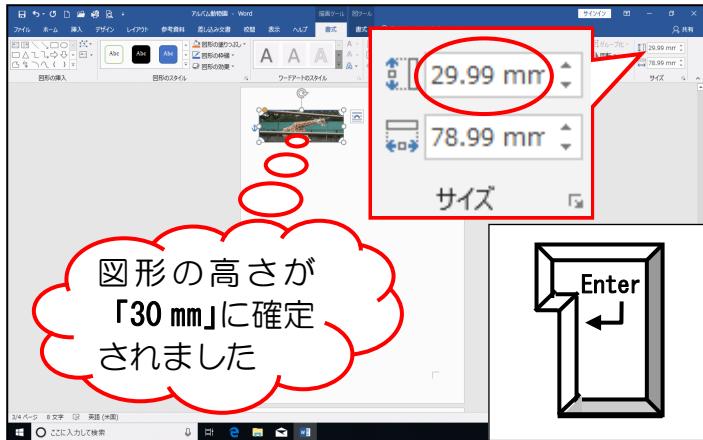


- 反転表示された状態で「30」を入力すると、表示されていた数値に上書きされます。

注意!

- ブローチの図形の中に挿入した写真は横長なので、高さを「30」に、次の操作で幅を「40」に設定して「4 : 3」の比率を守ります。比率が「4 : 3」であればいいので、高さを「60」に、幅を「80」に設定しても結構です。つまり「4 : 3」の比率さえ守れば、「何 : 何」に設定してもOKということです。

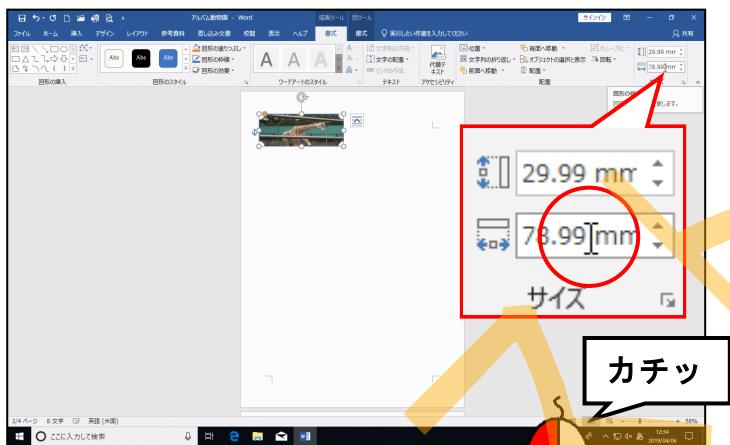
[Enter] キーを押します。



- [Enter] キーを押してサイズを確定すると、「30」と入力したのに「29.99」と表示されますが、写真の比率は約「4：3」ですから、多少の誤差は気にしないようにしましょう。

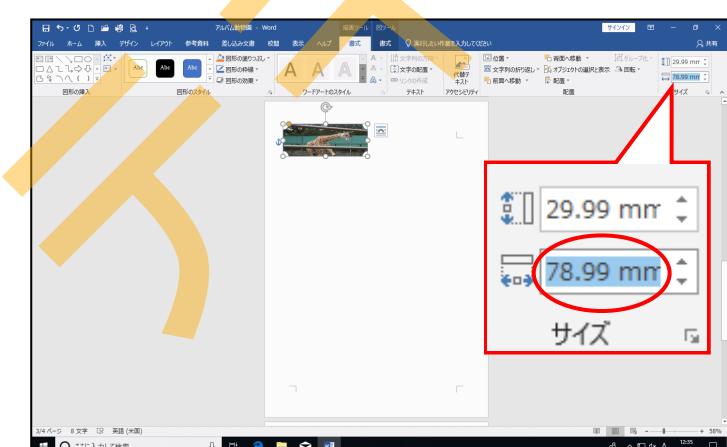


[サイズ] グループにある [図形の幅] ボックスの中にポイントし、クリックします。



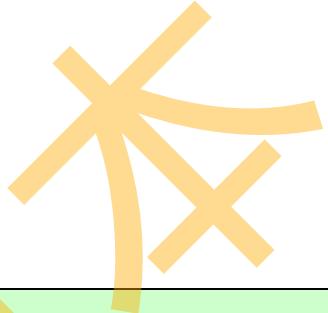
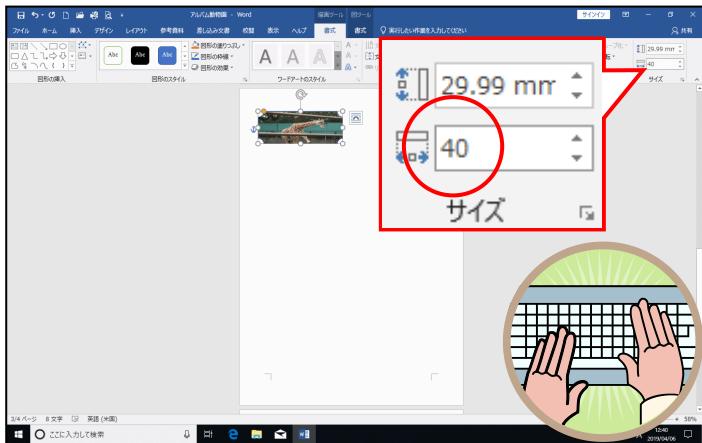
- [図形の幅] ボックスにポイントすると、マウスポインターが I になります。

- 左と同じ数字が、[図形の幅] ボックス内に表示されているとは限りません。

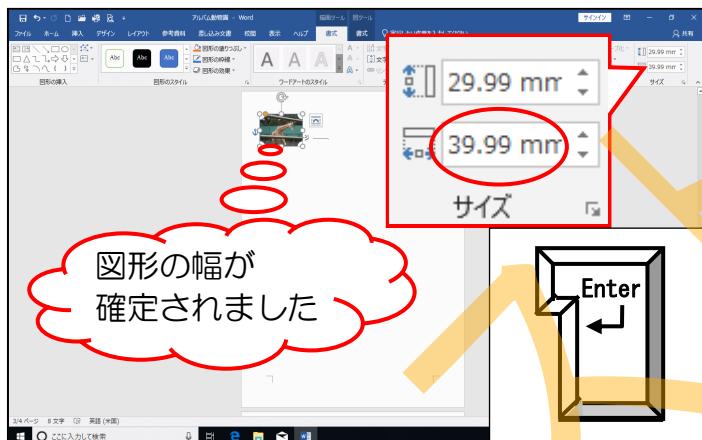


- [図形の幅] ボックスの中でクリックすると、ボックス内に表示されていた数値が反転表示され、選択されます。

[図形の幅] ボックス内の数値が反転表示されていることを確認して、「40」を入力します。



[Enter] キーを押します。



● [Enter] キーを押してサイズを確定すると、「40」と入力したのに「39.99」と表示されますが、写真の比率は約「4 : 3」ですから、多少の誤差は気にしないようにしましょう。
これで、プローチの図形の比率が「4 : 3」になったことになります。



② ドラッグして図形のサイズを変更する

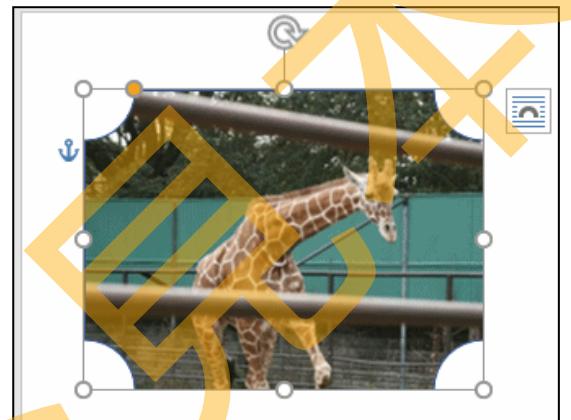
① 数値を入力してサイズを変更するでは、「4：3」の比率を守るため、数値を入力してサイズ変更しましたが、現在のサイズでは、写真が小さすぎます。ここからは、ドラッグでプローチの図形のサイズを大きくしましょう。ここで注意することは、先ほど設定した比率を守りつつ、サイズを変更するということです。

◆ ドラッグで比率を守って図形のサイズを変更する方法をマスターしましょう。

操作前

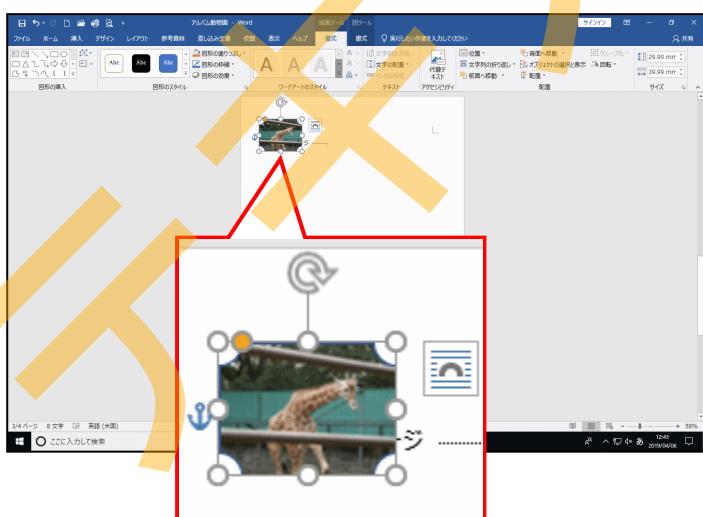


操作後



操作は下からです！

プローチの図形の周りに ● が表示されていることを確認します。



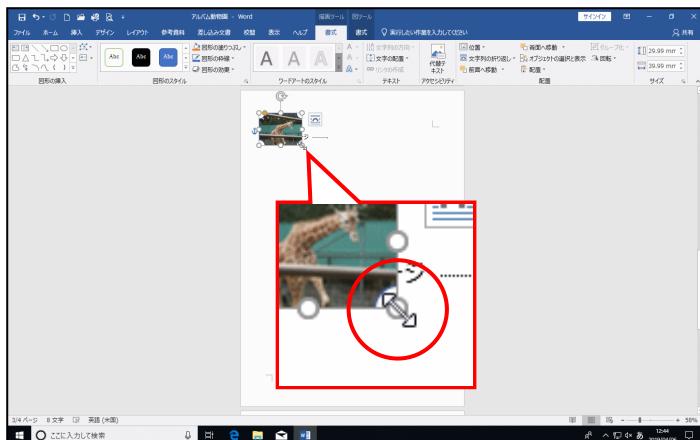
- ●（サイズ変更ハンドル）が表示されていなければ、プローチの図形の中でクリックしてから操作してください。

余裕があれば読んでね

- 図形中央上に表示された ⌂（回転ハンドル）は、図形を回転させるためのハンドルです。ポイントすると下図のようにマウスポインターが変わるので、ドラッグすると図形が左右に回転します。

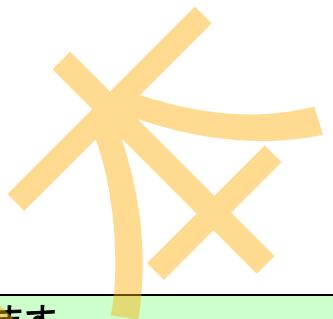


プローチの図形の右下に表示された ○ (サイズ変更ハンドル) にポイントし、マウスポイントが  に変わったことを確認します。

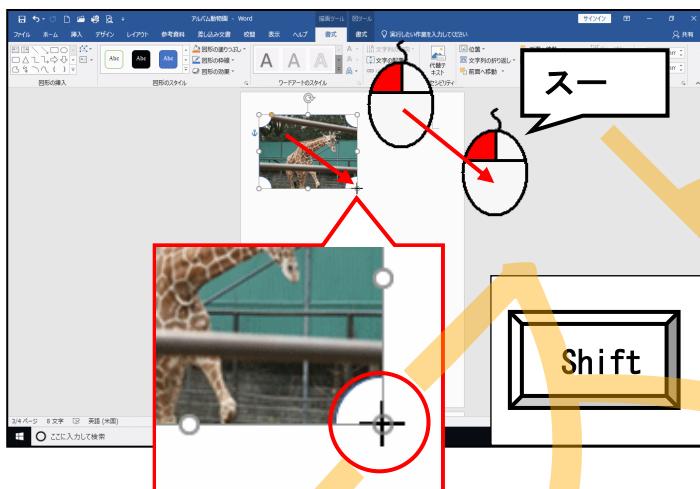


余裕があれば読んでね

- ポイントするハンドルによって、マウスポインターは次のようにいろいろな形に変わります。



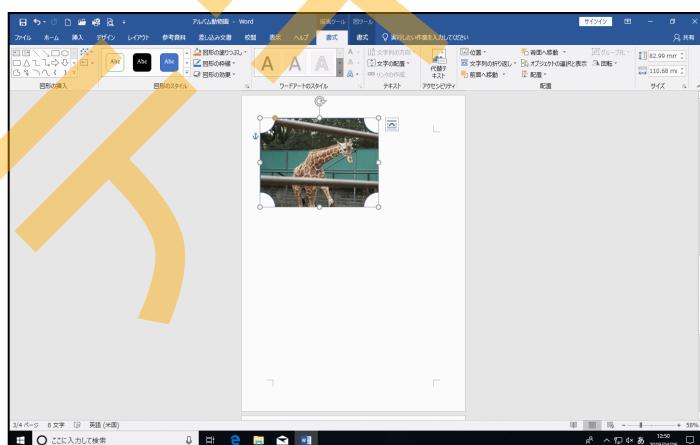
そのまま [Shift] キーを押した状態で右下に向かってドラッグします。



- 縦、横の比率を変えずに大きさを調整する場合は、マウスポインターが  もしくは  の状態で、必ず [Shift] キーを押した状態でドラッグしてください。



[Shift] キーは押したまま、マウスから指を離します。

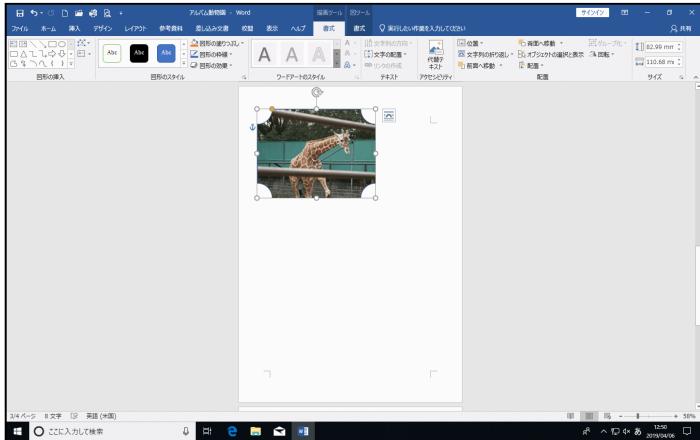


- まだ、[Shift] キーは押したまま!! 先に [Shift] キーを離してしまって、図形の縦横の比率が変わってしまいます。

- 必ずマウスから先に指を離すようにしましょう。



[Shift] キーから指を離します。



●マウスから指を離した時点で、写真の大きさが確定します。



これで、4:3の比率を守ったまま、写真のサイズ変更ができるわけね。

つまり、図形を描いてその中に写真を入れた場合、まず数値を入力してサイズ変更して、その後にドラッグしてサイズを変更すればいいのね。



ドラッグしてサイズを変更するときは、マウスポインターが↖の状態で [Shift] キーを押したままドラッグするってことも大事だね。

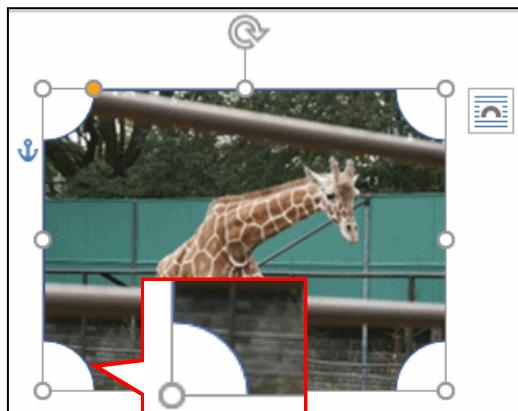
(4) 図形の枠線を非表示にする

現在のプローチの図形には、青い枠線が入った状態です。ここでは、プローチの図形の枠線を非表示にして、写真をより引き立たせましょう。

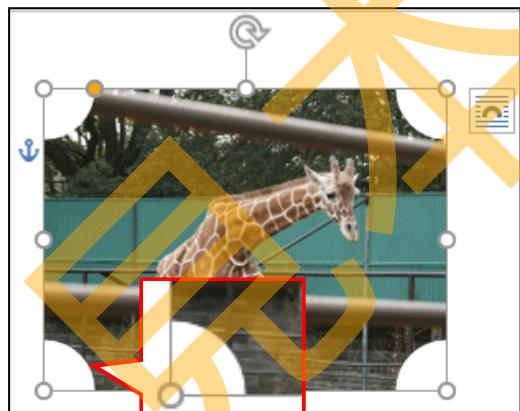
図形の枠線を非表示にするには、描画ツールの【書式】タブの【图形のスタイル】グループで設定します。

◆図形の枠線を非表示にする方法をマスターしましょう。

操作前



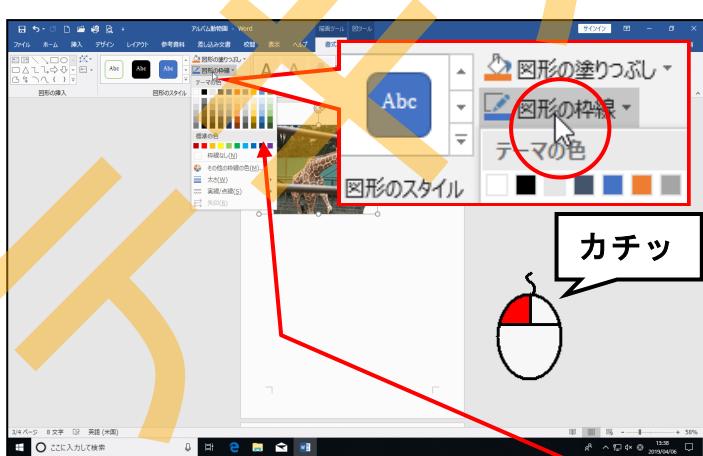
操作後



注意!

操作は下からです！

描いた図形の周りに○が表示されていること、【書式】タブが選択されていることを確認し、【图形のスタイル】グループにある笔画【图形の枠線】ボタンの图形の枠線にポイントし、クリックします。



注意!

- プローチの図形が選択されていること、描画ツールの【書式】タブが選択されていることを確認してから操作してください。



- 笔画【图形の枠線】ボタンの图形の枠線をクリックすると、左のように色の一覧が表示されます。

表示された一覧から【枠線なし(N)】にポイントし、クリックします。

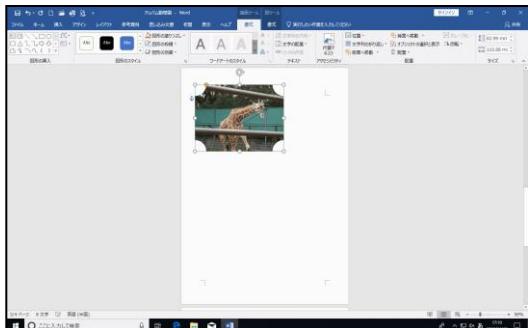


(5) 図形の移動

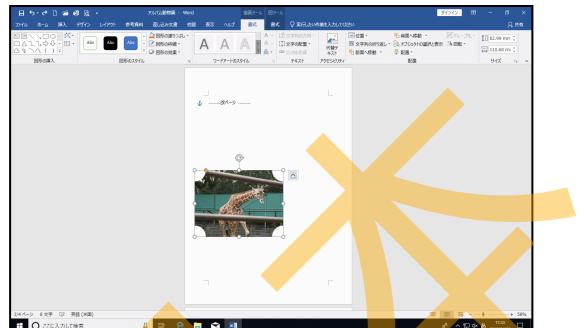
プローチの図形を3ページ目の中やや左下あたりに移動してみましょう。

◆図形を移動する方法をマスターしましょう。

操作前

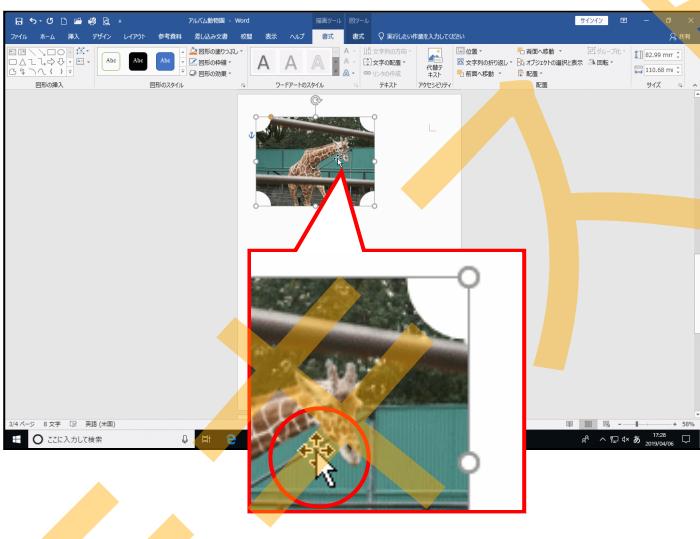


操作後



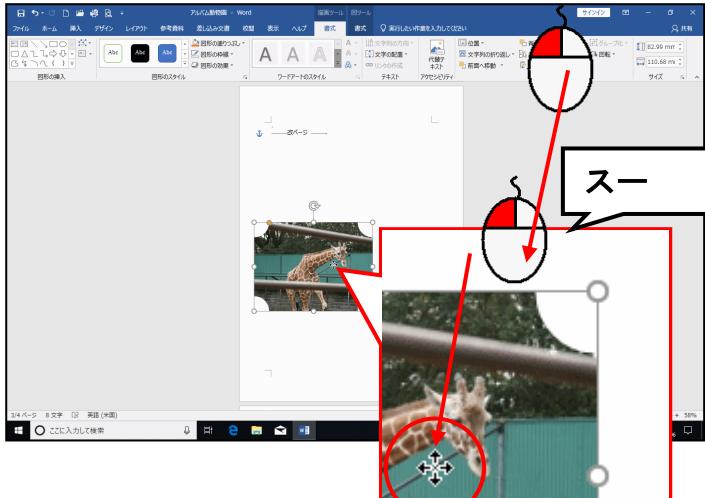
操作は下からです！

プローチの図形の中にマウスポインターを移動します。



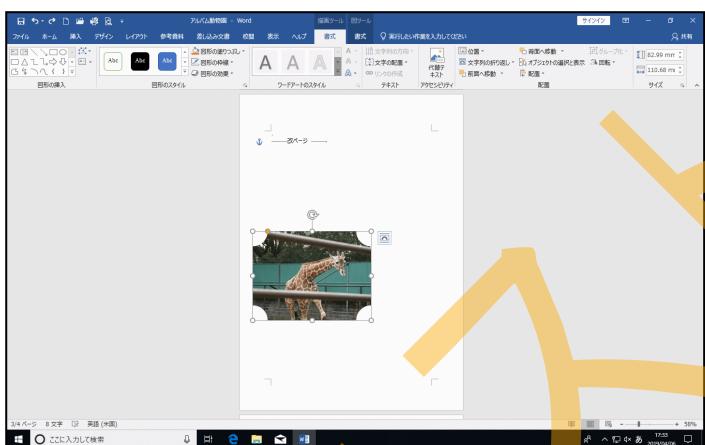
●プローチの図形にポイントすると、マウスポインターの形が になります。

そのまま、下図を参考にして、左下に向かってドラッグします。



- ドラッグ中のマウスポインターの形は の状態になっています。

- 図形を水平、垂直に移動したい場合は、[Shift] キーを押した状態でドラッグします。



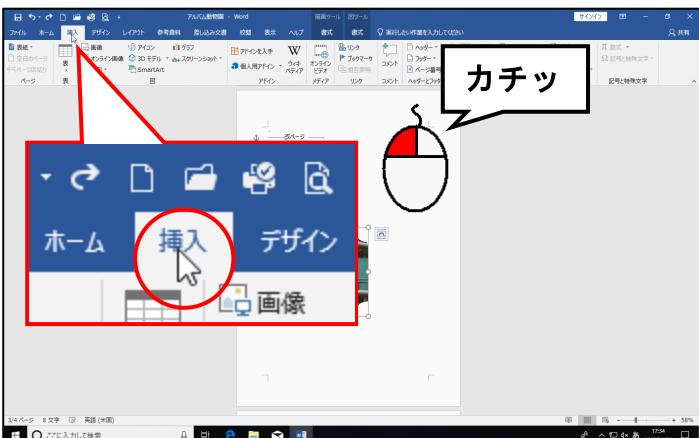
- マウスから指を離した時点で、プローチの図形の位置が確定します。

- 図形の位置を微調整したい場合は、図形が選択された状態（図形の周りに が表示されている）で、キーボードの「→」キー、「←」キー、「↑」キー、「↓」キーをそれぞれ押すと、図形の位置を微調整することができます。



◎ 次の操作の準備として、図形を描き、書式を設定しましょう。

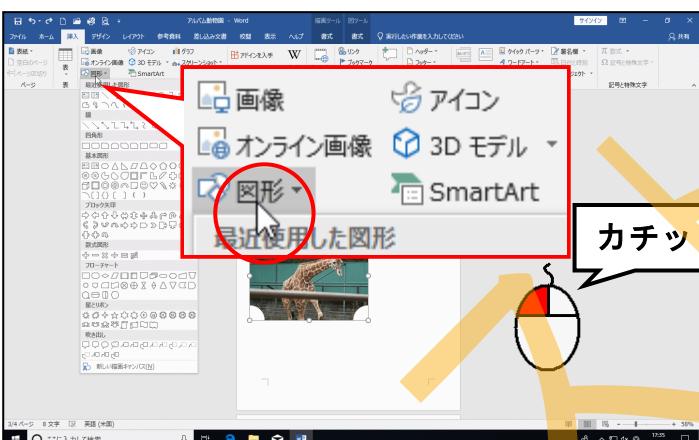
[挿入] タブにポイントし、クリックします。



余裕があれば読んでね

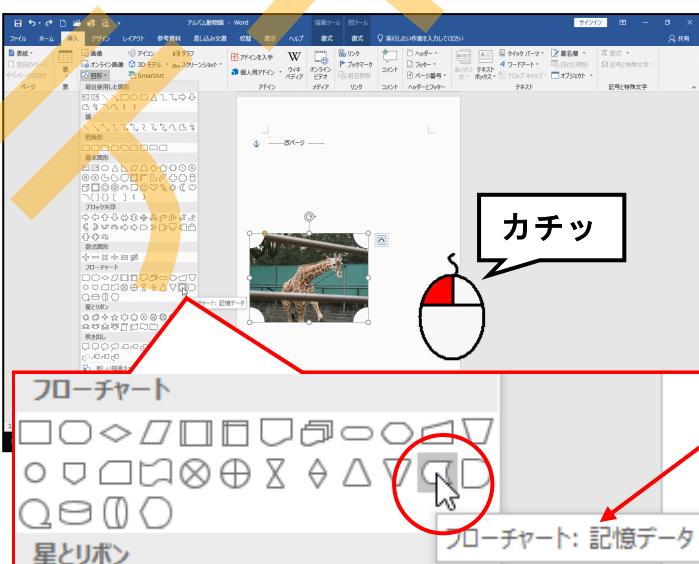
- 描画ツール [書式] タブの [図形の挿入] グループにある [その他] ボタンからでも図形を挿入することができます。

[図] グループにある 図形ボタンにポイントし、クリックします。



カチッ

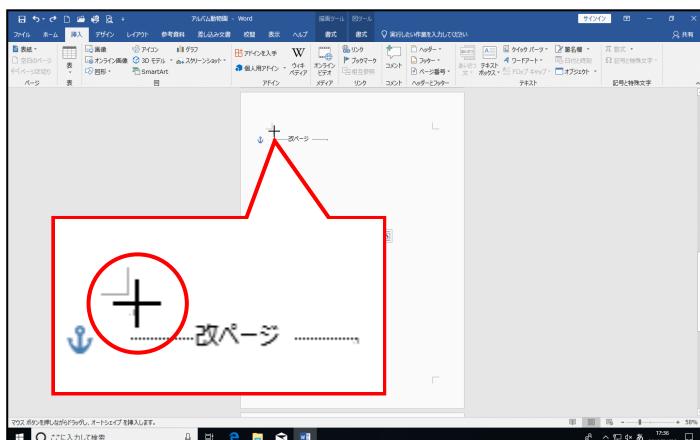
表示された図形一覧の [フローチャート] から 「フローチャート：記憶データ」にポイントし、クリックします。



- お使いのパソコンによって、図形の名称が違う場合があります。下図を参考に選びましょう。



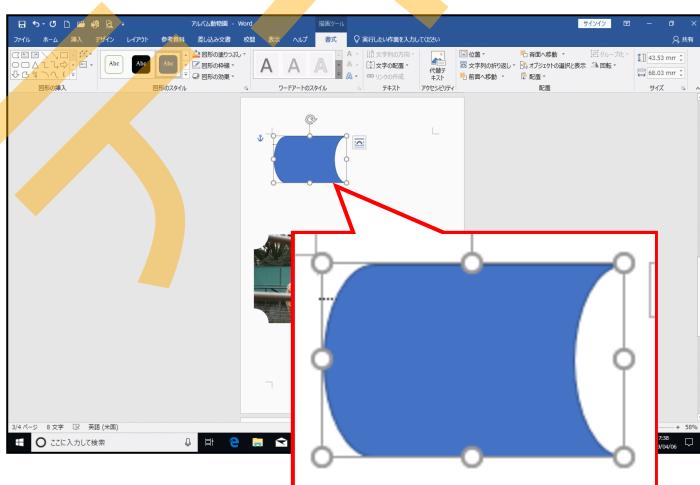
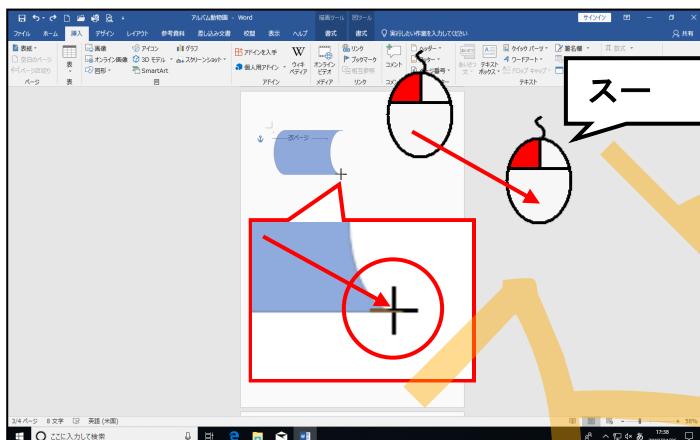
- 該当の図形にポイントすると、左の
ように図形の名前が表示されます。



● 「フローチャート：記憶データ」をクリックすると、マウスポインターが + の状態になります。

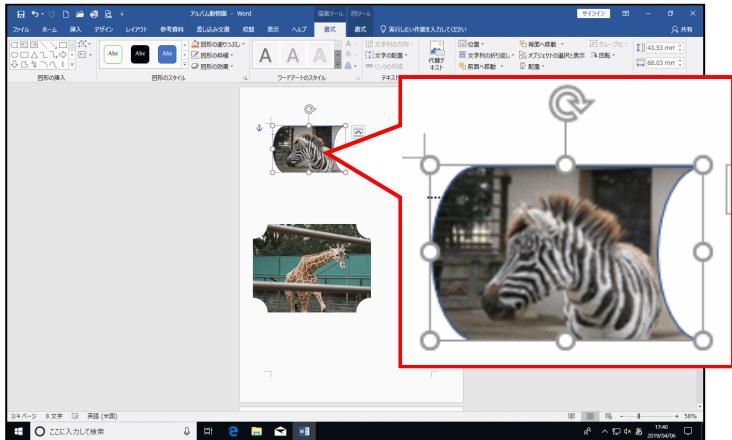


マウスポインターが + になっていることを確認して、右下に向かってドラッグします。



● マウスから指を離した時点で、図形の大きさ、位置が確定します。

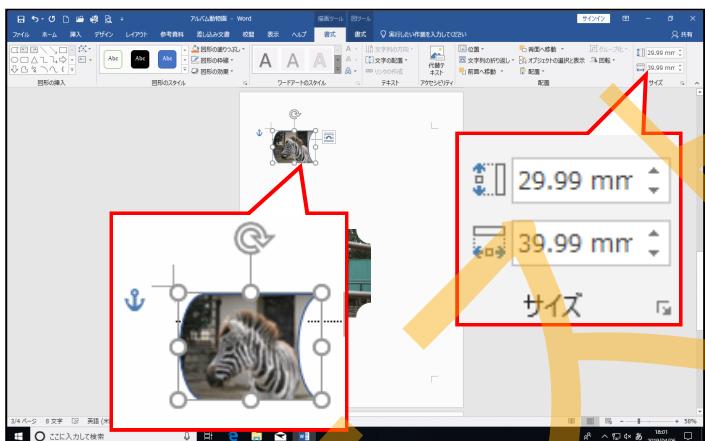
[ピクチャ] フォルダーの [ワードでアルバム素材] フォルダーから「シマウマ」の写真をフローチャート：記憶データの中に挿入します。



- 図形の中に写真を挿入する方法を忘れた方は、P103 (2) 図形の中に写真を挿入するを参照してください。



フローチャート：記憶データの中に写真が挿入されたところで、高さを「30」に、幅を「40」に設定します。

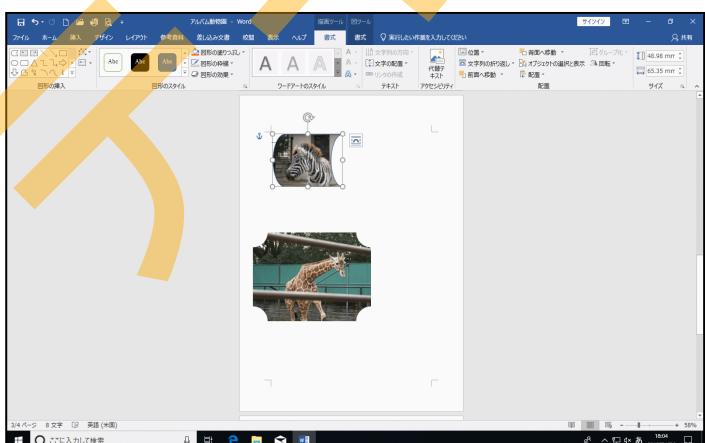


注意!

- [図形の幅] ボックスには、「30」を入力しても「29.99」が表示されます、写真の比率は約「4 : 3」ですから、多少の誤差は気にしないようにしましょう。

- サイズ変更を忘れた方は、P109 ① 数値を入力して図形のサイズを変更するを参照してください。

下図を参考にドラッグしてフローチャート：記憶データのサイズを変更します。

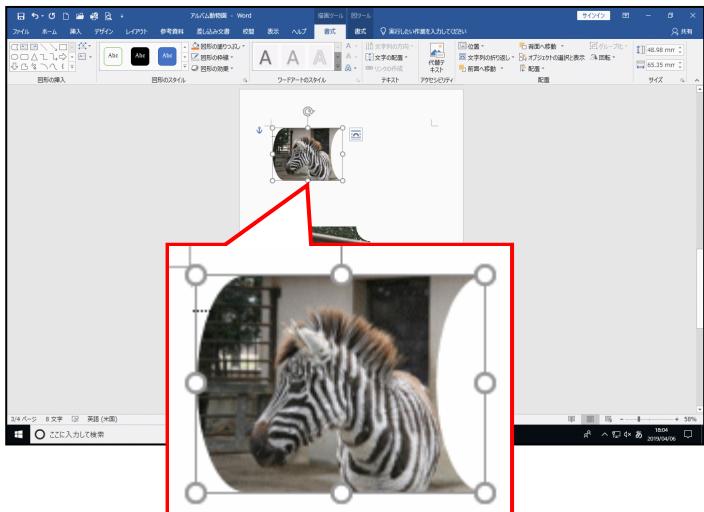


- フローチャート：記憶データの縦、横の比率を守るために、マウスポインターが ↗ もしくは ↘ の状態で、必ず [Shift] キーを押した状態でドラッグしてください。

- サイズ変更を忘れた方は、P113 ② ドラッグして図形のサイズを変更するを参照してください。

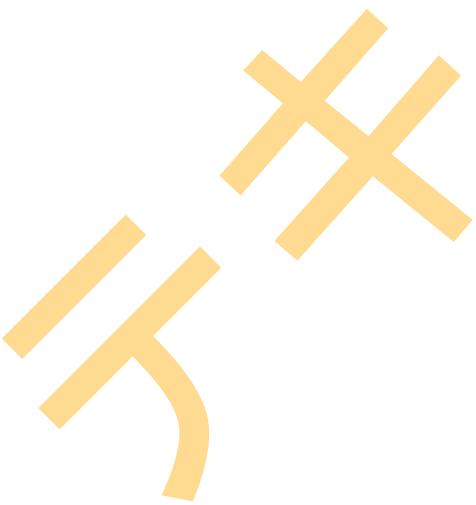
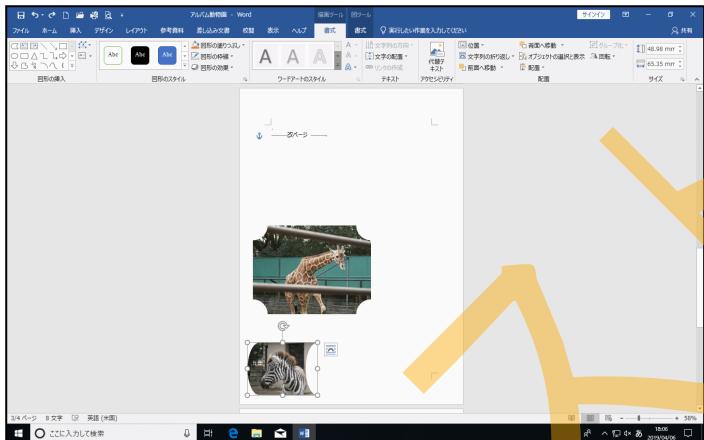


フローチャート：記憶データの枠線を非表示に設定します。



● 枠線を非表示する方法を忘れた方は、P116 (4) 図形の枠線を非表示にするを参照してください。

下図を参考にフローチャート：記憶データを移動します。



(6) 図形のコピー

1枚の写真の設定をするのが大変



ケンちゃん「先生。やっと図形から写真を2枚入れることができました。
でも、他にも写真を入れるんでしょう？ 図形を描いてから
写真を挿入する方法って大変じゃない??」

くじら先生「そうですね。1枚1枚図形を描いて、その中に写真を挿入し、サイズ変更、
図形の枠線の非表示、移動などの設定をしていくには、相当な時間がかかります。」

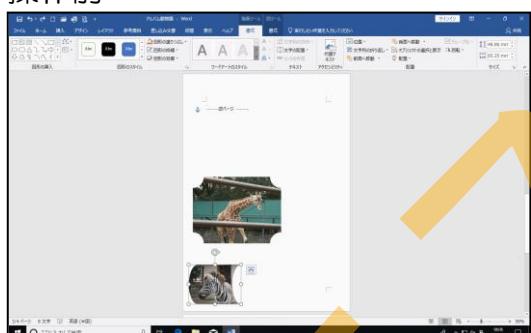
ケンちゃん「何かいい方法ないの？」

くじら先生「ありますよ。同じ図形や、設定内容が同じ場合、諸設定を行った後、その図形をコピーして、中の写真を変更することができます。」

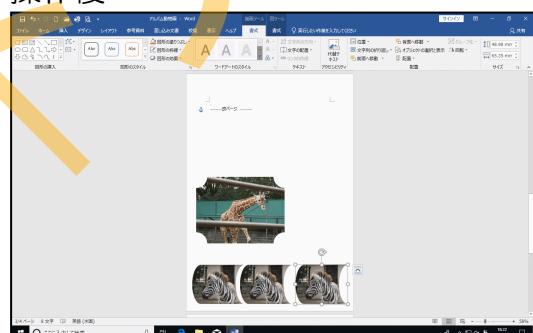
ここでは、フローチャート：記憶データをコピーしていきます。

◆図形をコピーする方法をマスターしましょう。

操作前



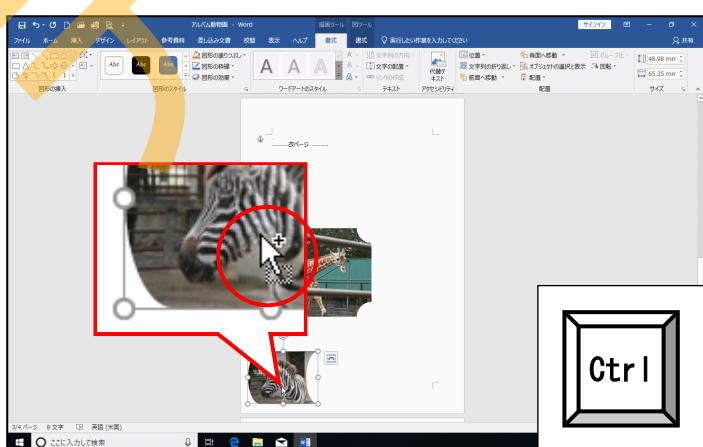
操作後



注意!

操作は下からです！

フローチャート：記憶データの中にポイントし、マウスポインターが↑になったところで [Ctrl] キーを押したままにします。

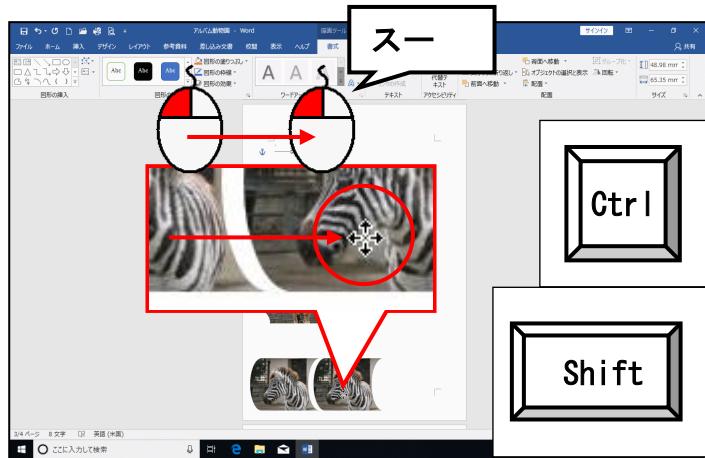


● [Ctrl] キーを押すと、マウスポインターが↑から→に変わります。
[Ctrl] キーを押すのは、コピー操作を行うためです。

● 図形をコピーするときは、マウスの左ボタンを押すより先に [Ctrl] キーを押す必要があります。

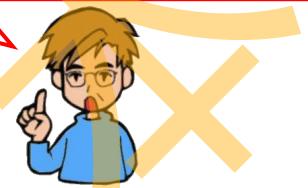


そのまま [Ctrl] キーと [Shift] キーを同時に押した状態で右に向かってドラッグします。

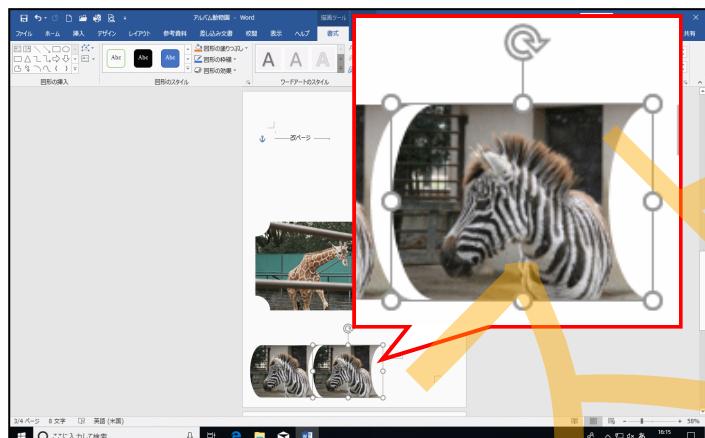


● ドラッグ中は、マウスポインターは の形になります。

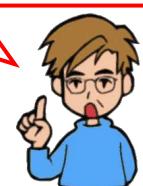
● [Ctrl] キーを押した状態で図形をドラッグすると、その図形がコピーされます。
また、[Ctrl] キーと同時に [Shift] キーを押した状態でドラッグすると、水平、垂直に図形がコピーされます。



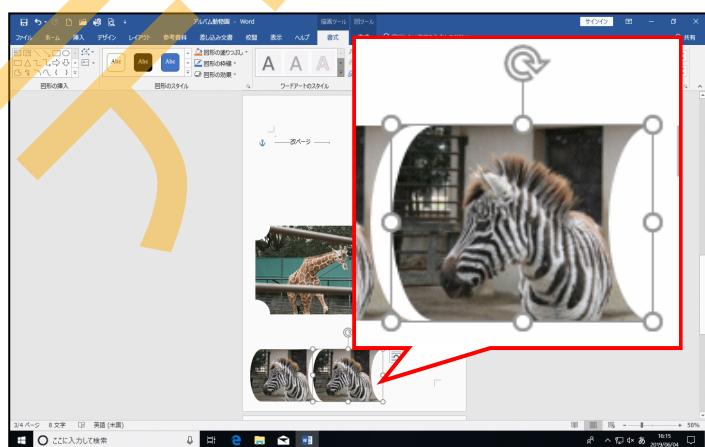
マウスから指を離します。



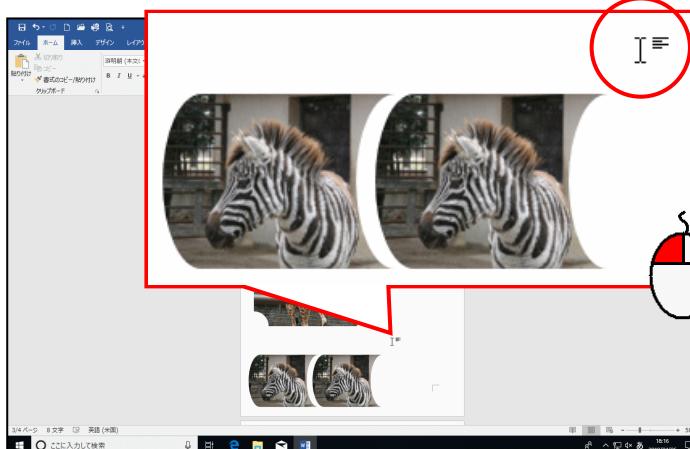
● まだ、[Shift] キーは押したまま!!
ドラッグし始めると、[Ctrl] キーは離しても構いませんが、[Shift] キーを離してしまふと、水平、垂直にコピーできません。
水平、もしくは垂直にコピーする場合は、マウスから指を離してから [Ctrl] キーと [Shift] キーを離すようにクセを付けておくと失敗が少ないです。



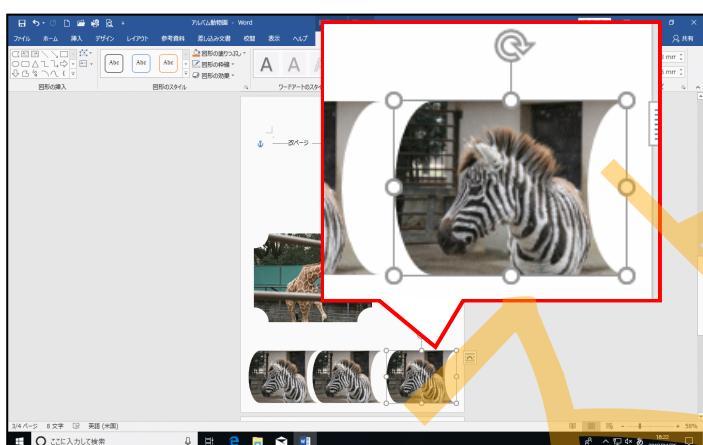
[Ctrl] キーと [Shift] キーから指を離します。



シマウマの図形以外の部分をクリックして選択を解除します。



同様にして、シマウマの図形を選択し、もうひとつ右側へ水平にコピーします。



次の操作のために、シマウマの図形以外の部分をクリックして選択を解除しておきましょう。



図形をコピーすると、図形の中に写真を挿入したり、サイズ変更したり、枠線を非表示にしたり、移動したりといった操作は短縮できたけど、写真が全部シマウマだよお～～。
先生。これでいいの??

はい。大丈夫ですよ。
次のページから図形の中に入っているシマウマの写真だけを違う写真に変更していきます。



(7) 写真の変更

前節で、フローチャート：記憶データをコピーして3つ作成しましたが、写真がすべて同じです。ここでは、フローチャート：記憶データの中の写真をそれぞれ違う写真に変更していきましょう。

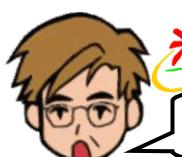
図形の中の写真を変更する場合、描画ツールの【書式】タブの【図形のスタイル】グループから変更します。

◆写真を変更する方法をマスターしましょう。

操作前

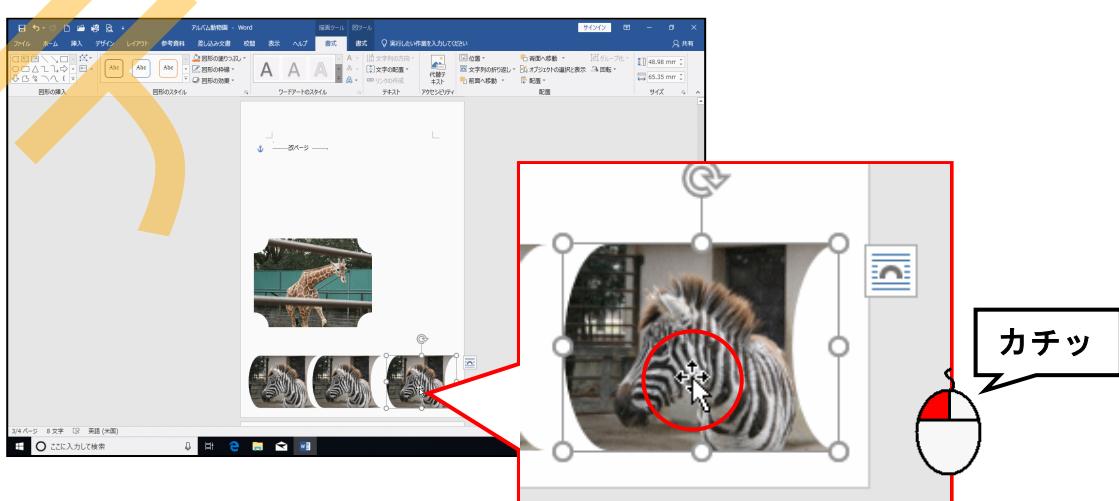


操作後

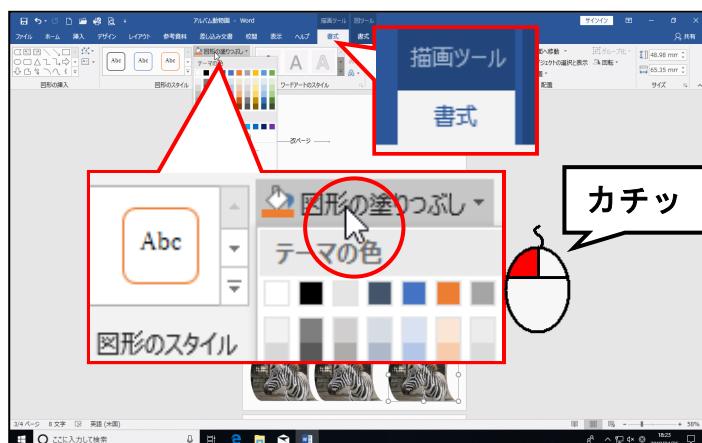


操作は下からです！

右下のフローチャート：記憶データをクリックして選択します。



描画ツールの【書式】タブが選択されていることを確認して【図形のスタイル】グループにある 図形の塗りつぶし ▾ 【図形の塗りつぶし】ボタンの 図形の塗りつぶし ▾ にポイントし、クリックします。

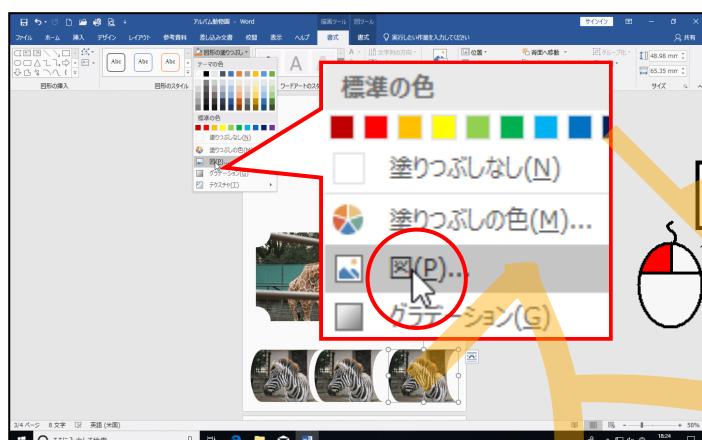


注意!

● 描画ツールの【書式】タブが選択されていない方は、描画ツールの【書式】タブをクリックして選択してから操作しましょう。

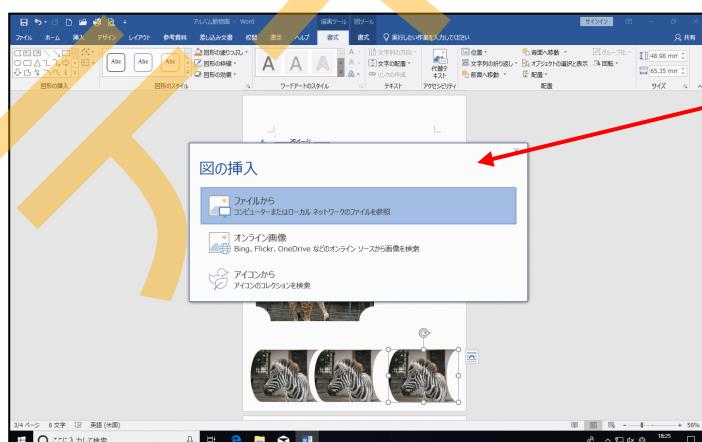


表示された一覧から【図(P)...】にポイントし、クリックします。

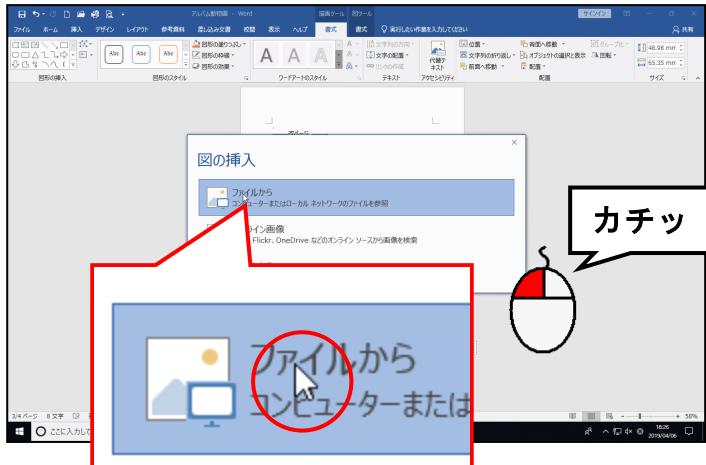


カチッ

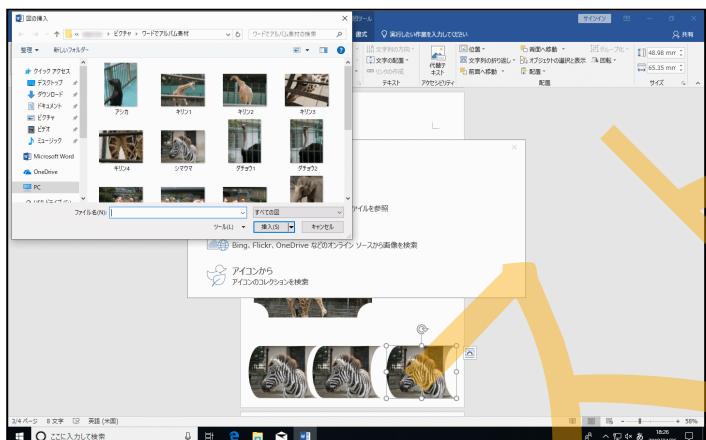
● 【図(P)...】をクリックすると、左のように【図の挿入】ウィンドウが表示されます。



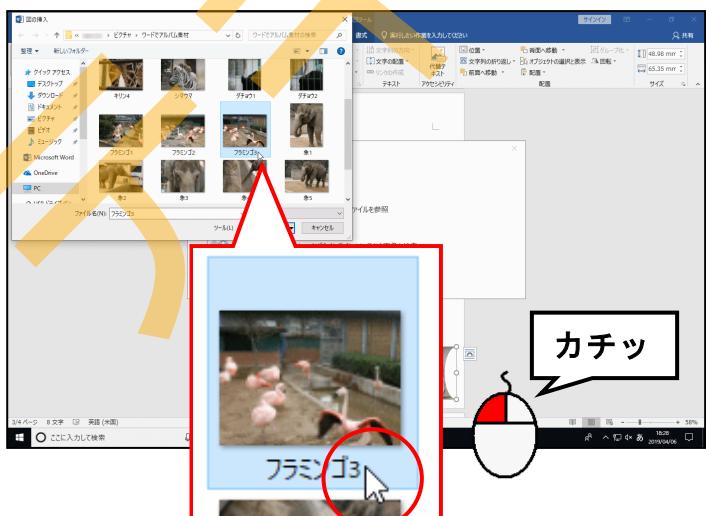
表示された【図の挿入】ウィンドウで「ファイルから」にポイントし、クリックします。



- 左と同じ画面にならなかった方は、ファイルの場所を「ピクチャ」に指定し、[ワードでアルバム素材] フォルダーをクリックして、[挿入(S)] ボタンをクリックしてください。

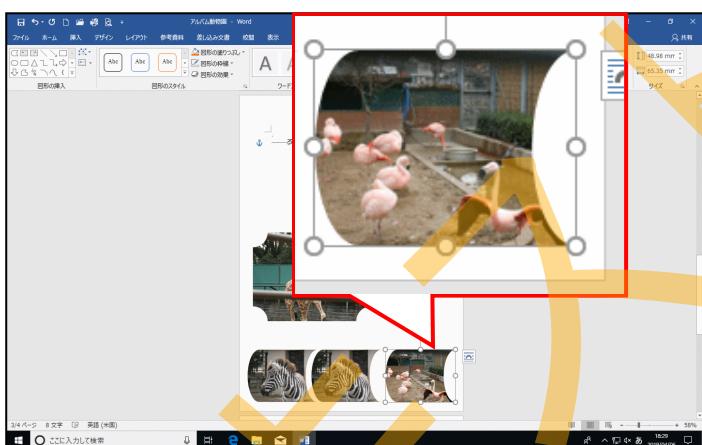
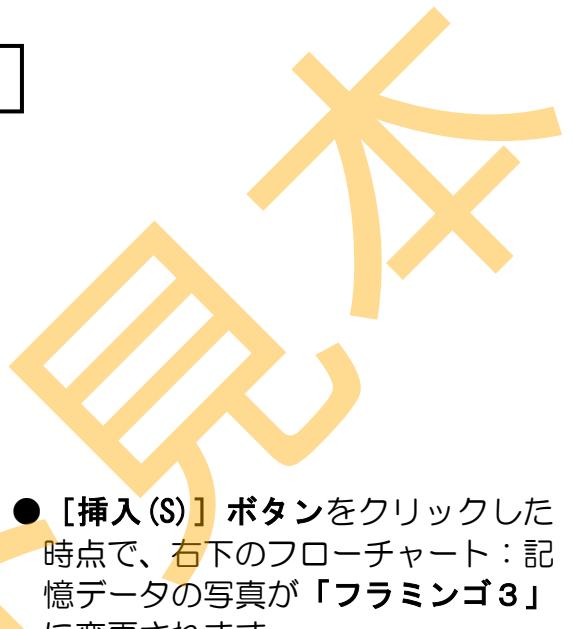
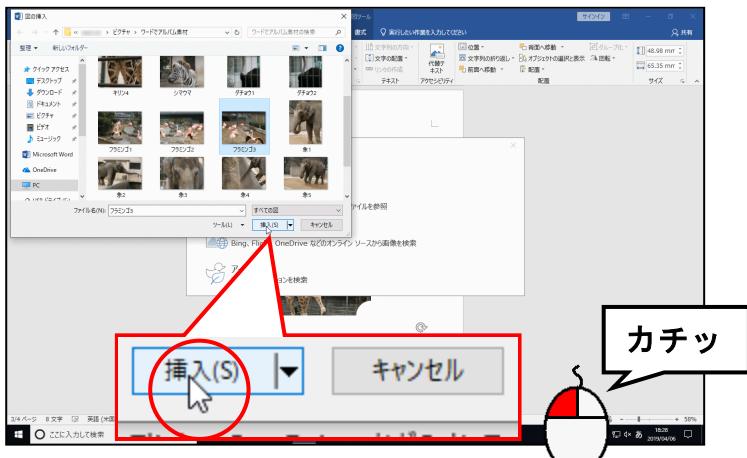


表示された一覧から「フラミンゴ3」にポイントし、クリックします。



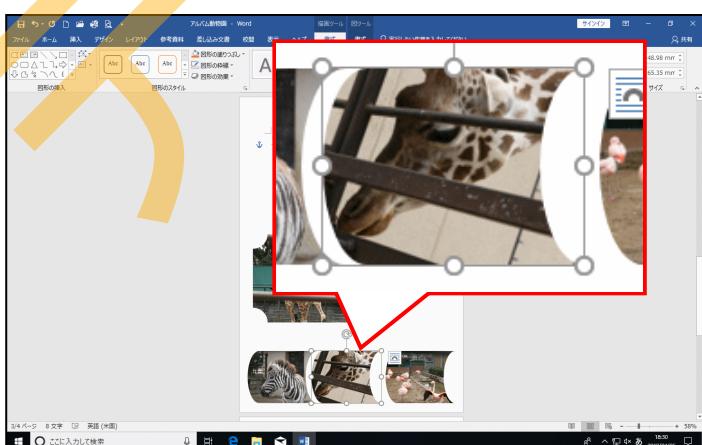
- 右下のフローチャート：記憶データの写真を「フラミンゴ3」に変更するため、クリックして選択します。

[図の挿入] ダイアログボックス右下にある [挿入(S)] ボタンにポイントし、クリックします。



● [挿入(S)] ボタンをクリックした時点で、右下のフローチャート：記憶データの写真が「フラミンゴ3」に変更されます。

同様にして、中央下のフローチャート：記憶データの写真を「キリン3」に変更します。



(8) 図形の変更

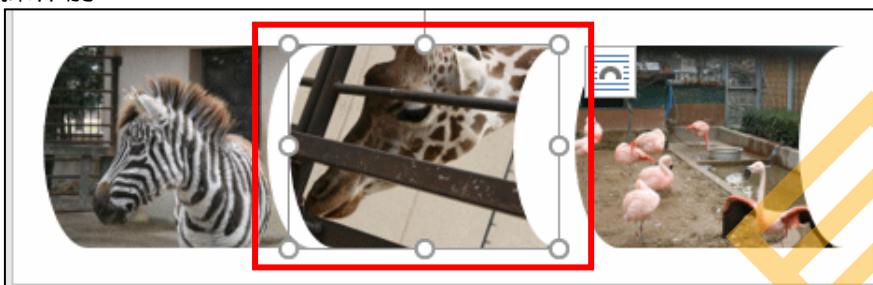
ここでは、前節で「キリン3」に写真を変更したフローチャート：記憶データの図形をブローチに変更します。

この操作には、「1から図形を描かなくて済む」というメリットがあります。

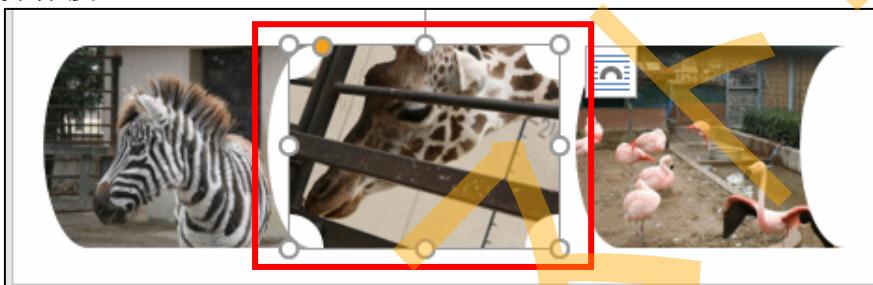
1から図形を描くと、その後に、サイズ変更、写真の挿入、移動、図形の枠線の非表示など設定しなくてはならない作業が数多くありますが、「図形の変更」という操作をマスターすると、操作の短縮につながりますので、ぜひマスターしましょう。

◆図形を変更する方法をマスターしましょう。

操作前

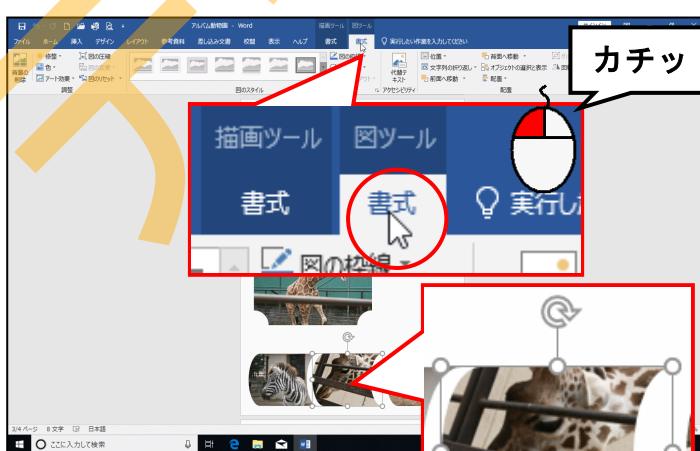


操作後



操作は下からです！

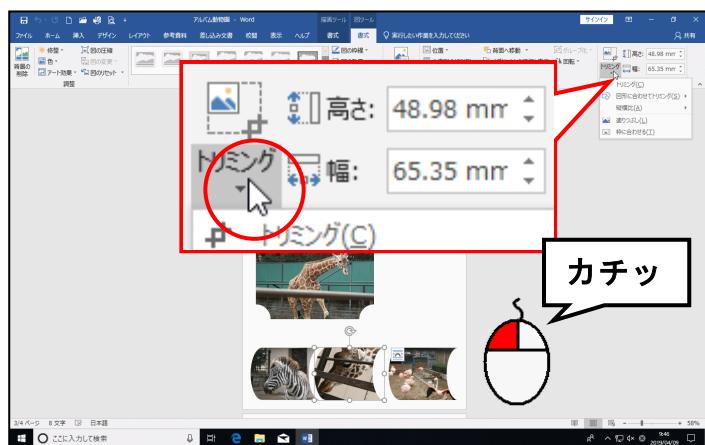
中央下のフローチャート：記憶データが選択されていることを確認し、図ツールの【書式】タブにポイントし、クリックします。



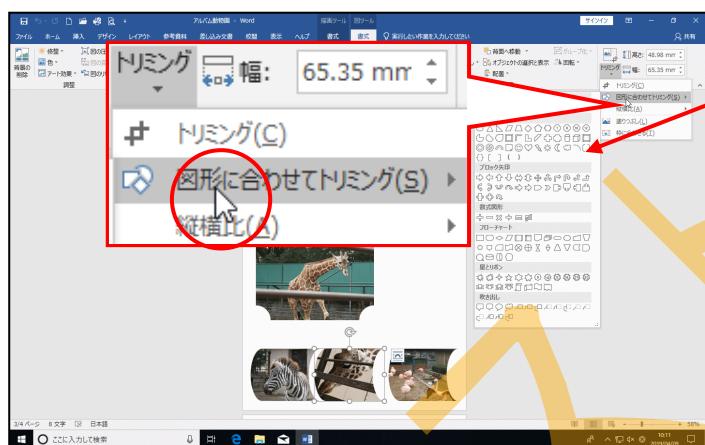
余裕があれば読んでね

●描画ツール【書式】タブの【図形の挿入】グループの 【図形の編集】ボタンの【図形の変更(N)】でも図形を変更することができます。

[サイズ] グループの [トリミング] ボタンの [トリミング] にポイントし、クリックします。

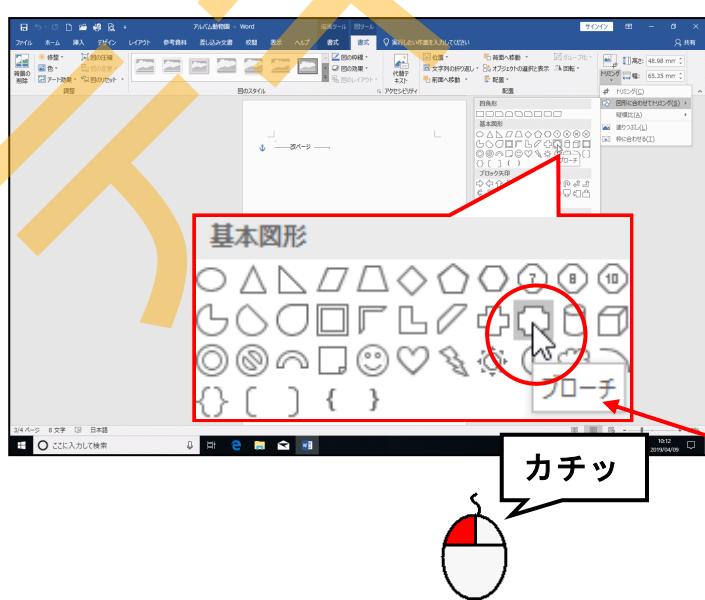


下に表示される一覧から [図形に合わせてトリミング(S)] にポイントします。



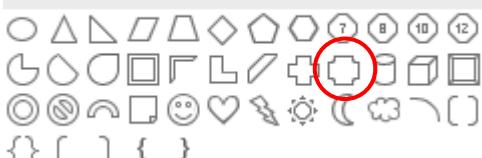
● [图形に合わせてトリミング(S)] にポイントすると、左のように图形の一覧が表示されます。

左に表示された图形一覧の [基本图形] から 「ブローチ」にポイントし、クリックします。

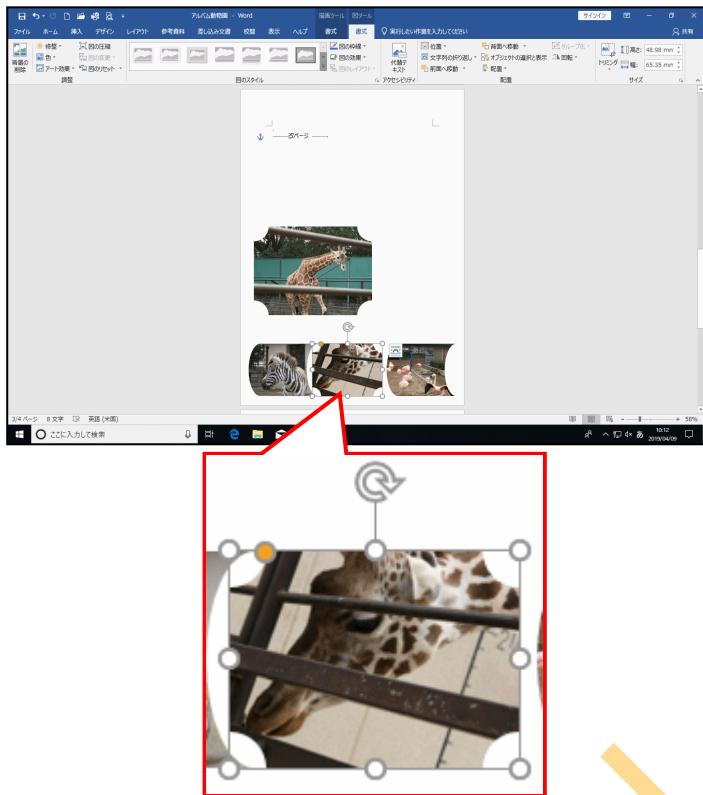


●お使いのパソコンによって、图形の名称が違う場合があります。下図を参考に選びましょう。

基本图形



●該当の图形にポイントすると、左のように图形の名前が表示されます。



- 「ブローチ」をクリックすると、選択されていたフローチャート：記憶データの図形がブローチに変更されます。



(9) 図形の変形

3ページ目の作成工程のように、図形から描いて写真を挿入した場合、描いた図形によっては、変形することができます。

変形できる図形？変形できない図形？



ウメさん「描いた図形によっては、変形できるのはわかったけど、どこで、それを見分けるの？」

くじら先生「図形を選択すると、○（サイズ変更ハンドル）が表示されます。

このサイズ変更ハンドルと同時に ● が表示される図形があります。

この ● は変形ハンドルと呼ばれ、その名の通り、図形を選択したときに ● が表示される図形は、変形することができます。」

ウメさん「ということは、図形を描いて ●（変形ハンドル）が表示されている図形は変形できるってわけね。」

くじら先生「その通りです。

下図は、変形できる図形と変形できない図形の一例になります。」



変形できる図形

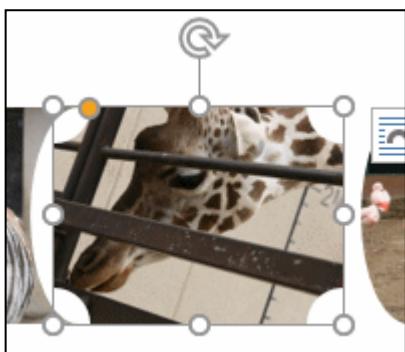
変形できない図形



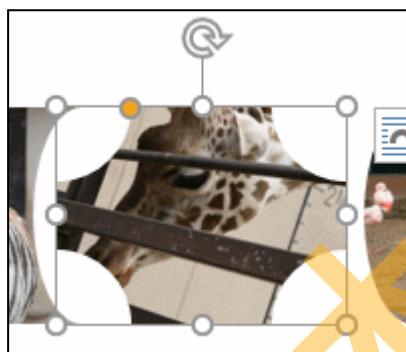
ここでは、中央下に表示されているブローチを変形してみましょう。

◆図形を変形する方法をマスターしましょう。

操作前

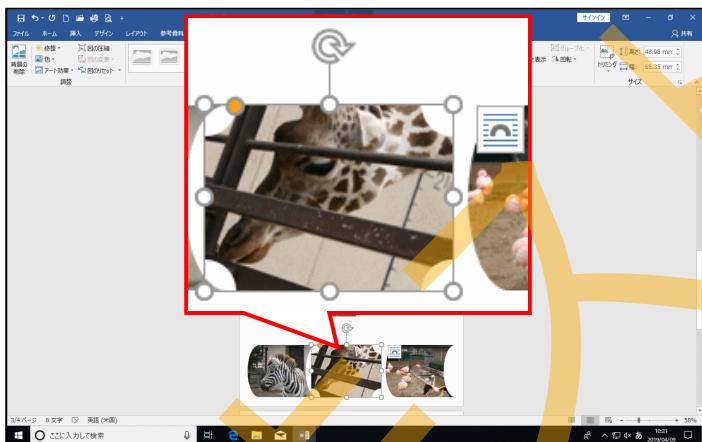


操作後

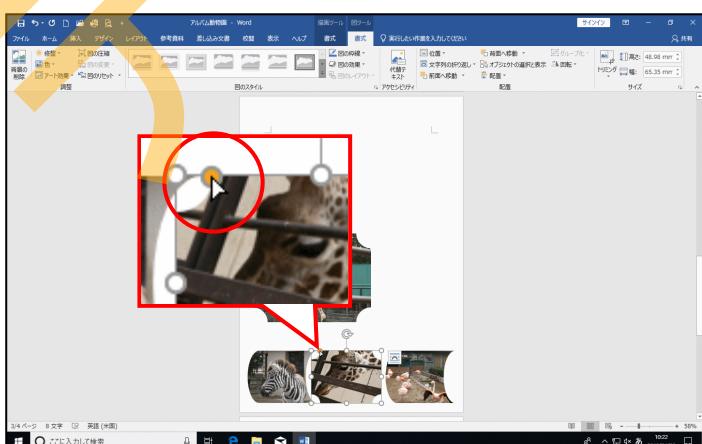


注意！
操作は下からです！

中央下のブローチの図形が選択されていることを確認します。



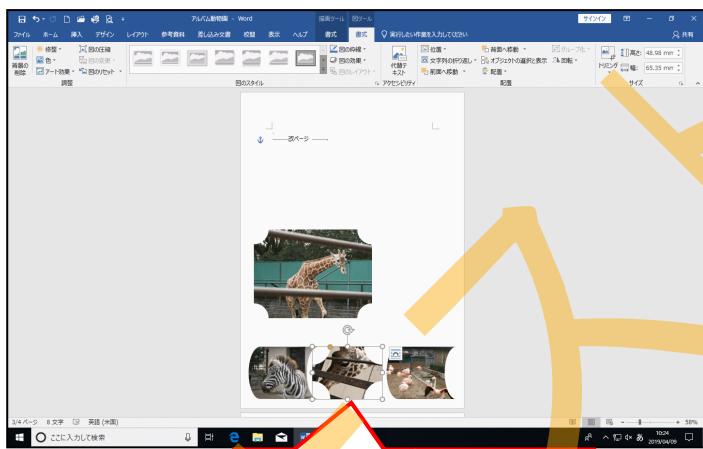
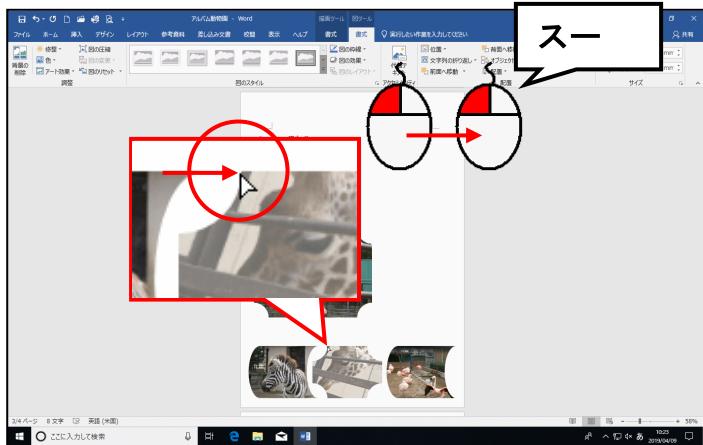
ブローチの左上に表示されている ● (変形ハンドル) にポイントし、マウスポインターが ▶ に変わったことを確認します。



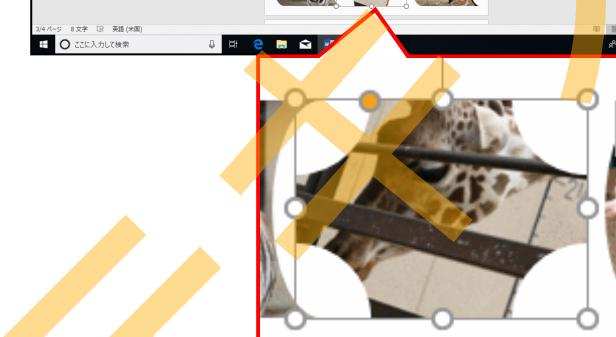
● ● (変形ハンドル) にポイントすると、マウスポインターの形が ▶ に変わります。

● ● (変形ハンドル) が表示される位置は、描いた図形によって変わります。また、図形によっては、 ● (変形ハンドル) が複数表示されるものもあります。

マウスポインターが ▶ になっていることを再度確認し、そのまま右に向かって少しドラッグします。

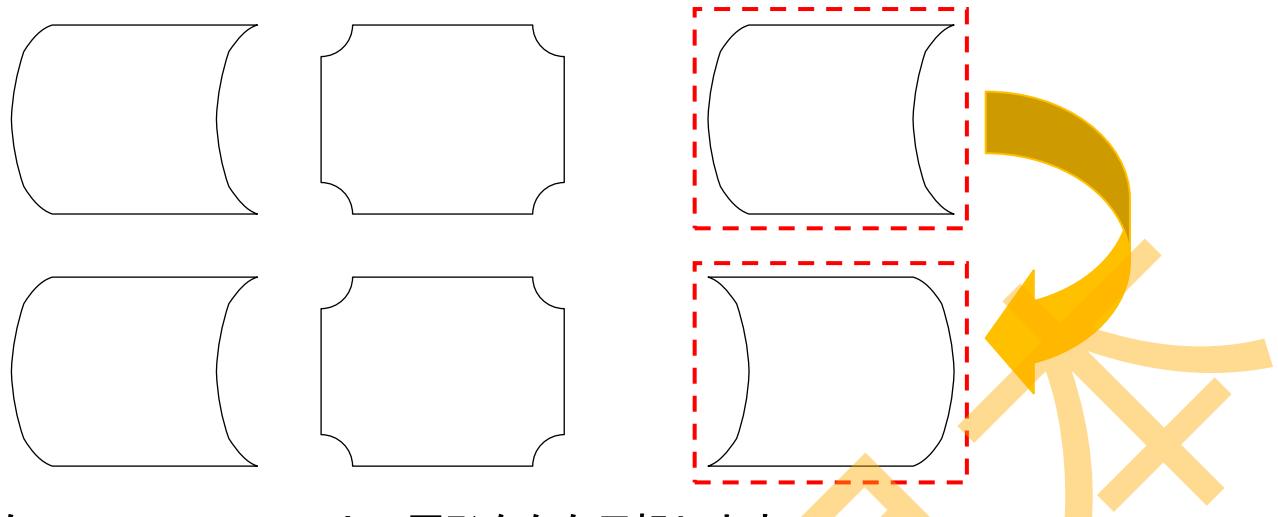


●マウスから指を離した時点で、プローチが変形されます。



(10) 図形を左右反転する

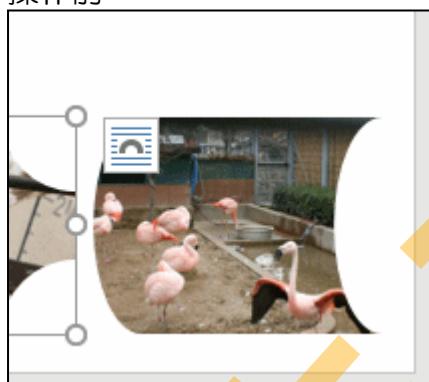
ここでは、右下の「フローチャート：記憶データ」の図形を左右反転させます。



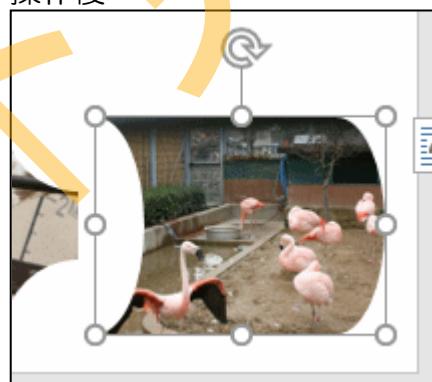
右下のフローチャートの図形を左右反転します。

◆図形を左右反転する方法をマスターしましょう。

操作前



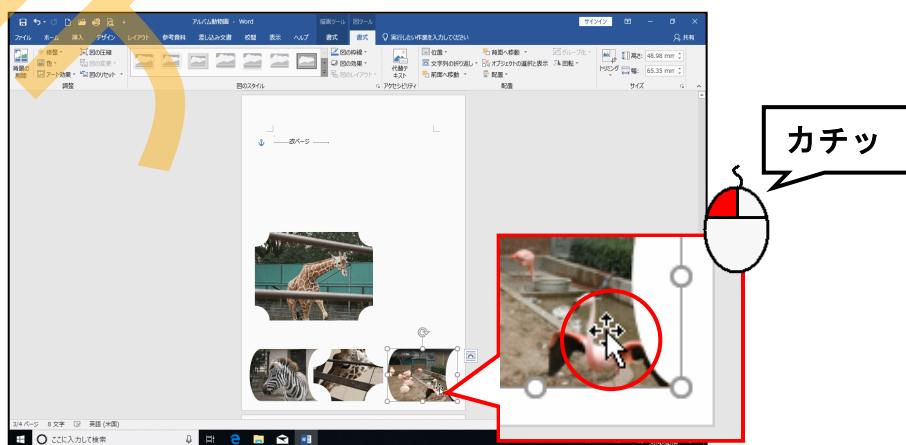
操作後



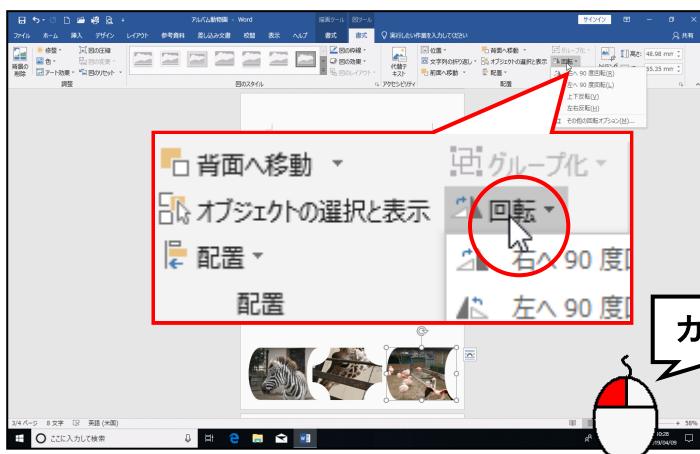
注意!

操作は下からです！

右下のフローチャート：記憶データをクリックして選択します。

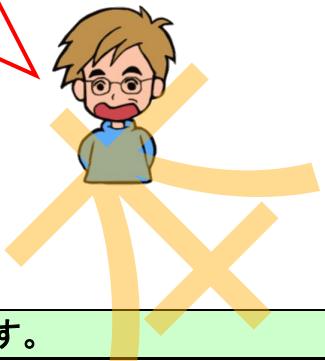


[配置] グループにある 回転 [回転] ボタンにポイントし、クリックします。

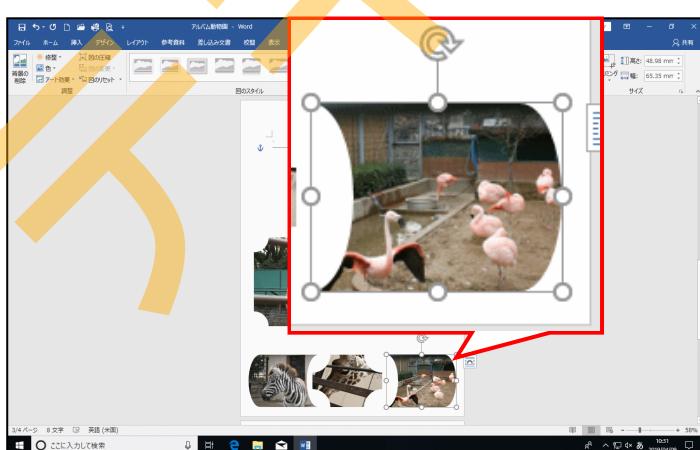
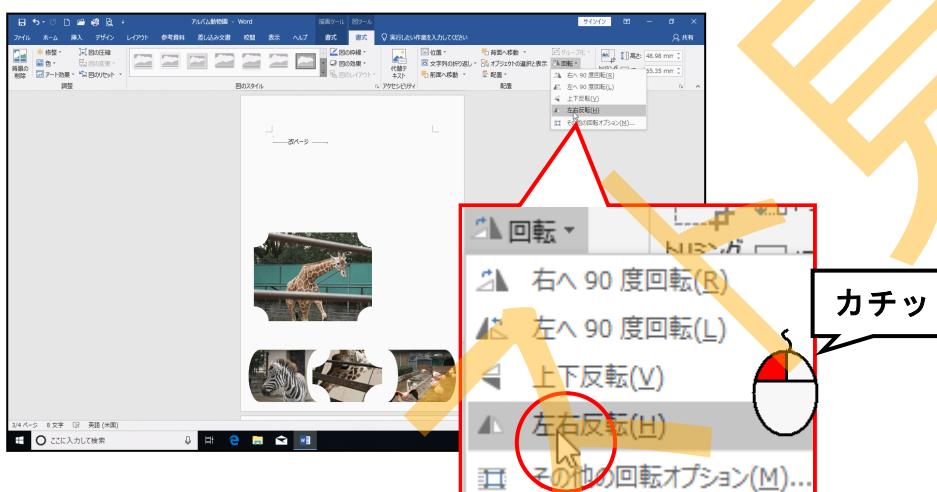


注意!

- 図ツールの [書式] タブが選択されていることを確認してから操作してください。



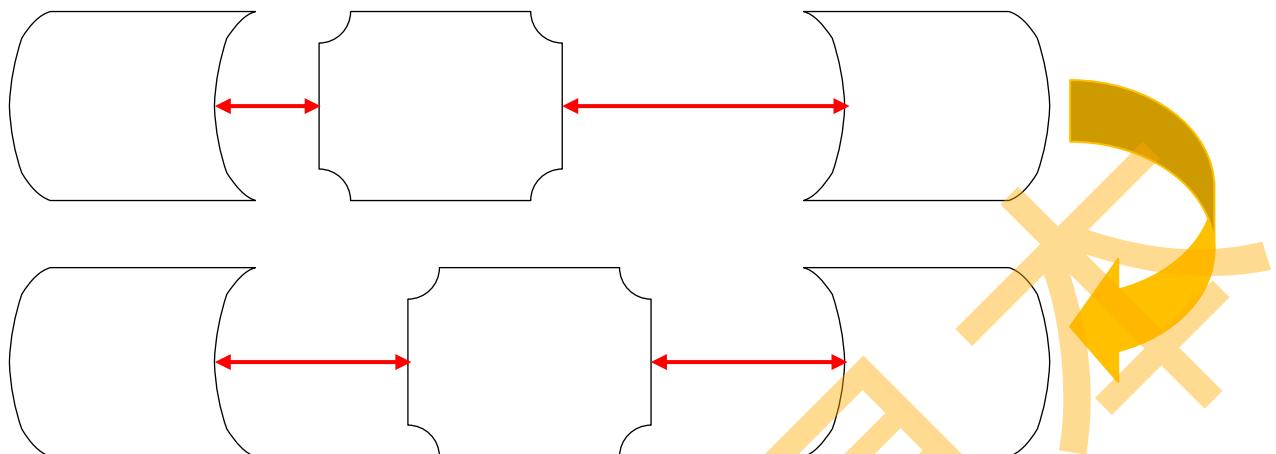
表示された一覧から [左右反転(H)] にポイントし、クリックします。



- [左右反転(H)] をクリックした時点で、選択されていたフローチャート：記憶データの図形が左右に反転します。

(11) 図形の整列

3ページ目の下に作成した3つの図形（フローチャート：記憶データ、ブローチ、フローチャート：記憶データ）は、現在、均等には並んでいません。
ここでは、これらの3つの図形を均等に整列させましょう。



間隔がバラバラな複数の図形を、均等な間隔に整列します。

◆図形を整列する方法をマスターしましょう。

操作前



操作後

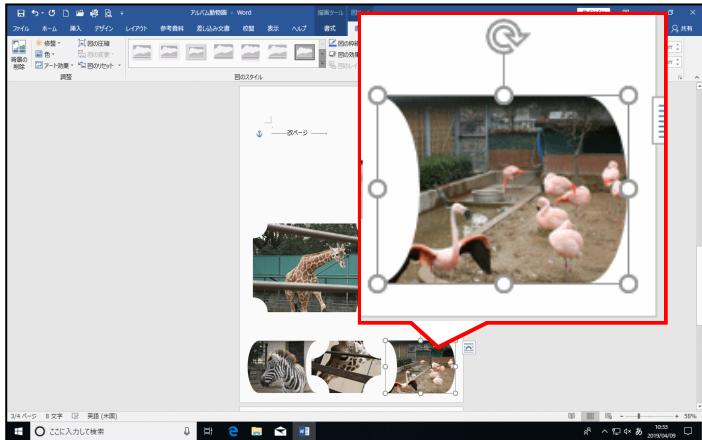


操作後は、3つの図形の間隔が均等に整列されます。



操作は次ページからです！

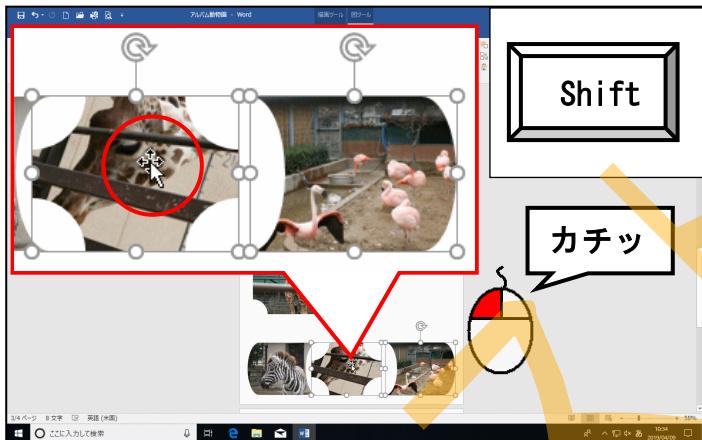
右下のフローチャート：記憶データが選択されていることを確認します。



- 図形を整列したい場合、整列したい複数の図形を選択します。



[Shift] キーを押した状態で、中央下のプローチにポイントし、クリックします。



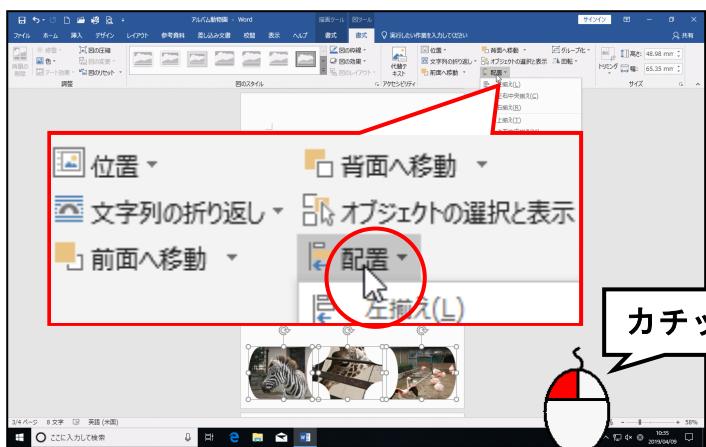
- 右下のフローチャート：記憶データと中央下のプローチの周りに ○（サイズ変更ハンドル）が表示されていることを確認してください。

さらに [Shift] キーを押した状態で、左下のフローチャート：記憶データにポイントし、クリックします。

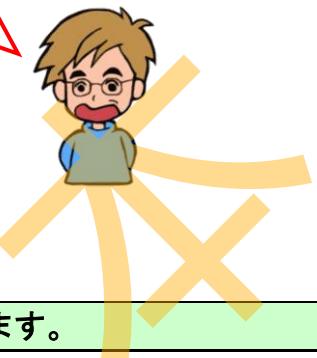


- 右下のフローチャート：記憶データと中央下のプローチ、さらに左下のフローチャート：記憶データの周りに ○（サイズ変更ハンドル）が表示されていることを確認してください。

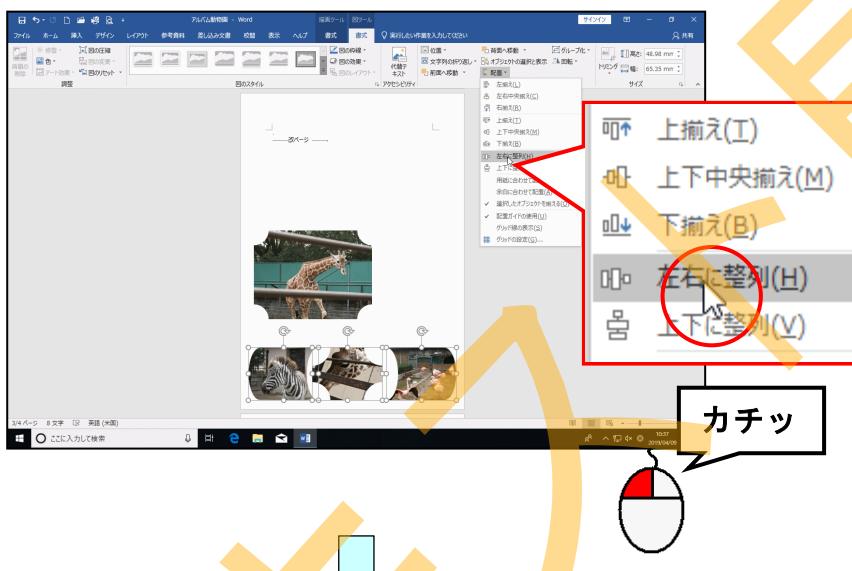
[配置] グループにある 配置ボタンにポイントし、クリックします。



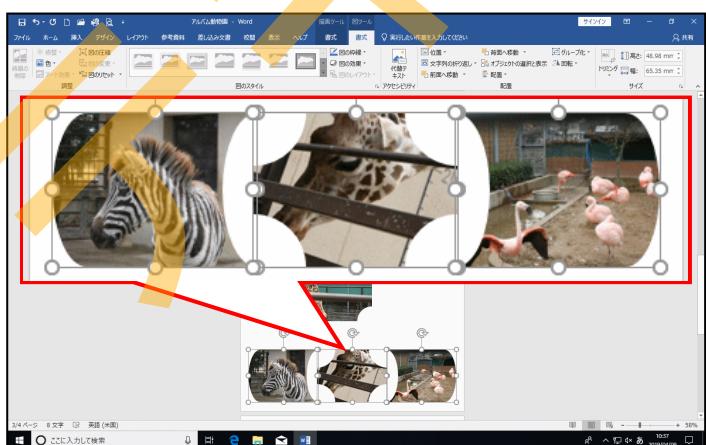
- 図ツールの [書式] タブが選択されていることを確認してから操作してください。



表示された一覧から [左右に整列(H)] にポイントし、クリックします。



- [左右に整列(H)] をクリックした時点で、選択していた 3 つの図形の間隔が均等になりました。

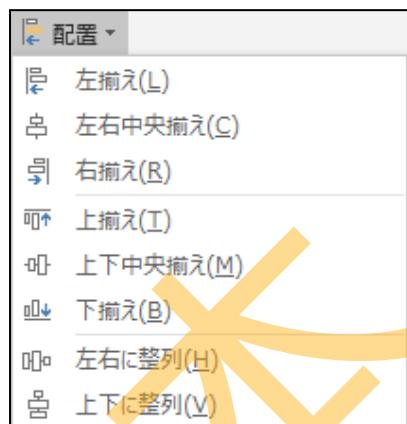


ご参考までに

■図ツール [書式] タブ [配置] グループ 配置 [配置] ボタンについて

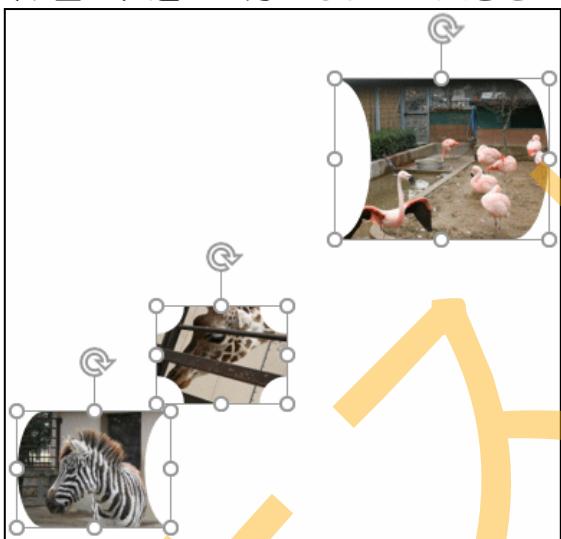
テキストでは、整列させたい複数の図形を選択し、[左右に整列(H)] をクリックして図形を左右に整列させましたが、それ以外の項目の使用方法は、次のようになります。

なお、[配置] ボタンは、描画ツールの [書式] タブの [配置] グループにもあり、こちらを使用しても結構です。



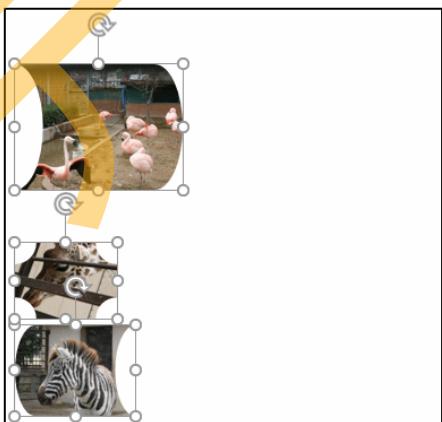
設定前

(下図は、違いが分かるように大きさと配置を調整しています)



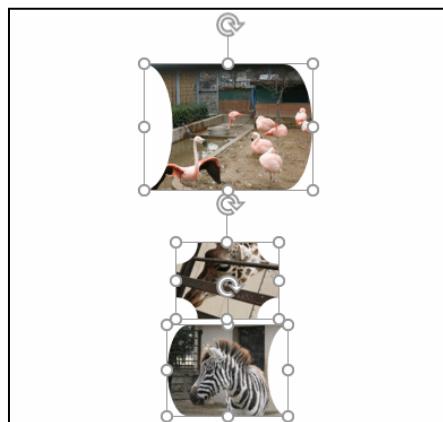
設定後

[左揃え(L)]



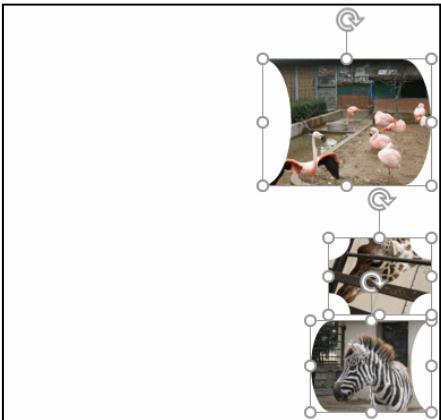
選択した画像が左端に揃います。

[左右中央揃え(C)]



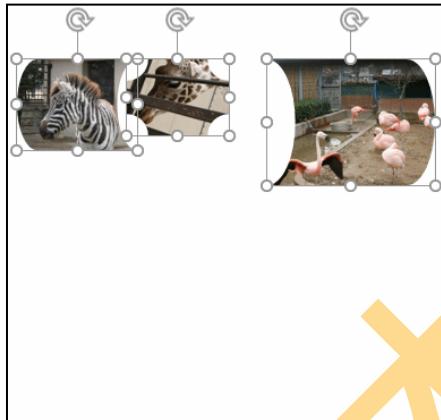
選択した画像が左右中央に揃います。

[右揃え (R)]



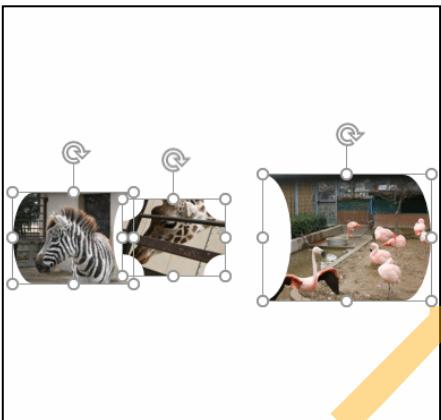
選択した画像が右端に揃います。

[上揃え (T)]



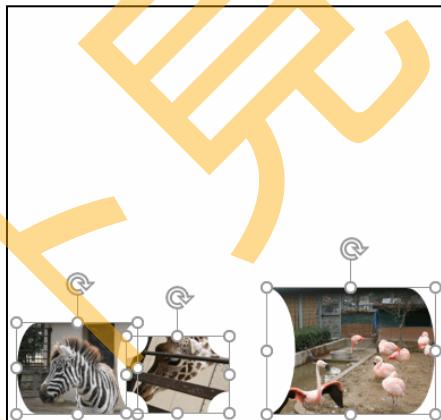
選択した画像が上端に揃います。

[上下中央揃え (M)]



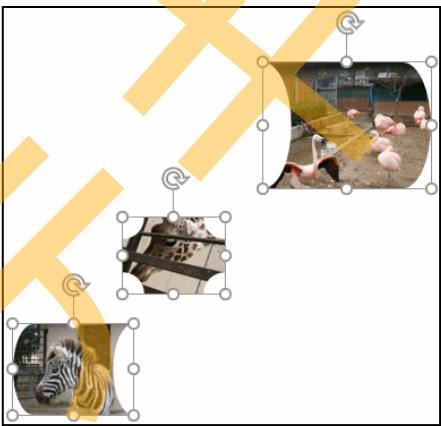
選択した画像が上下中央に揃います。

[下揃え (B)]



選択した画像が下端に揃います。

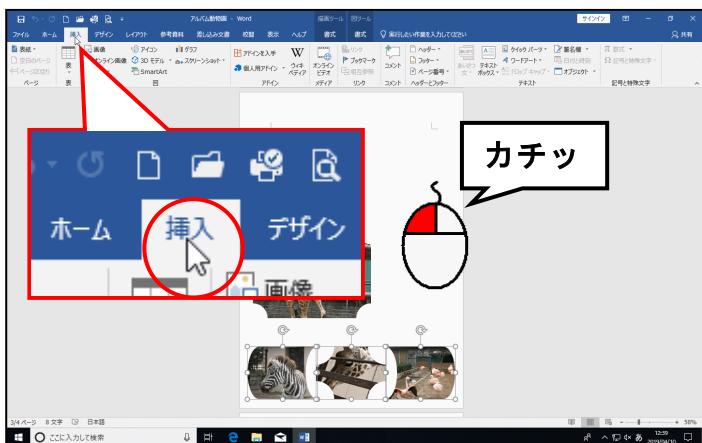
[上下に整列 (V)]



選択した画像が上下均等に配列されます。

◎ 次の操作の準備として、図形を描きましょう。

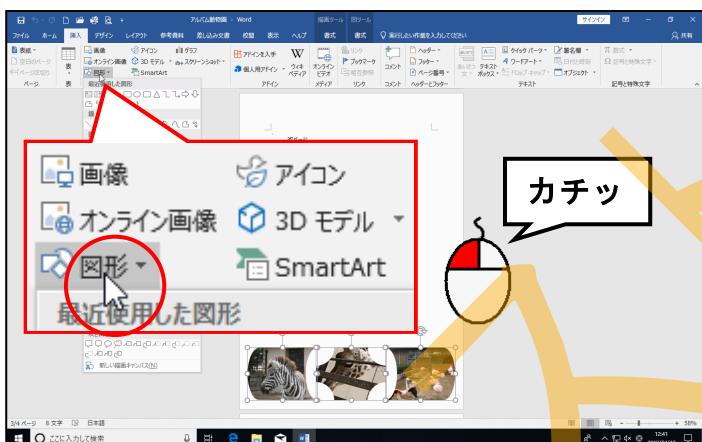
[挿入] タブにポイントし、クリックします。



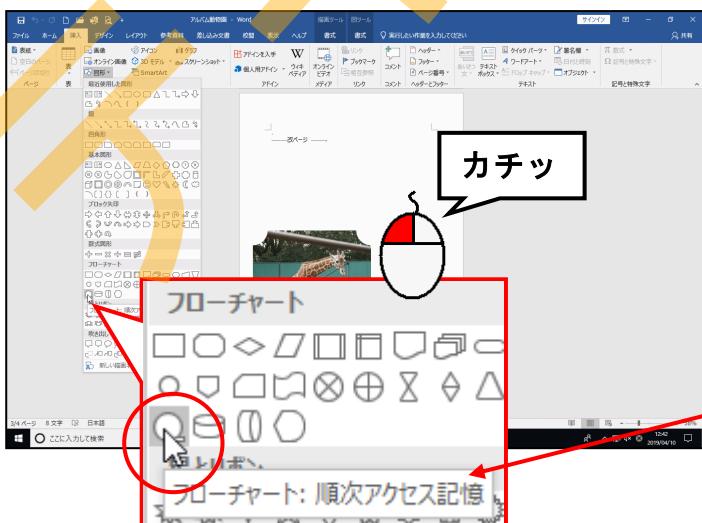
余裕があれば読んでね

- 描画ツール [書式] タブの [図形の挿入] グループにある [その他] ボタンからでも図形を挿入することができます。

[図] グループにある 図形ボタンにポイントし、クリックします。



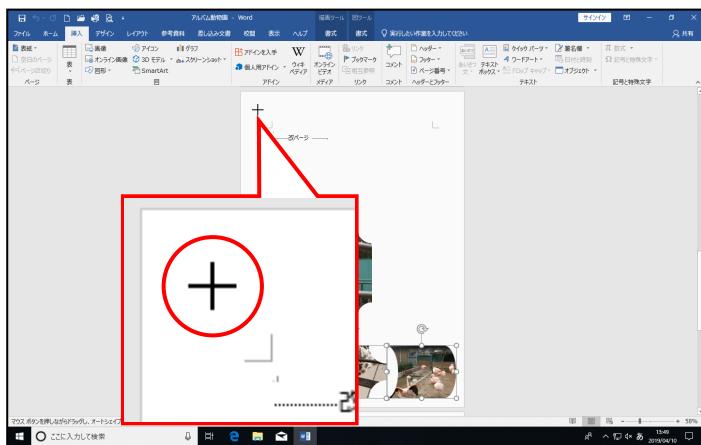
表示された図形一覧の [フローチャート] から 「フローチャート：順次アクセス記憶」にポイントし、クリックします。



- お使いのパソコンによって、図形の名称が違う場合があります。下図を参考に選びましょう。



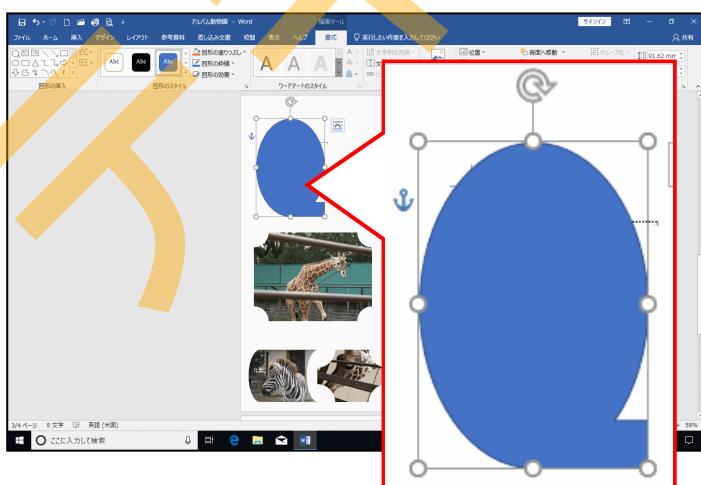
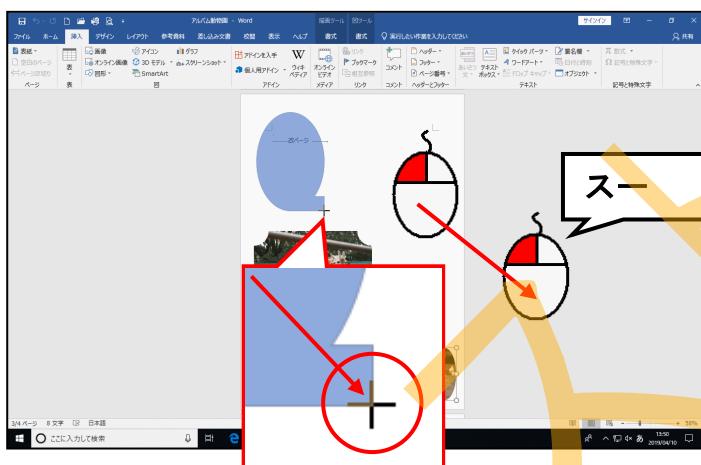
- 該当の図形にポイントすると、左の
ように図形の名前が表示されます。



● Q 「フローチャート：順次アクセス記憶」をクリックすると、マウスポインターが + の状態になります。



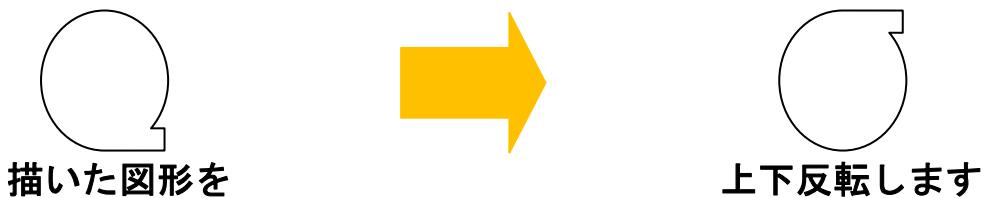
マウスポインターが + になっていることを確認して、右下に向かってドラッグします。



● マウスから指を離した時点で、図形の大きさ、位置が確定します。

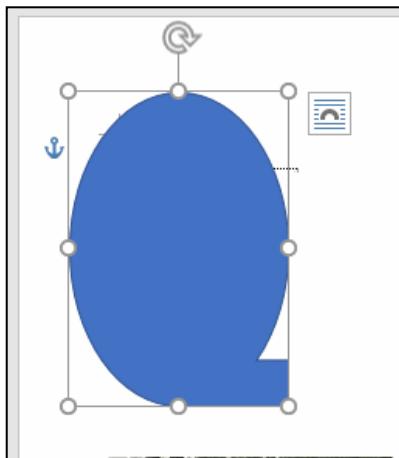
(12) 図形を上下反転する

ここでは、描いた図形の「フローチャート：順次アクセス記憶」を上下反転させます。

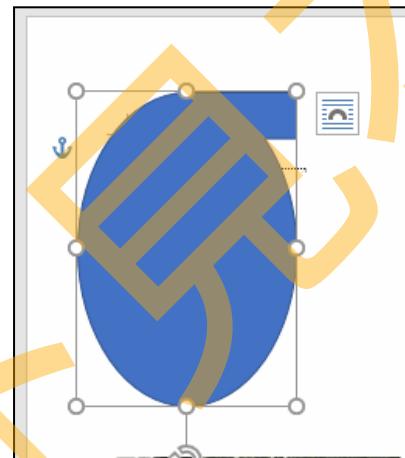


◆図形を上下反転する方法をマスターしましょう。

操作前



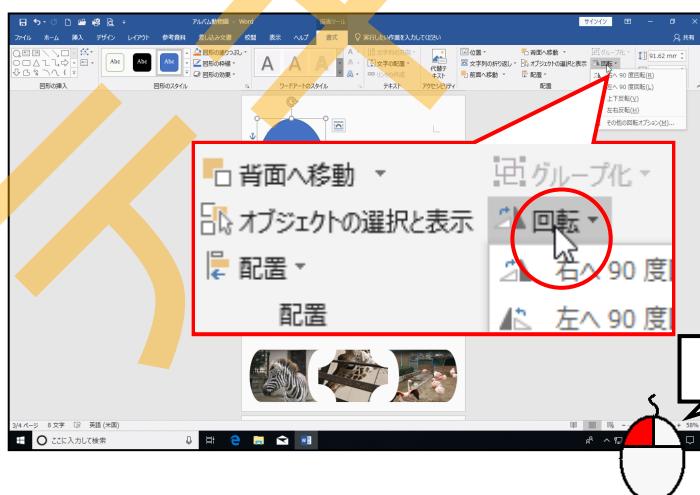
操作後



注意!

操作は下からです！

[配置] グループにある [回転] ボタンにポイントし、クリックします。



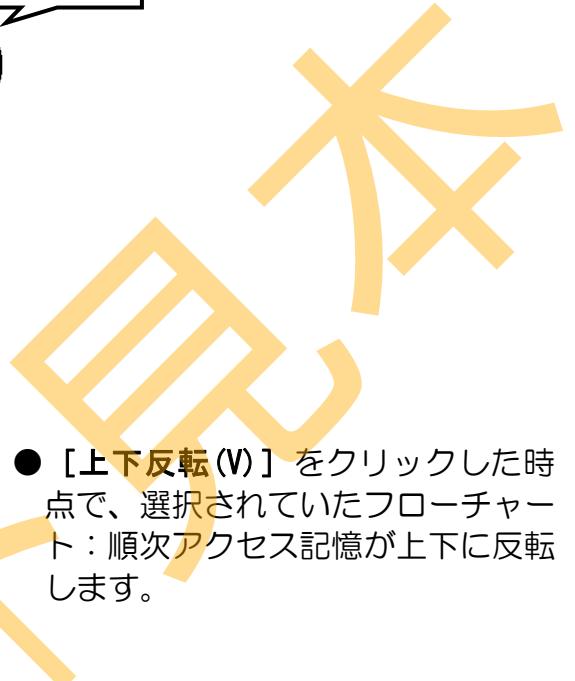
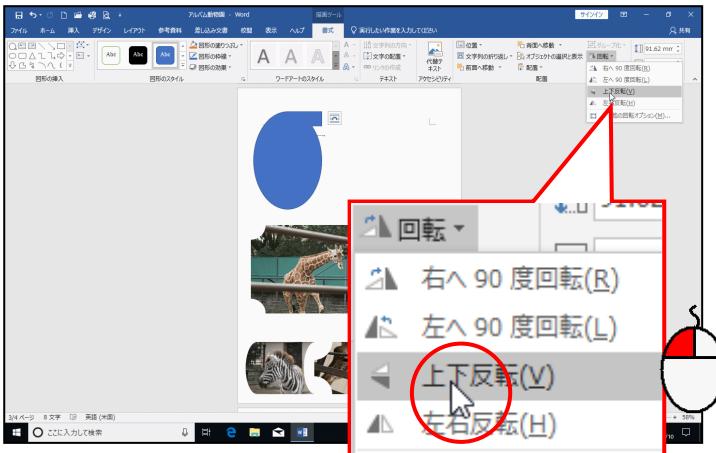
注意!

●描画ツールの [書式] タブが選択されていることを確認してから操作してください。

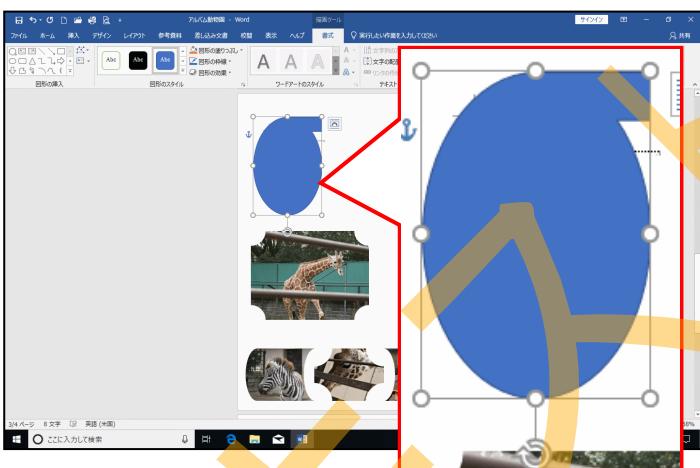


カチッ

表示された一覧から [上下反転(V)] にポイントし、クリックします。



- [上下反転(V)] をクリックした時点で、選択されていたフローチャート：順次アクセス記憶が上下に反転します。



(13) 縦長の写真を挿入する

これまで、写真の形状になる図形を描き、その中に写真を挿入してきましたが、挿入した写真は、すべて横長でした。ここでは、縦長の写真を図形の中に挿入していきます。

縦長の写真の挿入？

ケンちゃん「先生。確かに今まで図形の中に挿入してきた写真は、横長の写真ばかりだったね。縦長の写真を挿入するときは横長の写真を挿入した時と操作方法が全然違うの？」

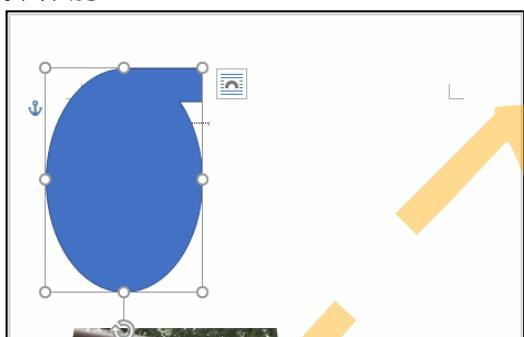
くじら先生「いいえ。基本的には、横長の写真を挿入した時と同じですよ。

重要なのは、元の写真の比率を守るために約「4 : 3」の比率です。横長の写真を挿入した時は、幅 : 高さを「4 : 3」にしましたが、縦長の写真を挿入するときは、これが逆になり、幅 : 高さが「3 : 4」になります。」



◆縦長の写真を挿入する方法をマスターしましよう。

操作前

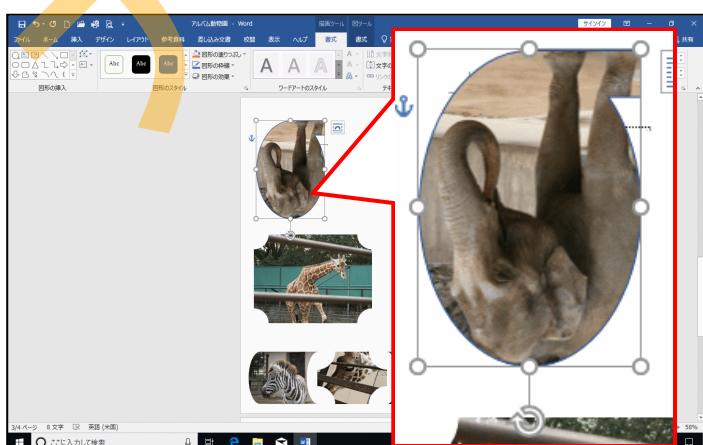


操作後



操作は下からです！

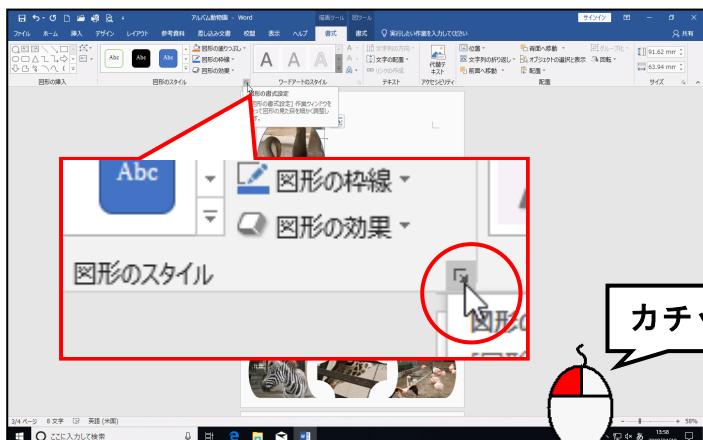
上下反転させたフローチャート：順次アクセス記憶が選択されていることを確認し、「象1」の写真を挿入します。



- 図形の中に写真を挿入する方法を忘れた方は、P103 (2) 図形の中に写真を挿入するを参照してください。

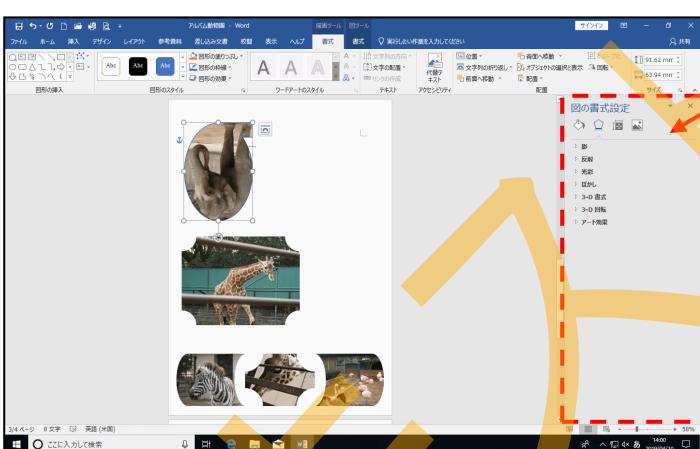
図形を上下反転したことで、写真を挿入すると写真が上下反転してしまいました。写真がさかさまにならない状態に設定しましょう。

描画ツール [書式] タブの [図形のスタイル] グループにある ボタンにポイントし、クリックします。



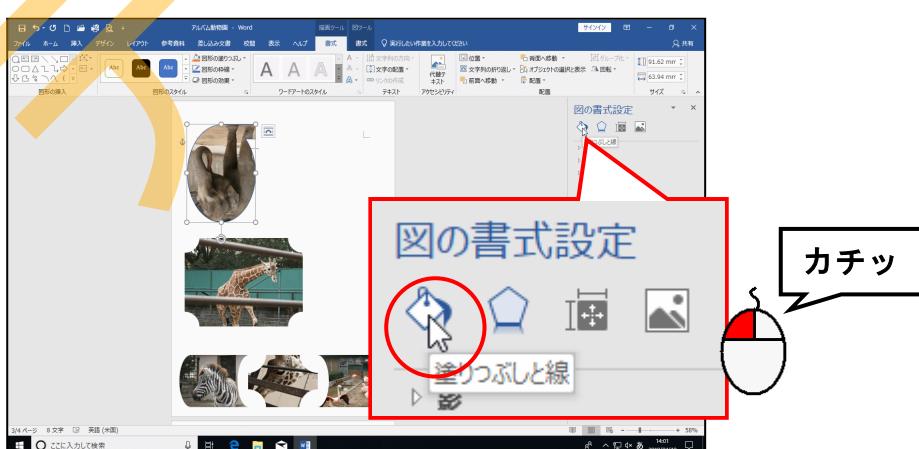
注意!

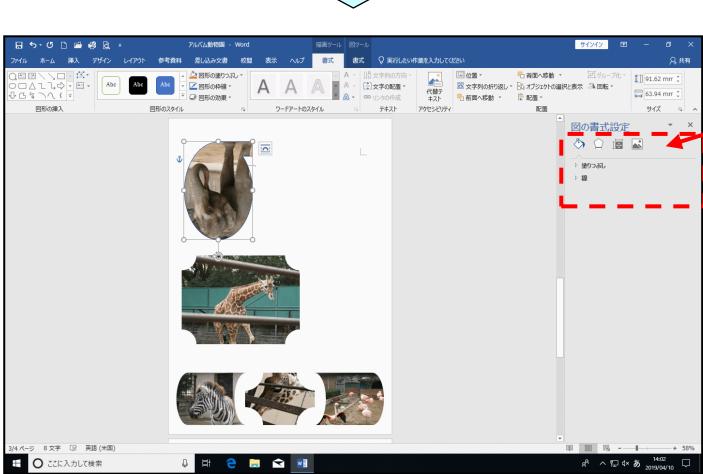
- フローチャート：順次アクセス記憶の図形が選択されていることを確認してから操作してください。



- [図形のスタイル] グループにある ボタンをクリックすると、左のように [図の書式設定] ウィンドウが画面右に表示されます。

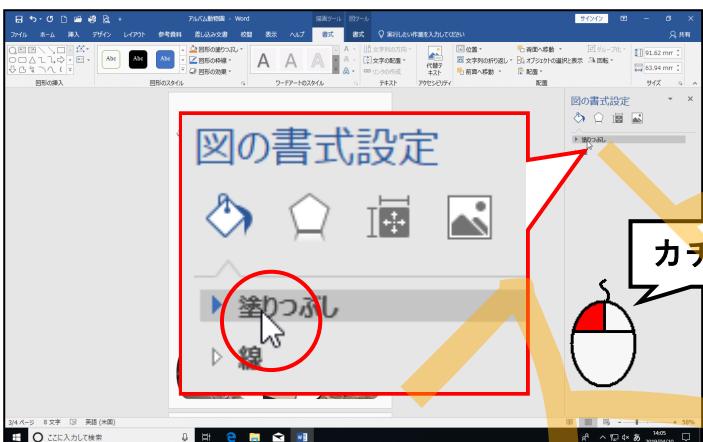
表示された [図の書式設定] ウィンドウの [塗りつぶしと線] にポイントし、クリックします。



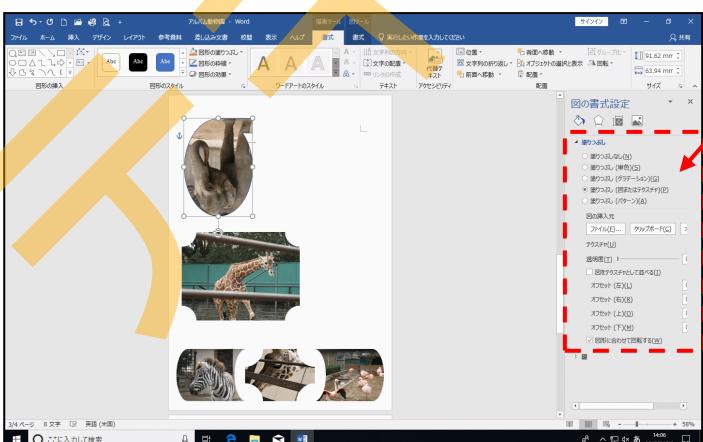


● ↓ [塗りつぶしと線] をクリックすると、[図の書式設定] ウィンドウの表示内容が変わります。

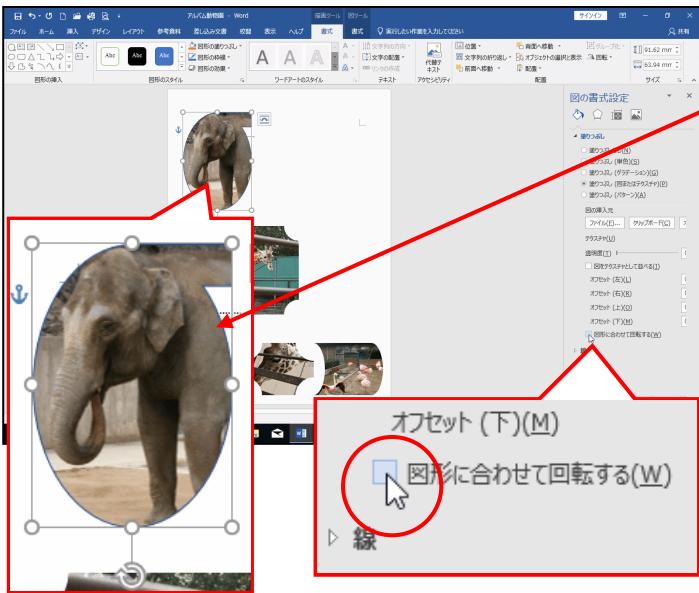
▷ 塗りつぶしにポイントし、クリックします。



● ▷ 塗りつぶしをクリックすると、左のように「塗りつぶし」の中が展開されます。



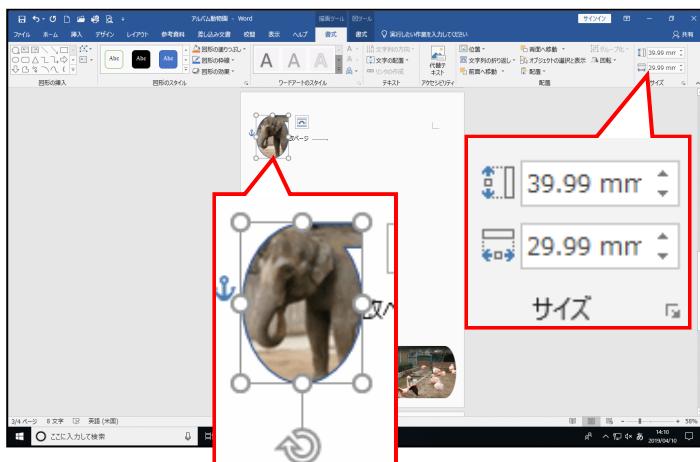
[図形に合わせて回転する(W)] の チェックボックスにポイントし、クリックしてチェックボックスを 「オフ」にします。



● [図形に合わせて回転する(W)] の チェックボックスをクリックしてチェックを外すと、写真が元々の向きに戻ります。これで図形を回転、反転しても写真の向きは変わらない状態になります。

これからフローチャート：順次アクセス記憶の縦と横の比率を設定し、コピーして写真を変更していきます。

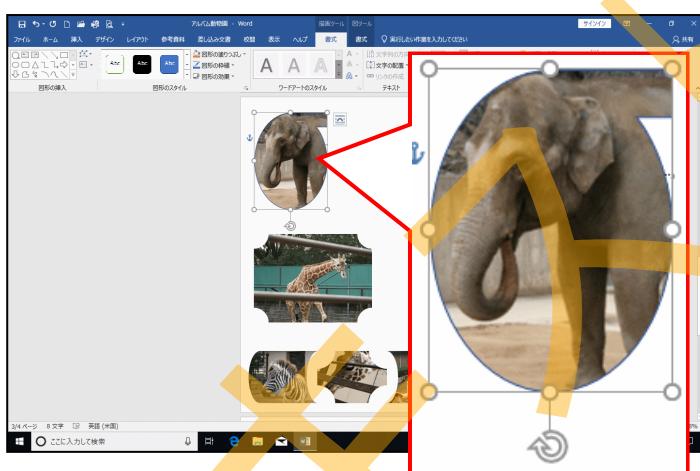
フローチャート：順次アクセス記憶の中に写真が挿入されたところで、高さを「40」に、幅を「30」に設定します。



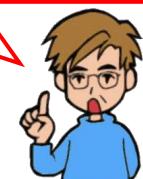
注意!

- [図形の高さ] ボックスには、「40」を入力しても「39.99」、[図形の幅] ボックスには、「30」を入力しても「29.99」が表示されますが、写真の比率は約「4:3」ですから、多少の誤差は気にしないようにしましょう。

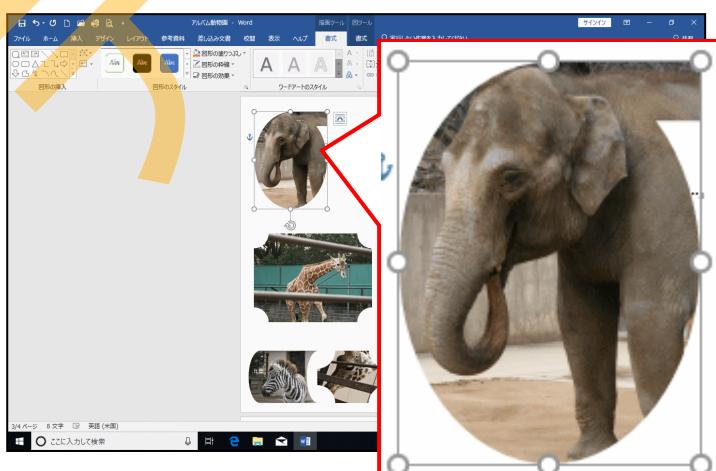
下図を参考にドラッグしてフローチャート：順次アクセス記憶のサイズ、位置をそれぞれ変更します。



- フローチャート：順次アクセス記憶の縦、横の比率を守るため、マウスポインターが もしくは の状態で、必ず [Shift] キーを押した状態でドラッグしてください。

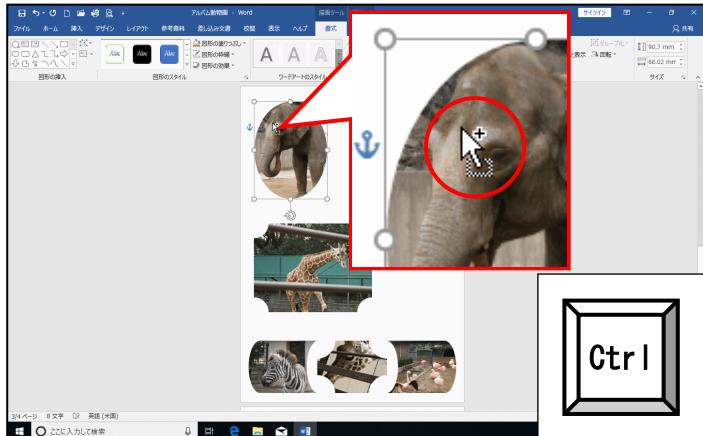


フローチャート：順次アクセス記憶の枠線を非表示に設定します。



- 枠線を非表示する方法を忘れた方は、P116 (4) 図形の枠線を非表示にするを参照してください。

フローチャート：順次アクセス記憶の中にポイントし、マウスポインターが↑变成了↑のところで [Ctrl] キーを押したままにします。

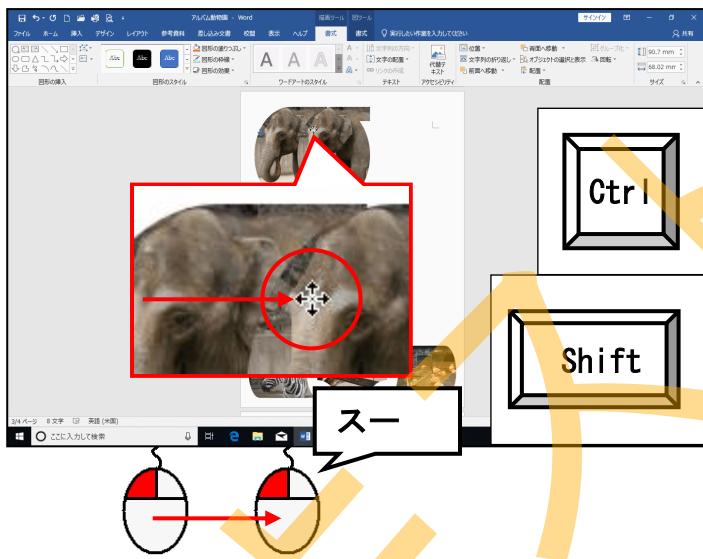


- [Ctrl] キーを押すと、マウスポインターが↑から↑に変わります。[Ctrl] キーを押すのは、コピー操作を行うためです。

- 図形をコピーするときは、マウスの左ボタンを押すより先に [Ctrl] キーを押す必要があります。



そのまま [Ctrl] キーと [Shift] キーを同時に押した状態で右に向かってドラッグします。

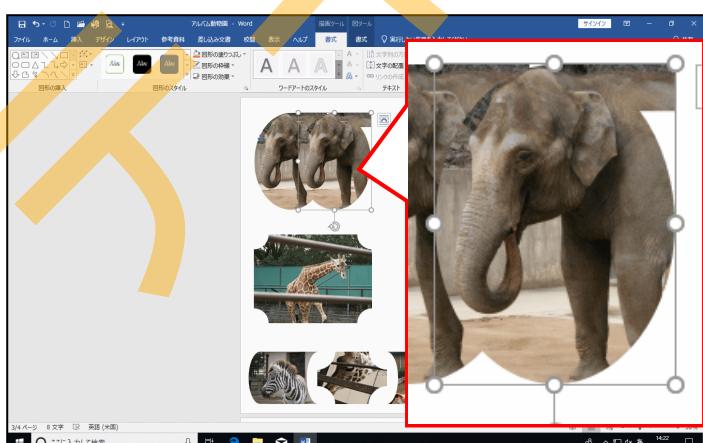


- ドラッグ中は、マウスポインターは↑↓←→の形になります。

- [Ctrl] キーを押した状態で図形をドラッグすると、その図形がコピーされます。また、[Ctrl] キーと同時に [Shift] キーを押した状態でドラッグすると、水平、垂直に図形がコピーされます。



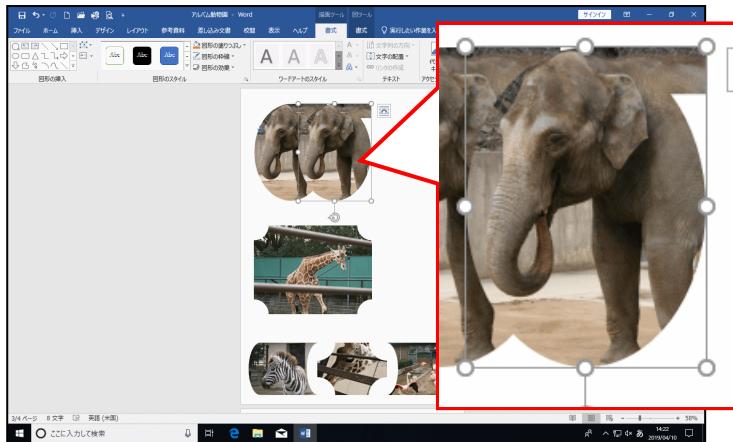
マウスから指を離します。



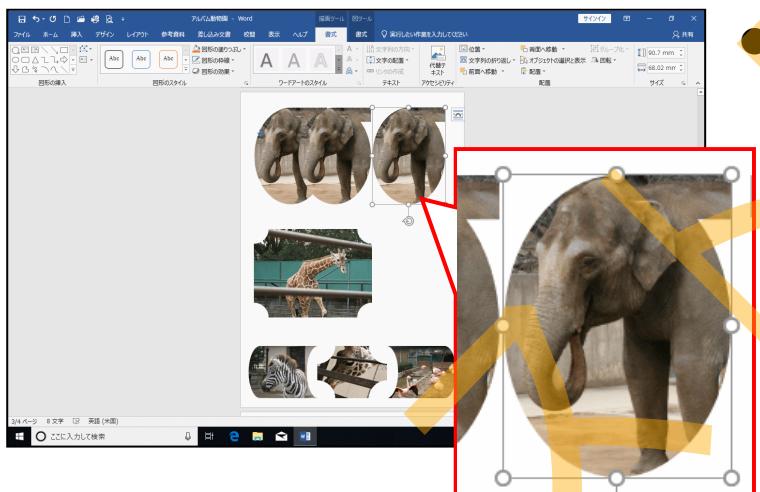
- まだ、[Shift] キーは押したまま!! ドラッグし始めると、[Ctrl] キーは離しても構いませんが、[Shift] キーを離してしまうと、水平、垂直にコピーできません。水平、もしくは垂直にコピーする場合は、マウスから指を離してから [Ctrl] キーと [Shift] キーを離すようにクセを付けておくと失敗が少ないです。



[Ctrl] キーと [Shift] キーから指を離します。

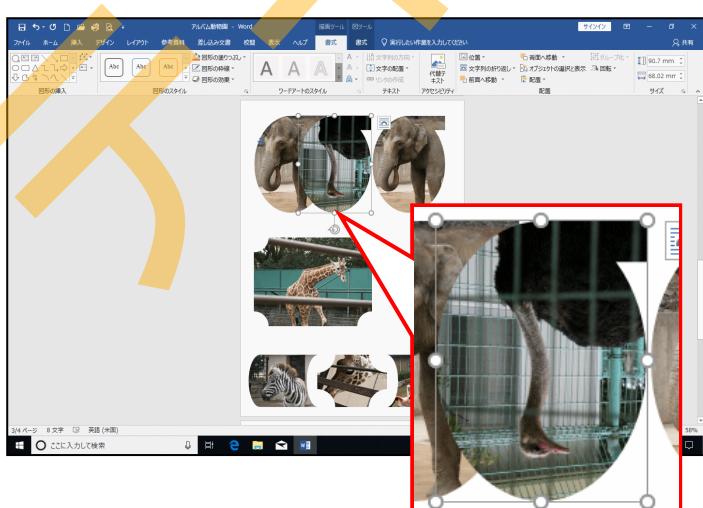


同様にして、フローチャート：順次アクセス記憶をもうひとつ右側にコピーします。



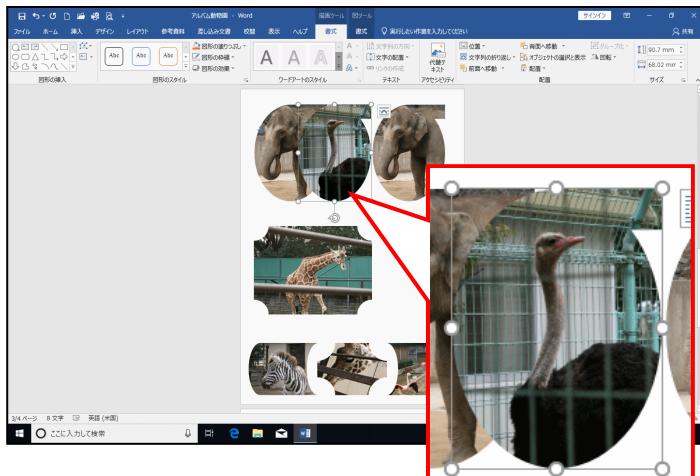
● 2つのフローチャート：順次アクセス記憶が選択されている方は、一度図形の選択を解除してから、操作しましょう。

中央上のフローチャート：順次アクセス記憶を選択し、「ダチョウ2」の写真に入れ替えます。



● 写真を入れ替える方法を忘れた方は、P127 (7) 写真の変更を参照してください。

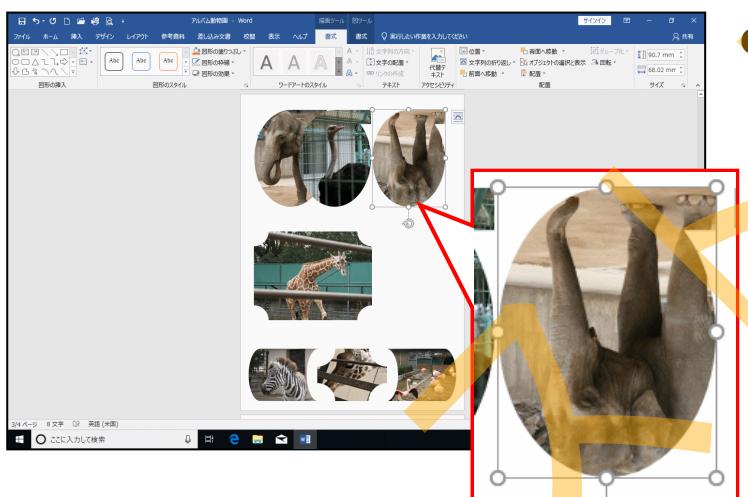
中央上のフローチャート：順次アクセス記憶の写真のみを上下反転させましょう。



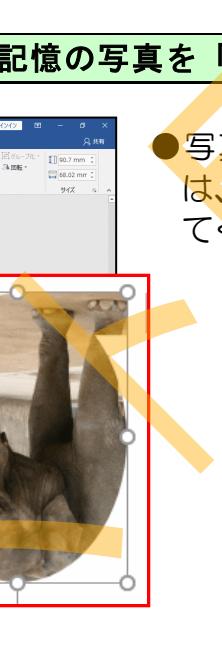
●写真のみを上下反転させる方法を忘れた方は、P149 を参照してください。



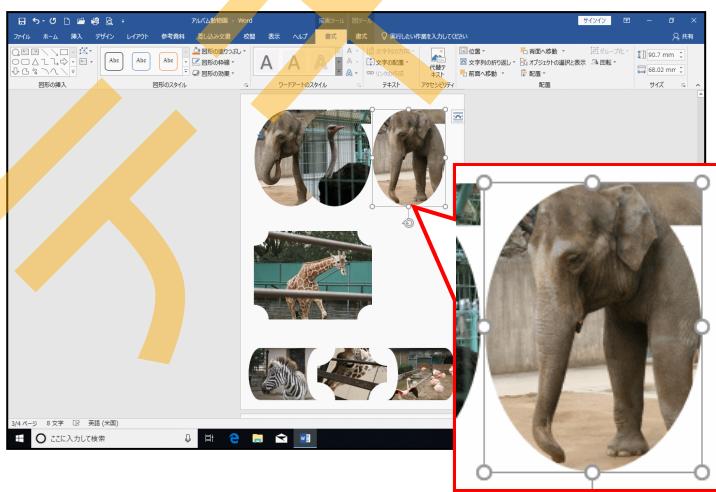
右上のフローチャート：順次アクセス記憶の写真を「象 6」に変更します。



●写真を入れ替える方法を忘れた方は、P127 (7) 写真の変更を参照してください。



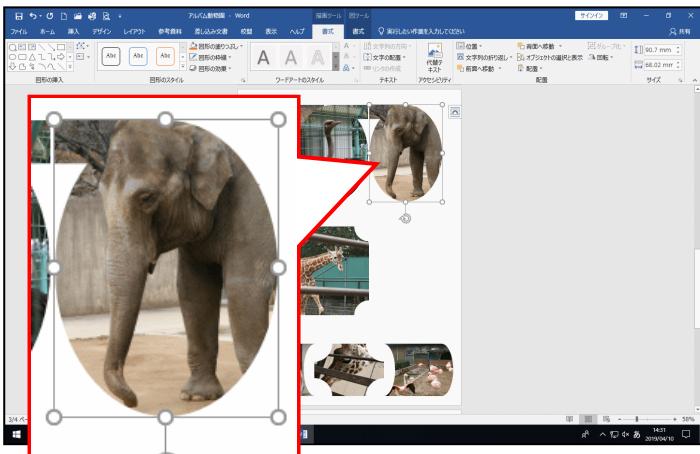
右上のフローチャート：順次アクセス記憶の写真のみを上下反転させましょう。



●写真のみを上下反転させる方法を忘れた方は、P149 を参照してください。



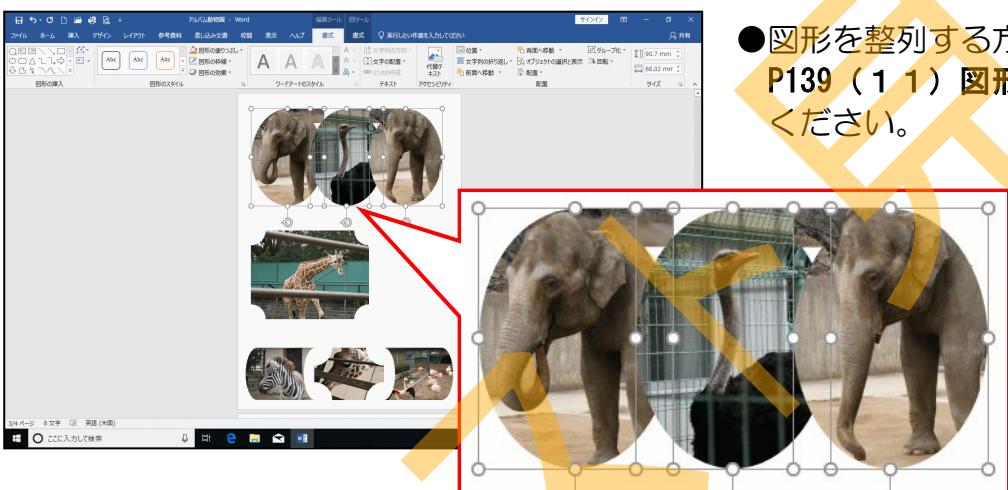
右上のフローチャート：順次アクセス記憶を左右反転します。



- 右上のフローチャートを選択して操作してください。

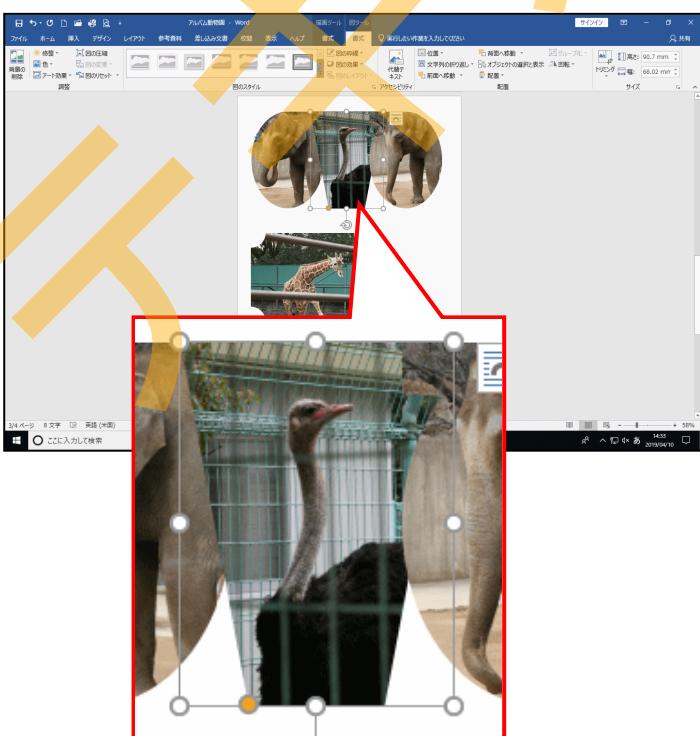
- 図形を左右反転する方法を忘れた方は、P137 (10) 図形を左右反転するを参照してください。

3つのフローチャート：順次アクセス記憶を選択し、3つの図形の間隔が均等になるように整列します。



- 図形を整列する方法を忘れた方は、P139 (11) 図形の整列を参照してください。

中央上のフローチャート：順次アクセス記憶をクリックして選択し、[基本图形] の「台形」に変更します。



- 3つのフローチャートが選択されたままになっているので、一度選択を解除し、中央のフローチャートを選択してから操作をしてください。

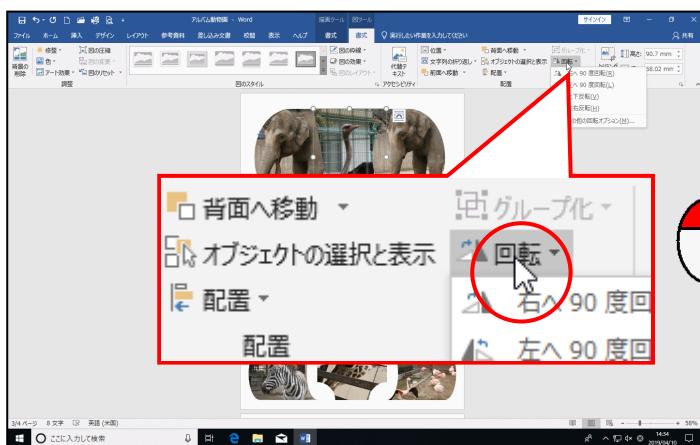
- 図形を変更する方法を忘れた方は、P131 (8) 図形の変更を参照してください。

- 「台形」の場所は下図を参照。

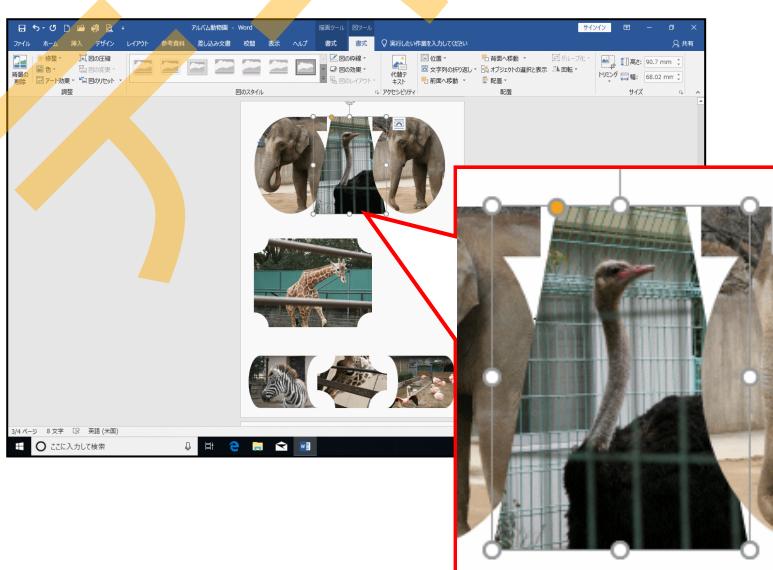
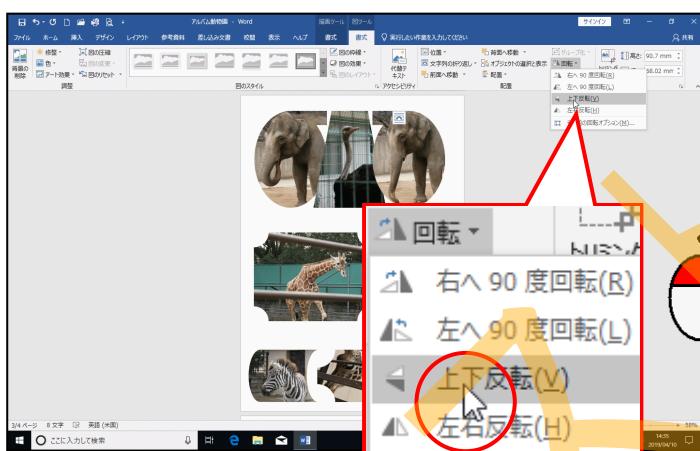


- 左側の象をコピーする前に、図形を上下反転しているので、台形も上下反転した状態で図形が変更されました。

[配置] グループの [回転] ボタンにポイントし、クリックします。



下に表示されるメニューから [上下反転(V)] にポイントし、クリックします。

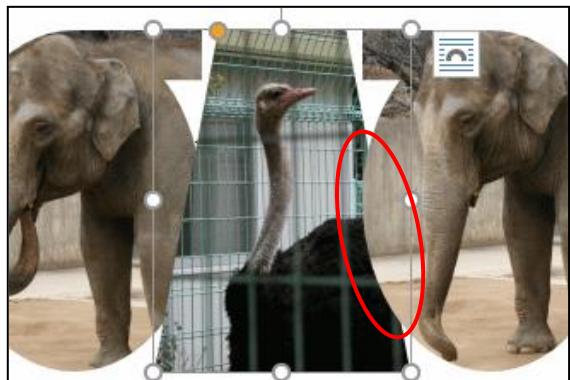


(14) 図形の順序を入れ替える

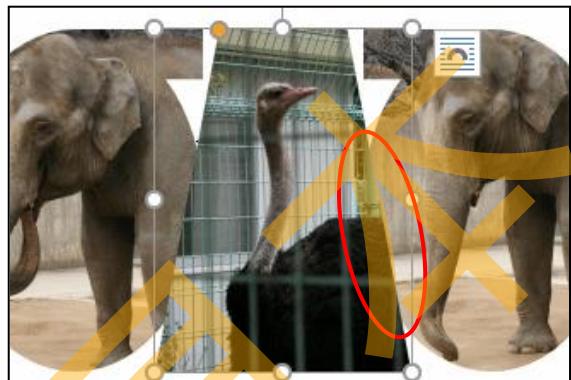
P94 ② 写真の順序を入れ替えるで、写真の前面、背面を入れ替えましたが、ここでは、中央上にある台形を最前面に配置してみましょう。

◆図形の順序を入れ替える方法をマスターしましょう。

操作前

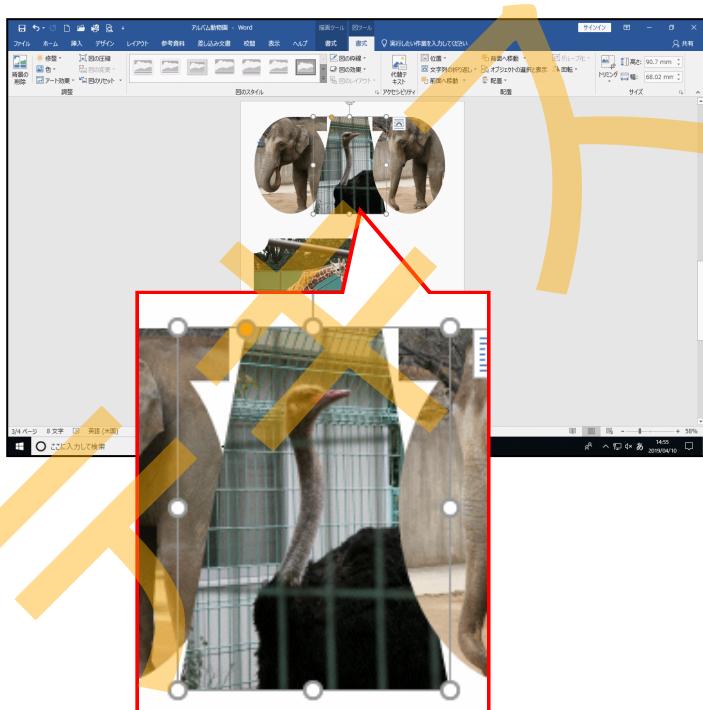


操作後

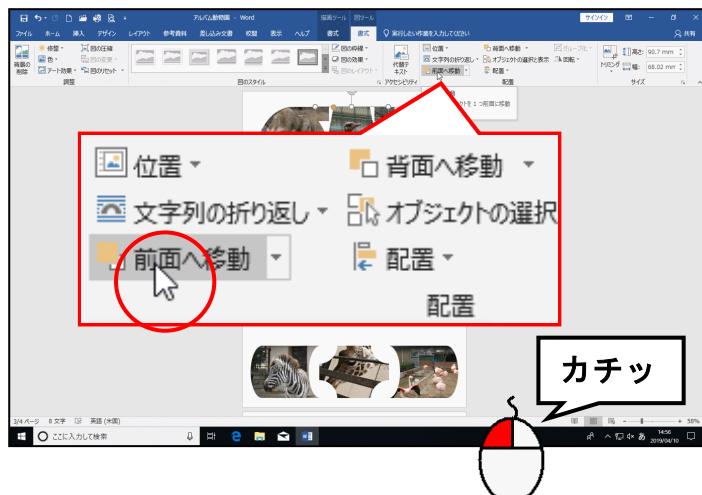


操作は下からです！

中央上の台形が選択されていることを確認します。



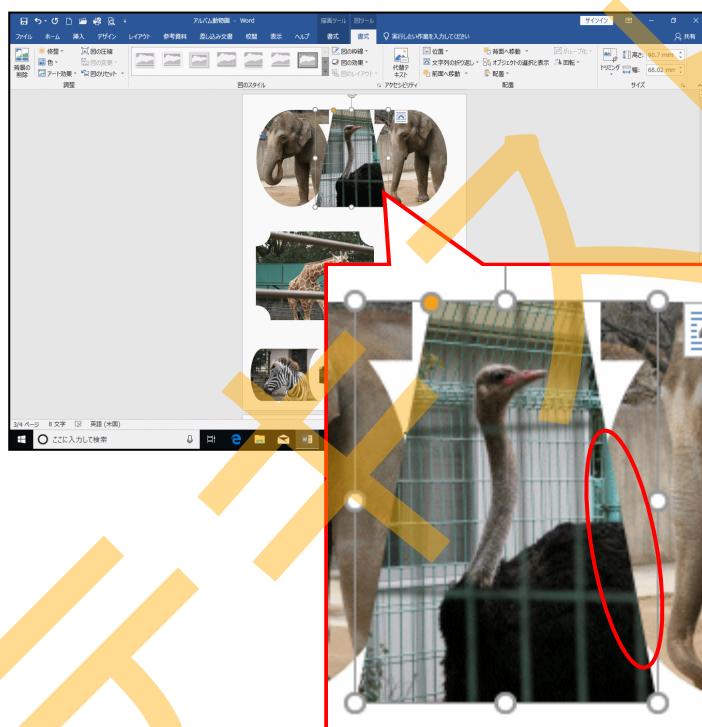
[配置] グループにある □ 前面へ移動 ▶ [前面へ移動] ボタンにポイントし、クリックします。



注意!

● 図ツールの [書式] タブが選択されていることを確認してから操作してください。

● □ 前面へ移動 ▶ [前面へ移動] ボタンの▼をクリックしないようしてください。□ 前面へ移動 ▶ [前面へ移動] ボタンの▼をクリックした方は表示された一覧から [前面へ移動(F)] をクリックしてください。



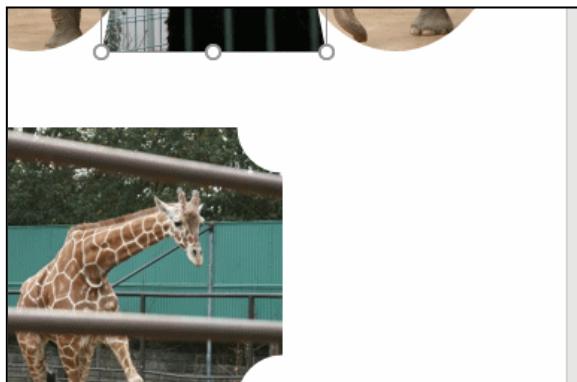
● □ 前面へ移動 ▶ [前面へ移動] ボタンをクリックすると、台形が左右のフローチャート：順次アクセス記憶の前面へ移動します。

(15) 残りの写真を挿入する

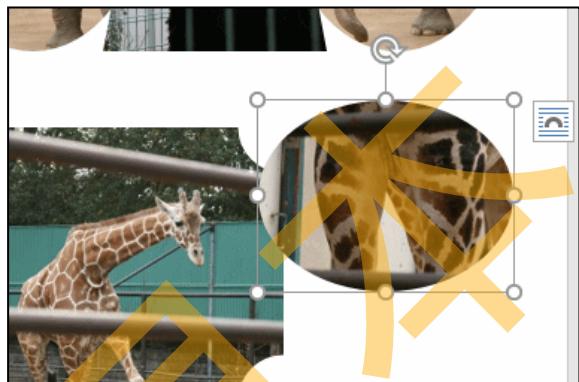
ここまで復習を兼ねて、あとひとつ図形をコピーし、挿入されている写真の変更、図形の変更、サイズ変更、移動をして完成させます。

◆残りの写真を挿入する方法をマスターしましょう。

操作前

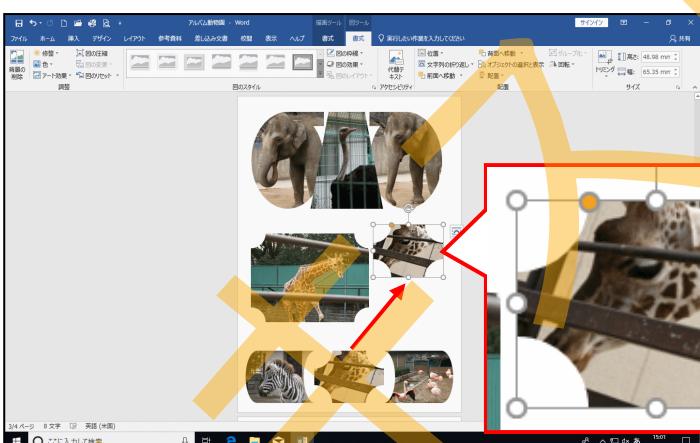


操作後



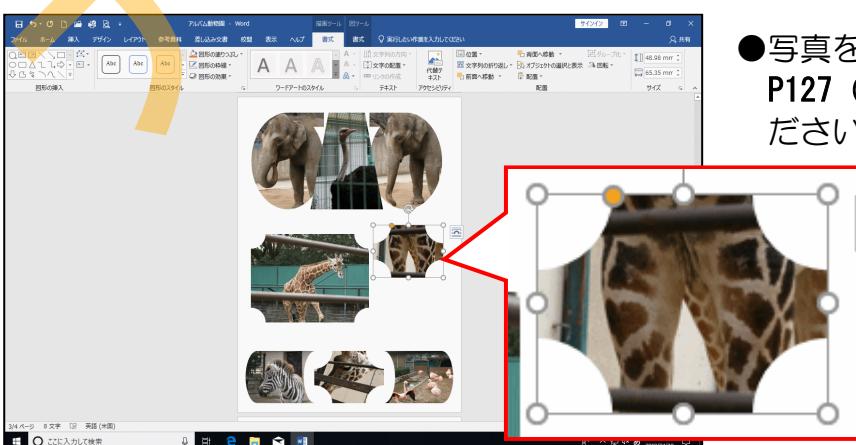
操作は下からです！

下図を参考に中央下のブローチをコピーします。



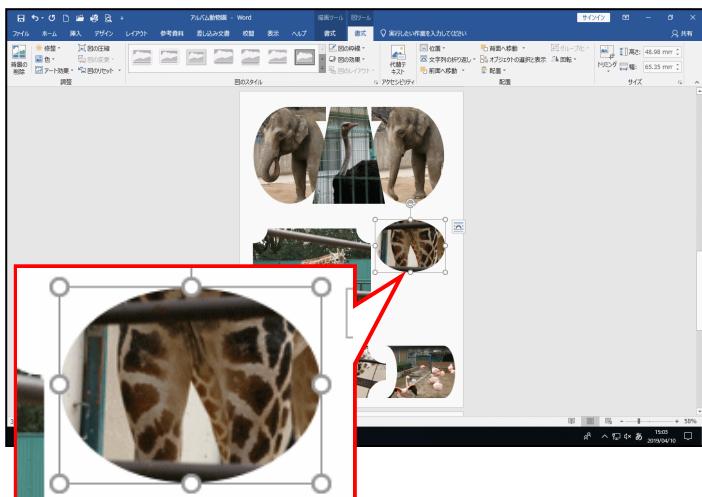
●コピーの仕方を忘れた方は、P124 (6) 図形のコピーを参照してください。

コピーしたブローチに挿入されている写真を「キリン4」に変更します。



●写真を変更する方法を忘れた方は、P127 (7) 写真の変更を参照してください。

ブローチを【基本図形】の○「楕円」に変更します。

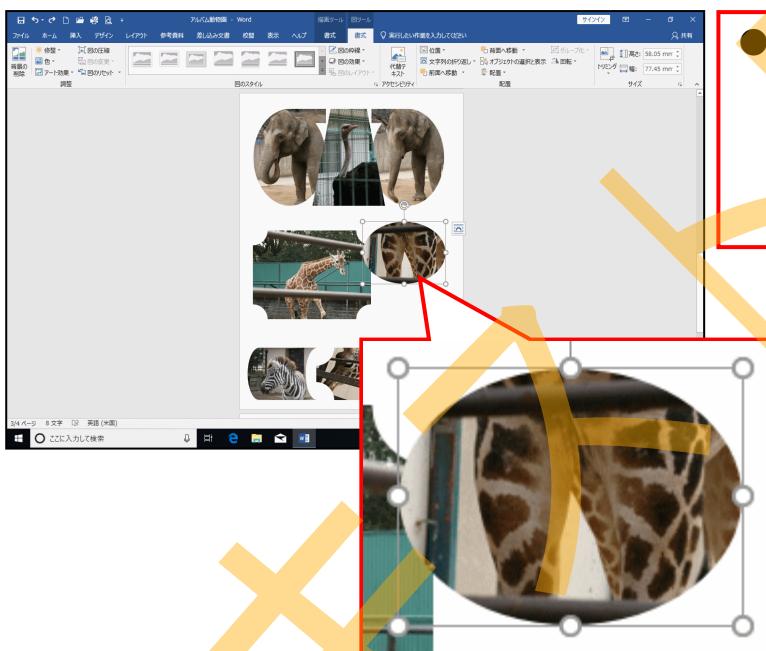


●図形を変更する方法を忘れた方は、P131 (8) 図形の変更を参照してください。

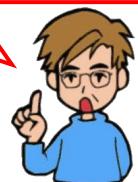
●「楕円」の場所は下図を参照。



下図を参考に楕円のサイズ、配置を変更します。



●サイズを変更する場合、楕円の縦、横の比率を守るため、マウスポインターが↑もしくは→の状態で、必ず[Shift]キーを押した状態でドラッグしてください。



◎仕上げとしてレイアウトの最終調整をしましょう。

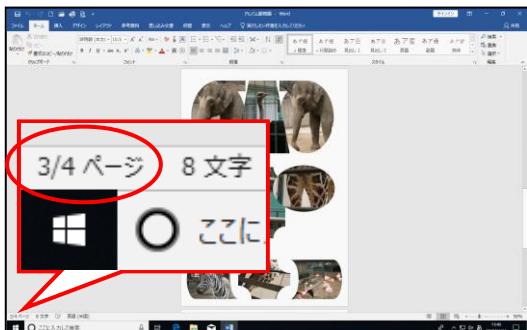
P97の【3ページ目の完成例】を参考に、大きさや配置の調整をもう一度行い、3ページ目を完成させましょう。(※テキストでは、中央左のブローチの図形のサイズを調整しています)

(16) 不要なページを削除する

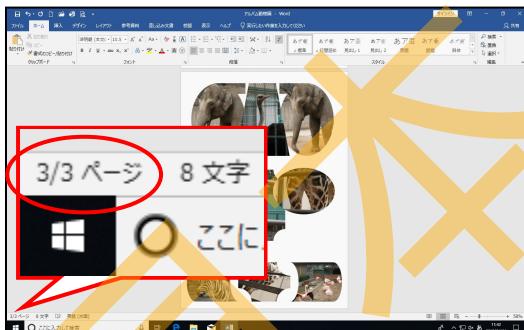
P98にも少し記載しましたが、このテキストでは、表紙を含めて合計3ページのアルバムを作成してきました。しかし、現在、表紙を含めて合計4ページあります。ここでは、不要になった4ページ目（空白ページ）を削除しましょう。

◆不要なページを削除する方法をマスターしましょう。

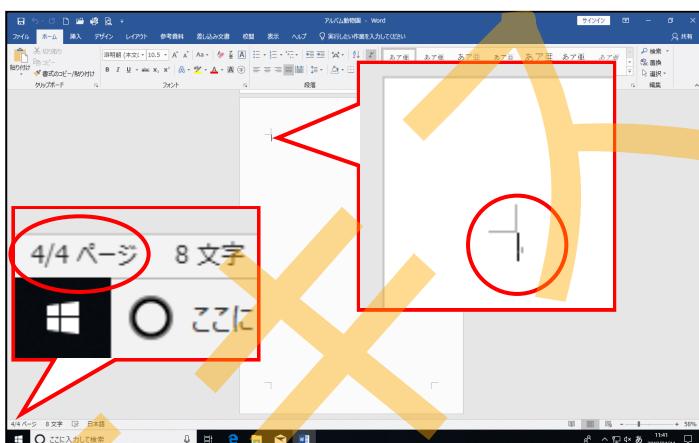
操作前



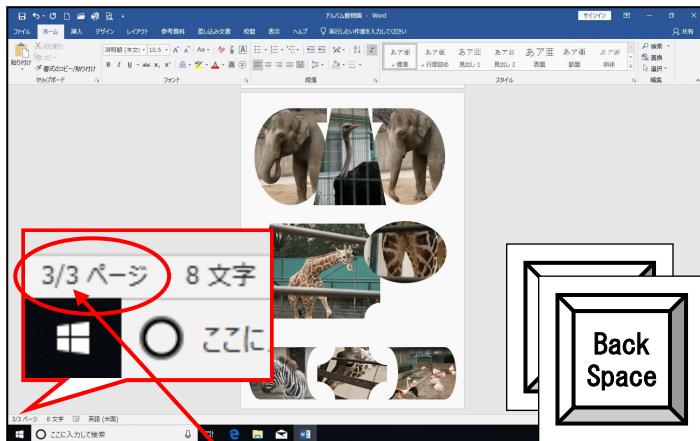
操作後



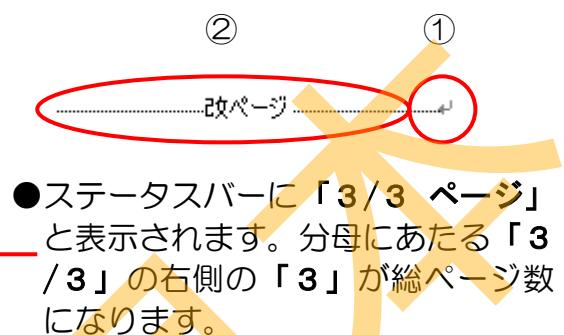
4ページ目の先頭にカーソルを移動します。



[Back Space] キーを 2 回押します。



●1回目の[Back Space]キーで消えているのが改ページマークの後ろにある段落記号（下図①）、2回目の[Back Space]キーで消えているのが改ページマーク（下図②）になります。



「アルバム動物園」を上書き保存して、ワードの画面を閉じておきましょう。

☆☆ここまでくれば、練習問題で理解度を試して下さい。☆☆

5. アルバムの装飾

ここまでで、すべてのページに写真の挿入が終わりました。ここからは、アルバムの背景に色を付けたり、コメントを挿入したりして、アルバムを装飾していきます。

(1) アルバムの背景に色を付ける

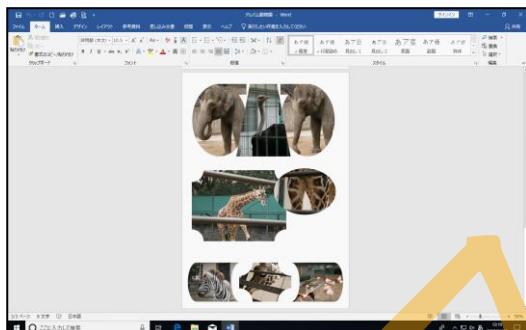
現在のアルバムの背景は「白」です。この背景に色を付けて、アルバムを引き立たせましょう。

① 四角形を描く

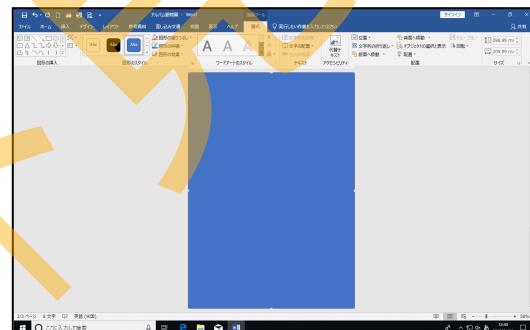
アルバムの背景となる四角形を描いてみましょう。

◆四角形を描く方法をマスターしましょう。

操作前



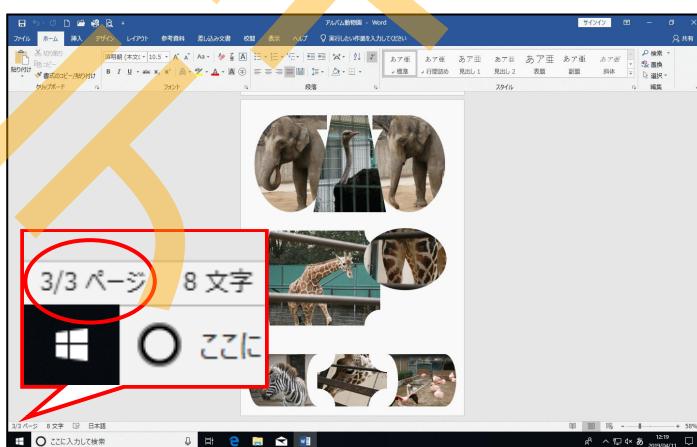
操作後



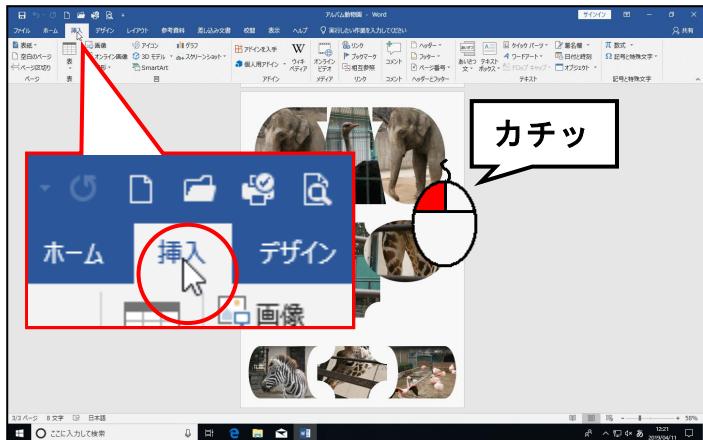
注意!

操作は下からです！

「アルバム動物園」を開き、3ページ目を表示します。

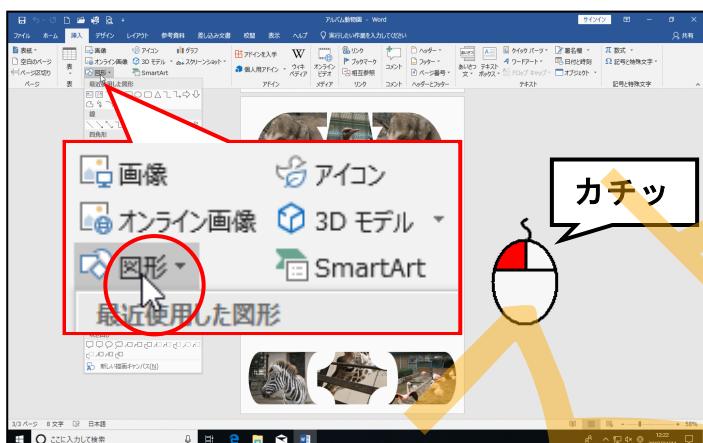


[挿入] タブにポイントし、クリックします。



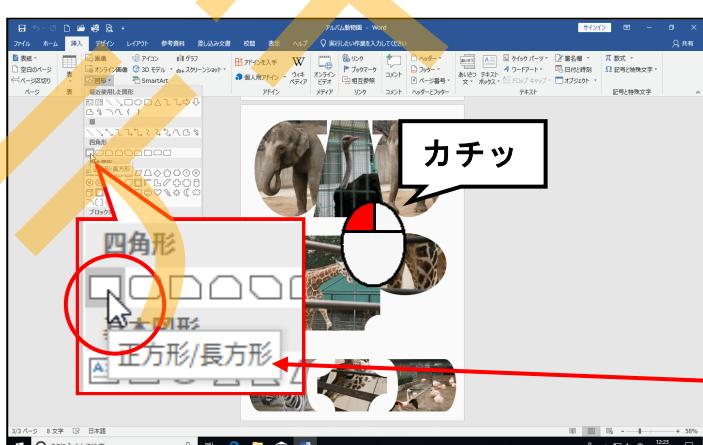
本

[図] グループにある [図形] [図形] ボタンにポイントし、クリックします。



写真

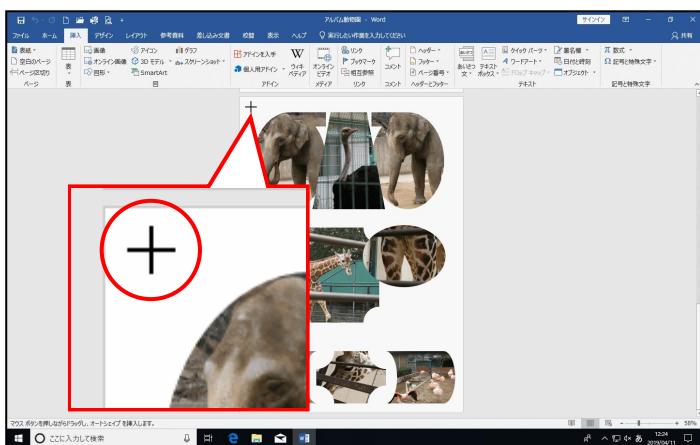
表示された図形一覧の [四角形] から 「正方形／長方形」にポイントし、クリックします。



●お使いのパソコンによって、図形の名称が違う場合があります。下図を参考に選びましょう。



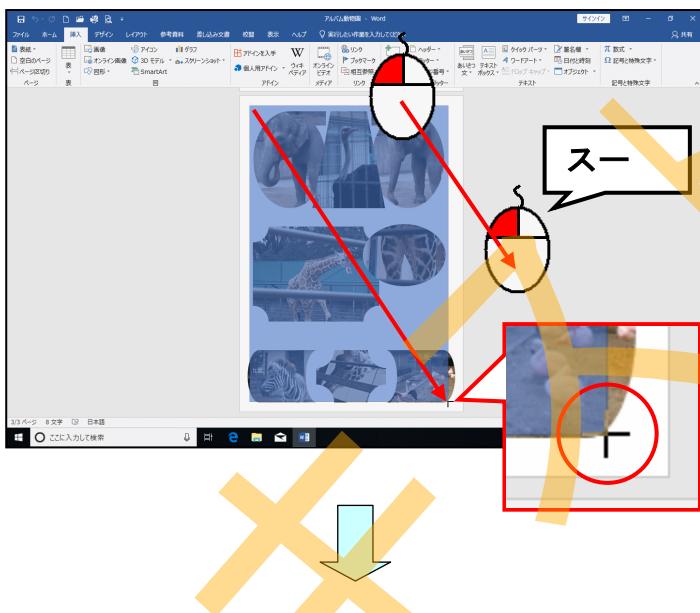
●該当の図形にポイントすると、左のように図形の名前が表示されます。



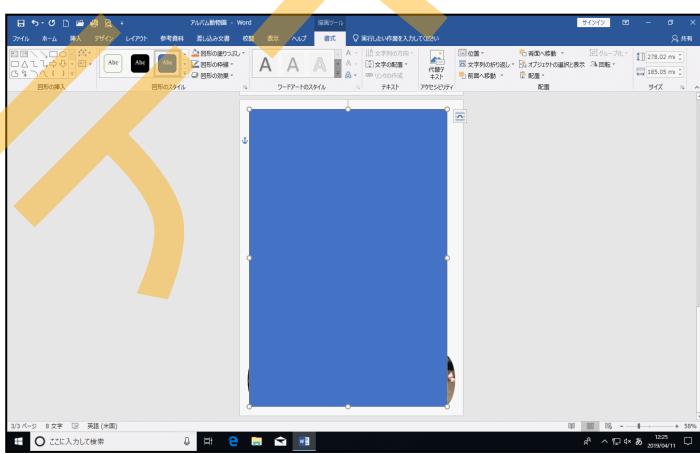
- □「正方形／長方形」をクリックすると、マウスポインターが + の状態になります。



マウスポインターが + になっていることを確認して、下図を参考に右下に向かってドラッグします。



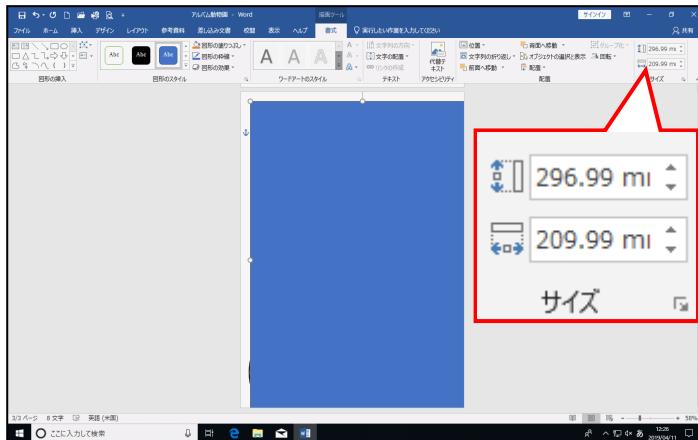
- 四角形のサイズは、次のページで変更しますので、適当で構いません。



- 図形は、描いた順番に重なっていきます。写真全体を囲い込むように四角形を描いたため、写真が隠れてしましましたが、後で四角形を写真の背面に配置させますので、安心して進んでください。



四角形を描いたところで、高さを「297」に、幅を「210」に設定します。



- A4用紙のサイズが、 $297\text{mm} \times 210\text{mm}$ のため、高さを「297」に、幅を「210」に設定しています。



- [图形の高さ]ボックスに、「297」を、[图形の幅]ボックスに「210」を入力しても、それぞれ「296.99」「209.99」と表示されますが、多少の誤差は気にしないようにしましょう。

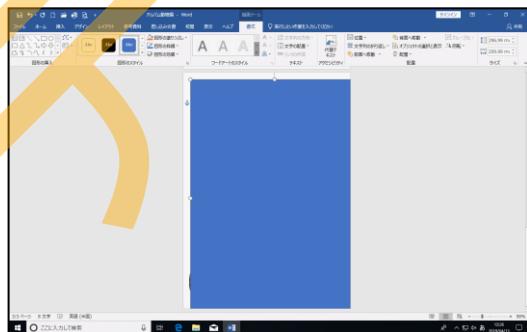
- サイズ変更を忘れた方は、P109 ① 数値を入力して图形のサイズを変更するを参照してください。

② 四角形を用紙の中央に配置する

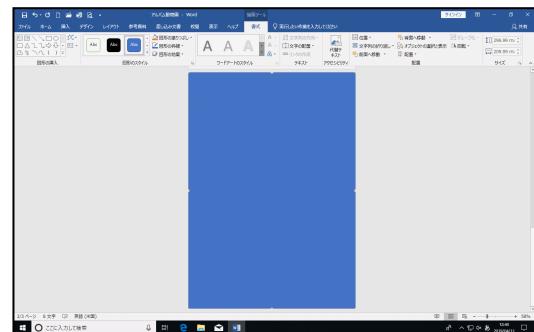
四角形を用紙とぴったり重なるように配置しましょう。

◆四角形を用紙の中央に配置する方法をマスターしましょう。

操作前

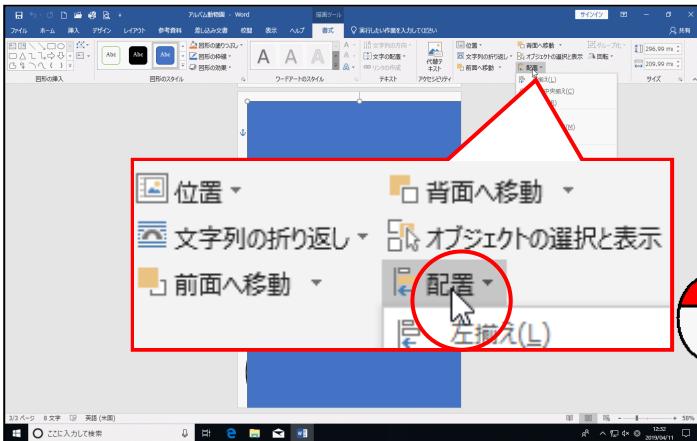


操作後



操作は次ページからです！

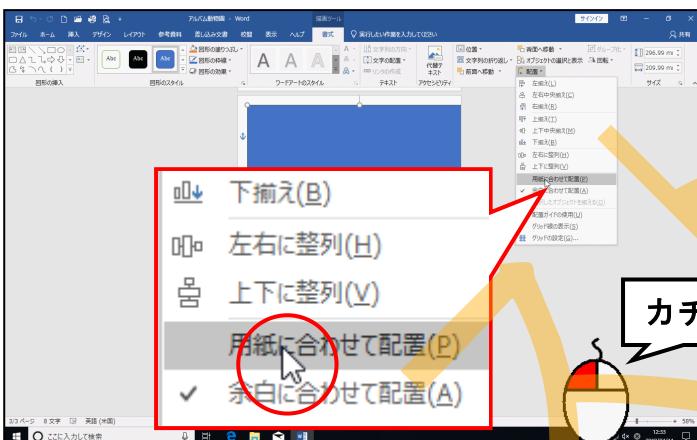
四角形が選択されていること、[書式] タブが選択されていることを確認し、[配置] グループにある 配置 [配置] ボタンにポイントし、クリックします。



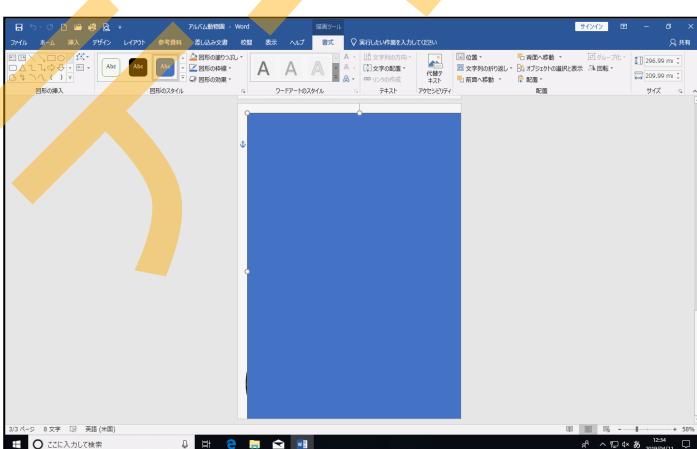
カチッ



表示された一覧から [用紙に合わせて配置(P)] にポイントし、クリックします。

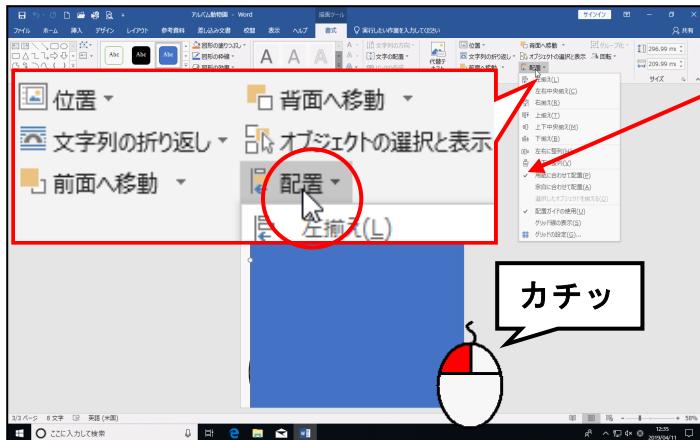


カチッ



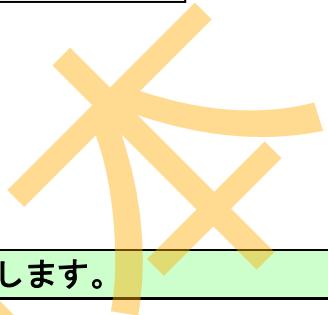
●まだ、画面上は何も変わりません。

再度、[配置] グループにある [配置] ボタンにポイントし、クリックします。

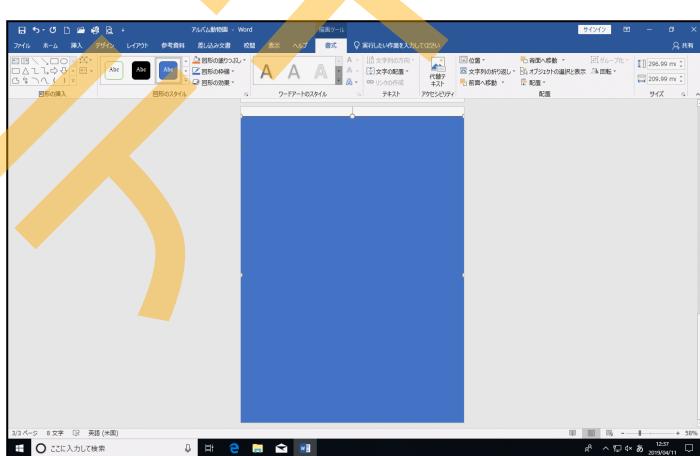
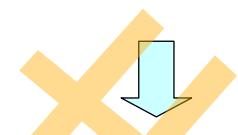
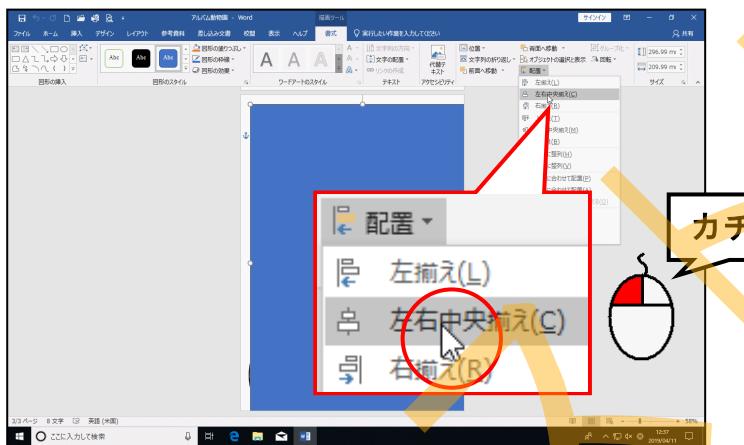


●下図のように【用紙に合わせて配置(P)】の左にチェックが入っていることを確認しておきましょう。

- 用紙に合わせて配置(P)
- 余白に合わせて配置(A)
- 選択したオブジェクトを揃える(O)

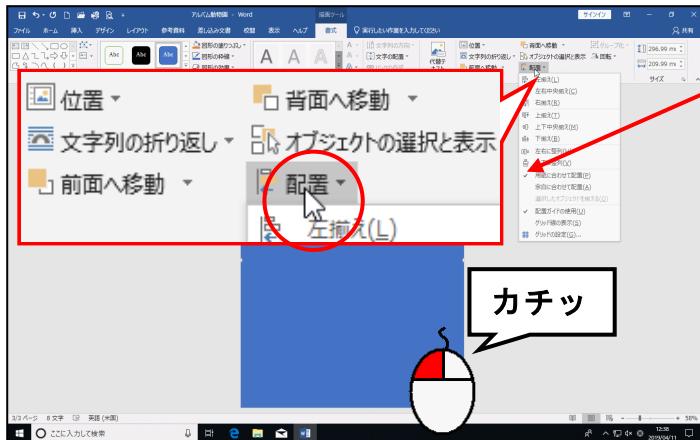


表示された一覧から【左右中央揃え(C)】にポイントし、クリックします。

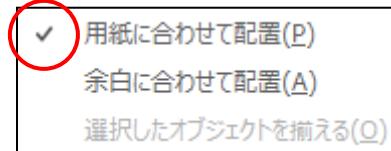


●【左右中央揃え(C)】をクリックした時点で、四角形が用紙の水平方向の中央に配置されます。

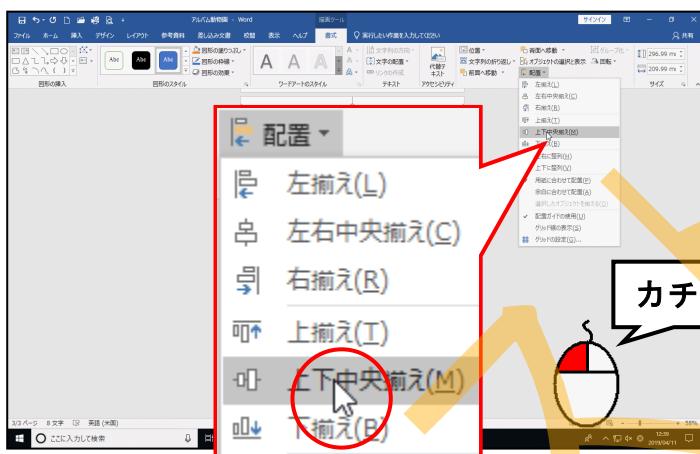
再度、[配置] グループにある [配置] ボタンにポイントし、クリックします。



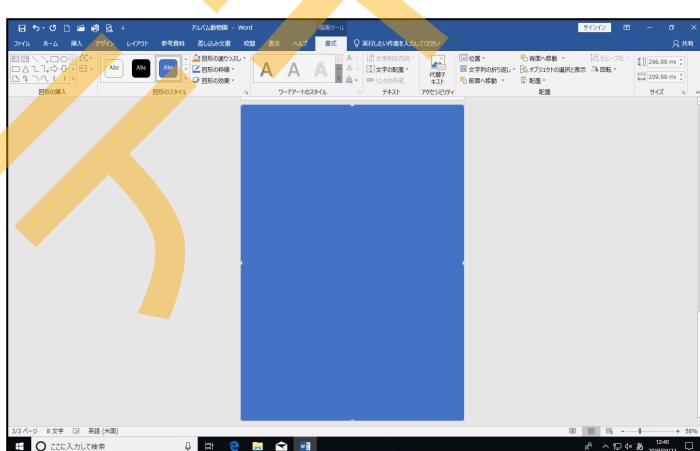
- 下図のように [用紙に合わせて配置(P)] の左にチェックが入っていることを確認しておきましょう。



表示された一覧から [上下中央揃え(M)] にポイントし、クリックします。



カチッ



- [上下中央揃え(M)] をクリックした時点で、四角形が用紙の垂直方向の中央に配置されます。

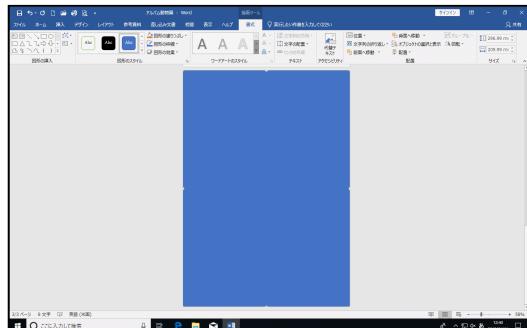
- これで背景として使用する四角形が、用紙の大きさとぴったり重なった状態で配置されました。

③ 四角形にグラデーションを設定する

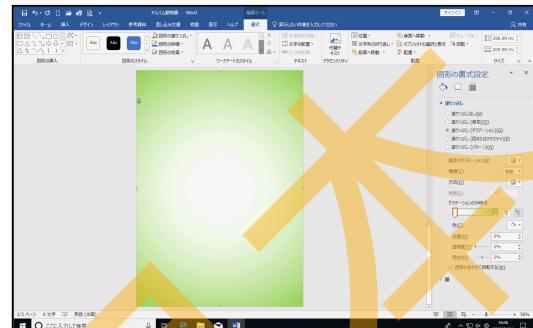
P55 でワードアートの塗りつぶしにグラデーションを設定しましたが、ここでも、描いた四角形の塗りつぶしにグラデーションを設定してみましょう。

◆グラデーションを設定する方法をマスターしましょう。

操作前

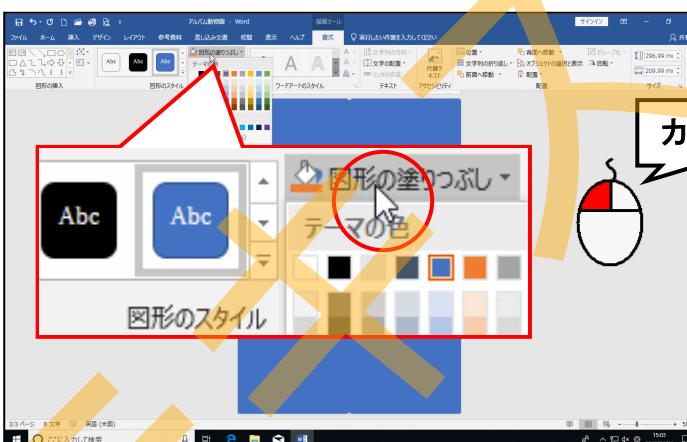


操作後

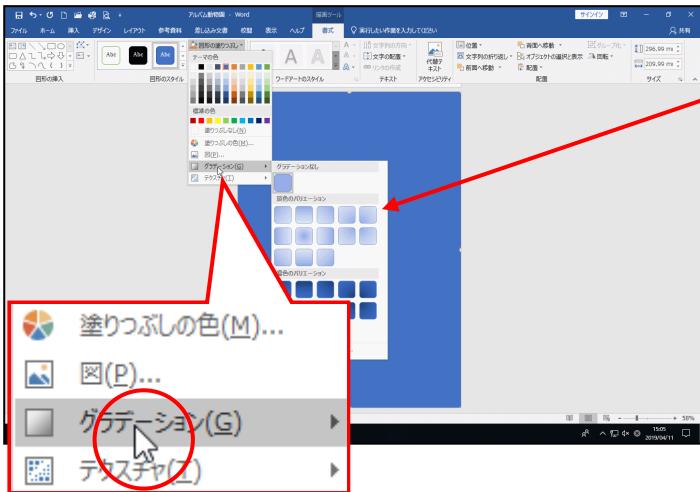


操作は下からです！

四角形が選択されていること、描画ツール [書式] タブが選択されていることを確認し、[図形のスタイル] グループにある [図形の塗りつぶし]・[図形の塗りつぶし] ボタンの [図形の塗りつぶし] にポイントし、クリックします。

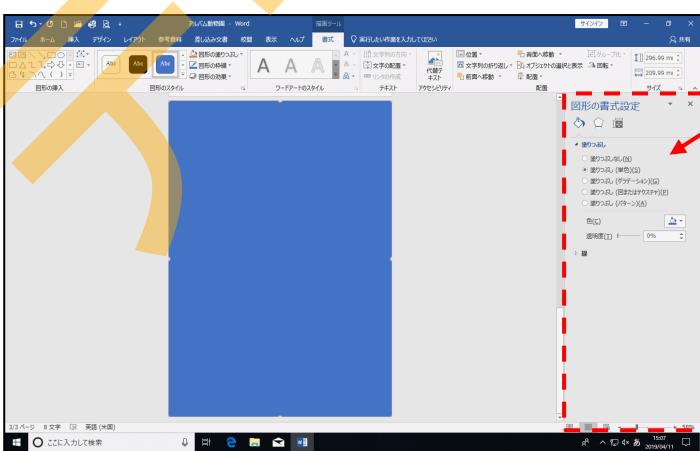
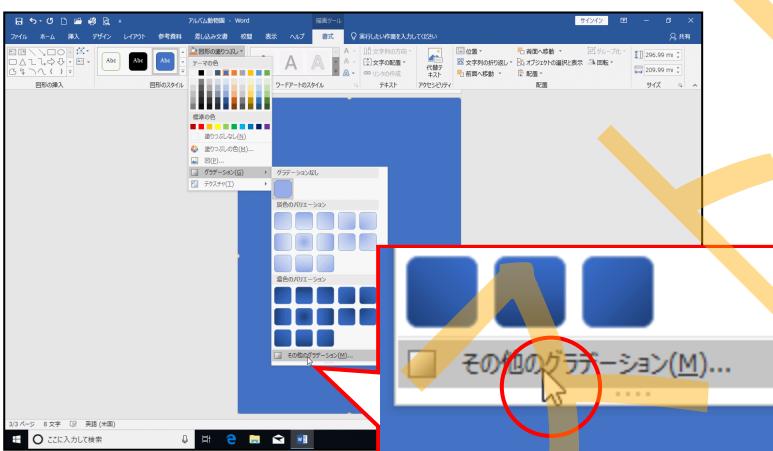


表示された一覧の中から [グラデーション(G)] にポイントします。



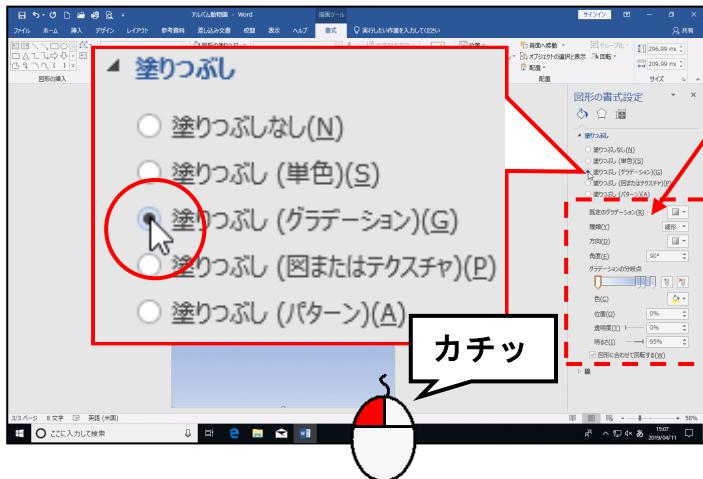
● [グラデーション(G)] にポイントすると、左のようにグラデーションの種類が表示されます。

右側に表示された一覧の中から [その他のグラデーション(M)...] にポイントし、クリックします。



● [その他のグラデーション(M)...] をクリックすると、左のように [图形の書式設定] ウィンドウが画面右に表示されます。

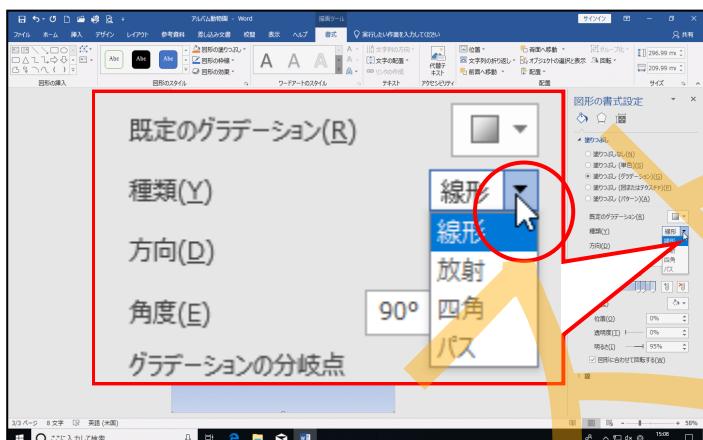
[図形の書式設定] ウィンドウで、[塗りつぶし(グラデーション)(G)] のチェックボックスにポイントし、クリックします。



- [塗りつぶし(グラデーション)(G)] をクリックすると、左のようにグラデーションのスタイルや種類、方向などを設定する項目が表示されます。

- [塗りつぶし(グラデーション)(G)] をクリックすると、左と同じ色が表示されるとは限りませんが、この後に色の変更をしますので、気にせず次の操作に進みましょう。

[種類(Y)] ボックスの右にある ▾ にポイントし、クリックします。

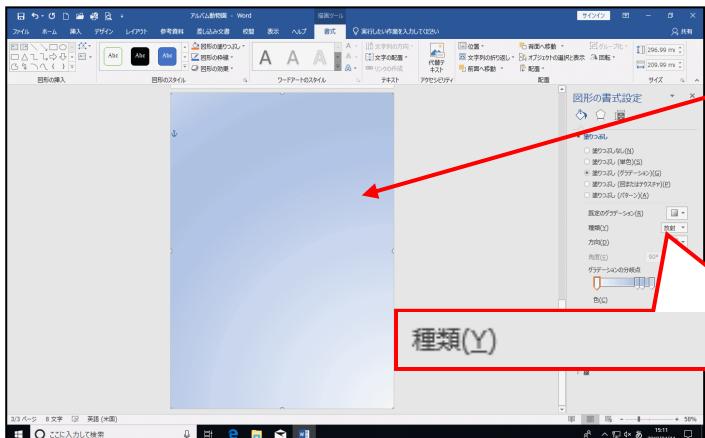


- ▾ をクリックすると、グラデーションの種類の一覧が表示されます。

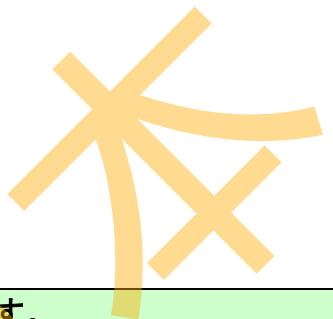
表示された種類の一覧から「放射」にポイントし、クリックします。



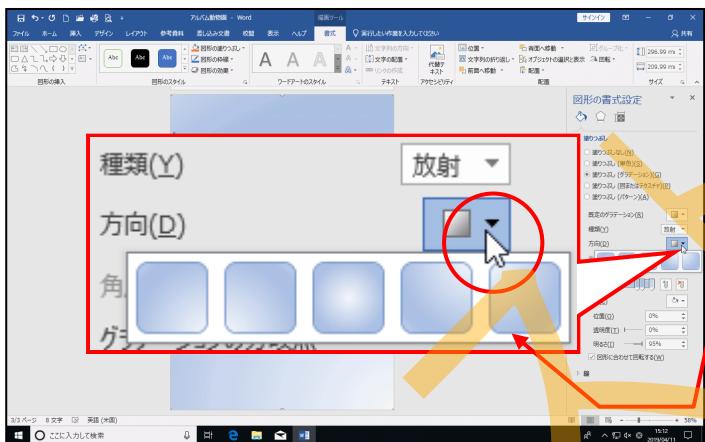
- 種類が「放射」になっている方は、この操作は不要です。



● 「放射」をクリックすると、四角形のグラデーションの種類が変わります。



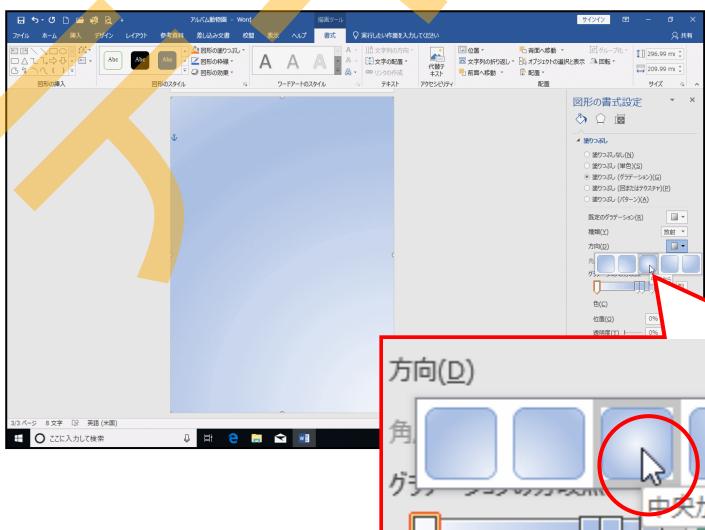
[方向(D)] ボックスの右にある ▾ にポイントし、クリックします。



● ▾ をクリックすると、左のようにグラデーションの方向の一覧が表示されます。

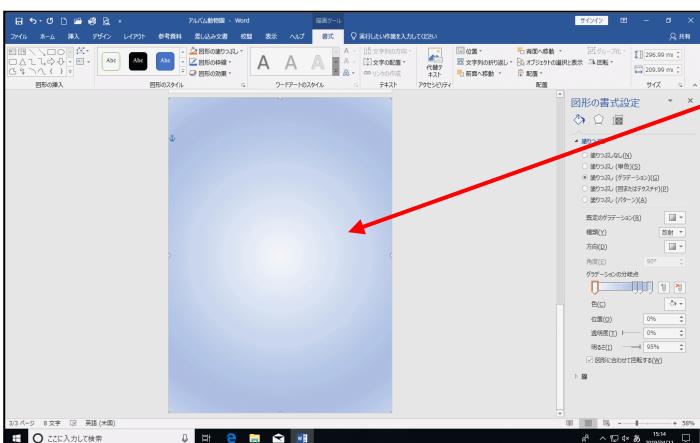
カチッ

表示された方向の一覧から「中央から」にポイントし、クリックします。



● 方向が「中央」になっている方は、この操作は不要です。

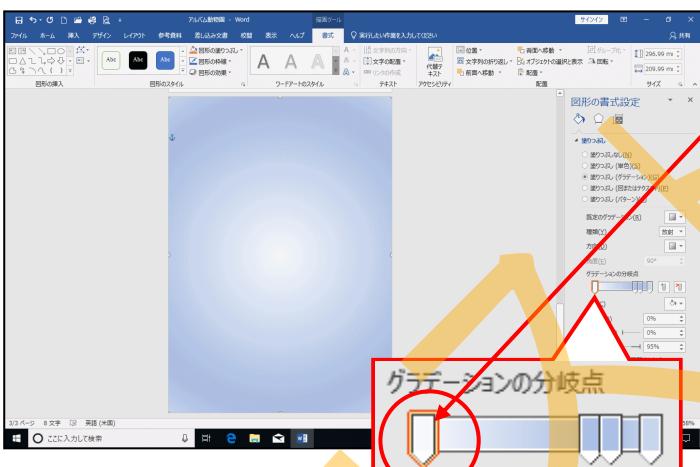




● 「中央から」をクリックすると、四角形のグラデーションの方向が変わります。



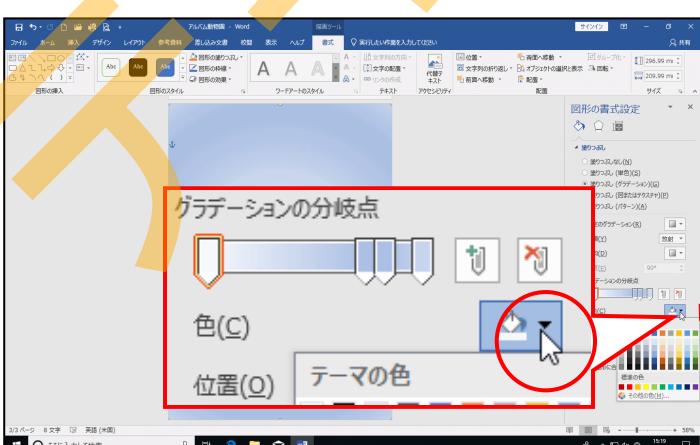
[グラデーションの分岐点] で、一番左の が選択されていることを確認します。



● 一番左の がオレンジ色の枠線に囲まれていれば、選択されています。選択されていない方は、一番左の をクリックして選択しておきましょう。



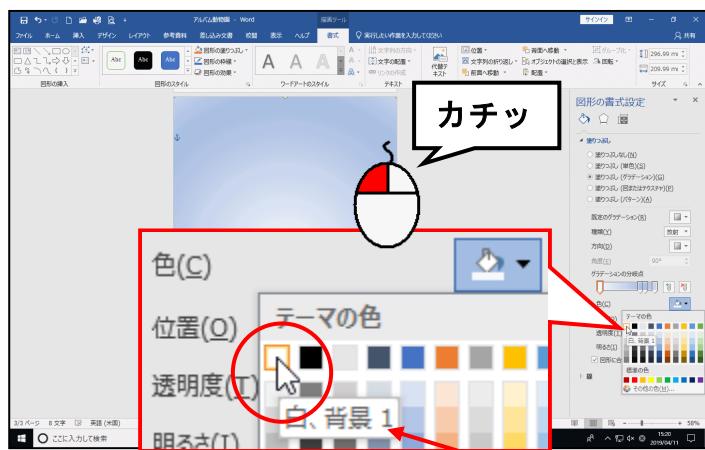
[色(C)] の右にある [色] ボタンにポイントし、クリックします。



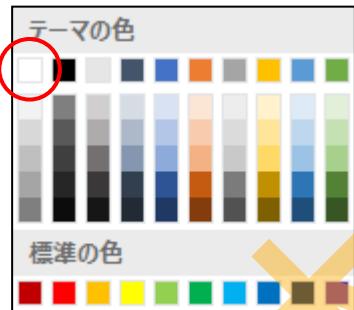
● [色] ボタンをクリックすると、左のように色の一覧が表示されます。



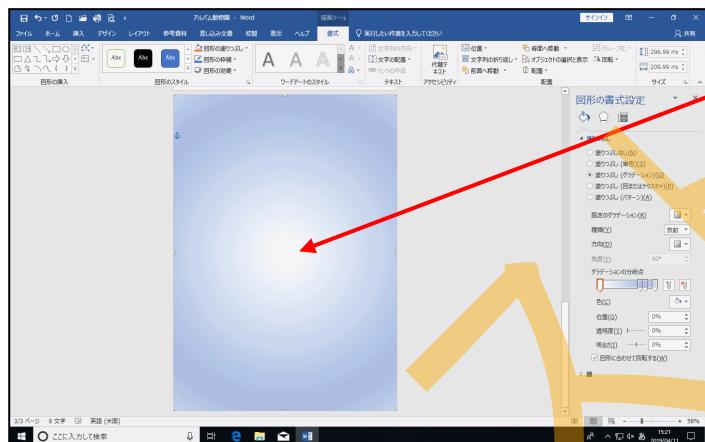
表示された色の一覧から「白、背景 1」にポイントし、クリックします。



- お使いのパソコンによって、色の名称が違う場合があります。
下図を参考に選びましょう。

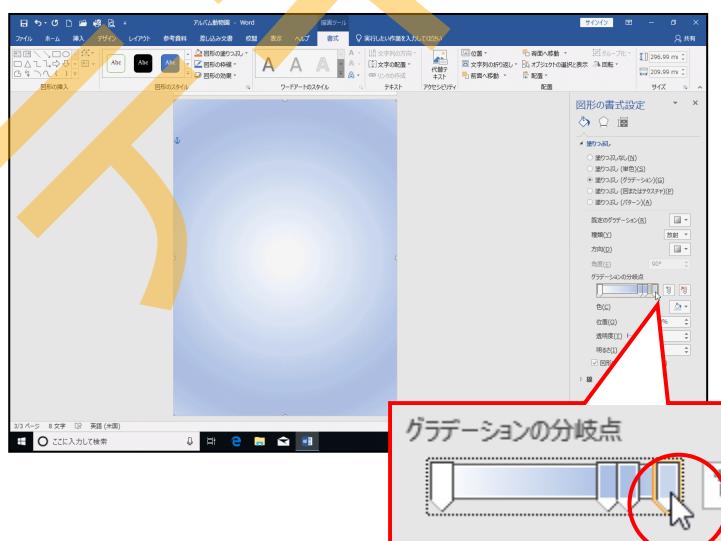


- 該当の色にポイントすると、左のように色の名前が表示されます。



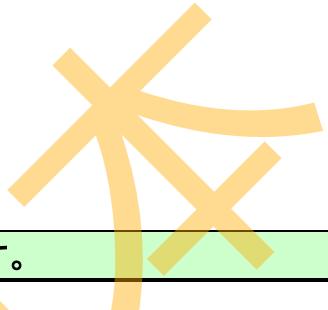
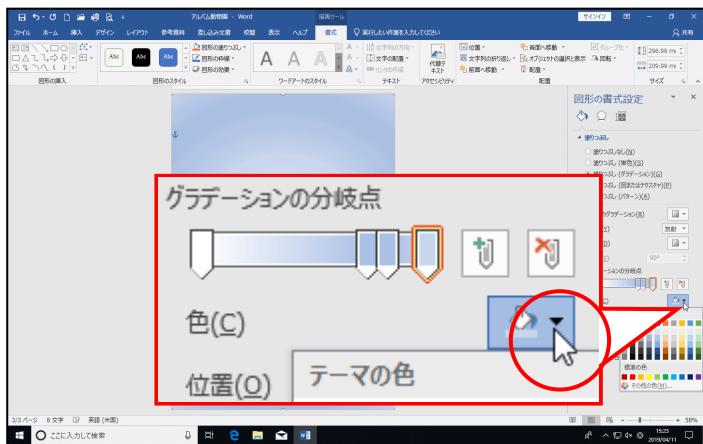
- 「白、背景 1」をクリックすると、四角形のグラデーションの色が変わります。

[グラデーションの分岐点] で、一番右の にポイントし、クリックします。

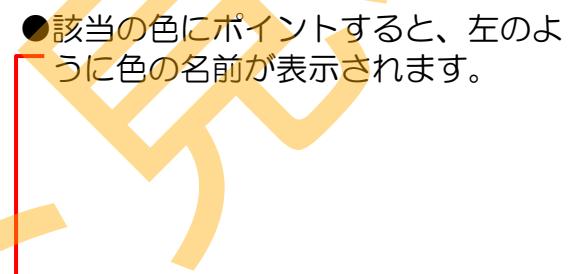
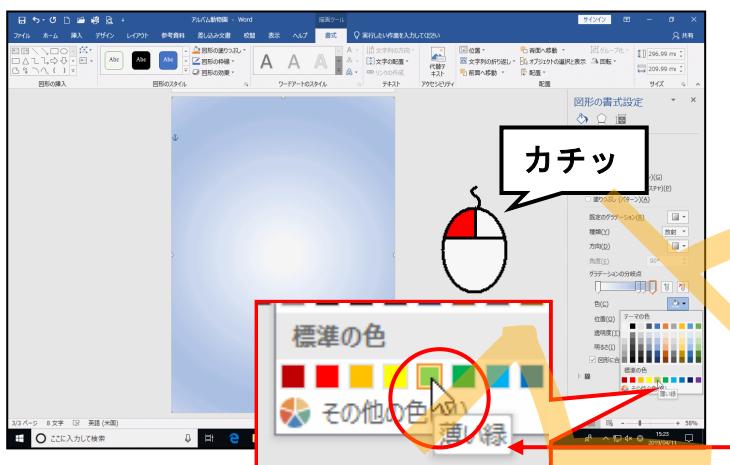


- 一番右の をクリックすると、一番右の がオレンジの枠線で囲まれます。

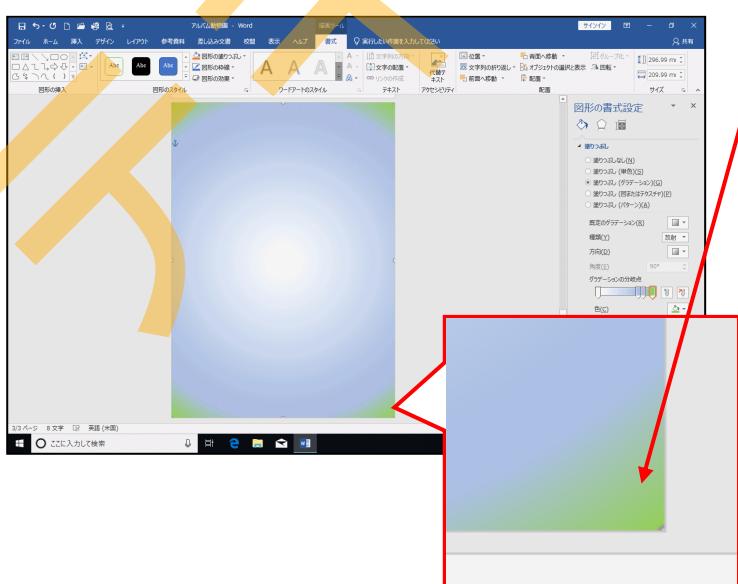
[色(C)] の右にある [色] ボタンにポイントし、クリックします。



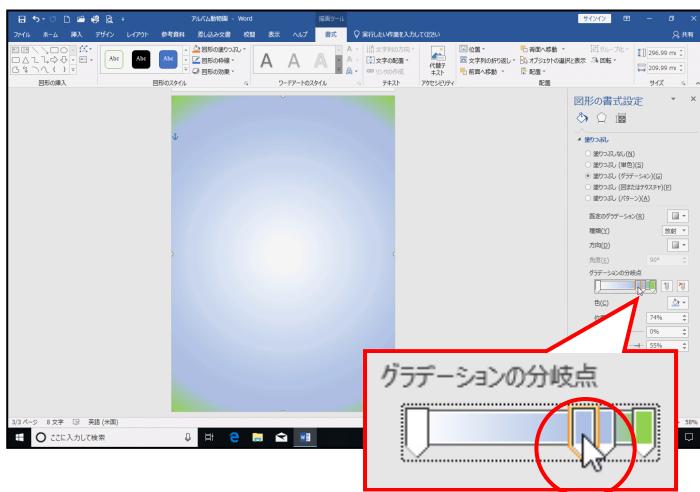
表示された色の一覧から「薄い緑」にポイントし、クリックします。



● 該当の色にポイントすると、左のように色の名前が表示されます。



[グラデーションの分岐点] で、左から 2 つ目の にポイントし、クリックします。

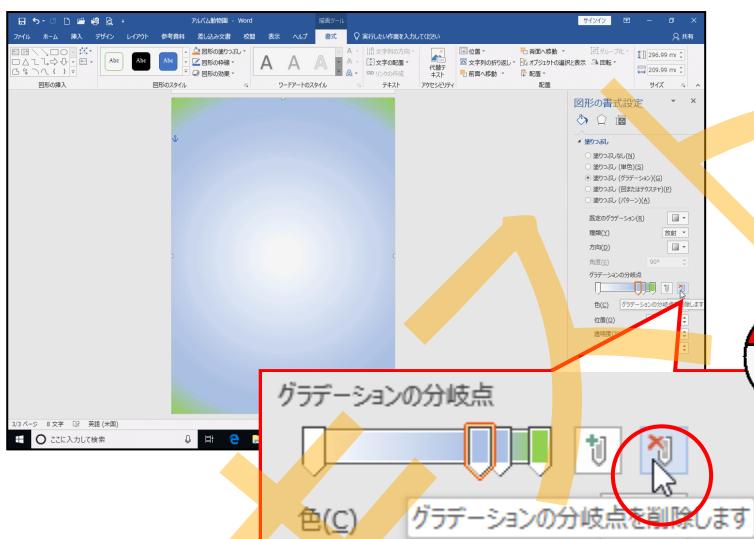


● 左から 2 つ目の をクリックすると、左から 2 つ目の がオレンジの枠線で囲まれます。

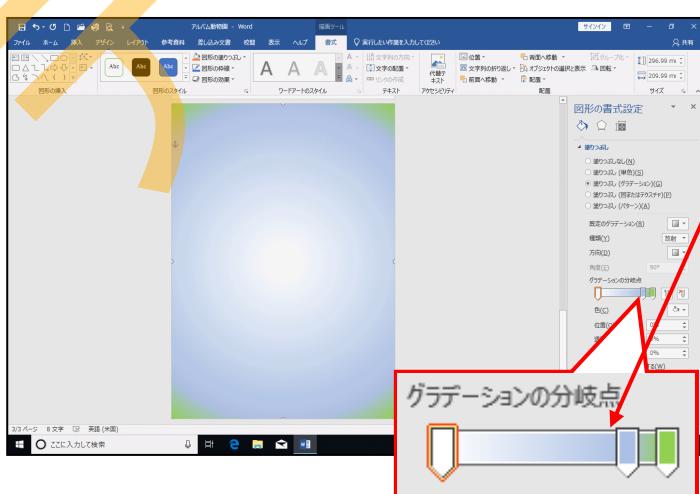
● 現在、「白、背景 1」と「薄い緑」の間に薄い青色が 2 つ入って、合計 4 色のグラデーションになっているため、この後、2 つの を削除します。



[グラデーションの分岐点] の右にある [グラデーションの分岐点を削除します] ボタンにポイントし、クリックします。

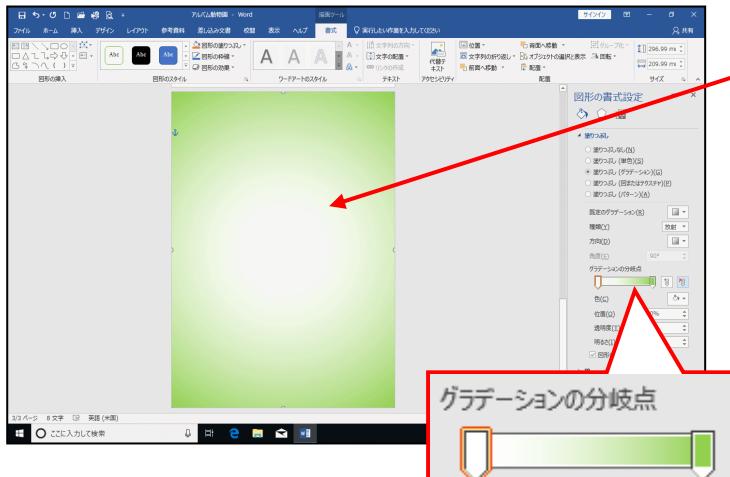


カチッ



● [グラデーションの分岐点を削除します] ボタンをクリックすると、「白、背景 1」と「薄い緑」の間の薄い青色が 1 つ消えて、合計 3 つのグラデーションになります。

同様にして、右から2つ目のも削除しましょう。



●右から2つ目のを削除すると、四角形のグラデーションの色が、「白、背景1」と「薄い緑」の2色に変わります。

現在、画面右に表示されている【図形の書式設定】ウィンドウは、次のページからも使用しますので、閉じずにそのままにしておきましょう。

ご参考までに

■アルバムの背景を単色（1色）で設定する

アルバムの背景を単色で設定する場合は、【デザイン】タブの【ページの背景】グループにある【ページの色】ボタンをクリックして、任意の色を選択します。なお、この方法でアルバムの背景を設定する場合、四角形を描く必要はありません。また、すべてのページに背景の設定が適用されます。

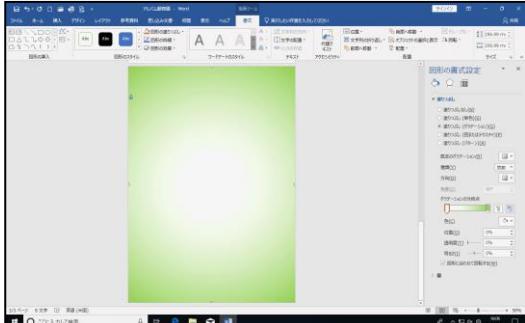
ただし、この方法で背景を設定した場合、通常の印刷操作では背景の色は印刷されないので、印刷する前に【ファイル】タブをクリックし、下に表示される一覧から【オプション】をクリックし、表示された【Word のオプション】ダイアログボックスの【表示】をクリックし、「印刷オプション」の中の【背景の色とイメージを印刷する(B)】にチェックを入れる必要があります。

④ 四角形の枠線の色を非表示にする

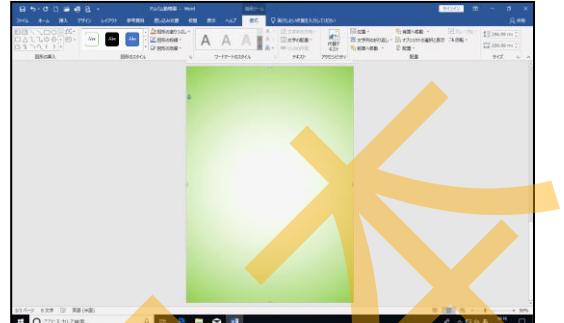
四角形の線の色を非表示（線なし）に設定してみましょう。

◆線の色を非表示（線なし）に設定する方法をマスターしましょう。

操作前

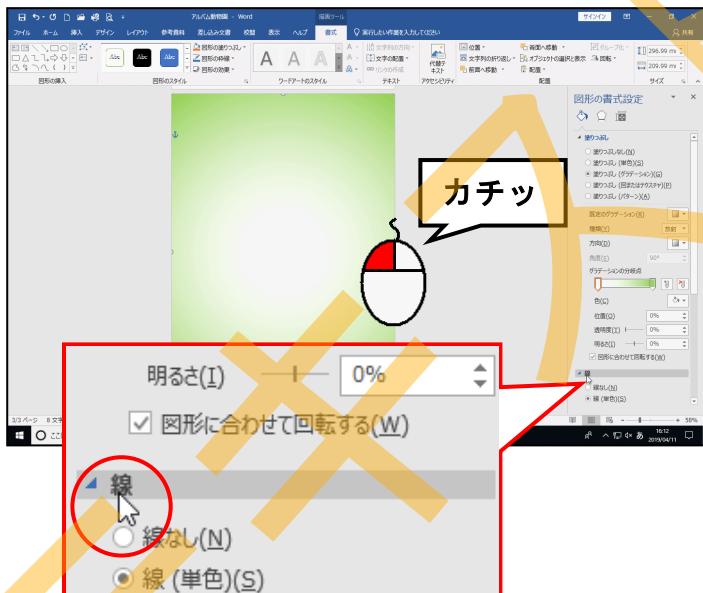


操作後



操作は下からです！

【図形の書式設定】ウィンドウの ▶ 線「線」にポイントし、クリックします。

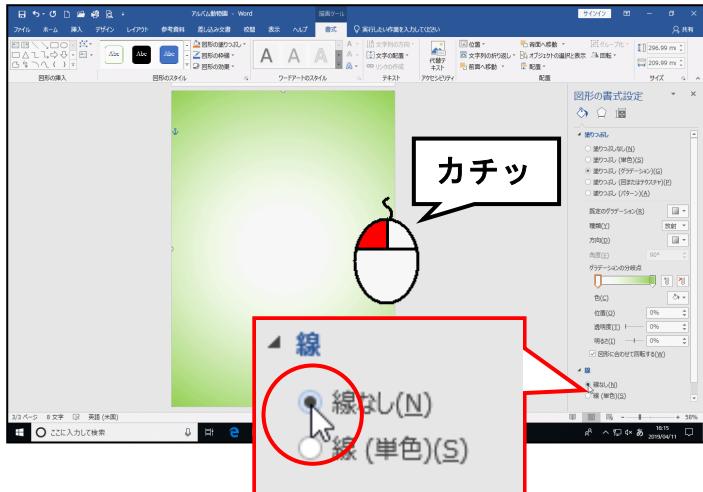


- 【図形の書式設定】ウィンドウが表示されていない方は、P149 を参照して、【図形のスタイル】グループの右下にある □ をクリックして表示しておきましょう。

- ▶ 線「線」が表示されていない方は、【図形の書式設定】ウィンドウの右にあるスクロールバーを使って、▶ 線「線」が表示されるまで、画面を下にスクロールしておきましょう。

- ▶ 線「線」はクリックすると ▲ 線に変わります。

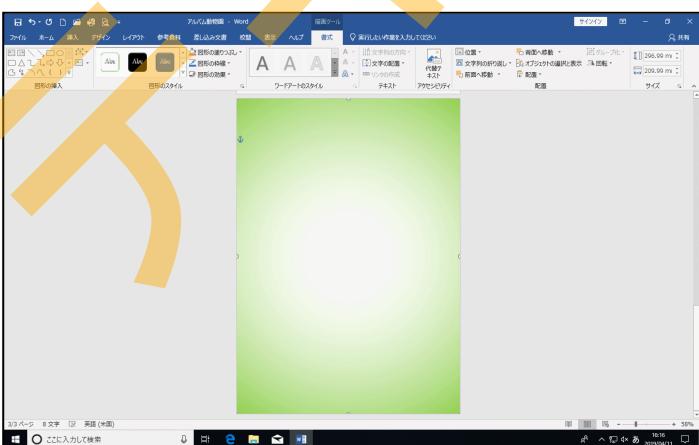
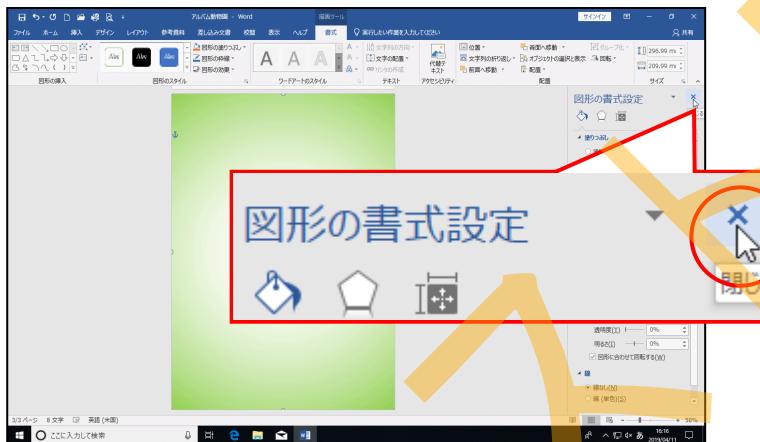
[線なし(N)] にポイントし、クリックします。



● [線なし(N)] をクリックすると、四角形の枠線が非表示になります。

● [線なし(N)] が表示されていない方は、[図形の書式設定] ウィンドウの右にあるスクロールバーを使って、[線なし(N)] が表示されるまで、画面を下にスクロールしておきましょう。

[図形の書式設定] ウィンドウの × [閉じる] ボタンにポイントし、クリックします。

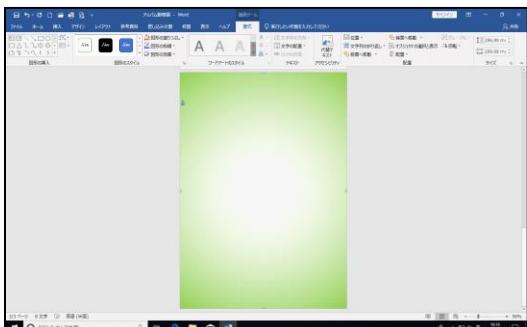


⑤ 四角形を最背面に配置する

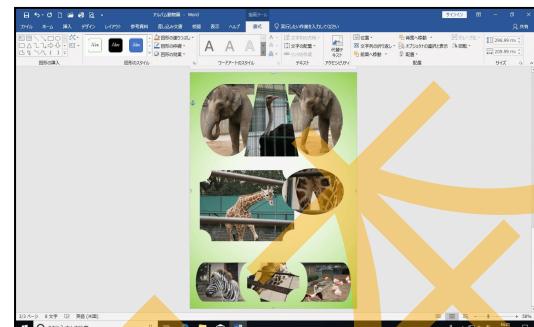
四角形が写真の背景になるように、最背面に配置してみましょう。

◆四角形を最背面に配置する方法をマスターしましょう。

操作前

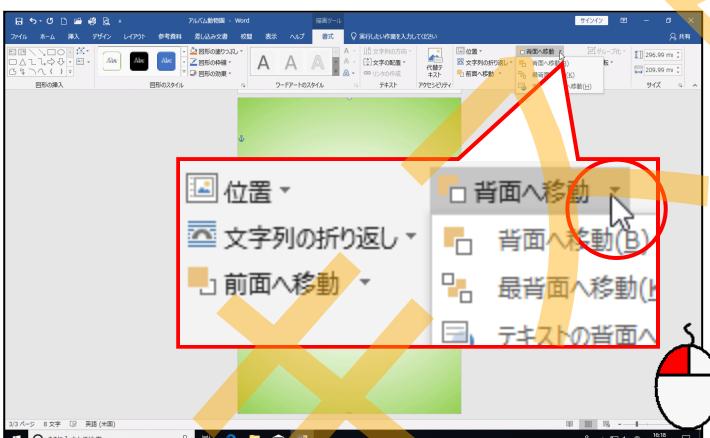


操作後



操作は下からです！

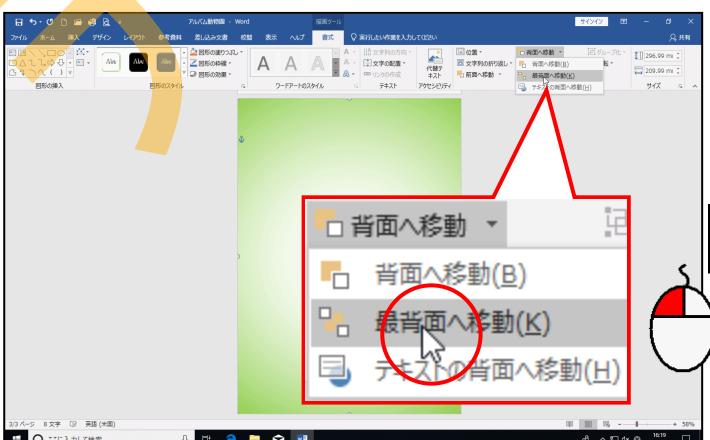
四角形が選択されていること、[書式] タブが選択されていることを確認し、[配置] グループにある 背面へ移動 ▾ [背面へ移動] ボタンの▼にポイントし、クリックします。



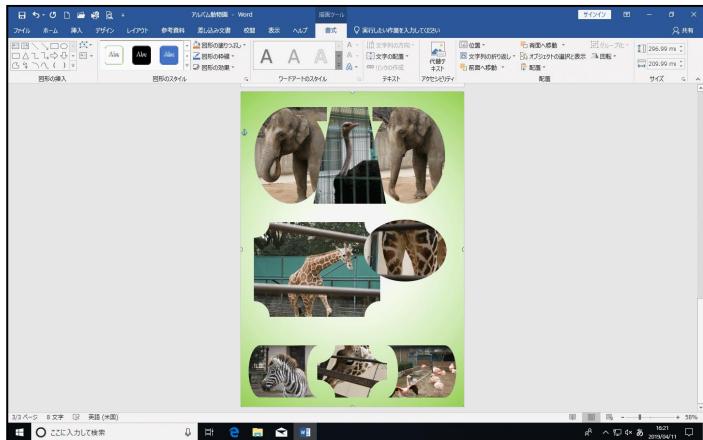
●そのまま 背面へ移動 [背面へ移動] ボタンをクリックしないように注意しましょう。

カチッ

下に表示された一覧から [最背面へ移動(K)] にポイントし、クリックします。



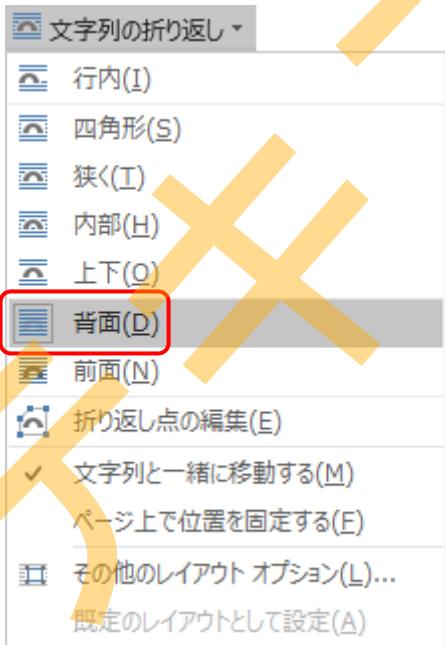
カチッ



ご参考までに

■最背面に配置しても他の図形や写真、ワードアートが前面に表示されない場合

背景となる四角形を選択した状態で、描画ツールの【書式】タブの【配置】グループから 文字列の折り返し ▾ 【文字列の折り返し】ボタンをクリックし、一覧から【背面(D)】をクリックしましょう。



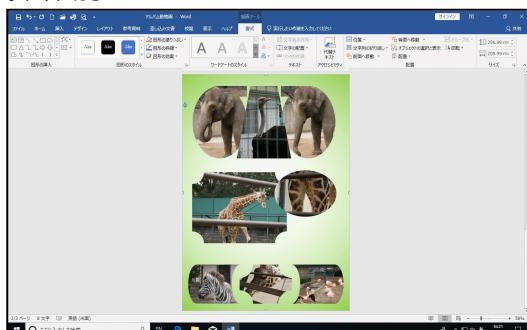
⑥ 四角形をコピーする

ここまで作成した四角形を1ページ目、2ページ目にコピーしましょう。

図形のコピーは、P124 (6) 図形のコピーで学習していますが、違うページに図形をコピーする場合は、[ホーム] タブの [コピー] ボタンを使ったほうが簡単です。

◆違うページに図形をコピーする方法をマスターしましょう。

操作前

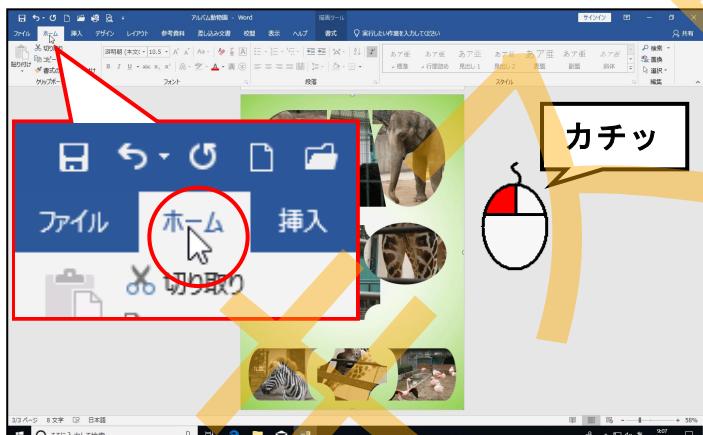


操作後

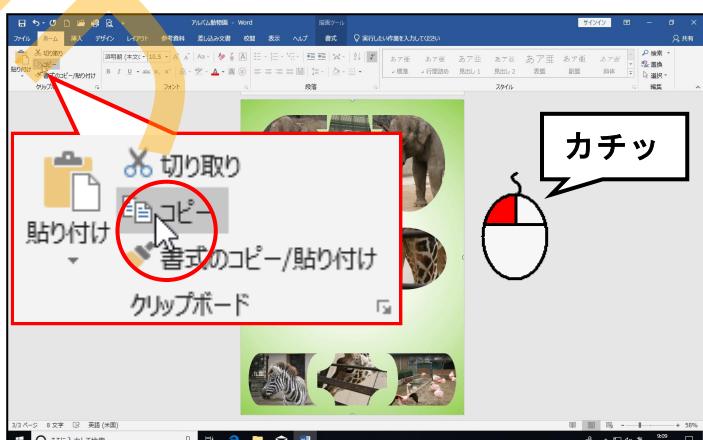


操作は下からです！

四角形が選択されていることを確認し、[ホーム] タブにポイントし、クリックします。

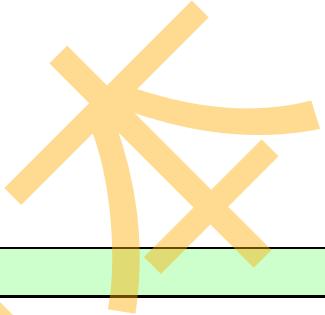
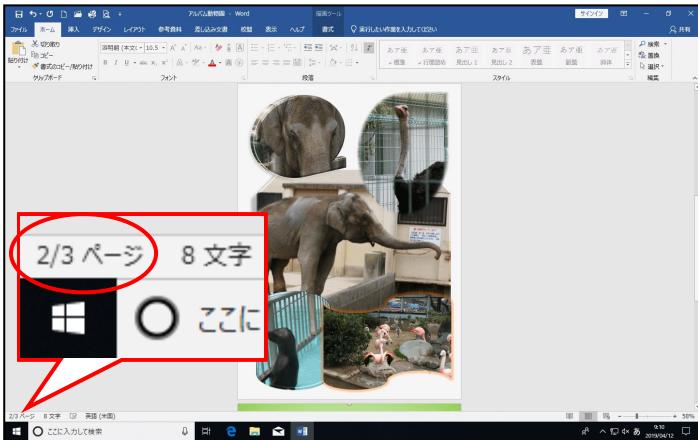


[クリップボード] グループにある [コピー] ボタンにポイントし、クリックします。

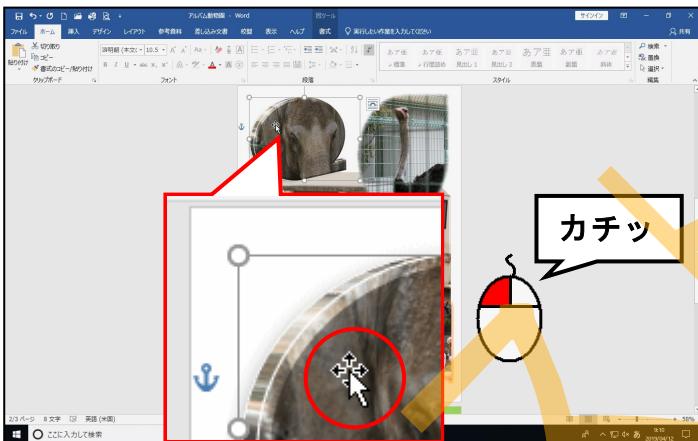


- [コピー] ボタンをクリックした時点では、画面に変化はありませんが、パソコンはコピーした四角形の情報を覚えてくれています。

画面をスクロールして、2ページ目を表示します。

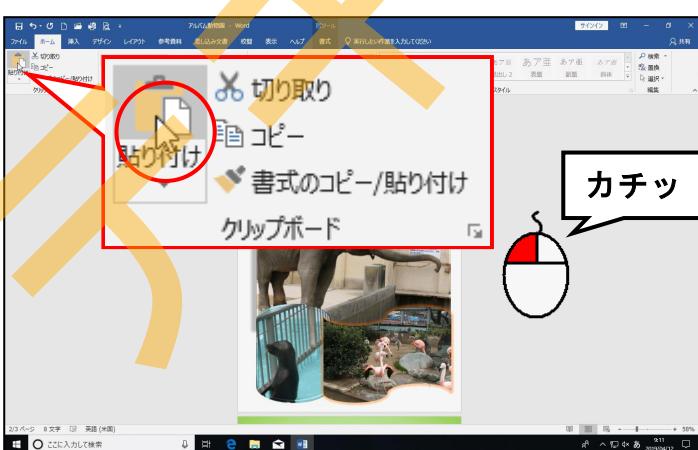


2ページ目の左上の図形を選択します。

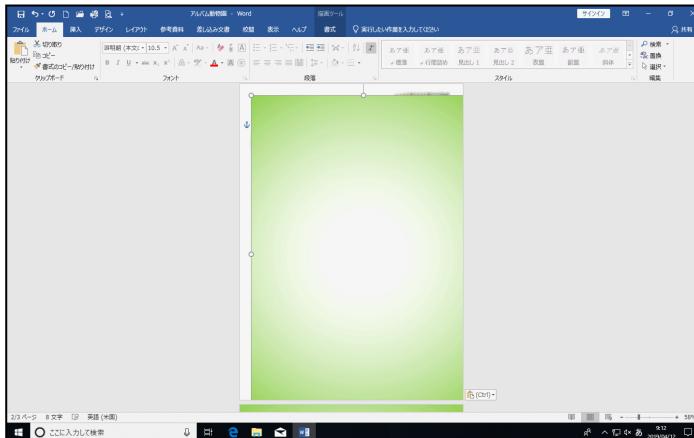


- どこに四角形を貼り付けるか、基準を決める操作になります。

[クリップボード] グループにある [貼り付け] ボタンにポイントし、クリックします。



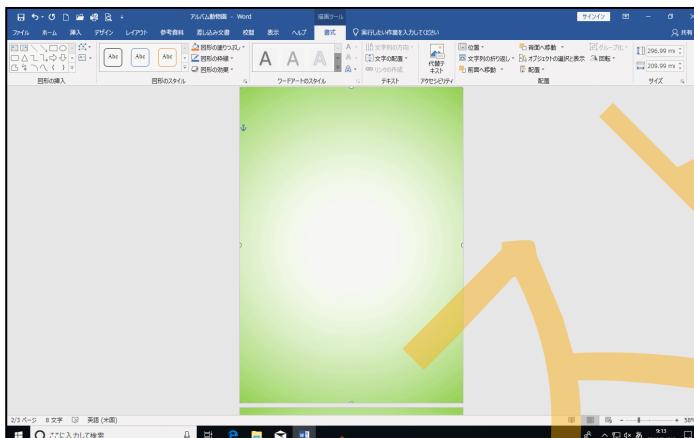
- [貼り付け]ボタンの下側の 貼り付け を間違って押さないように注意しましょう。



- [貼り付け] ボタンをクリックすると、四角形が2ページ目にコピーされます。

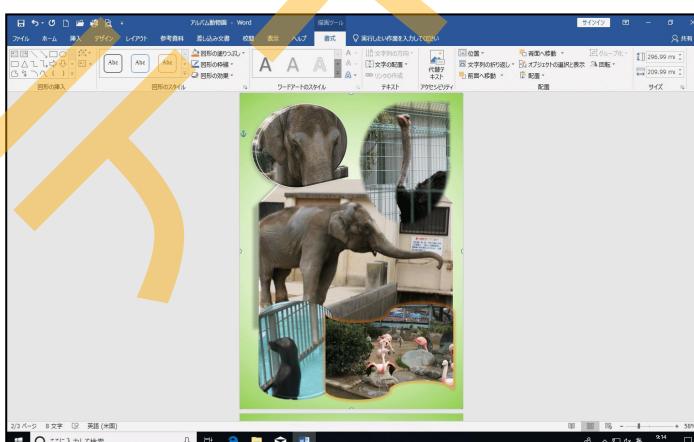


2ページ目にコピーした四角形を用紙の中央に配置します。



- 四角形を用紙の中央に配置する方法を忘れた方は、P167 ② 四角形を用紙の中央に配置するを参照してください。

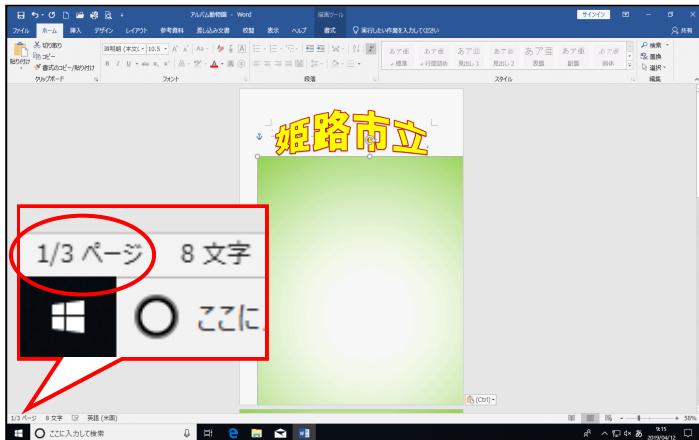
2ページ目にコピーした四角形を最背面に配置します。



- 四角形を最背面に配置する方法を忘れた方は、P182 ⑤ 四角形を最背面に配置するを参照してください。

- 最背面に配置しても、ワードアートなどが前面に表示されなかった方は、P183 「ご参考までに」 ■最背面に配置しても他の図形や写真、ワードアートが前面に表示されない場合を参照してください。

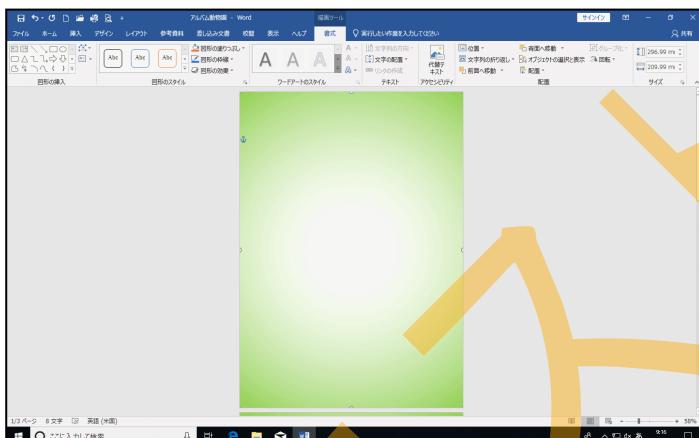
同様にして、1ページ目にも四角形をコピーしましょう。



●貼り付け操作を行う前に、下のように1ページ目左上の「さる」の画像を選択しておきましょう。

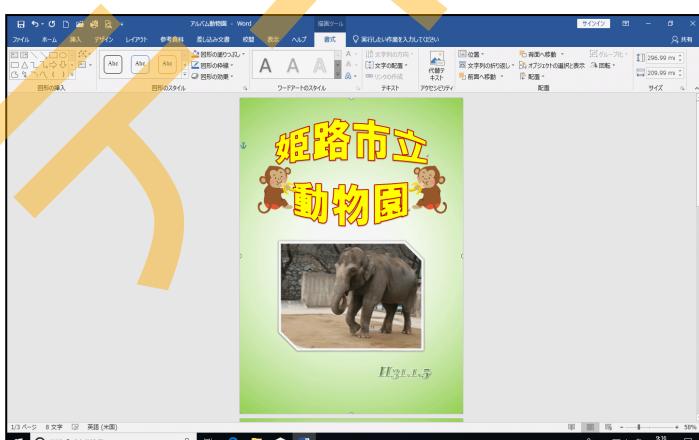


1ページ目にコピーした四角形を用紙の中央に配置します。



●四角形を用紙の中央に配置する方法を忘れた方は、P167 ② 四角形を用紙の中央に配置するを参照してください。

1ページ目にコピーした四角形を最背面に配置します。



●四角形を最背面に配置する方法を忘れた方は、P182 ⑤ 四角形を最背面に配置するを参照してください。

●最背面に配置しても、ワードアートなどが前面に表示されなかった方は、P183 「ご参考までに」 ■最背面に配置しても他の図形や写真、ワードアートが前面に表示されない場合を参照してください。

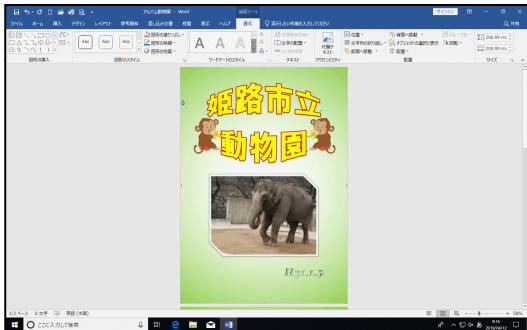
⑦ 表紙の背景をテクスチャに変更する

表紙の背景の塗りつぶしをテクスチャの「ひな形」に変更してみましょう。

テクスチャとは、物の材質や手触りなど、表面の質感のことで、これを図形の塗りつぶしとして設定できます。

◆塗りつぶしをテクスチャに設定する方法をマスターしましょう。

操作前

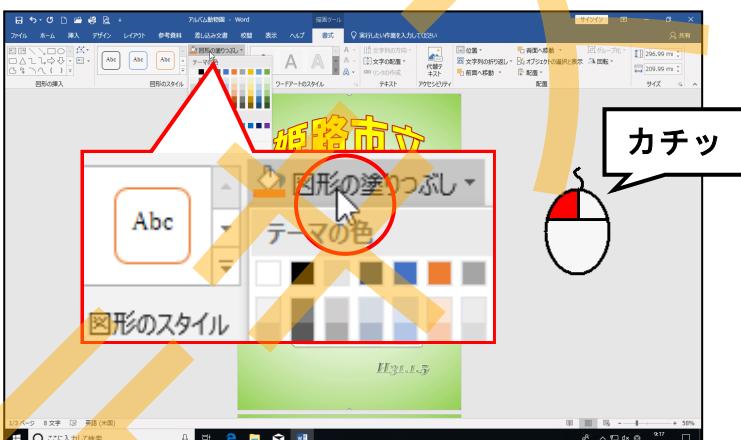


操作後

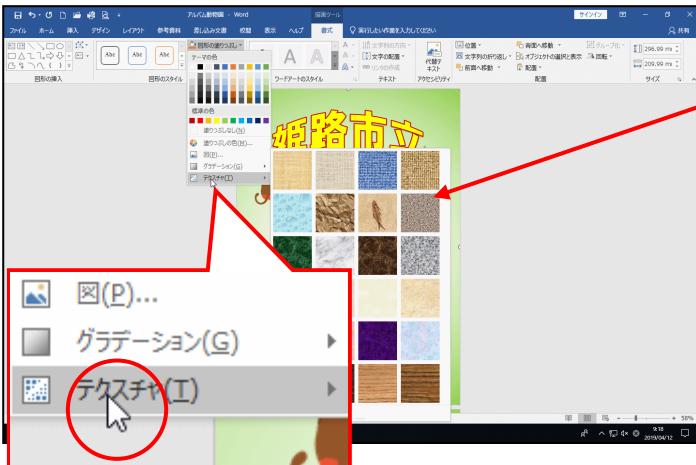


操作は下からです！

1ページ目の四角形が選択されていること、[書式] タブが選択されていることを確認し、[図形のスタイル] グループにある 図形の塗りつぶし・ [図形の塗りつぶし] ボタンの 図形の塗りつぶし・ にポイントし、クリックします。

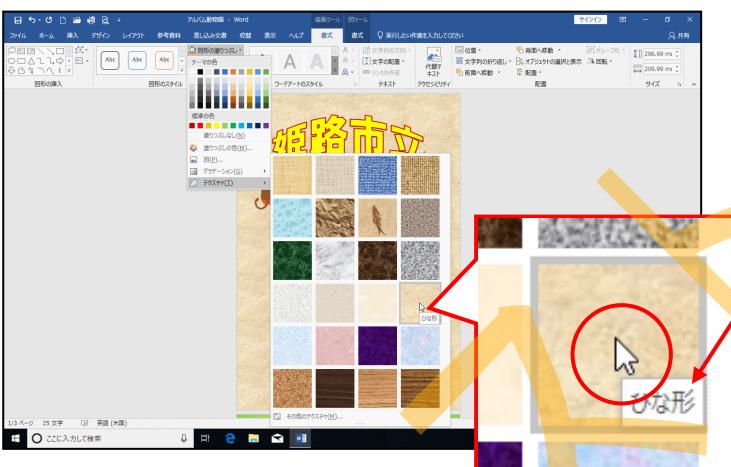


表示された一覧から【テクスチャ(T)】にポイントします。

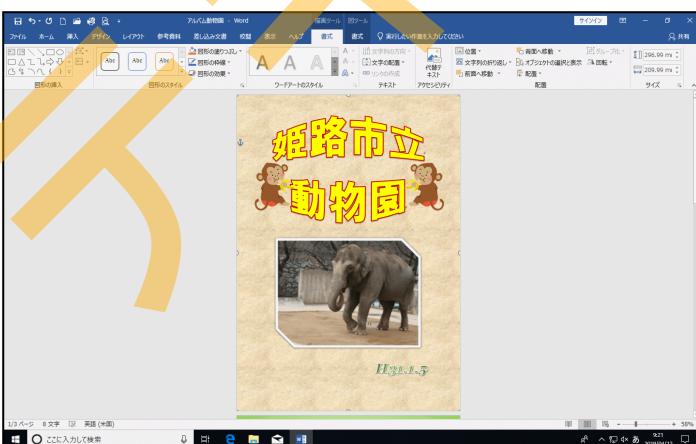


●【テクスチャ(T)】にポイントすると、左のようにテクスチャの種類の一覧が表示されます。

表示されたテクスチャの種類から「ひな形」にポイントし、クリックします。



●該当のテクスチャにポイントすると、左のようにテクスチャの名前が表示されます。



●「ひな形」をクリックすると、四角形の塗りつぶしの色が変わります。

(2) コメントの挿入

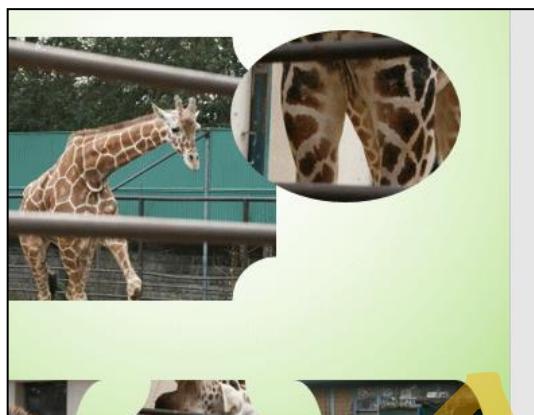
アルバムの中に、サインペンやボールペンなどで、直接コメントを書かれているのを、よく目にします。これでも十分美しいアルバムなのですが、ワードでアルバムを作成すると、パソコン上でコメントを入力し、文字の大きさや、書体、色など様々な書式を設定した状態で印刷することができます。これも、ワードでアルバムを作成する大きな長所です。

① 吹き出しを描く

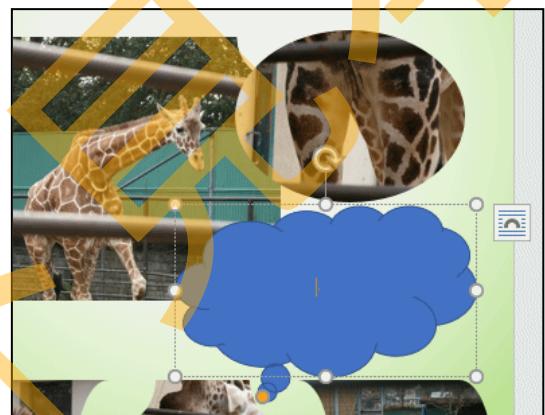
表紙には、ワードアートでタイトル、日付を挿入しましたが、ここでは、3ページ目に図形の吹き出しを描き、コメントを挿入します。

◆吹き出しを描く方法をマスターしましょう。

操作前

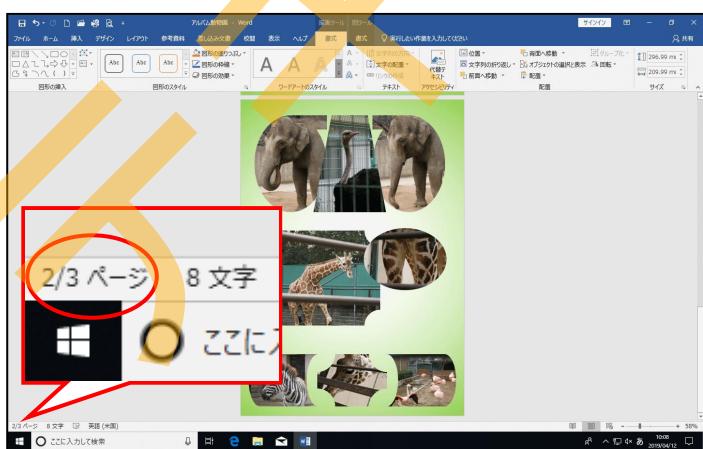


操作後

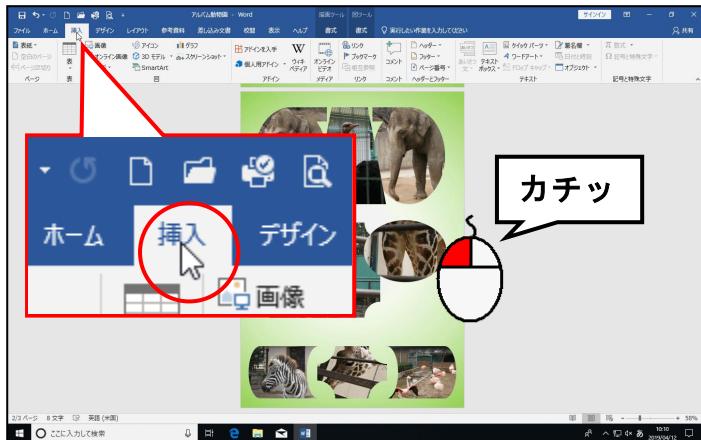


操作は下からです！

コメントを挿入する3ページ目を表示します。

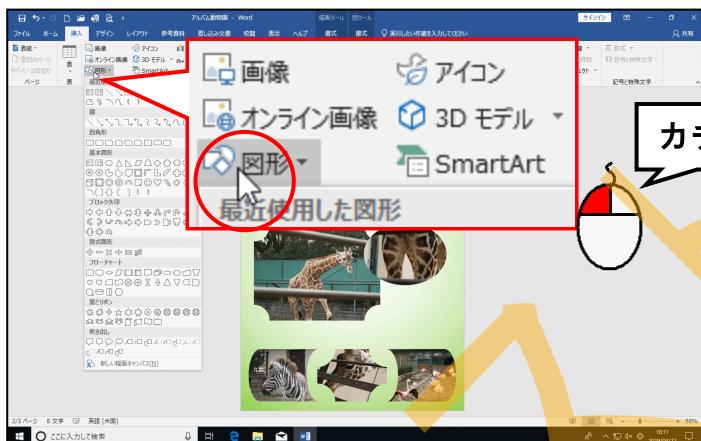


[挿入] タブにポイントし、クリックします。



本

[図] グループにある 図形 [図形] ボタンにポイントし、クリックします。



写真

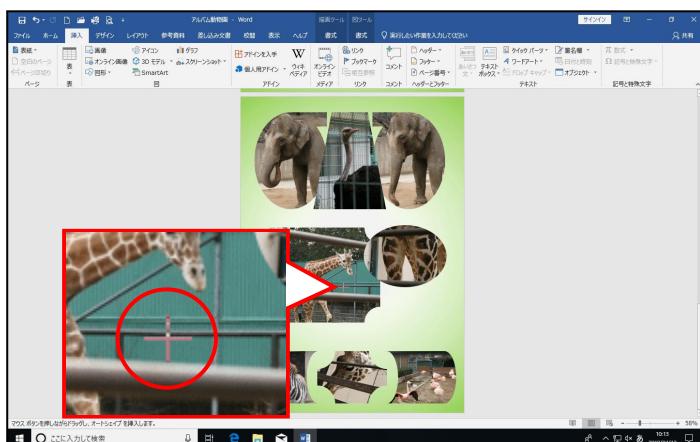
表示された図形一覧の [吹き出し] から 「思考の吹き出し：雲形」にポイントし、クリックします。



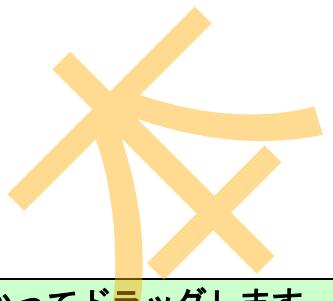
●お使いのパソコンによって、図形の名称が違う場合があります。下図を参考に選びましょう。



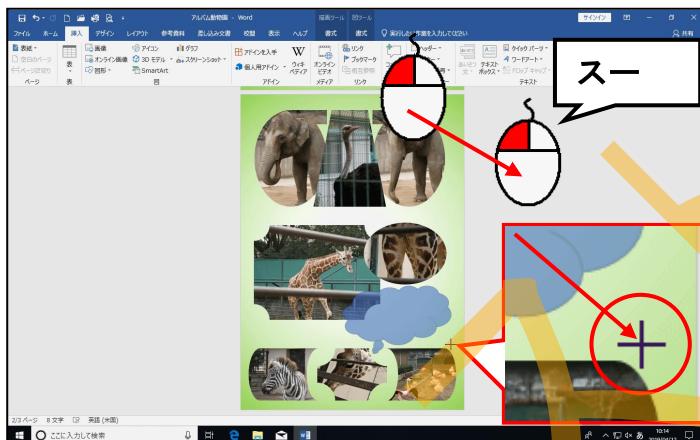
●該当の図形にポイントすると、左のように図形の名前が表示されます。



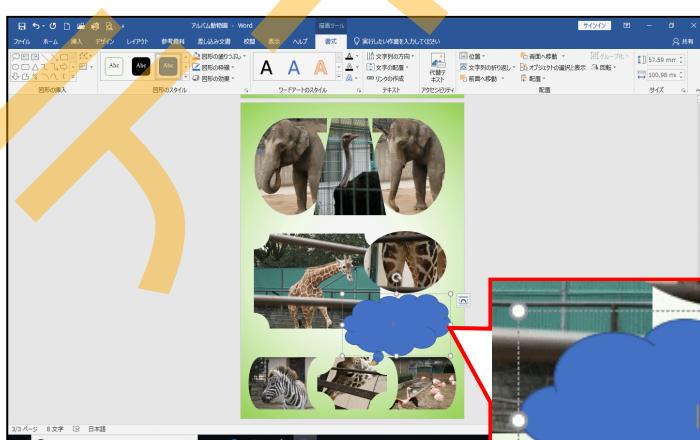
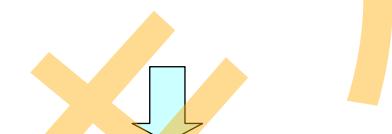
- 「思考の吹き出し：雲形」をクリックすると、マウスポインターが + の状態になります。



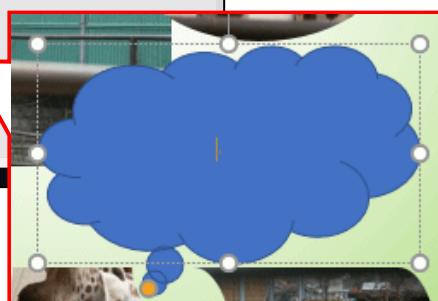
マウスポインターが + になっていることを確認して、右下に向かってドラッグします。



- 後で、吹き出しの大きさや位置を決定しますので、適当な大きさになるようにドラッグしましょう。



- マウスから指を離した時点で、図形の大きさ、位置が確定します。

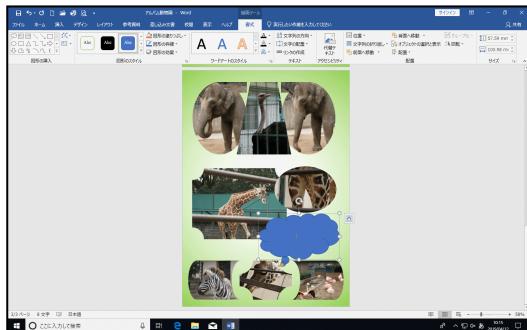


② 表示倍率を 100%に戻す

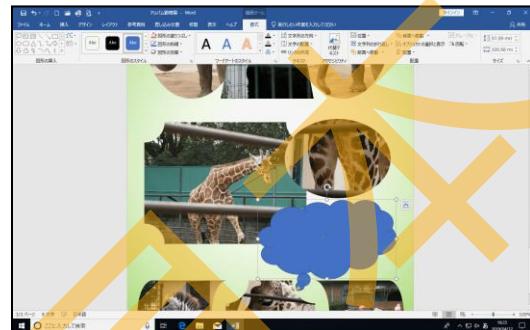
吹き出しが描けたところで、文字を入力していきます。現在のままでも文字は入力できますが、画面を縮小表示していますので、表示倍率を「100%」に戻してから入力しましょう。

◆表示倍率を 100%に戻す方法をマスターしましょう。

操作前

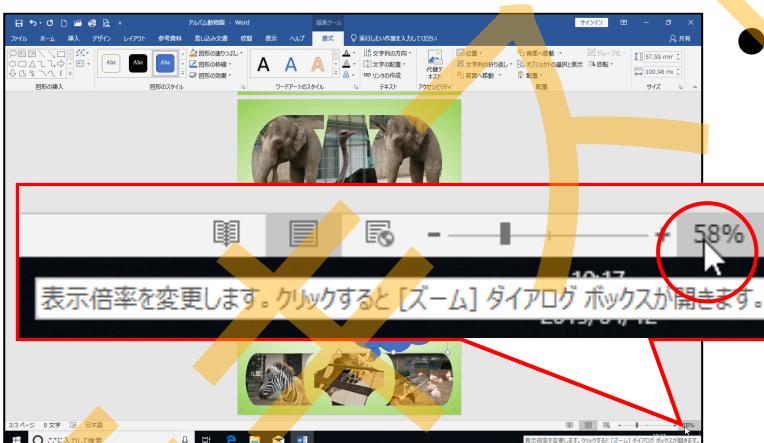


操作後

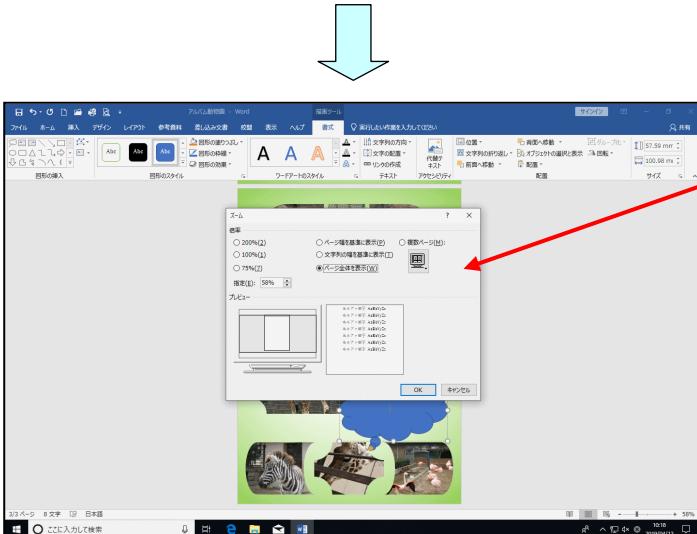


操作は下からです！

画面右下にある 58% [ズーム] ボタンにポイントし、クリックします。

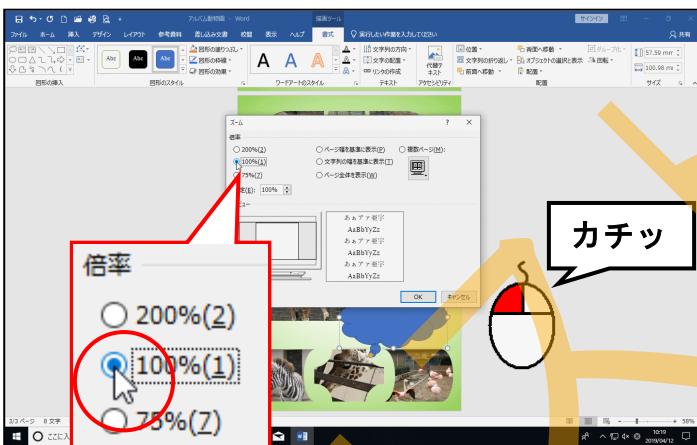


● 58% [ズーム] ボタンの数字は、お使いのパソコンによって異なりますので、気にせず操作を続けましょう。

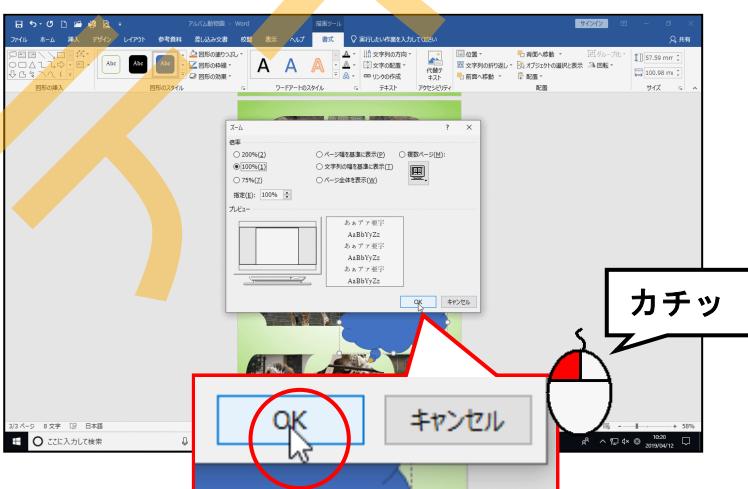


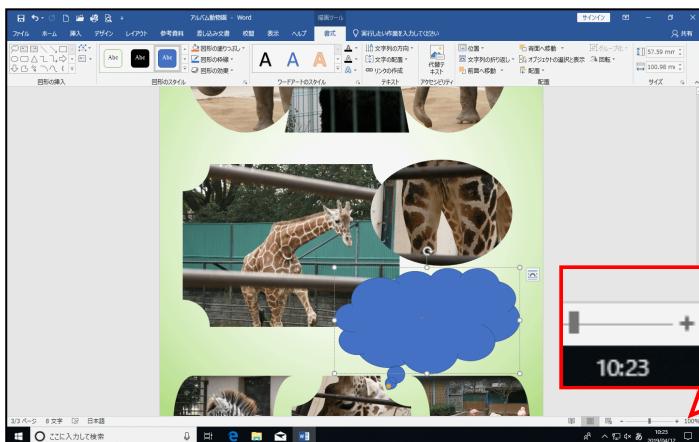
● 58% [ズーム] ボタンをクリックすると、左のように [ズーム] ダイアログボックスが表示されます。

表示された [ズーム] ダイアログボックスの「倍率」から [100%(1)] にポイントし、クリックします。



[ズーム] ダイアログボックスの右下にある [OK] ボタンにポイントし、クリックします。





- [OK] ボタンをクリックすると、表示倍率が「100%」に変更されます。

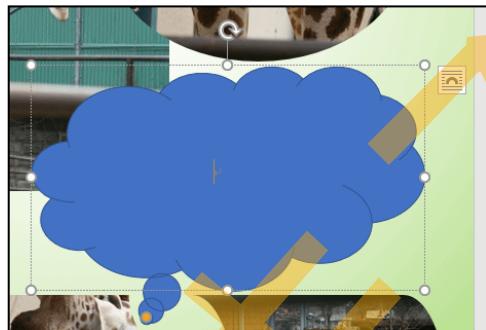


③ 吹き出しの中に文字を入力する

表示倍率が「100%」に戻ったところで、文字を入力しましょう。

◆吹き出しに文字を入力する方法をマスターしましょう。

操作前



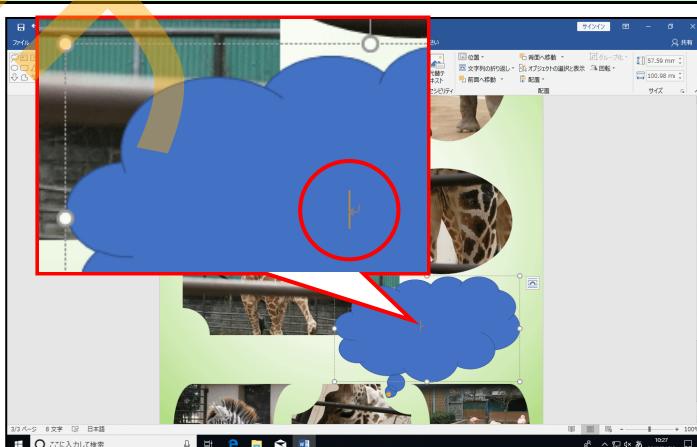
操作後



注意!

操作は下からです！

吹き出しの中にカーソルが表示されていることを確認します。

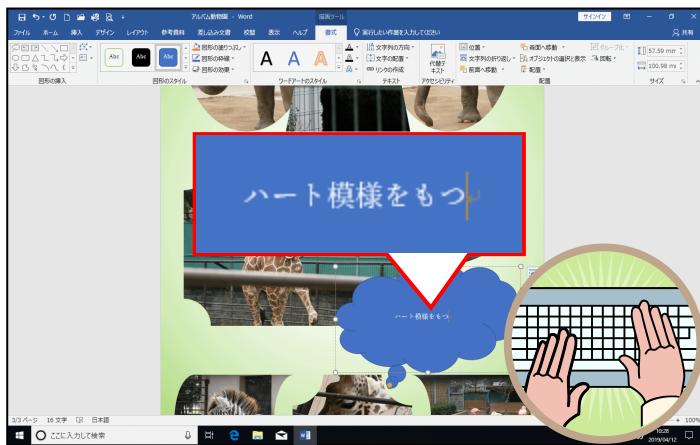


注意!

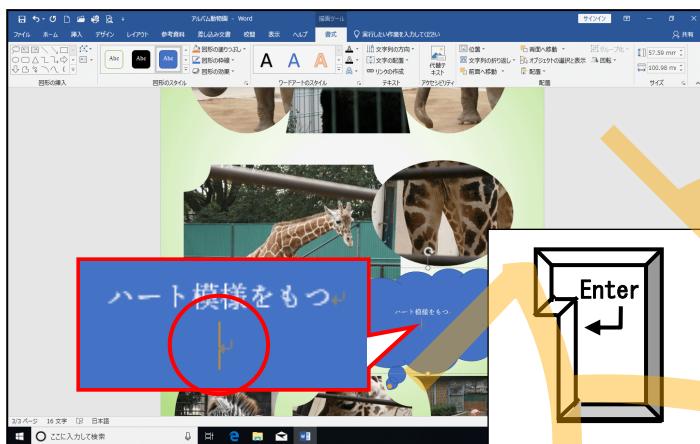
- 吹き出しの中にカーソルが表示されていない方は、吹き出しの中にポイントし、マウスポインターが I の状態でクリックしてください。

- 吹き出し全体が表示されていない方は、全体が表示されるように画面をスクロールしましょう。

「ハート模様をもつ」を入力します。

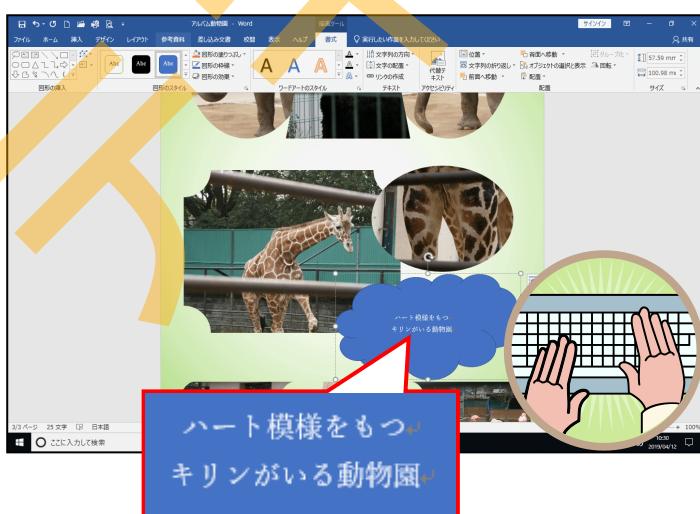


「ハート模様をもつ」の「つ」の後ろにカーソルがあることを確認して、[Enter] キーを押して改行します。



● [Enter] キーを押すと、改行され
てカーソルが2行目に移動します。

「キリンがいる動物園」を入力します。



④ 吹き出しにスタイルを適用する

吹き出しに、ワードに組み込まれているスタイルを設定します。ワードに組み込まれているスタイルを設定すると、線の色や塗りつぶしの色を一度に設定することができます。

◆図形にスタイルを設定する方法をマスターしましょう。

操作前

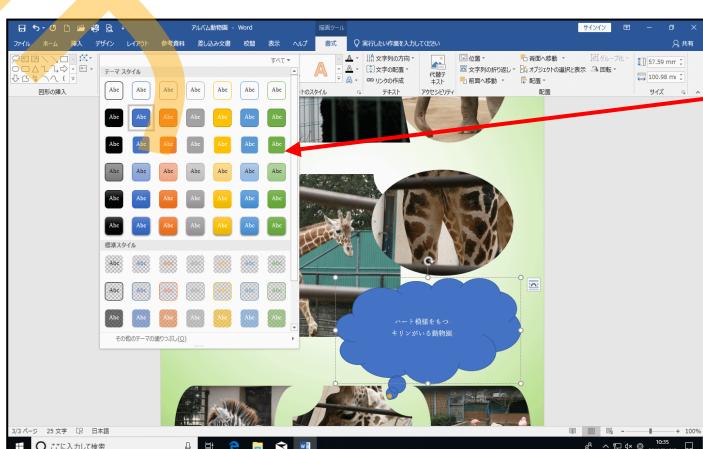
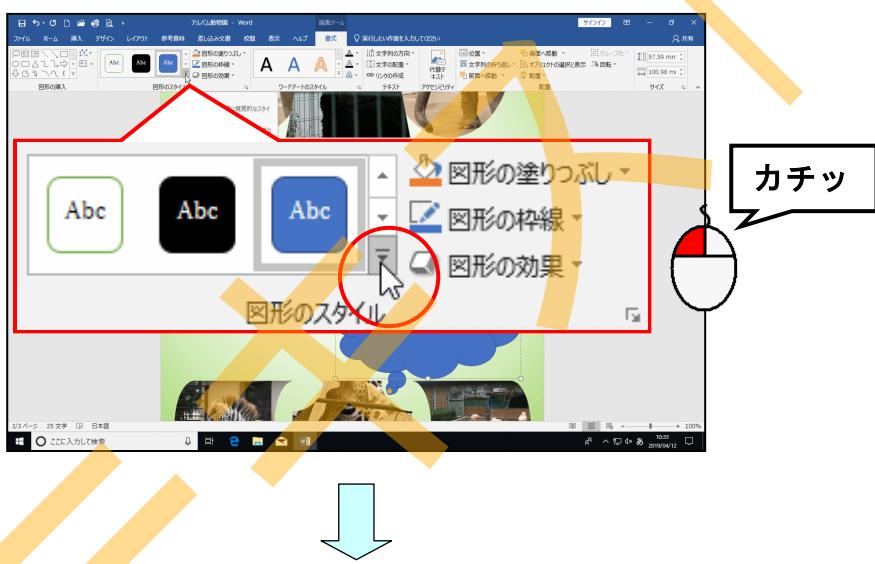


操作後



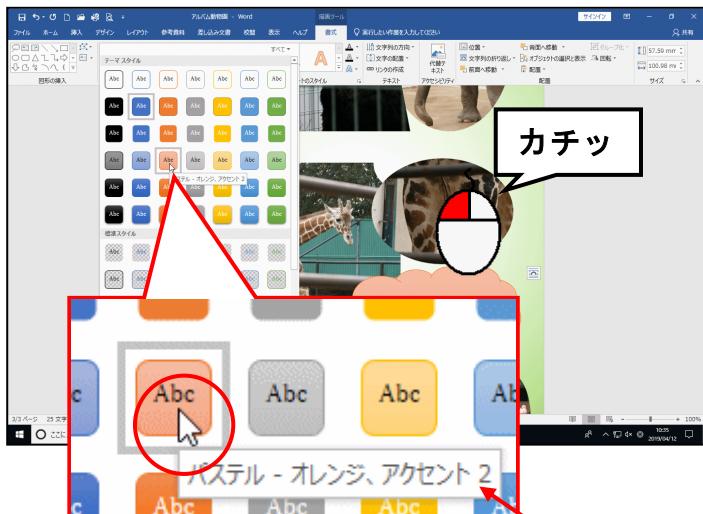
操作は下からです！

吹き出しが選択されていること、描画ツールの【書式】タブが選択されていることを確認し、[図形のスタイル] グループにある ▾ [その他] ボタンにポイントし、クリックします。

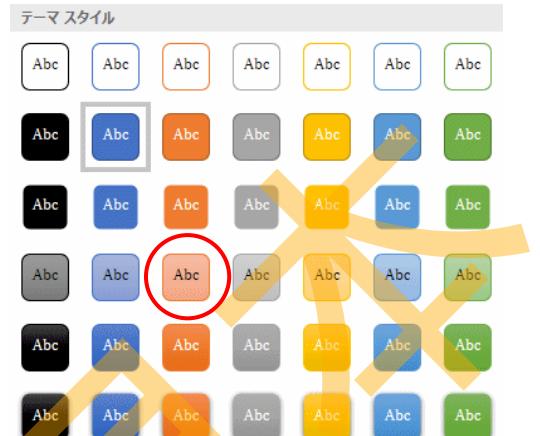


- ▾ [その他] ボタンをクリックすると、左のようにスタイルの一覧が表示されます。

表示されたスタイルの一覧から「パステルーオレンジ、アクセント 2」にポイントし、クリックします。

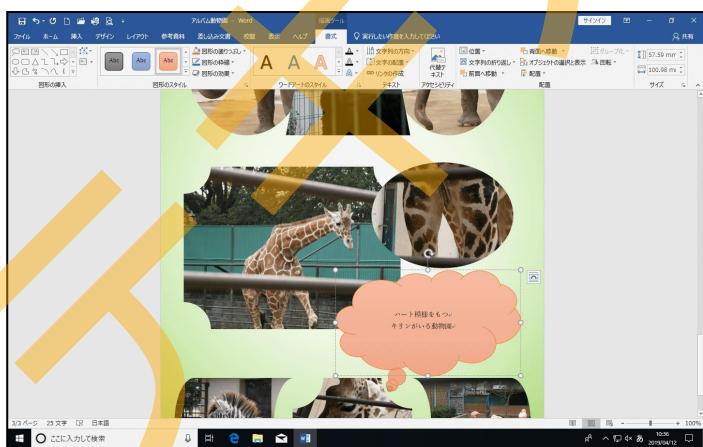


- お使いのパソコンによって、スタイルの名称が違う場合があります。下図を参考に選びましょう。



- 該当のスタイルにポイントすると、左のようにスタイルの名前が表示されます。

- 各スタイルの中に表示されている「Abc」の文字は、フォントの色を表しています。



- 「パステルーオレンジ、アクセント 2」をクリックした時点で、吹き出しにスタイルが設定されます。

⑤ 入力した文字への書式設定

ここでは、吹き出しの中に入力した文字に対して、以下の書式を設定します。

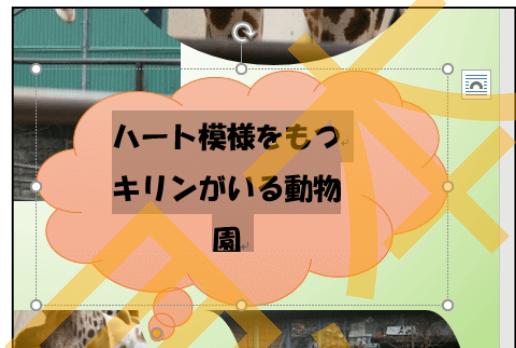
フォント HG 創英角ポップ体
フォントサイズ 20pt

◆入力した文字に書式を設定する方法をマスターしましょう。

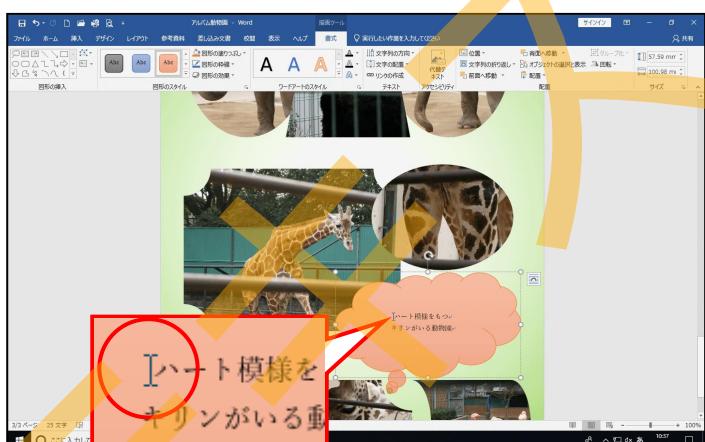
操作前



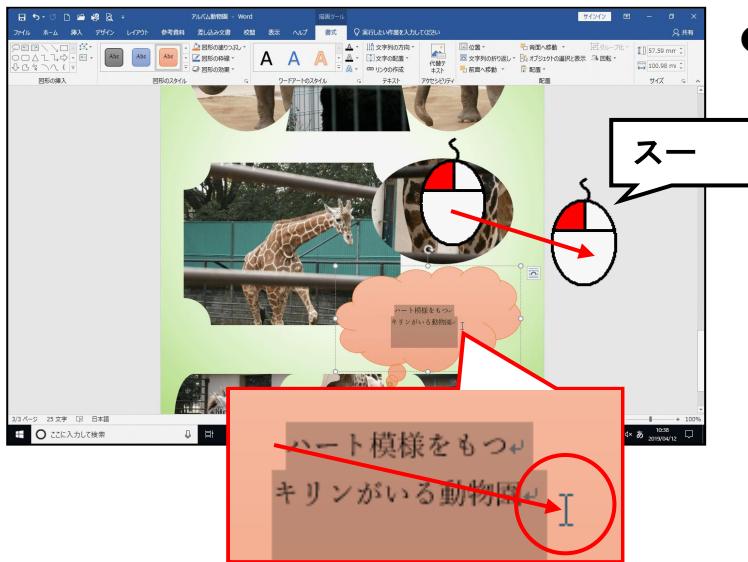
操作後



吹き出しの中に入力した「ハート模様をもつ」の「ハ」の左側にポイントします。



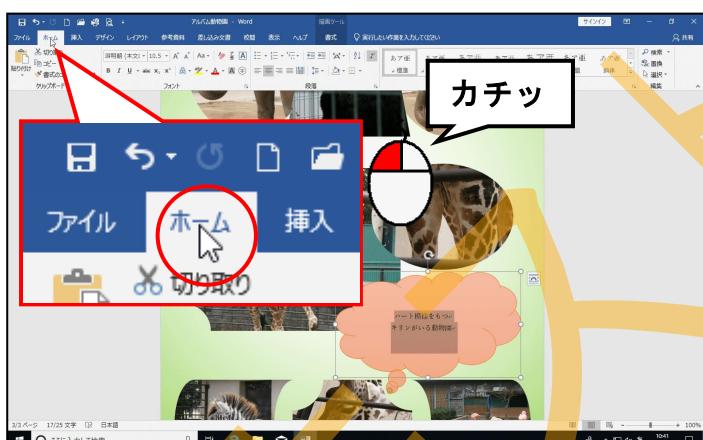
マウスポンターが「I」の状態で「キリンがいる動物園」の「園」の後ろまでドラッグして入力した文字をすべて選択します。



● 書式を設定する前に、吹き出しの中の文字を選択します。



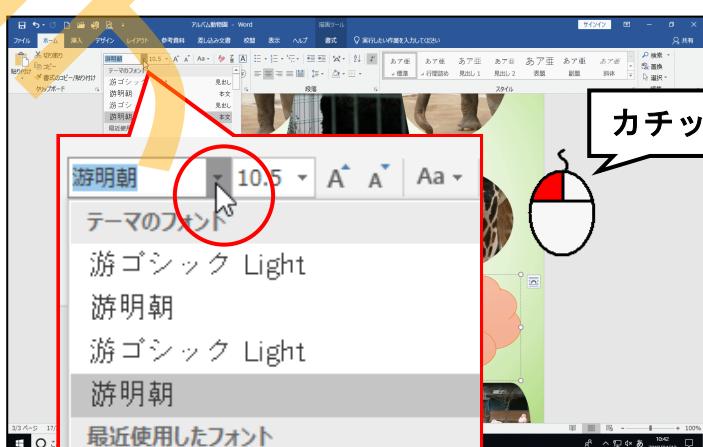
[ホーム] タブにポイントし、クリックします。



● 下図のように、点線部分をクリックして図形を選択した状態になると、実線に変更され、文字を選択しなくてもフォントを変更することができます。

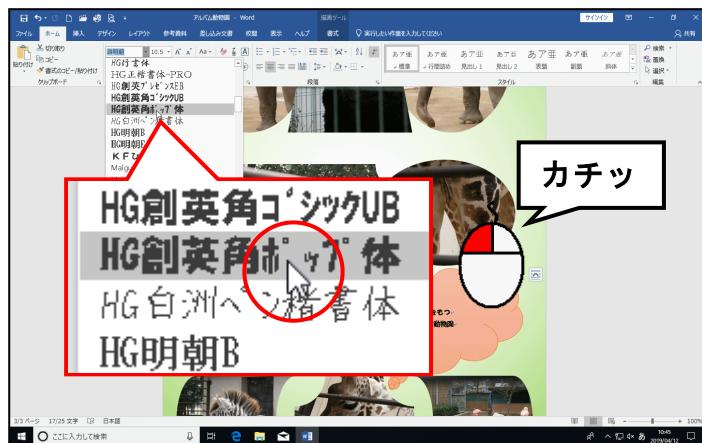


[フォント] グループにある [フォント] ボックスの▼にポイントし、クリックします。

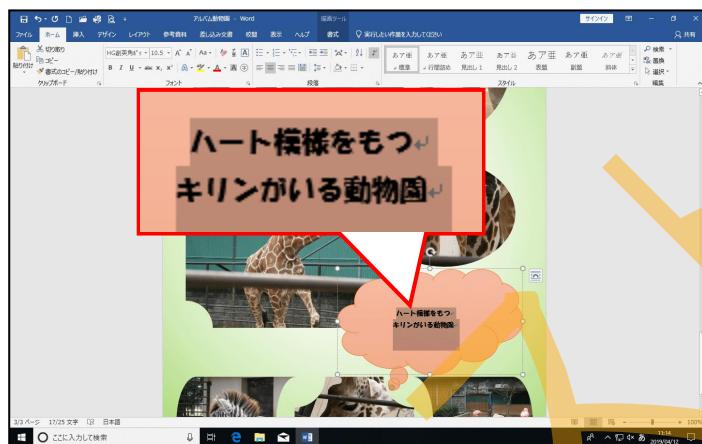


● [フォント] ボックスの▼をクリックすると、左のようにフォントの一覧が表示されます。

表示されたフォントの一覧から「HG 創英角ポップ体」にポイントし、クリックします。

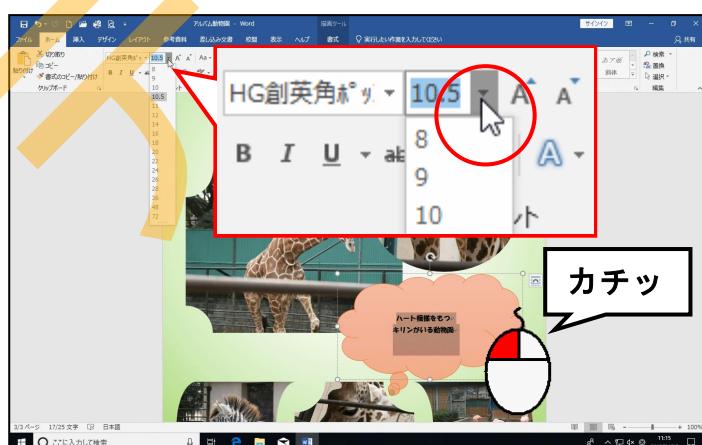


- 表示されたフォント（書体）の一覧に「HG 創英角ポップ体」がない場合は、右側にあるスクロールボタン（▼）をクリックして「HG 創英角ポップ体」を探してください。



引き続きフォントサイズを変更します。

[フォント] グループにある [10.5] [フォントサイズ] ボックスの▼にポイントし、クリックします。

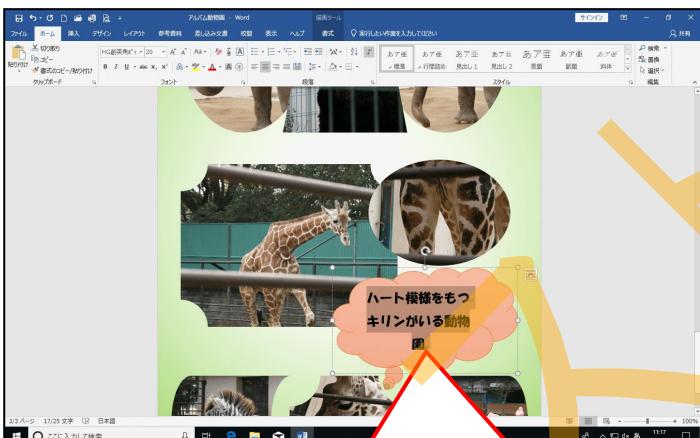
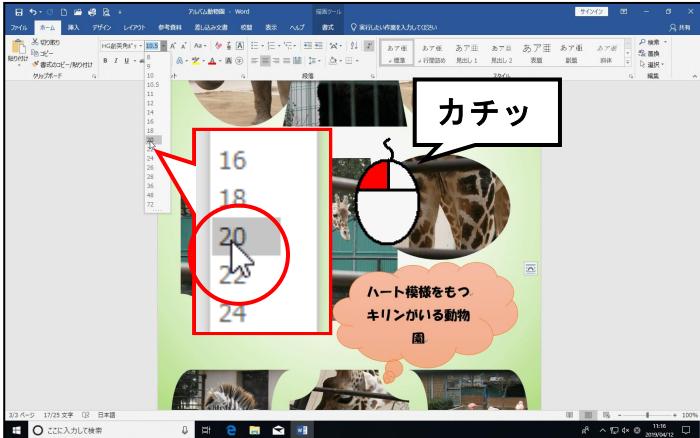


注意!

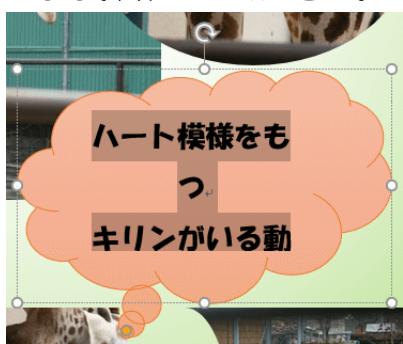
- 吹き出しに入力した文字が選択されていることを確認してから操作してください。

- [10.5] [フォントサイズ] ボックスの▼をクリックすると、左のようにフォントサイズの一覧が表示されます。

表示されたフォントサイズの一覧から「20」にポイントし、クリックします。



- フォントサイズを「20」に変更したことでのくように、吹き出しのサ
イズ内に文字が収まらなくなるかも知れませんが、次のページで吹き
出しのサイズを変更しますので、そのまま操作してください。



⑥ 吹き出しのサイズ変更

⑤の操作で、文字が吹き出しの中に2行に収まりませんでした。文字をすべて吹き出し内に収めたいので、ここでは吹き出しのサイズを調整します。

◆吹き出しのサイズを変更する方法をマスターしましょう。

操作前

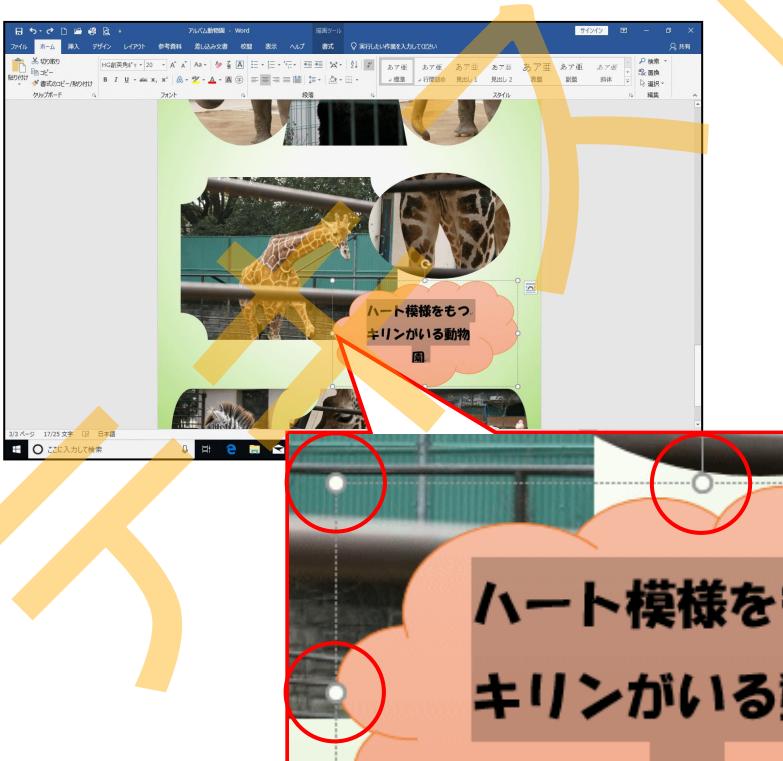


操作後

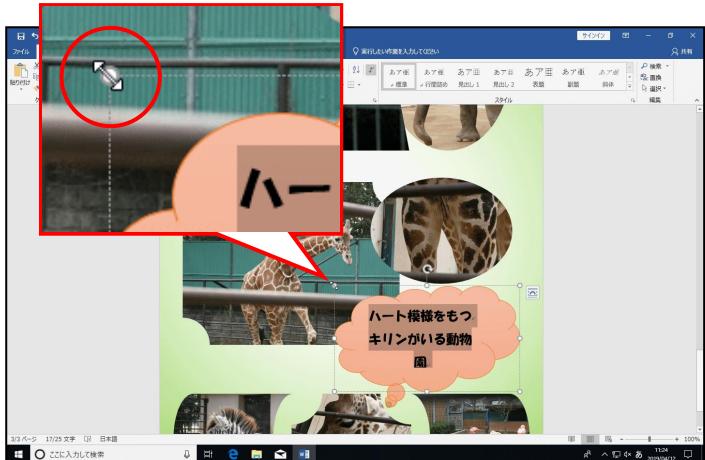


操作は下からです！

吹き出しの周りに ● (サイズ変更ハンドル) が表示されていることを確認します。



吹き出しの左上に表示された ○ (サイズ変更ハンドル) にポイントし、マウスポインターが ↗ に変わったことを確認します。

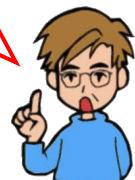
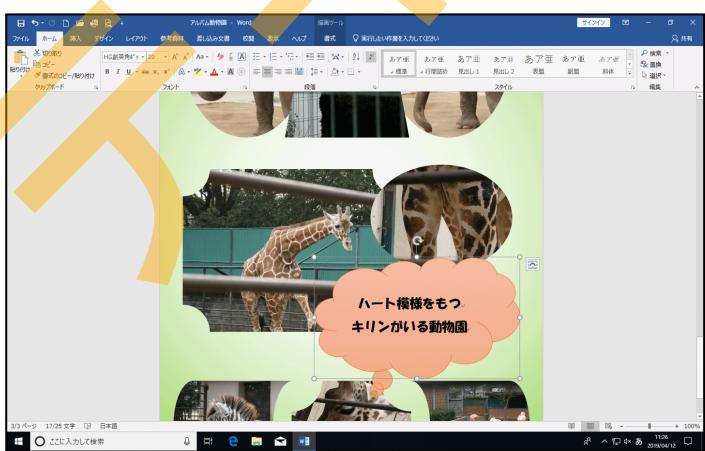
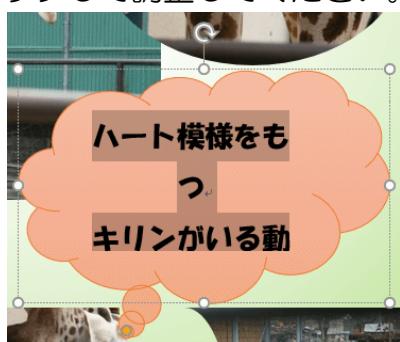


そのまま左上に向かって、2行に収まる位置までドラッグします。



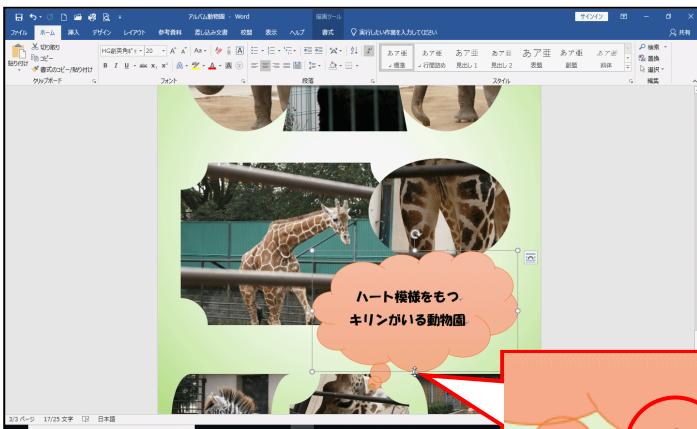
●マウスポインターが ↗ になっていることを再確認してから操作してください。

●皆さんのが描かれた吹き出しのサイズによってドラッグする方向が違います。注意してください。
下図のように、吹き出しのサイズ内に文字が収まっていない方は、ドラッグして調整してください。

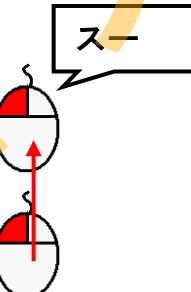
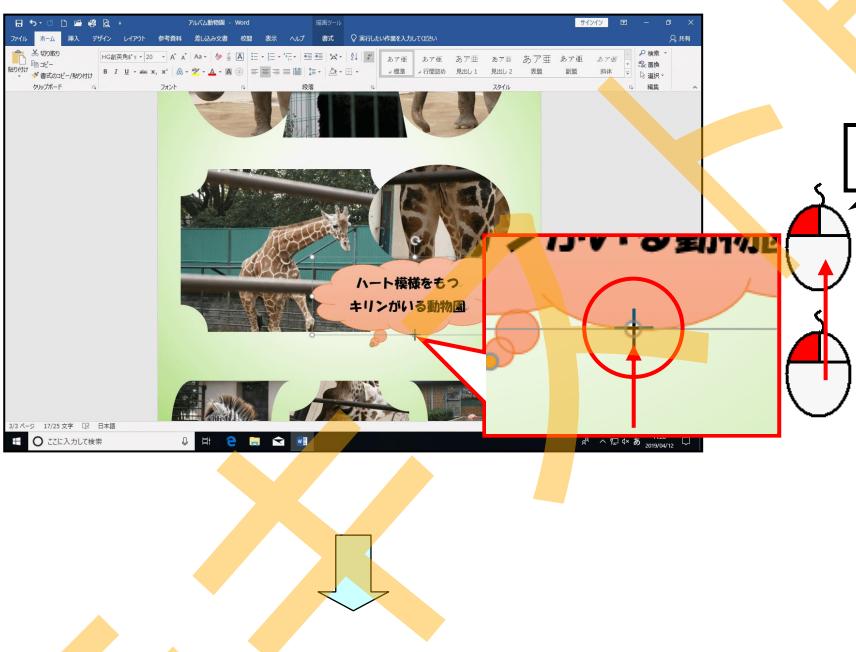


引き続き、吹き出しの高さも変更しましょう。

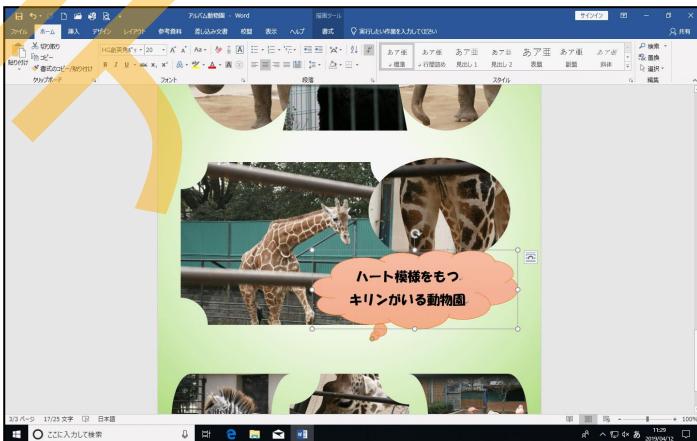
下側中央のサイズ変更ハンドルにポイントします。



そのまま上へドラッグします。



●吹き出しの高さが変わりました。



⑦ 吹き出しの移動

吹き出しのサイズが決定したところで、吹き出しを移動して位置を決定します。

◆吹き出しを移動する方法をマスターしましょう。

操作前

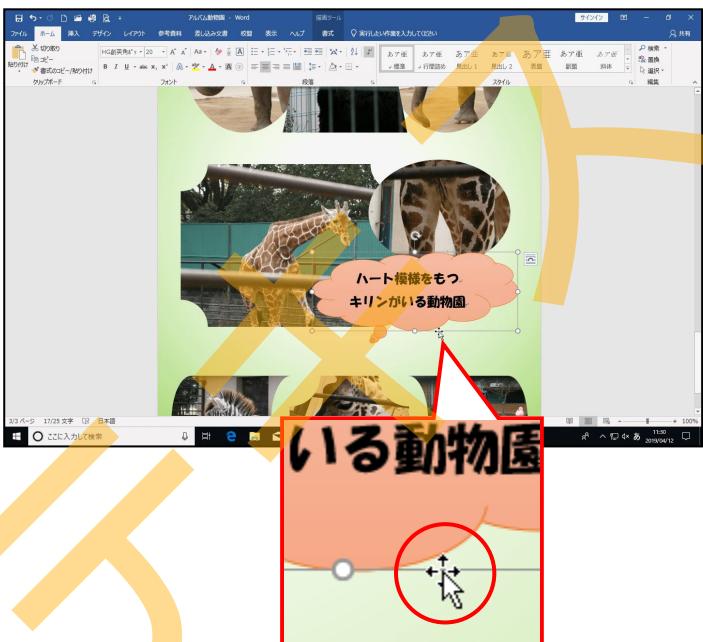


操作後



操作は下からです！

吹き出しの周りの枠線にポイントします。

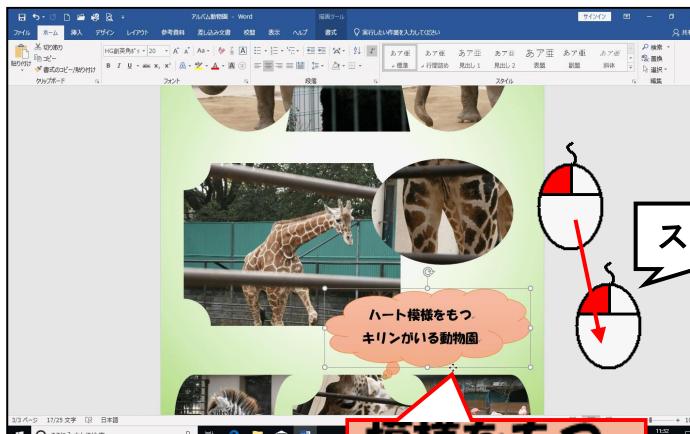


●吹き出しの周りの枠線にポイントすると、マウスポインターが  の形になります。

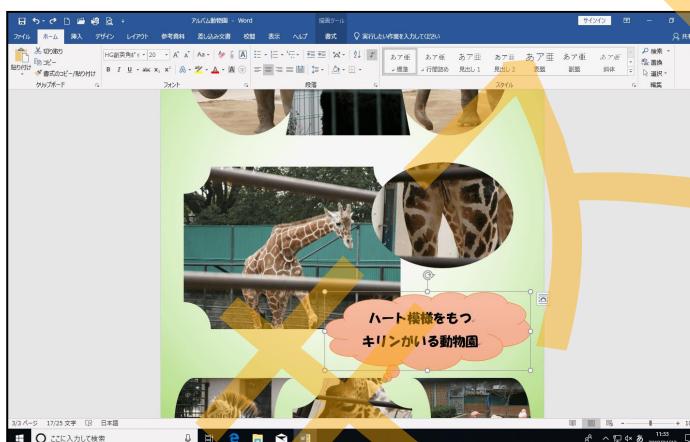
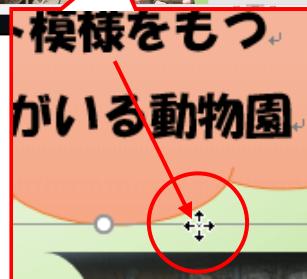


●吹き出しの中にポイントすると、マウスポインターの形が  になります。ポイントする位置によってマウスポインターの形が変わるので注意が必要です。

マウスポインターの形が↑になっていることを確認して、少し右下に向かってドラッグします。



●左を参考にしてドラッグしてください。



●吹き出しが移動しました。



⑧ 吹き出しの変形

吹き出しの位置が決定したところで、吹き出しの ● (変形ハンドル) を使って下の操作のように吹き出しの先を目的の写真にかぶせます。

◆吹き出しを変形する方法をマスターしましょう。

操作前

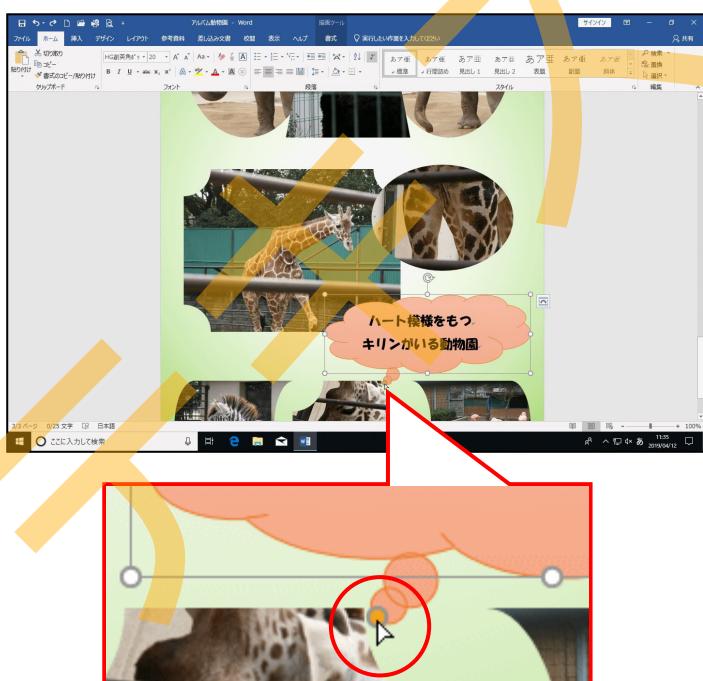


操作後



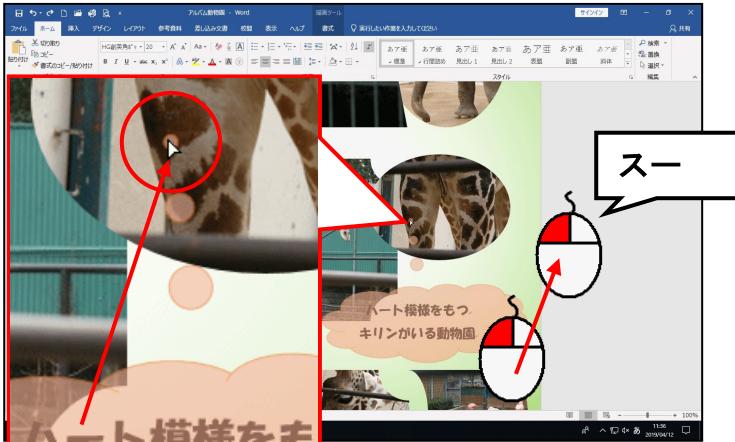
操作は下からです！

吹き出しの先に表示されている ● (変形ハンドル) にポイントし、マウスポインターが ▷ に変わったことを確認します。

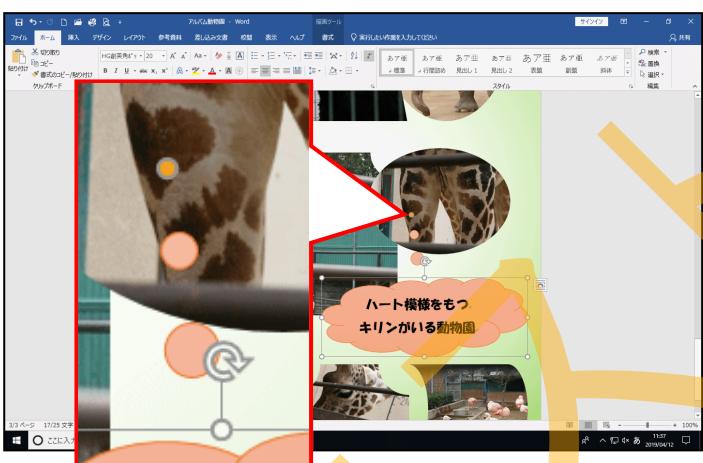


- ● (変形ハンドル) が表示されていない方は、吹き出しの枠線上にポイントし、マウスポインターの形が ↗ の状態でクリックしてください。

そのまま下図を参考に右上（キリンの足のハートマーク）に向かってドラッグします。



- ドラッグ中は、図形が薄く表示され、吹き出しが変形されていることが確認できます。



- マウスから指を離した時点で、吹き出しの先の位置が確定します。

「アルバム動物園」を上書き保存しましょう。

6. 印刷

お疲れ様でした。5章まででアルバムの作成は、完了しました。ここからは、作成したアルバムを印刷していきます。

(1) 写真を印刷するのに適した用紙

頑張って作成したアルバムを少しでもきれいに印刷するために、写真を印刷する際に適した用紙について説明します。

写真を印刷するのに適した用紙は？

ウメさん「やっと完成したわね。後は、印刷だけね。」

くじら先生「お疲れ様でした。ウメさんは、普段どんな用紙で印刷していますか？」

ウメさん「普通のコピー用紙で印刷してるけど…」

くじら先生「実は、写真を印刷するのに適した用紙があるんですよ。」

ウメさん「普通のコピー用紙と出来上がりが違うの？」

くじら先生「普通の用紙（コピー用紙）で印刷をするとインクがにじんでしまって、きれいに印刷するのは難しいんです。出来栄えをチェックするために仮印刷する場合以外は、光沢紙（写真用紙）で印刷することをお勧めします。」

ウメさん「光沢紙??」

くじら先生「光沢紙とは、表面に光沢を持つ紙で、家庭用のプリンター（インクジェットプリンター）で写真を印刷する場合、普通の用紙（コピー用紙）に比べてインクのにじみが少なく、鮮やかな発色が得られるため、一番適した用紙なんですよ。」



(2) 印刷イメージの確認

印刷を実行する前に、どのように印刷されるのかを確認します。印刷イメージを確認せずに印刷してしまうと、あとから全体的なイメージがおかしいことに気付き、用紙もインクも無駄になってしまいます。印刷する際は、必ず「印刷イメージの確認」を行ってから、印刷操作を行うように、習慣づけましょう。

① 印刷プレビューの表示

印刷イメージの確認は、**印刷プレビュー**で行います。

◆印刷プレビューを表示する方法をマスターしましょう。

操作前



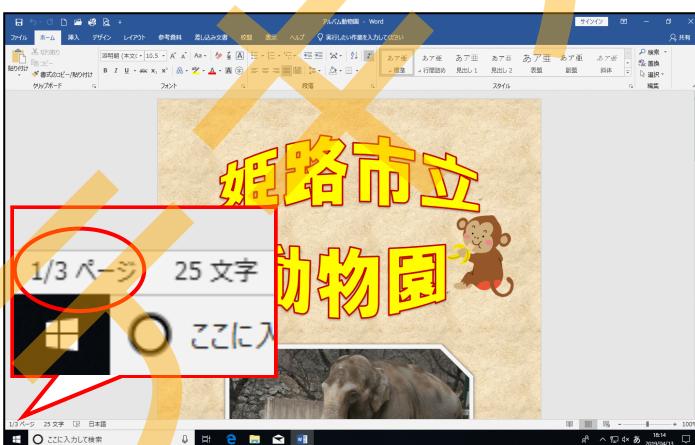
操作後



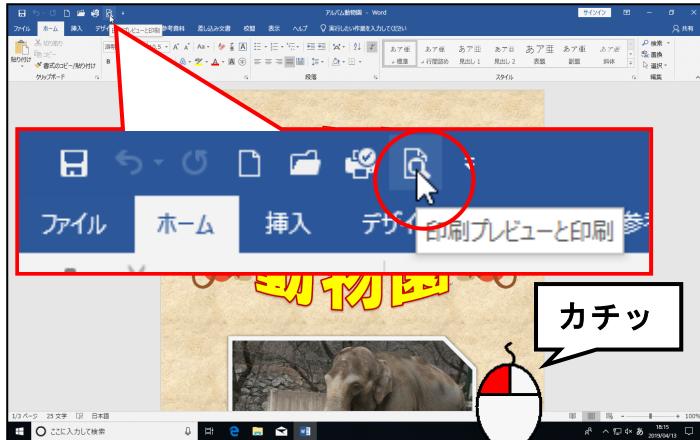
注意!

操作は下からです！

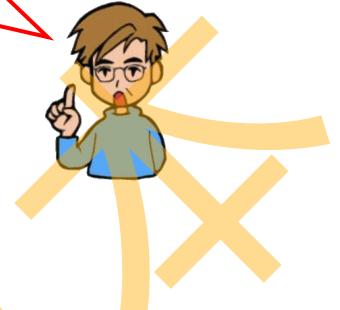
1ページ目を表示します。



画面左上（[クイックアクセス] ツールバー）の [印刷プレビューと印刷] ボタンにポイントし、クリックします。



● クイックアクセスツールバーに、
 [印刷プレビューと印刷] ボタンが表示されていない方は、P245 を参照してボタンを追加しておきましょう。



● [印刷プレビューと印刷] ボタンをクリックすると、左のように作成したアルバムの 1 ページ目のイメージが表示されます。

② 2ページ目以降の確認

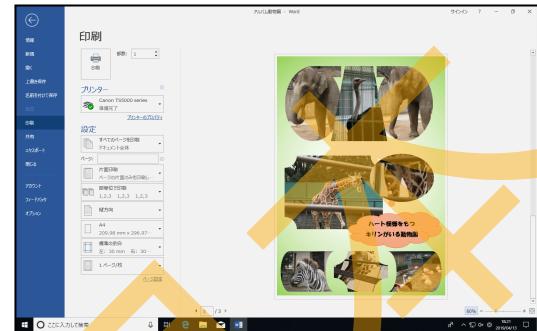
【印刷プレビューと印刷】ボタンをクリックして、1ページ目の印刷イメージの確認はできました。ここからは、2ページ目以降の印刷イメージを確認します。

◆ 2ページ目以降の印刷イメージを確認する方法をマスターしましょう。

操作前

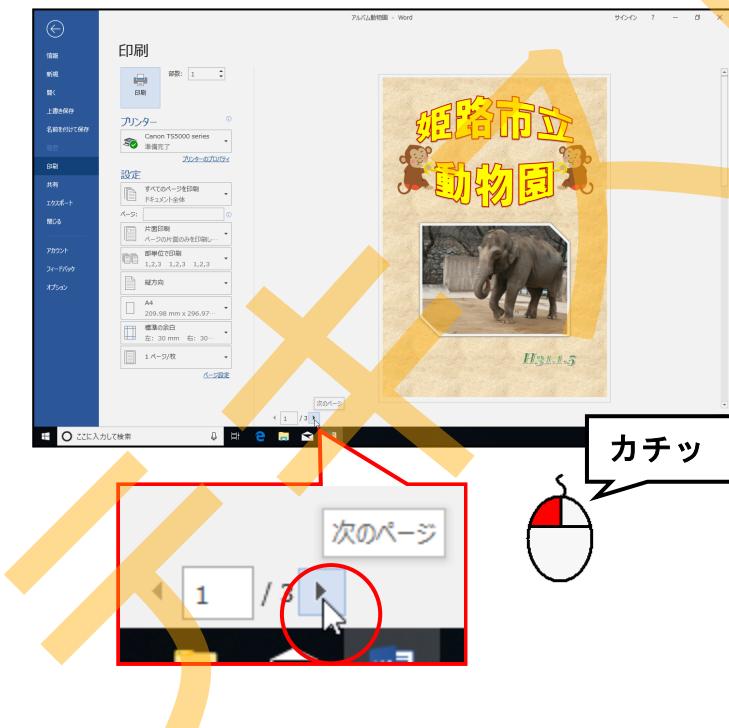


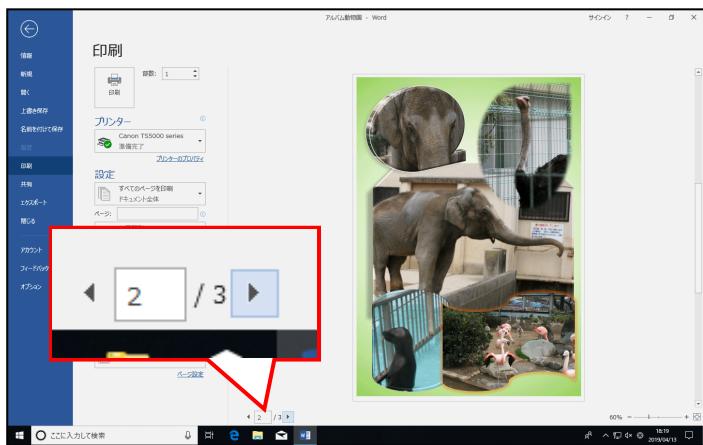
操作後



操作は下からです！

画面下中央にある ▶ [次のページ] にポイントし、クリックします。

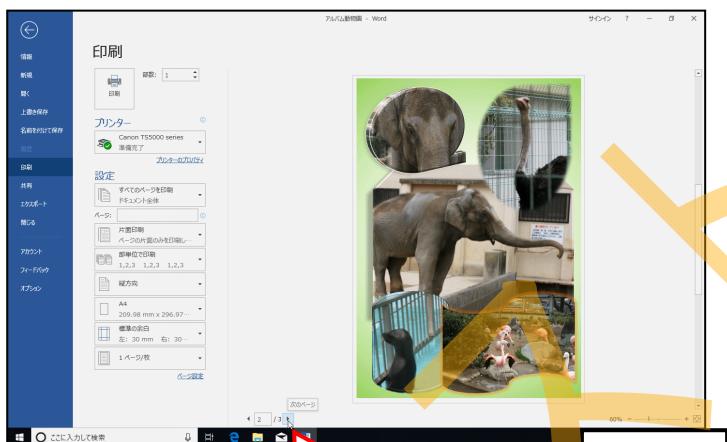




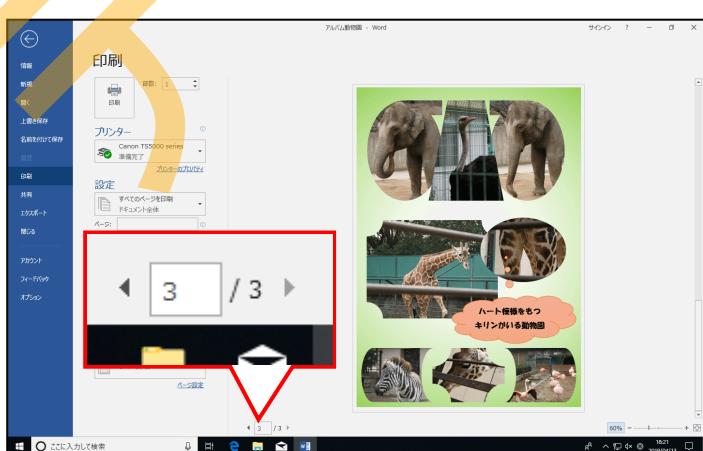
● ▶ [次のページ] ボタンをクリックすると、左のように2ページ目の印刷イメージが表示されます。



再度、画面下中央にある ▶ [次のページ] ボタンにポイントし、クリックします。



カチッ

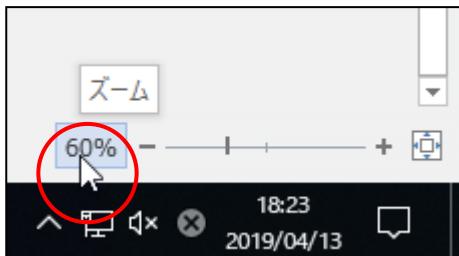


●再度、▶ [次のページ] ボタンをクリックすると、左のように3ページ目の印刷イメージが表示されます。

ご参考までに

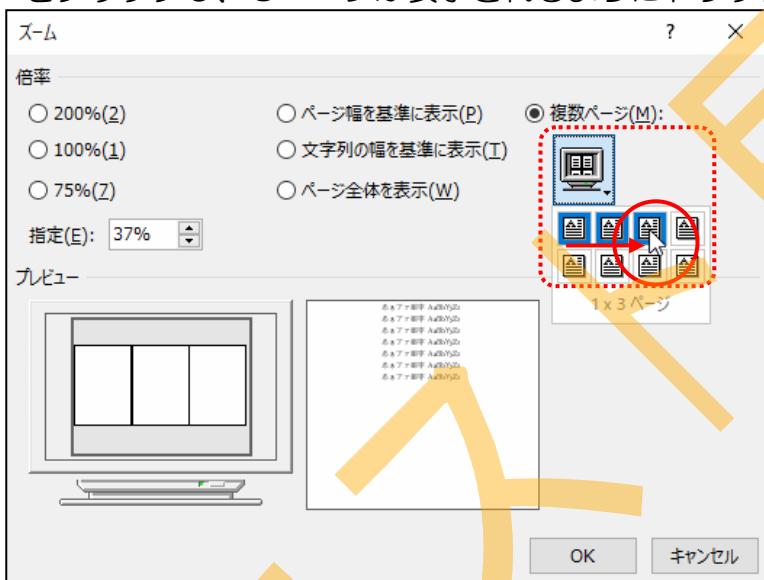
■複数ページを同時に確認する

作成したアルバムは、合計で3ページです。印刷プレビュー画面で、この3ページを同時に確認したい場合は、印刷プレビュー画面右下にある **60% [ズーム] ボタン** をクリックします。

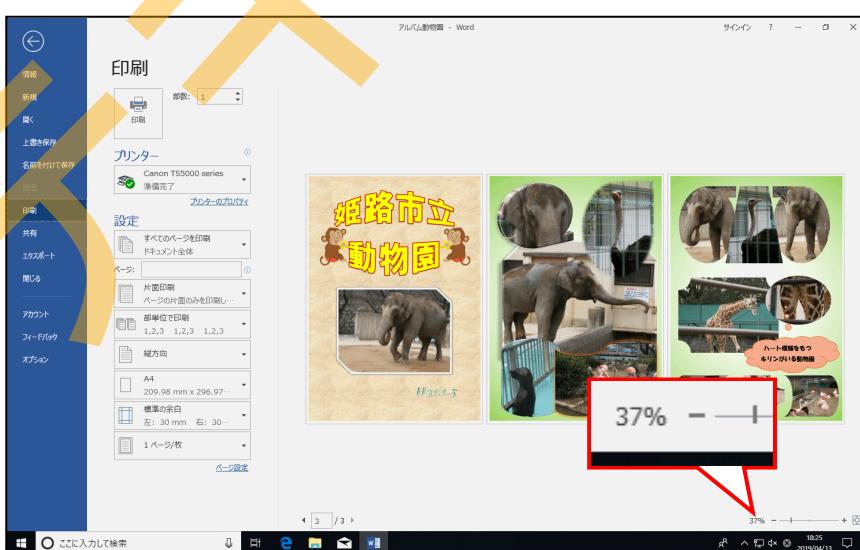


- **60% [ズーム] ボタン**の数字は、お使いのパソコンによって異なりますので、気にせず操作を続けましょう。

次のような **[ズーム]** ダイアログボックスが表示されるので、**[複数ページ]** ボタンをクリックし、3ページが表示されるようにドラッグします。



[OK] ボタンをクリックすると



- **37% [ズーム] ボタン**の数字は、お使いのパソコンによって異なります。

(3) 印刷の実行

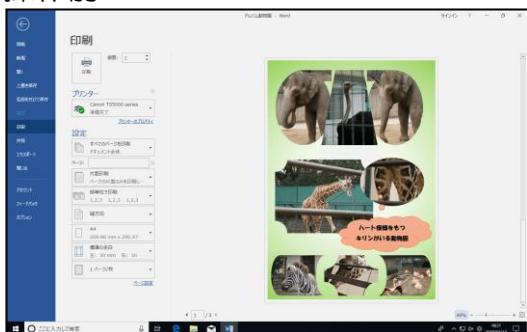
印刷のイメージが確認できれば、印刷を実行していきます。

P210 (1) 写真を印刷するのに適した用紙で説明したように、ここでは、光沢紙（写真用紙）を使って印刷する場合を例にとって説明します。

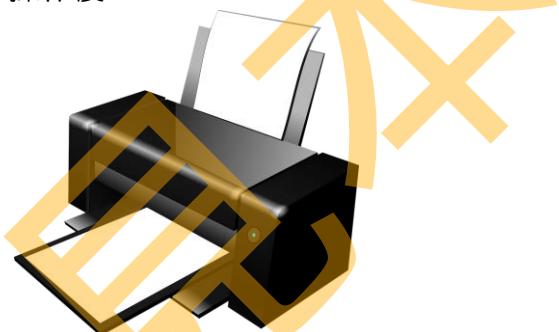
また、このテキストでは、「Canon (キャノン) TS5000 series」のプリンターを使って印刷していきます。皆さんのお使いのプリンターによっては、画面が違う場合があります。その場合は、インストラクターにお聞きください。

◆印刷を実行する方法をマスターしましょう。

操作前



操作後



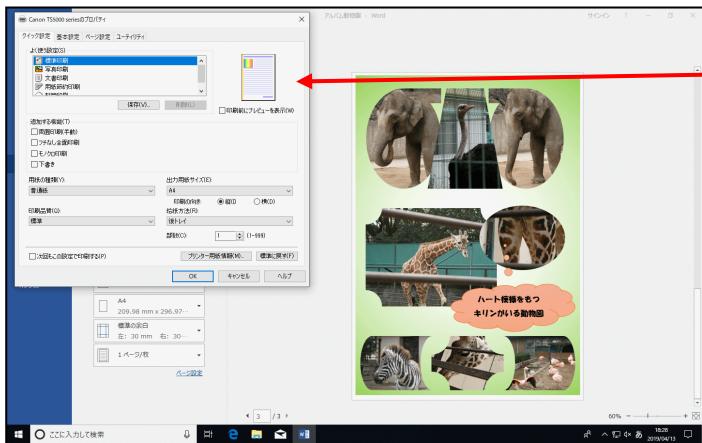
注意!

操作は下からです！

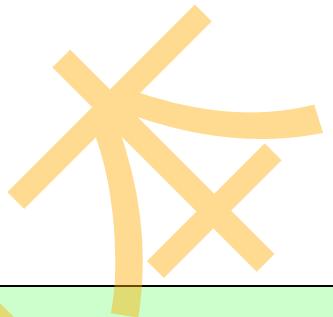
印刷プレビューの画面が表示されていることを確認し、[プリンターのプロパティ]にポイントし、クリックします。



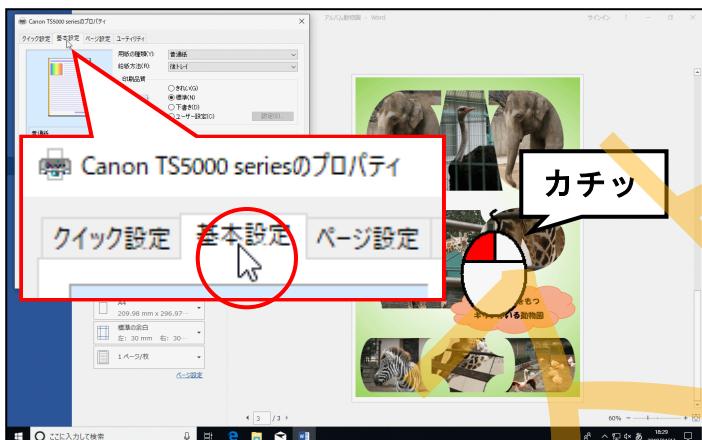
●印刷プレビューの画面になっていない方は、P211 ① 印刷プレビューの表示を参照してください。



- [プリンターのプロパティ] をクリックすると、左のように【(プリンターネーム) のプロパティ】ダイアログボックスが表示されます。



[基本設定] タブにポイントし、クリックします。



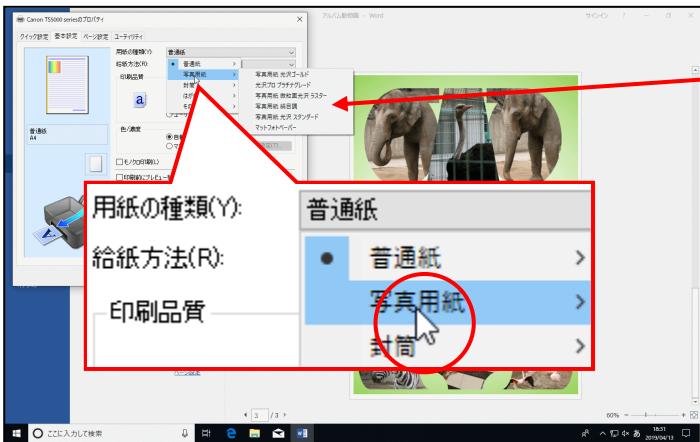
- [基本設定] タブの内容はプリンターによって異なります。

- すでに [基本設定] タブが選択されている方は、この操作は不要です。

[用紙の種類(Y):] ボックスにポイントし、クリックします。



表示された一覧から [写真用紙] にポイントします。

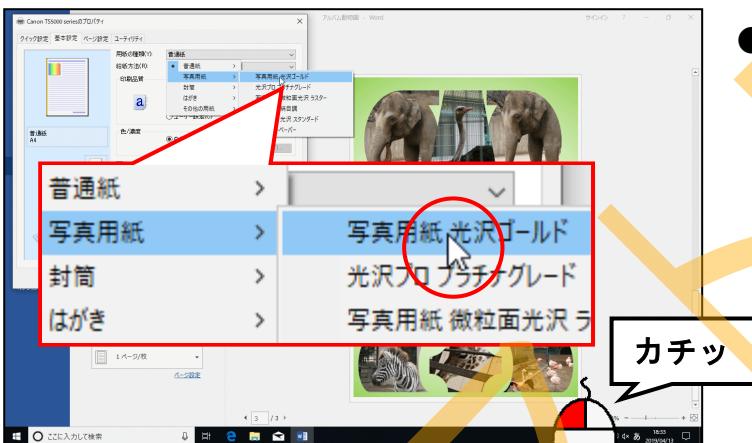


- [写真用紙] にポイントすると右に用紙の種類が表示されます。

- プリンターによって「写真用紙」と表示されるとは限りません。

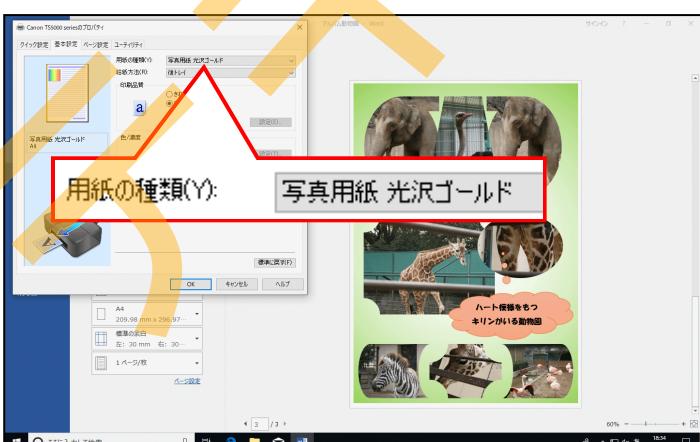


表示された一覧から [写真用紙 光沢ゴールド] にポイントし、クリックします。



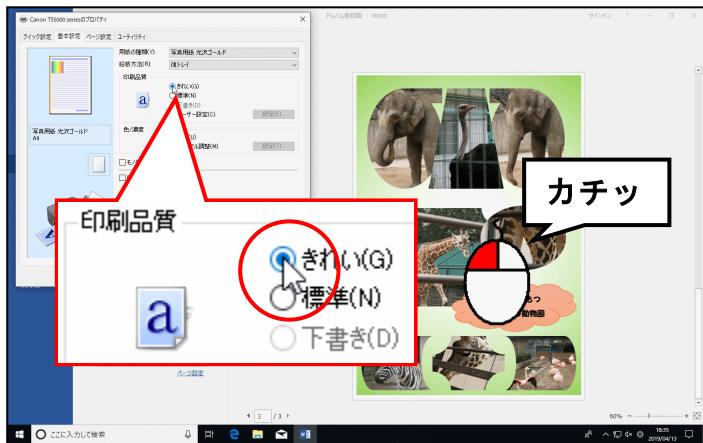
- 「写真用紙 光沢ゴールド」がなく、「写真用紙 光沢」や「写真用紙」もしくは、「光沢」と表示されている場合もあるので、プリンターと購入された用紙に合わせてください。

カチッ



- [写真用紙 光沢ゴールド] をクリックすると、左のように [用紙の種類(Y):] ボックスに [写真用紙 光沢ゴールド] が表示されます。

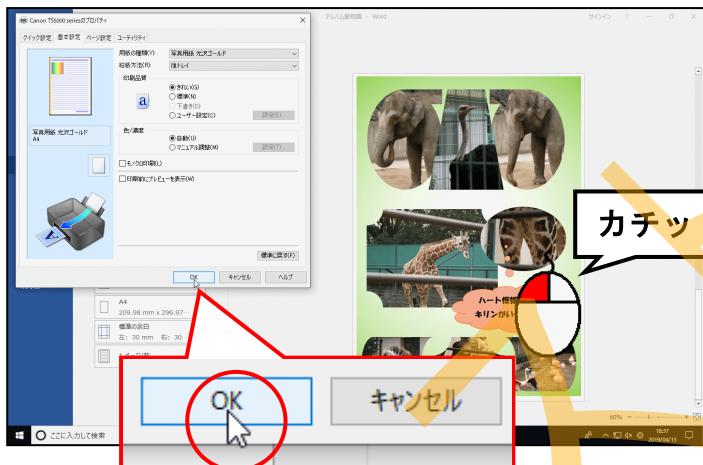
[印刷品質] で [きれい(G)] にポイントし、クリックします。



●写真を印刷するときは、[きれい(G)] の方がきれいに印刷されます。

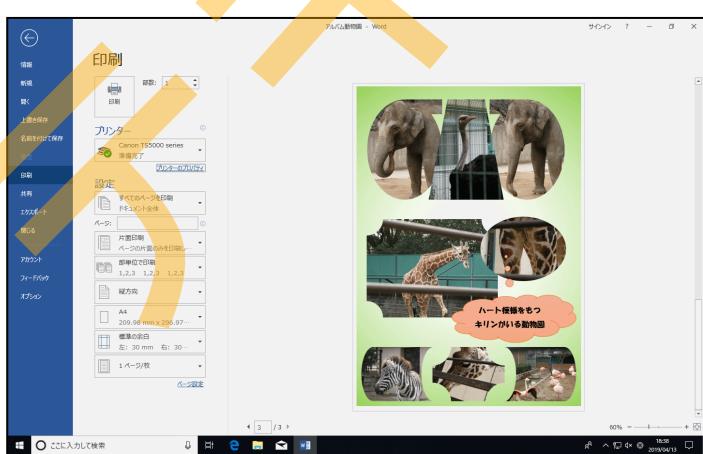
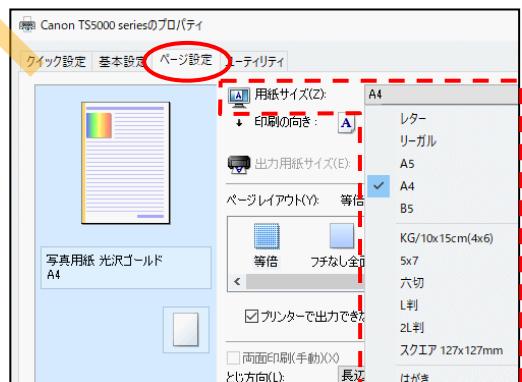


[(プリンター名) のプロパティ] ダイアログボックスの下にある [OK] ボタンにポイントし、クリックします。

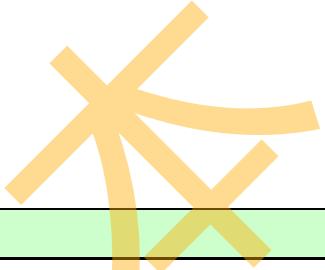
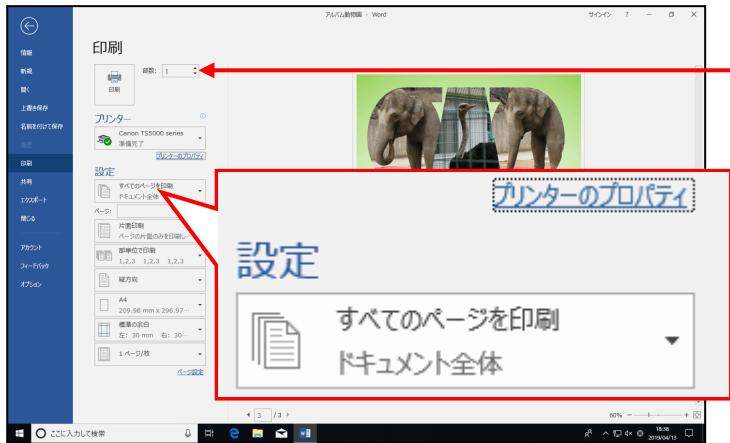


余裕があれば読んでね

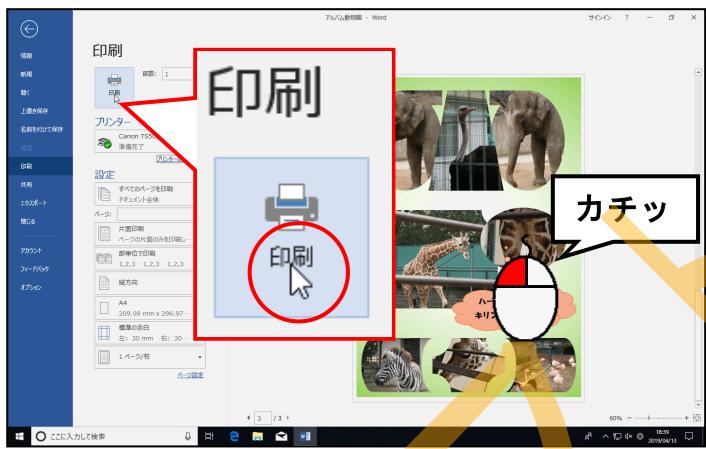
●印刷の用紙サイズを変更したい場合は、[ページ設定] タブをクリックし、[用紙サイズ(Z):] ボックスの▼をクリックして、該当の用紙を選択します。



「設定」で【すべてのページを印刷】が選択されていることを確認します。



【印刷】ボタンにポイントし、クリックします。



●【印刷】ボタンをクリックすると、印刷が開始されます。



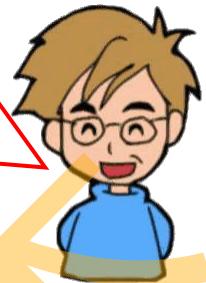
「アルバム動物園」を上書き保存して、ワードの画面を閉じておきましょう。

☆☆ここまでくれば、練習問題3で理解度を試して下さい。☆☆

◆オリジナルアルバムの注文について

今回は、テキストどおりにアルバムを作成していただいたのですが、皆さんもオリジナルのアルバムを作成してみませんか？オリジナルのアルバムを作成すると、データをお預かりして、下の写真のように製本してお渡しすることができます。お孫さんの成長記録や結婚式、旅行の写真などで、オリジナルのアルバムを作ってみてください。

ご注文に関しては、教室スタッフまでお問い合わせください。



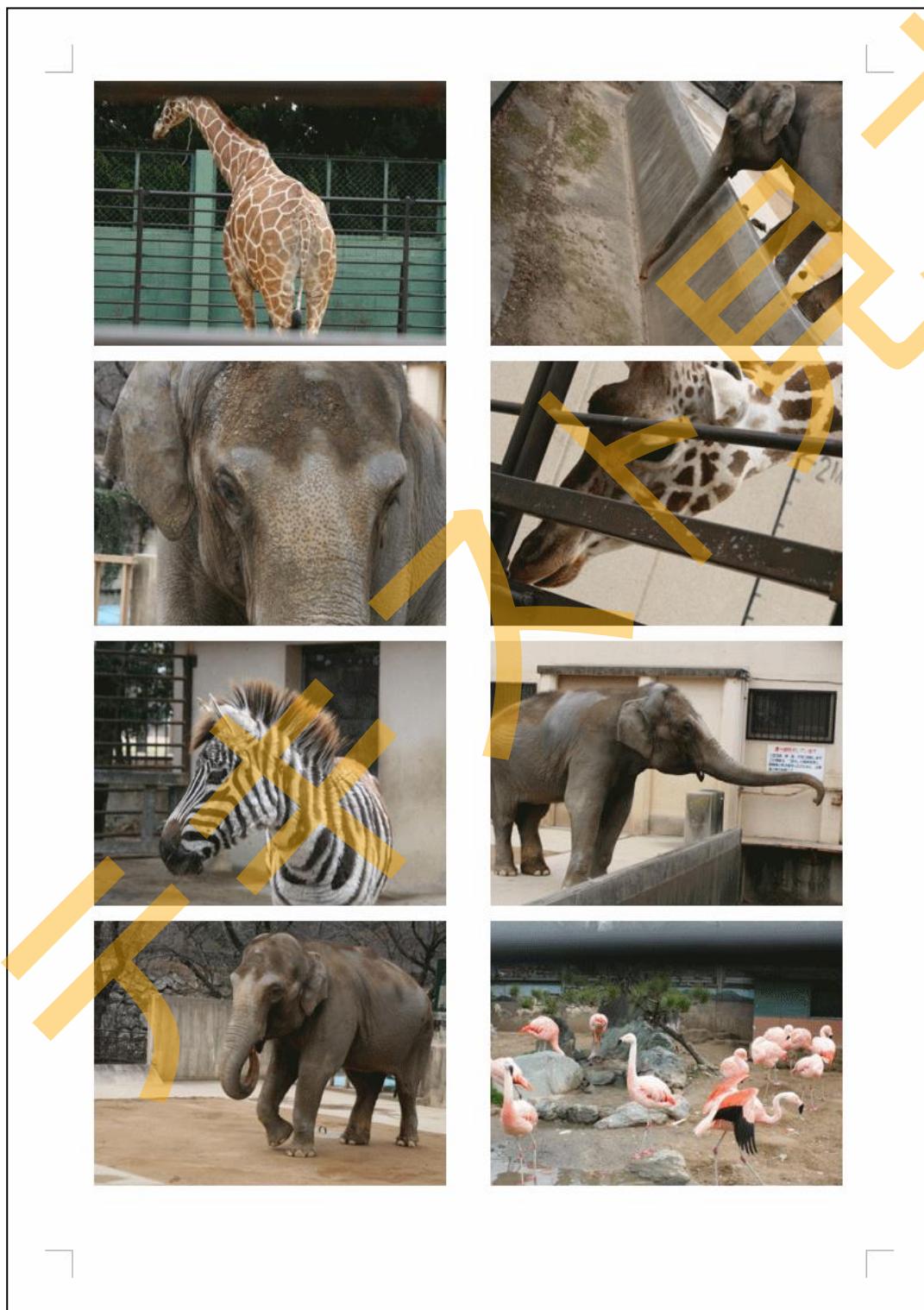
7. その他の写真の挿入方法

前章までで作成した「アルバム動物園」は、主に以下の2つの方法で作成しました。

- 写真を挿入してから形状や効果などの設定をする
- 図形を描いてその中に写真を挿入する

ここからは、新たな文書に上記以外の「表の中に写真を挿入する方法」をマスターしましょう。

【完成例】



(1) ページ設定

ページ設定？



ケンちゃん「先生。表の中に写真を挿入すると、どんな長所があるの？」

くじら先生「前ページの完成例のように、ビシッと写真を配列したい場合などに便利ですね。」

ケンちゃん「なるほど。でも、アルバム動物園を作ったときは、ページ設定はいらなかったよね？」

くじら先生「はい。そうでしたね。

ただ、今回のように表の中に写真を挿入する場合、ページ設定を最初に行なった方が、写真の挿入、レイアウトの調整が簡単にできるんですよ。」



ここでは、以下の条件でページ設定を行っていきます。

- 用紙サイズ……… A4
- 印刷の向き……… 縦
- 余白……… 上下左右 15mm

ここでは確認だけです！
まだ操作しないで！！

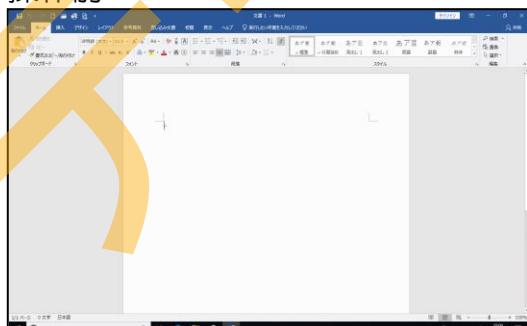


① 用紙サイズの設定

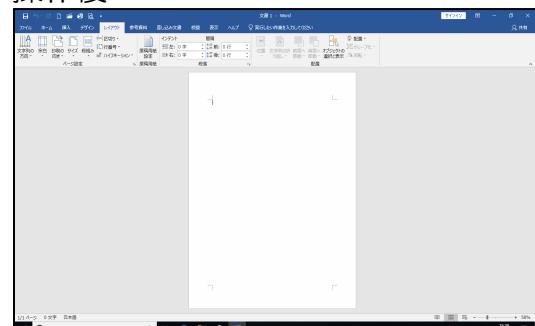
ここでは、用紙サイズの確認とともに用紙サイズを設定する方法をマスターしましょう。初期設定を変えていなければ、ワードを起動すると、用紙サイズは、「A4」になっています。

◆用紙サイズを設定する方法をマスターしましょう。

操作前



操作後

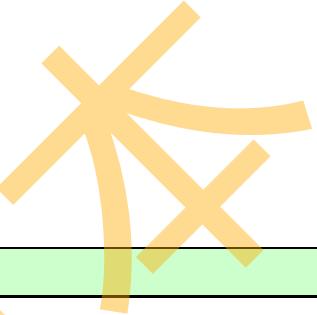
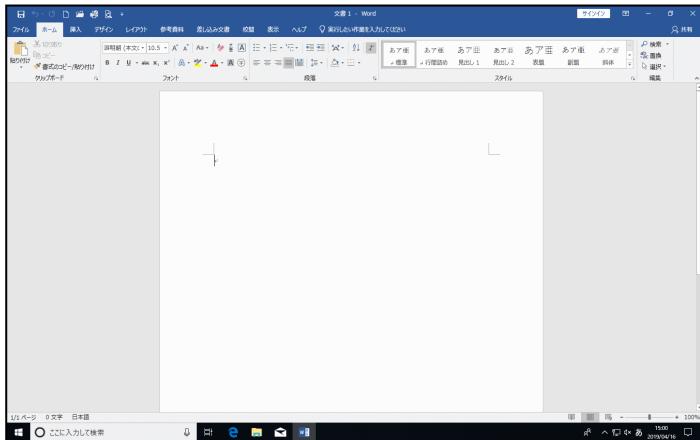


画面上は何も変わりません

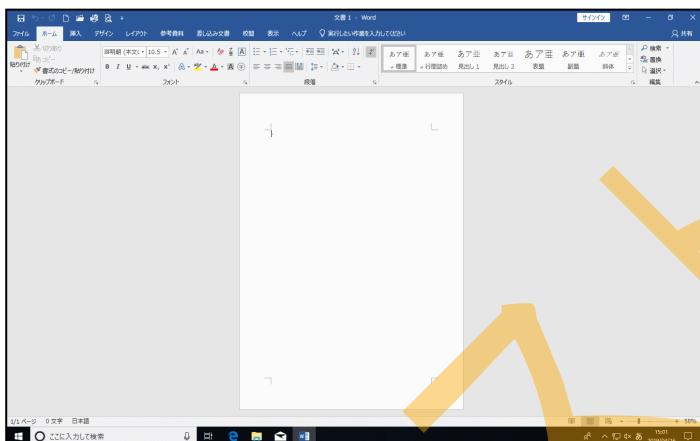


操作は次ページからです！

ワードを起動し、新規文書を用意します。

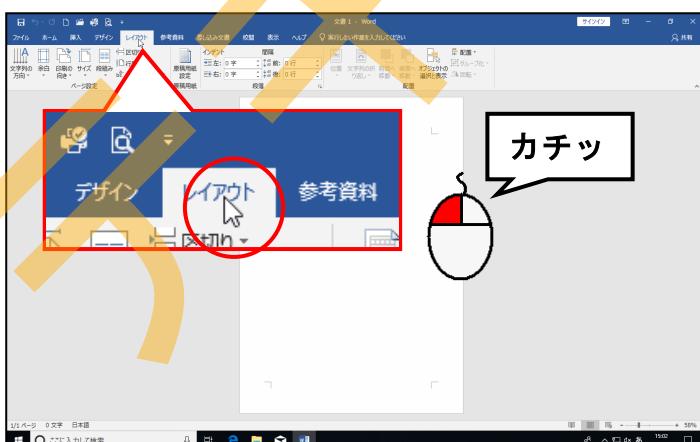


表示倍率を「ページ全体を表示」に変更します。

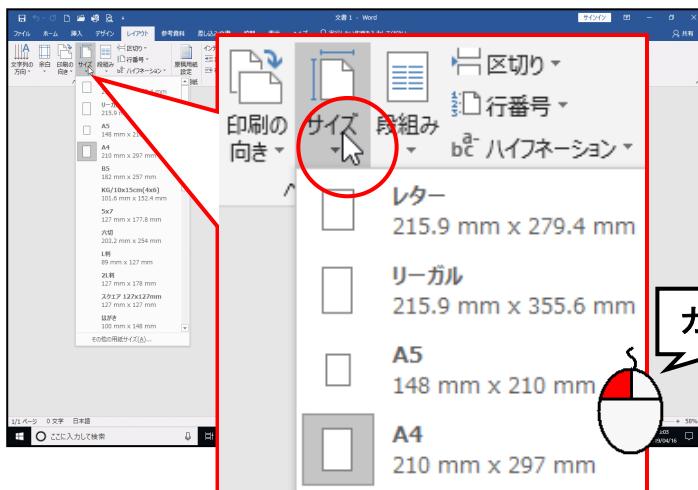


●表示倍率を変更する方法を忘れた方は、P9 (2) 表示倍率の変更を参照してください。

[レイアウト] タブにポイントし、クリックします。



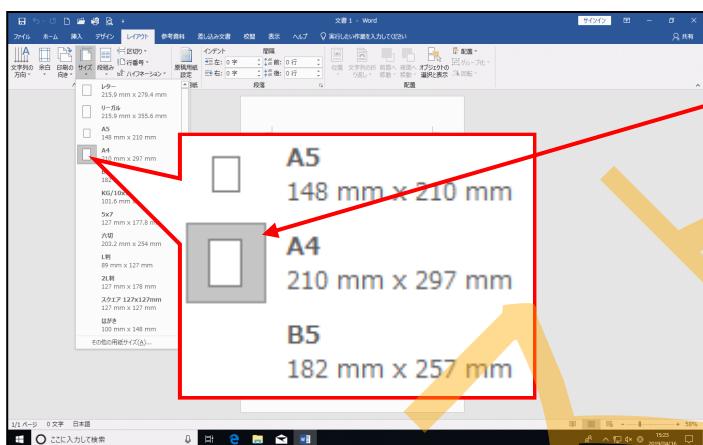
[ページ設定] グループにある [サイズ] ボタンにポイントし、クリックします。



- 使用しているプリンターによって表示される用紙のサイズは異なるので、左と同じ用紙サイズが画面上に表示されるとは限りません。

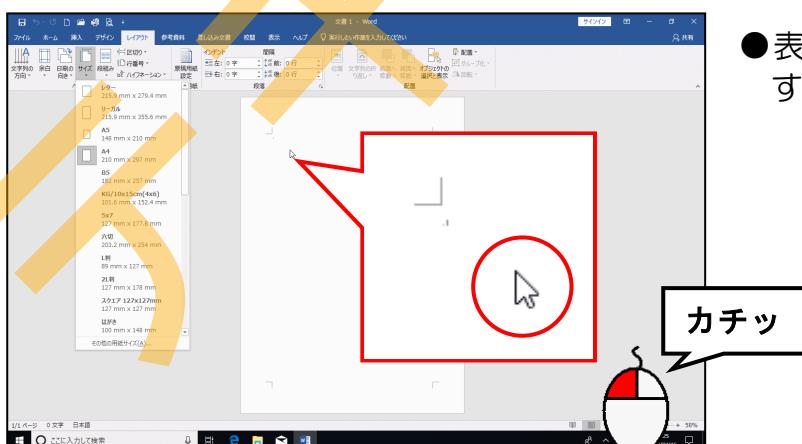


表示された用紙サイズの一覧で「A4」が選択されていることを確認します。

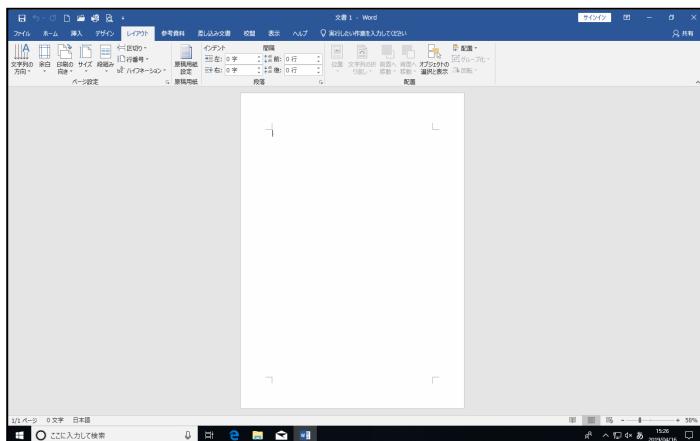


- A4が選択されると、「A4」の左にある用紙が灰色に反転表示されます。
用紙サイズをA4以外に設定したい場合は、設定したい用紙サイズをクリックします。
- 「A4」が選択されていない方は、「A4」をクリックしてください。

確認ができれば、文書ウィンドウの任意の位置でクリックします。



- 表示された用紙サイズの一覧を消すための操作です。



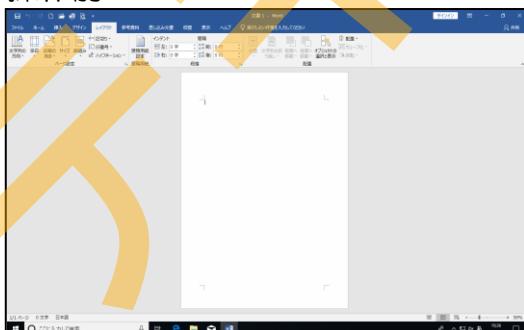
本
題

② 印刷の向きの設定

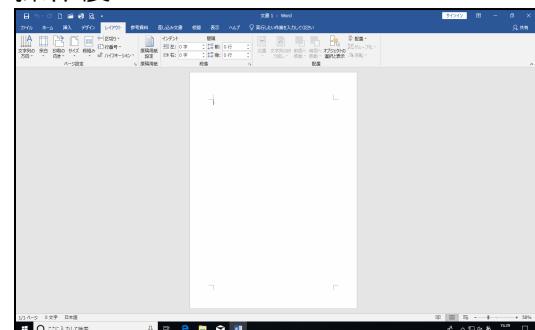
ここでは、印刷の向きの確認とともに印刷の向きを設定する方法をマスターしましょう。初期設定を変えていなければ、ワードを起動すると、印刷の向きは、「縦」になっています。

◆印刷の向きを設定する方法をマスターしましょう。

操作前



操作後

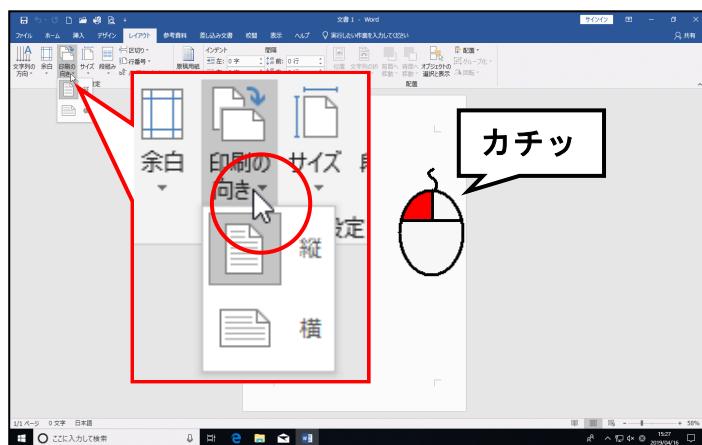


画面上は何も変わりません



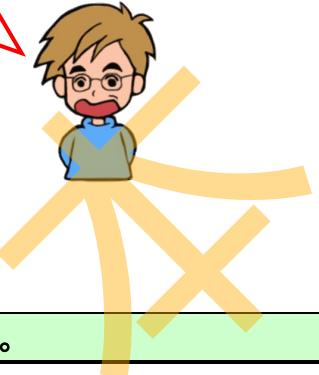
操作は次ページからです！

[ページ設定] グループにある [印刷の向き] ボタンにポイントし、クリックします。

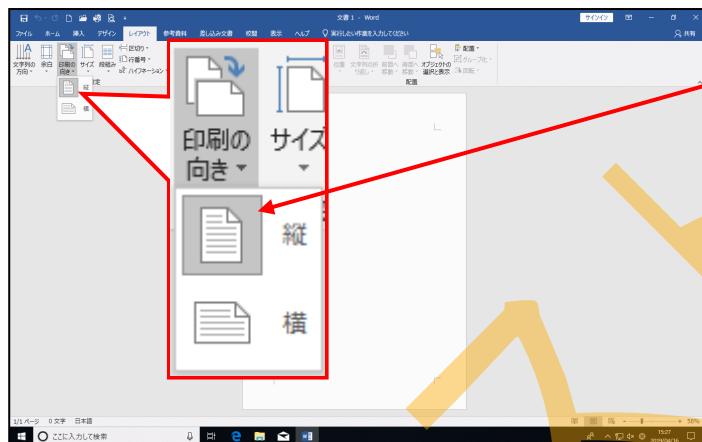


注意!

- [レイアウト] タブが選択されていることを確認してから操作してください。

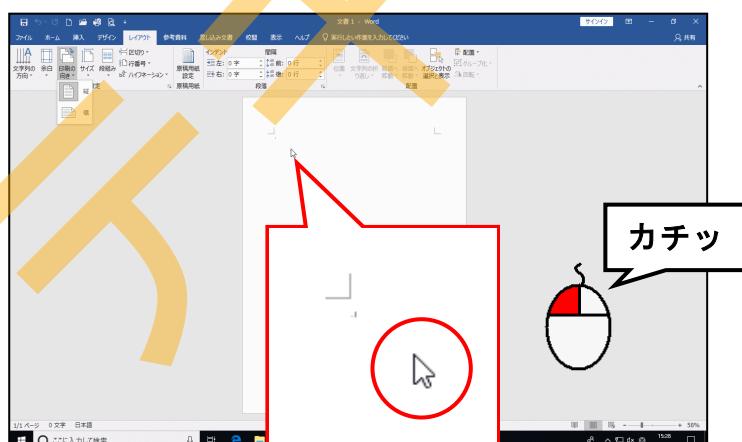


表示された印刷の向きで「縦」が選択されていることを確認します。

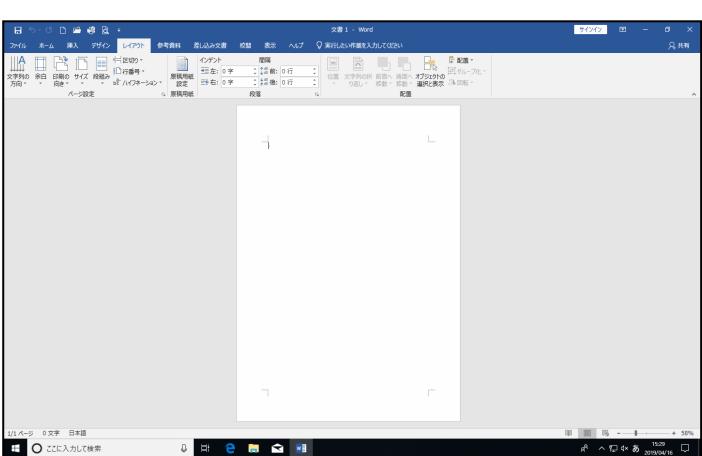


- 縦が選択されていると、「縦」の左にある用紙が灰色に反転表示されます。
印刷の向きを横に設定したい場合は、「横」をクリックします。
- 「縦」が選択されていない方は、「縦」をクリックしてください。

確認ができれば、文書ウィンドウの任意の位置でクリックします。



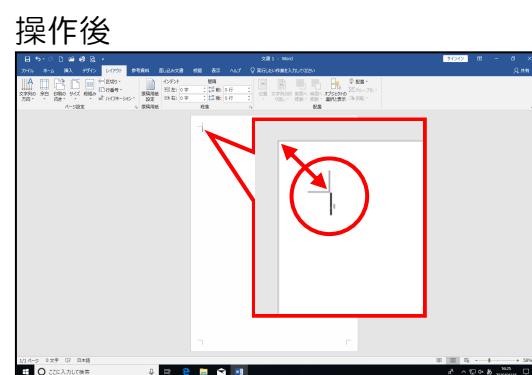
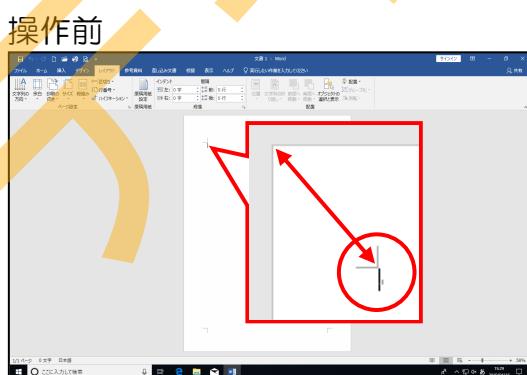
- 表示された印刷の向きの一覧を消すための操作です。



③ 余白の設定

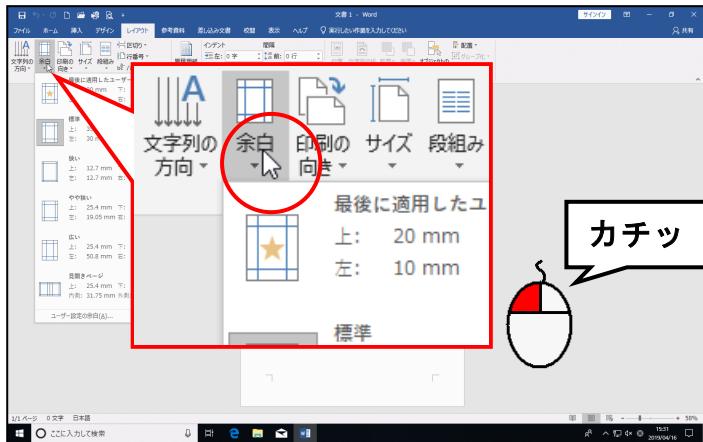
ここまでで、用紙サイズが「A4」、印刷の向きが「縦」になっていることが確認できました。ここでは、上下左右の余白をすべて「15mm」に設定しましょう。ワードの初期設定では、上下左右の余白は、上：35mm、下左右：30mm になっています。

◆余白を設定する方法をマスターしましょう。



操作は次ページからです！

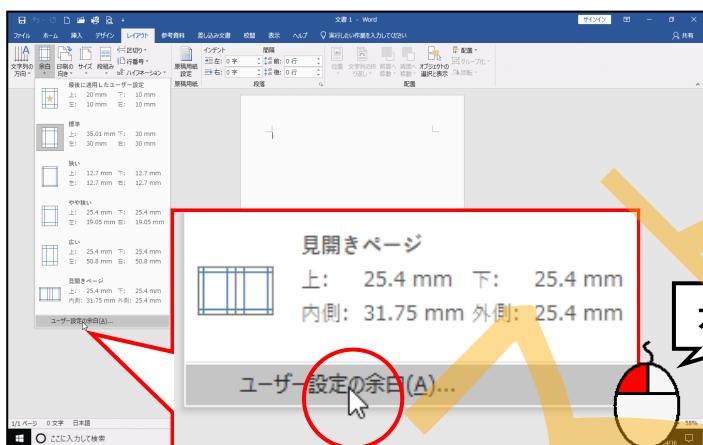
[ページ設定] グループにある [余白] ボタンにポイントし、クリックします。



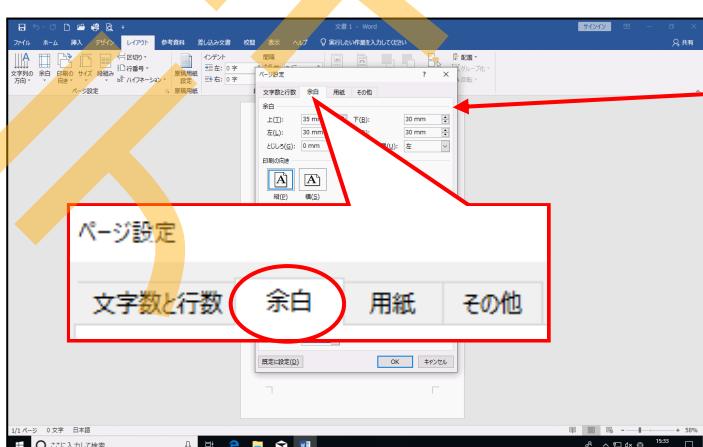
- [レイアウト] タブが選択されていることを確認してから操作してください。



表示された余白の一覧で [ユーザー設定の余白(A)...] にポイントし、クリックします。

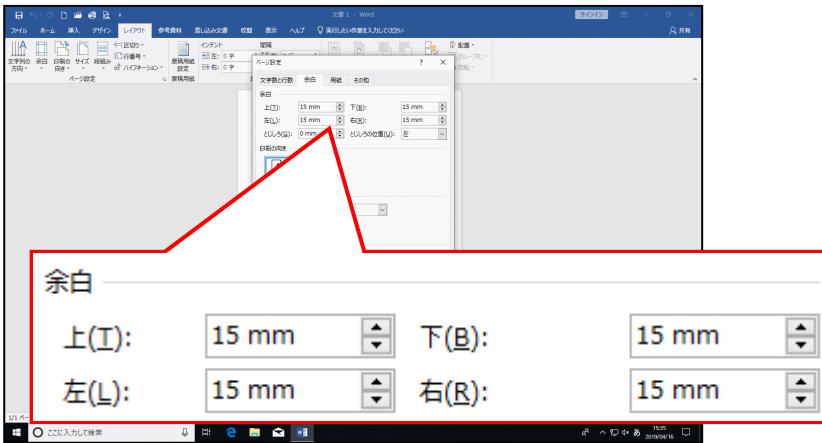


カチッ

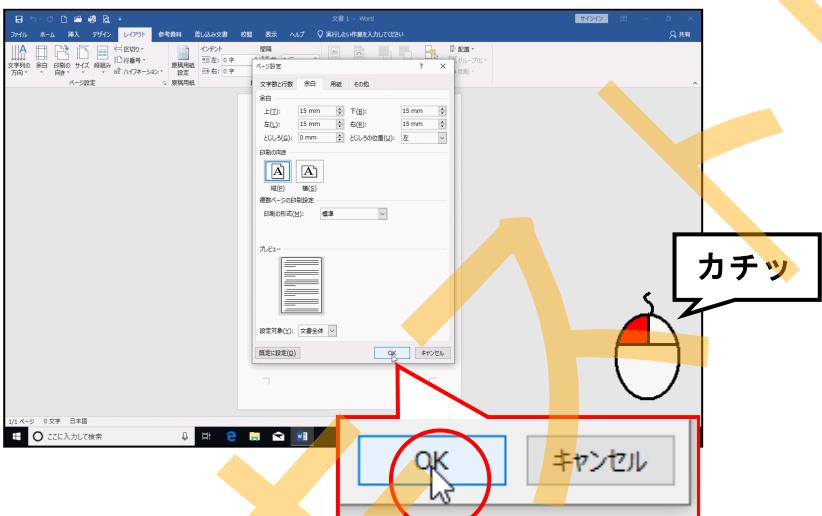


- [ユーザー設定の余白(A)...] をクリックすると、左のように [ページ設定] ダイアログボックスの [余白] タブが表示されます。

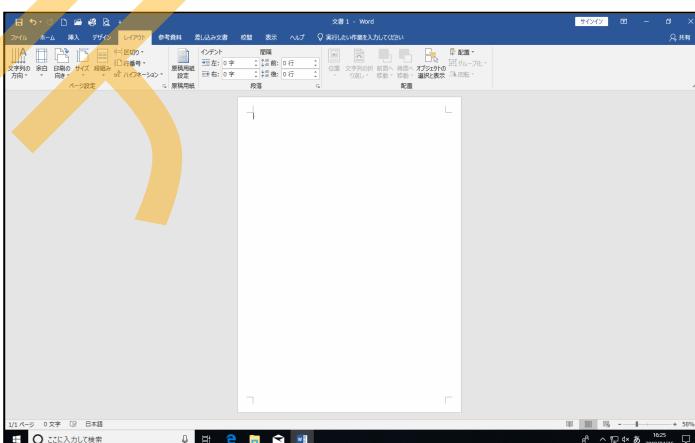
表示された【ページ設定】ダイアログボックスの【余白】で上下左右を「15mm」に設定します。



【ページ設定】ダイアログボックスの右下にある【OK】ボタンにポイントし、クリックします。



● 【OK】ボタンをクリックすると、上下左右の余白が「15mm」に確定します。



(2) 表の挿入

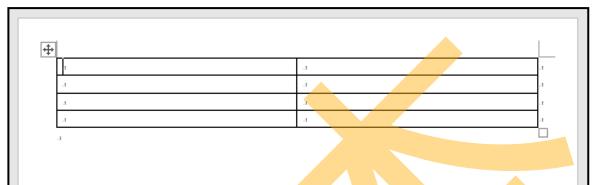
ページ設定が完了したところで、ここからは、表を挿入していきます。
今回は、P222 【完成例】のように4行2列の表を挿入します。

◆表を挿入する方法をマスターしましょう。

操作前

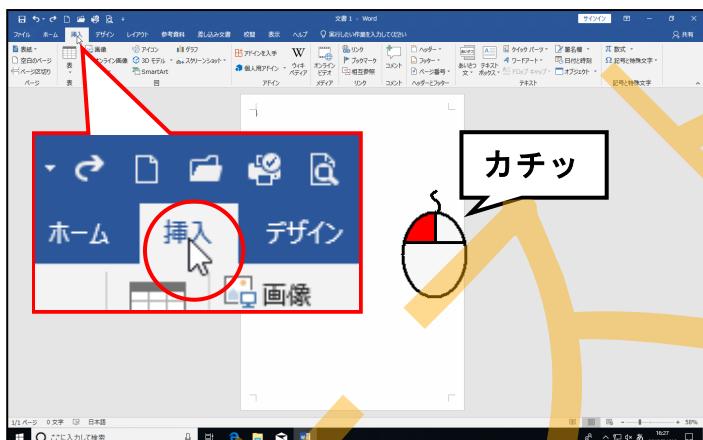


操作後

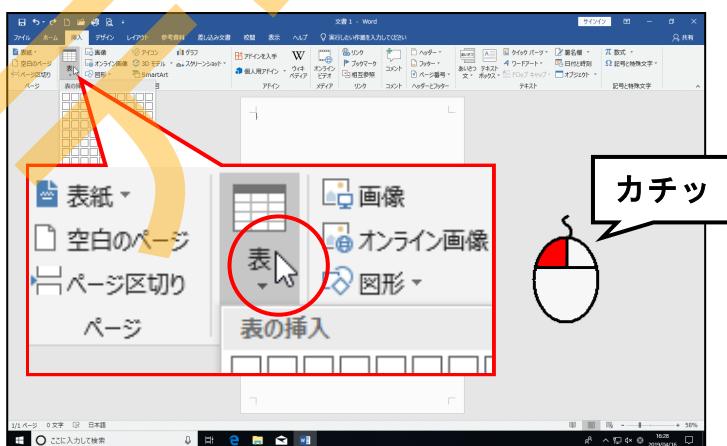


操作は下からです！

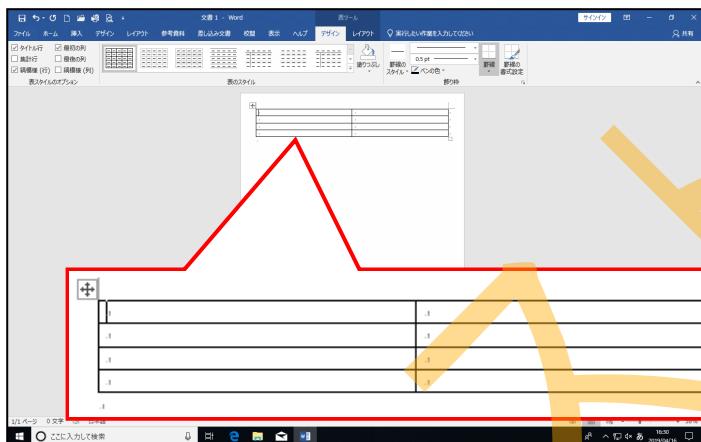
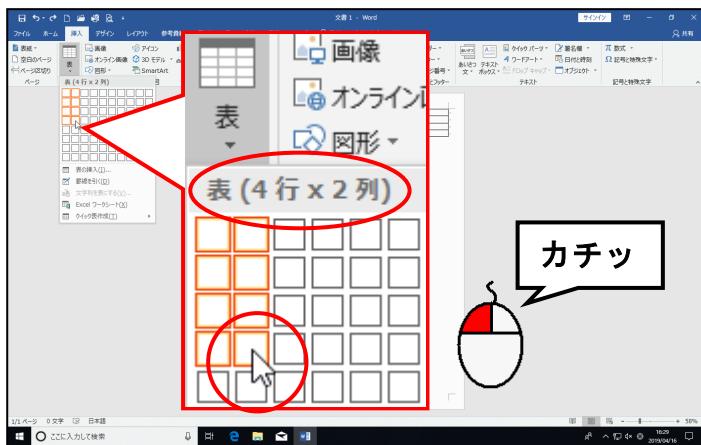
[挿入] タブにポイントし、クリックします。



[表] グループにある [表] ボタンにポイントし、クリックします。



マウスポインターを【表(4行×2列)】になる箇所まで移動し、クリックします。



- 【表(4行×2列)】になる箇所でクリックすると、文書内に4行2列の表が挿入されます。

「アルバム(表)」という名前で、USBメモリーに保存しましょう。

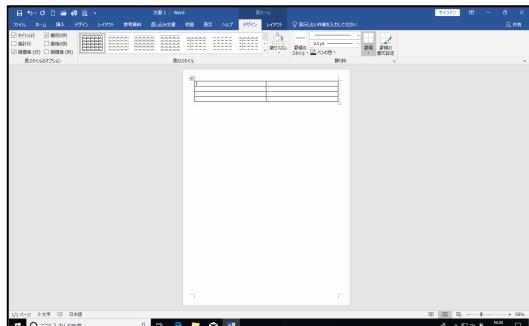
- USBメモリーに保存する方法を忘れた方は、P28(4) アルバムの保存を参照してください。

(3) 写真の挿入

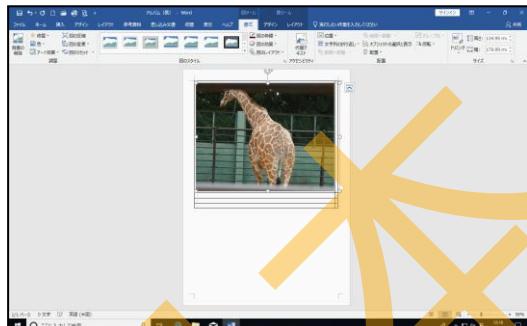
前節で、4行2列の表を挿入しました。ここからは、表の中に写真を挿入していきます。

◆表の中に写真を挿入する方法をマスターしましょう。

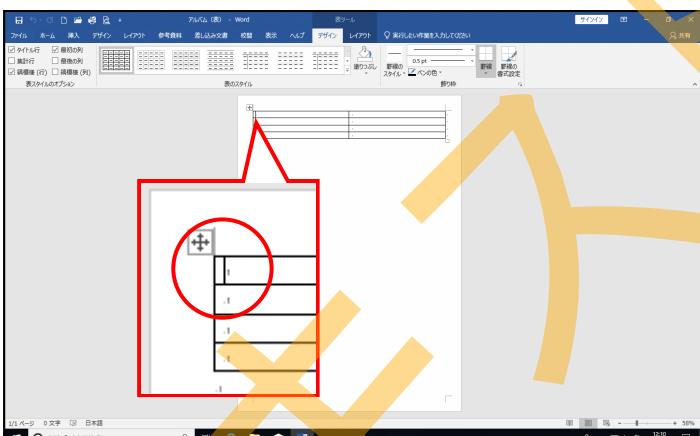
操作前



操作後



表の左上のセルにカーソルがあることを確認します。

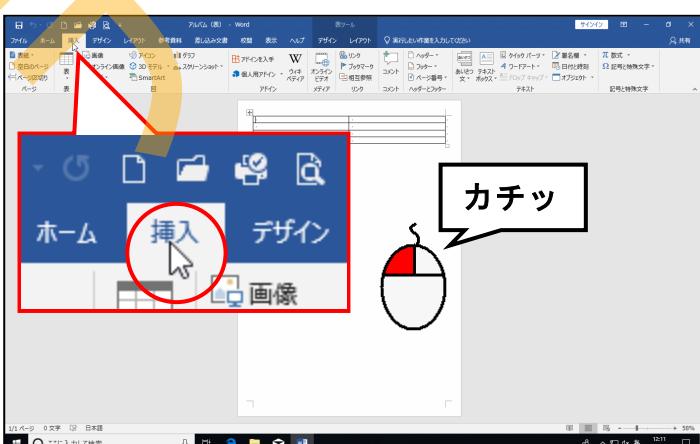


- 表の左上のセルにカーソルがない方は、表の左上のセルにカーソルを移動してください。

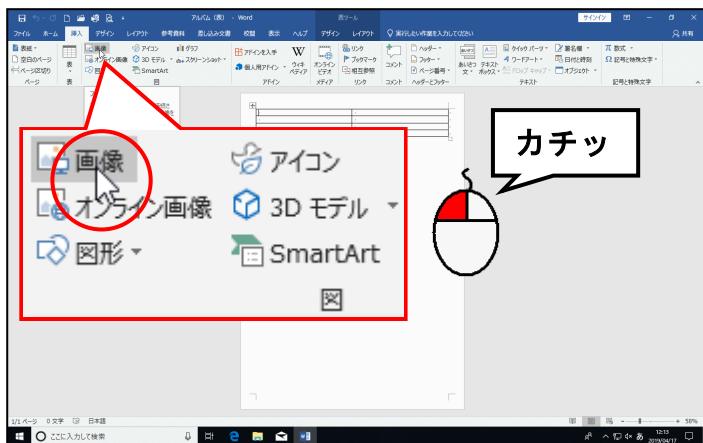
● 写真はカーソルがあるセルに挿入されるため、写真を挿入したいセルにカーソルを移動します。

● 表の升目1つ1つを「セル」といいます。

【挿入】タブにポイントし、クリックします。



[図] グループにある [画像] ボタンにポイントし、クリックします。



- [画像] ボタンをクリックすると、[図の挿入] ダイアログボックスが表示されます。

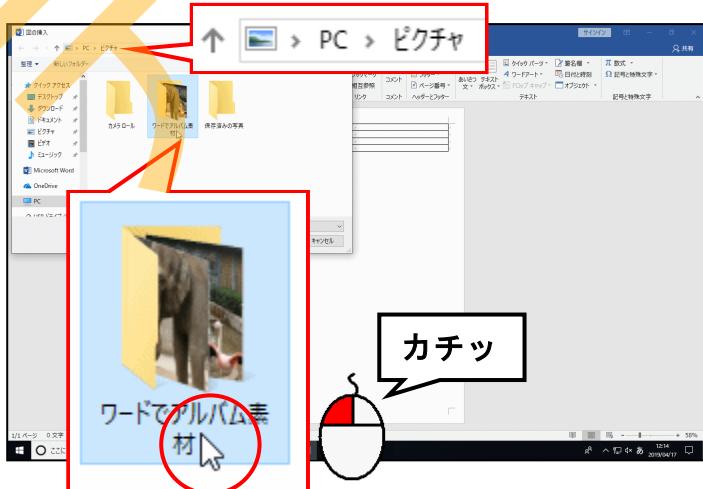
- プレビューウィンドウ内の写真の表示は設定によって異なります。

注意!

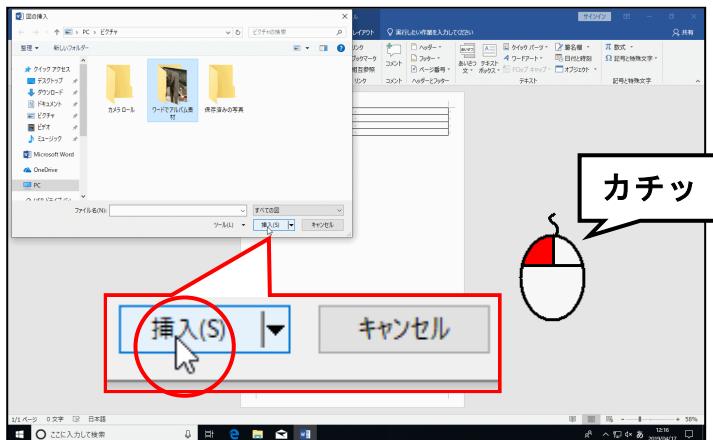
- すでに [ワードでアルバム素材] フォルダーの中身が表示されている状態 (P235 の真ん中の状態) であれば、P235 の一番下の状態から操作してください。



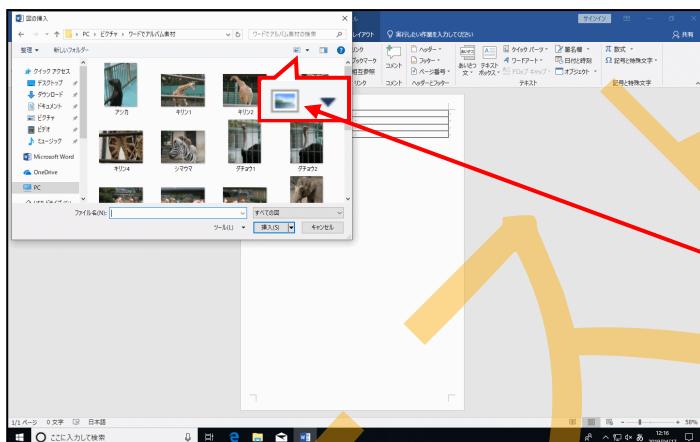
[ファイルの場所] ボックスが「ピクチャ」になっていること確認して、[ワードでアルバム素材] フォルダーにポイントし、クリックします。



[図の挿入] ダイアログボックス右下にある [挿入(S)] ボタンにポイントし、クリックします。



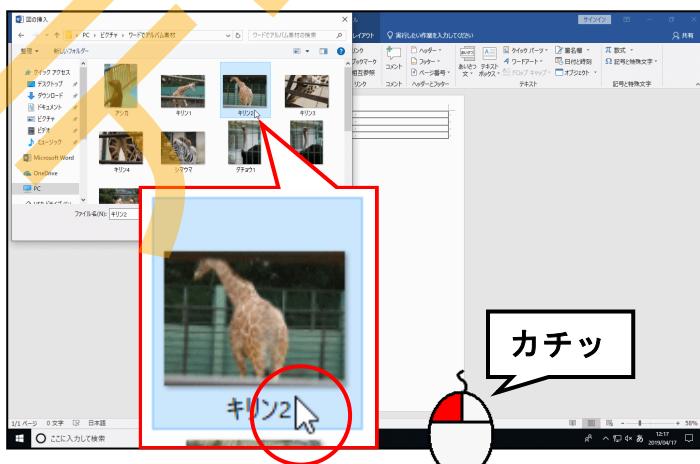
カチッ



● [挿入(S)] ボタンをクリックすると、[ワードでアルバム素材] フォルダーの中身が表示されます。

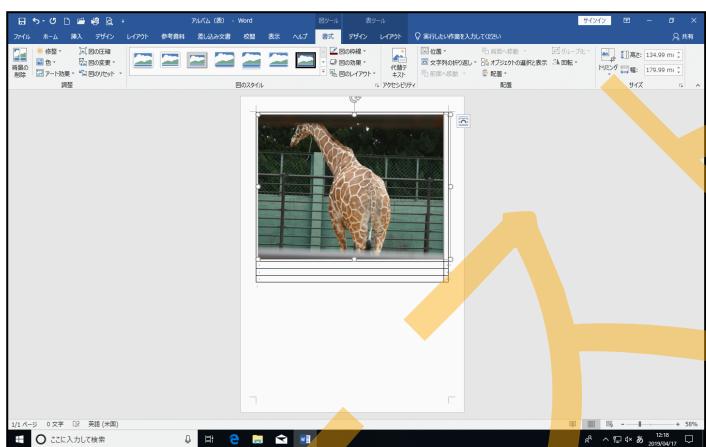
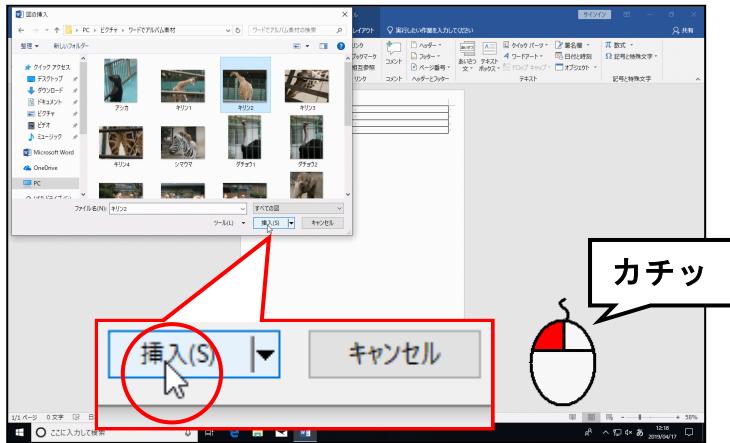
● [ワードでアルバム素材] フォルダーの中身が左のように表示されない場合は、[図の挿入] ダイアログボックスの右上にある の ▾ をクリックして、 大アイコン をクリックしてください。

表示された一覧から「キリン2」にポイントし、クリックします。



● 「キリン2」の写真を挿入するため、クリックして選択します。

[図の挿入] ダイアログボックス右下にある [挿入(S)] ボタンにポイントし、クリックします。



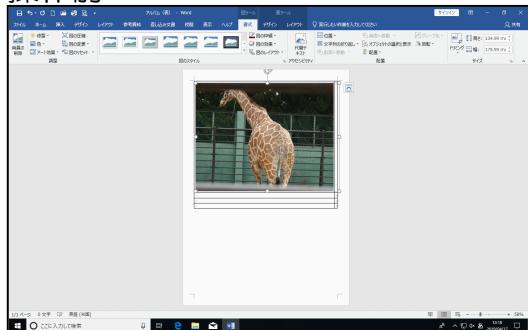
● [挿入(S)] ボタンをクリックした時点で、表の左上のセルに「キリン2」の写真が挿入されます。

(4) 写真のサイズ変更

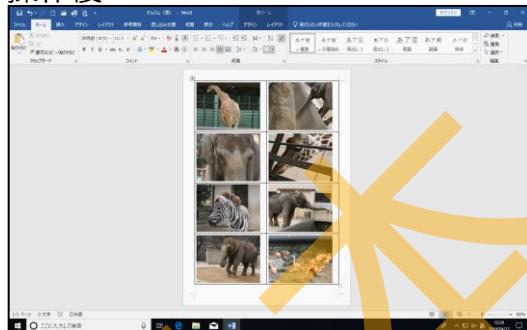
表の中に写真が挿入できれば、挿入した写真のサイズ変更を行います。

◆表の中の写真のサイズを変更する方法をマスターしましょう。

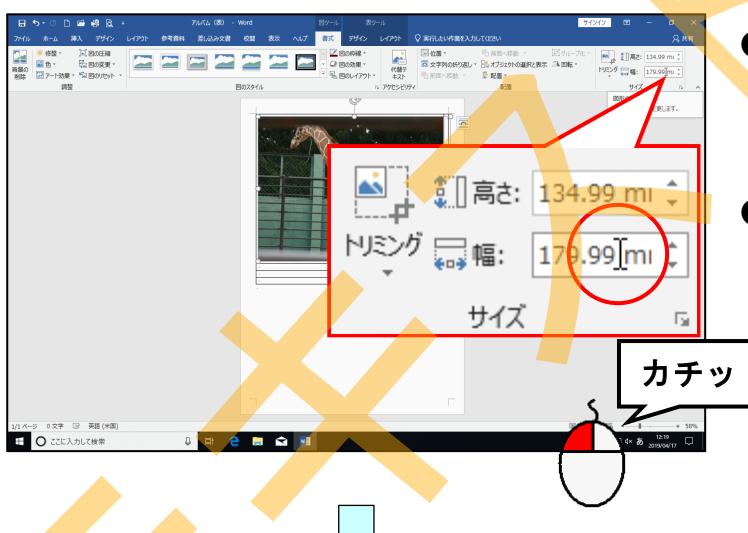
操作前



操作後

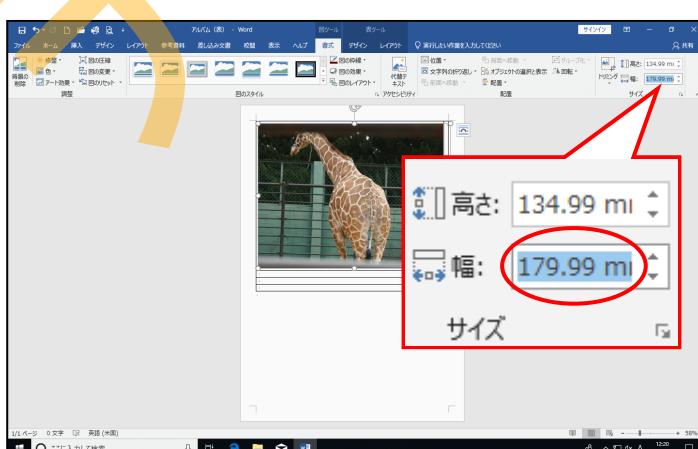


図ツール [書式] タブの [サイズ] グループにある [図形の幅] ボックスの中にポイントし、クリックします。



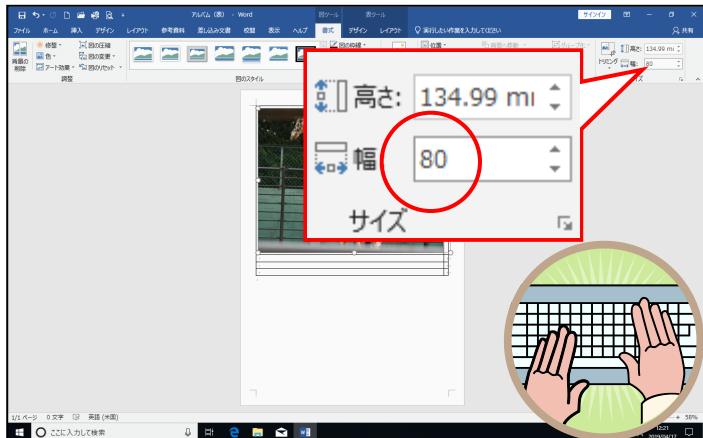
● [図形の幅] ボックスにポイントすると、マウスポインターが I になります。

● 左と同じ数字が、 [図形の幅] ボックス内に表示されているとは限りません。

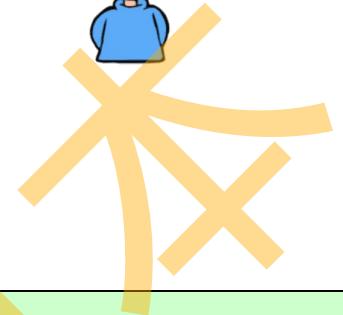


● [図形の幅] ボックスの中でクリックすると、ボックス内に表示されていた数値が反転表示され、選択されます。

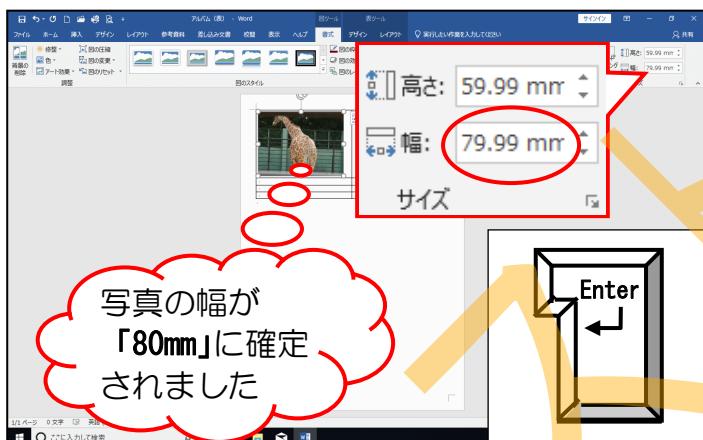
[図形の幅] ボックス内の数値が反転表示されていることを確認して、「80」を入力します。



- なぜ、写真の幅を「80mm」に設定するかは、次のページで説明します。



[Enter] キーを押します。



注意!

- 写真の幅を「80mm」に設定すると、写真の高さも自動的に変更されます。
- [図形の幅] ボックスには、「80」を入力しても「79.99」が表示されますが、多少の誤差は気にしないようにしましょう。





なぜ、写真の幅を「80mm」に設定したのか??

今回は、用紙サイズ：A4、印刷の向き：縦でアルバムを作成しています。A4用紙のサイズは、**図1**のように210mm×297mmです。また今回は、**図2**のように余白を左右15mmずつ、合計30mmに設定していますので、写真の入るスペースは、210mm−30mmで180mmしかありません。

さらに、4行2列の表を挿入していますので、横方向に2枚の写真を挿入します。180mm÷2枚で写真1枚の幅が90mmとなります。写真1枚の幅を90mmに設定すると、写真2枚の間が狭すぎるので、写真と写真の間に少し余裕を持たせるために、今回は、写真1枚の幅を「80mm」に設定しました。

図1

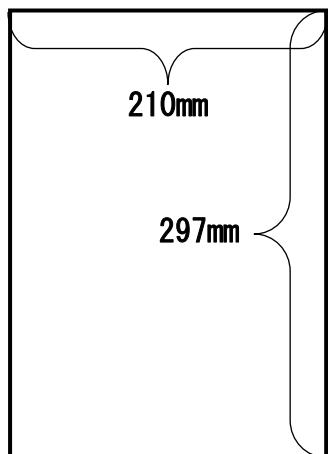


図2



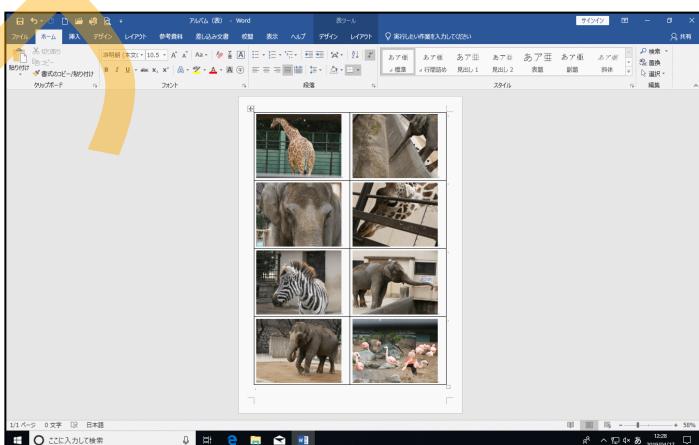
今日は、写真の幅を「80mm」に設定しましたが、用紙のサイズ、印刷の向き、余白の大きさ、表のセルの数、また写真が横長なのか縦長なのかなどにより、写真1枚のサイズは、変更する必要があります。

同様にして、下図を参考に写真の挿入とサイズ変更を行います。

挿入写真

- 2行目1列目 「象3」
- 3行目1列目 「シマウマ」
- 4行目1列目 「象5」

- 1行目2列目 「象4」
- 2行目2列目 「キリン3」
- 3行目2列目 「象2」
- 4行目2列目 「フラミンゴ2」

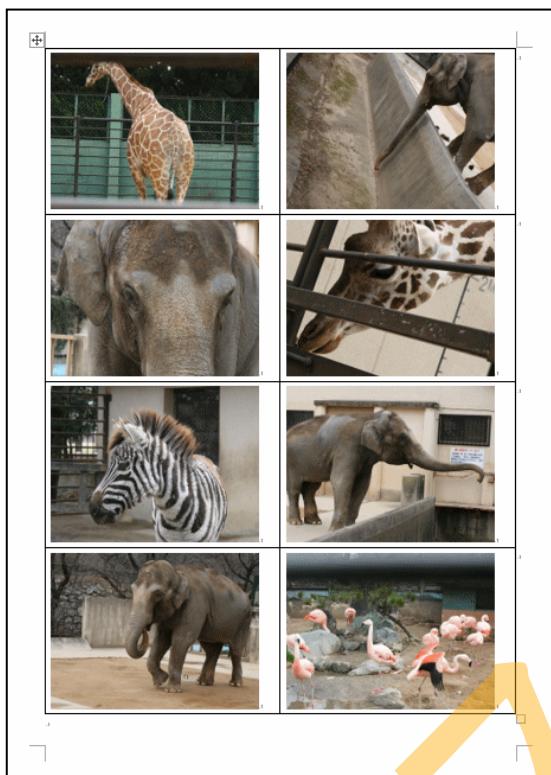


(5) 写真の配置

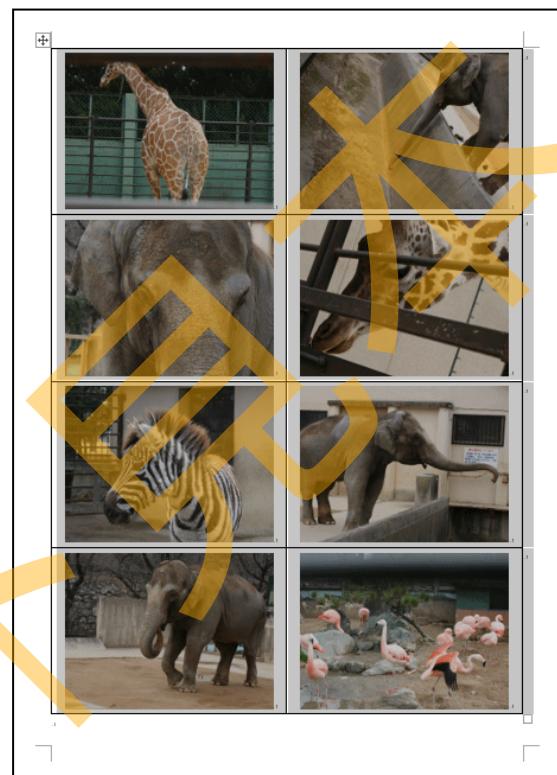
現在、表のセルの中に挿入した写真は、左詰めで表示されています。この写真を表のセルの中央に配置します。

◆写真の配置を変更する方法をマスターしましょ。

操作前

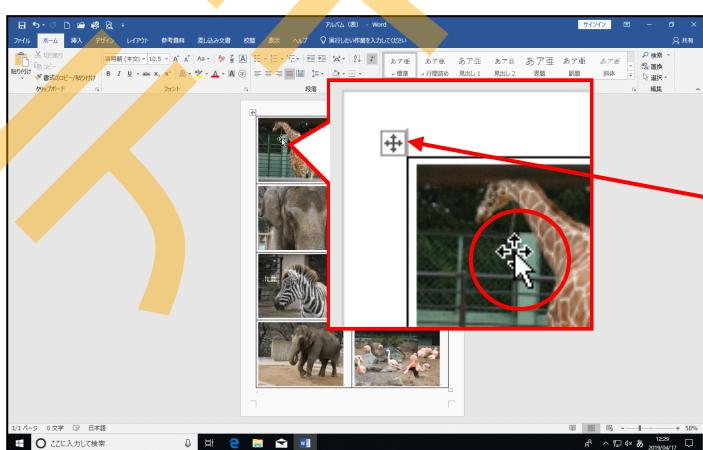


操作後



操作は下からです！

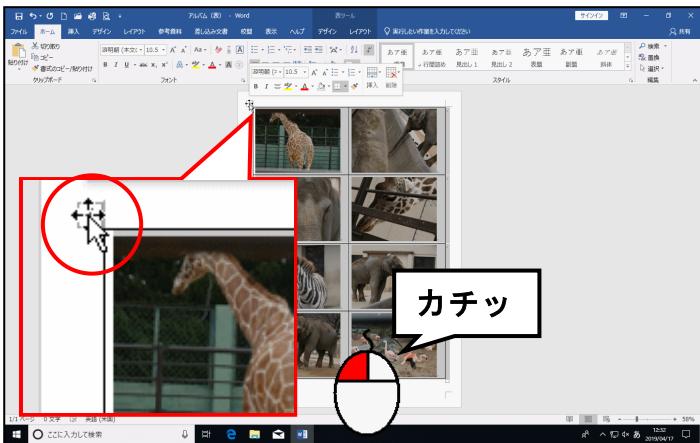
表内の任意の位置にポイントします。



●表内であれば、どこにポイントしても構いません。

●表内にポイントすると、表の左上に  (表の移動ハンドル) が表示されます。

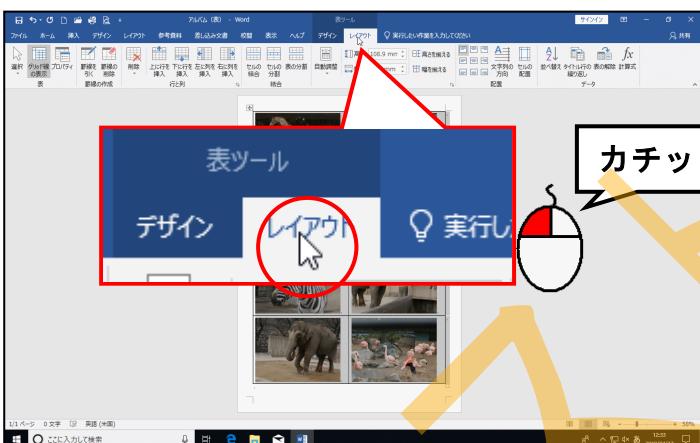
表の左上に表示された  (表の移動ハンドル) にポイントし、クリックします。



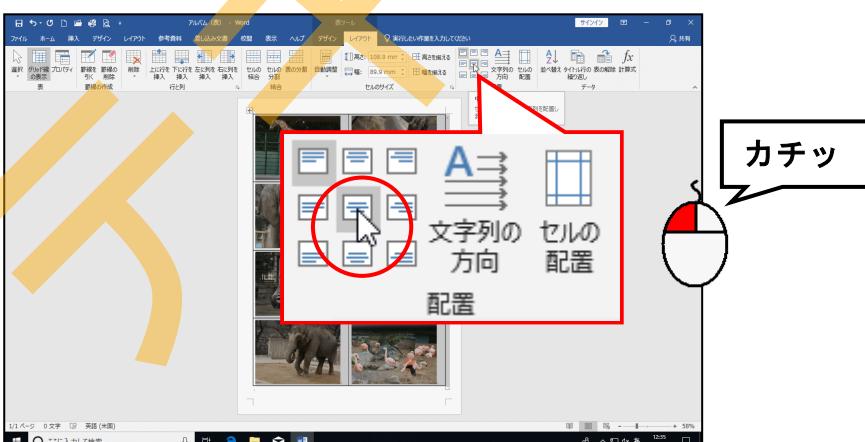
●  (表の移動ハンドル) をクリックすると、表全体が選択されます。

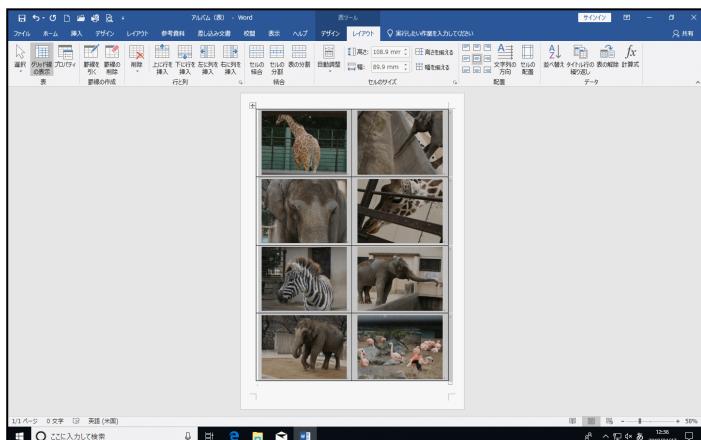
● ドラッグをしないように注意しましょう。

[表] ツールの [レイアウト] タブにポイントし、クリックします。



[配置] グループにある  [中央揃え] ボタンにポイントし、クリックします。





- [中央揃え] ボタンをクリックすると、表のセルの中央に写真が配置されます。



(6) 表の枠線を非表示にする

現在、表の枠線は黒に設定されていますが、ここでは、表の枠線を非表示にします。

◆表の枠線を非表示にする方法をマスターしましょう。

操作前

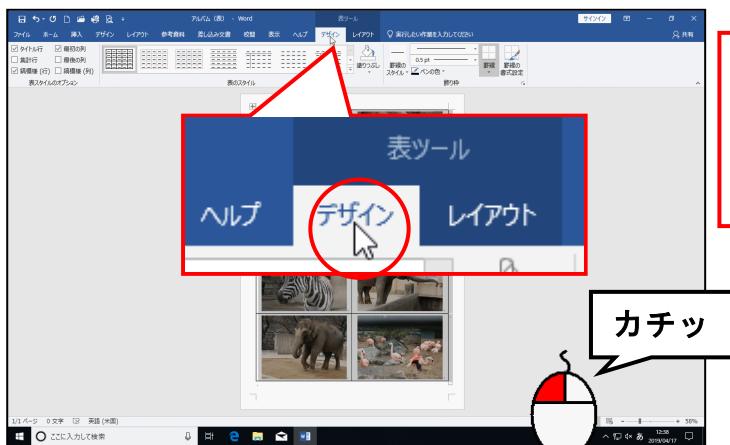
操作後



注意!

操作は次ページからです！

表全体が選択されていることを確認し、[表] ツールの [デザイン] タブにポイントし、クリックします。

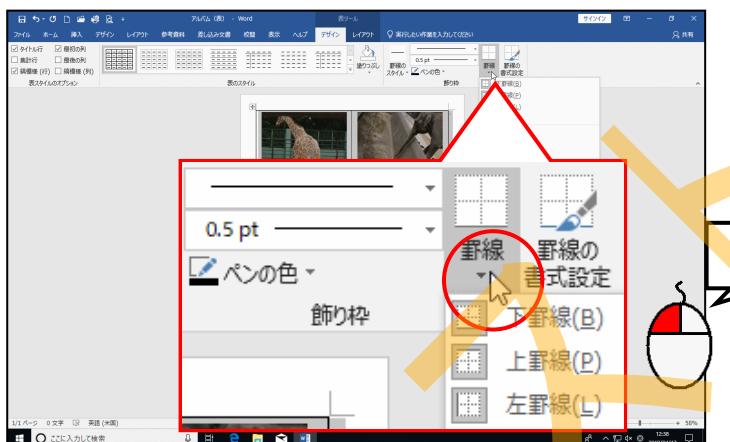


注意!

- 表全体が選択されていない方は、表全体を選択した状態で操作してください。

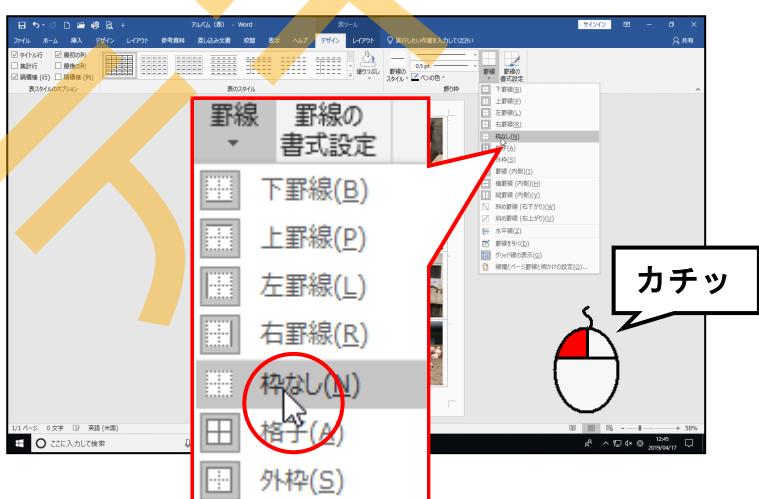


[飾り枠] グループにある [罫線] ボタンの にポイントし、クリックします。

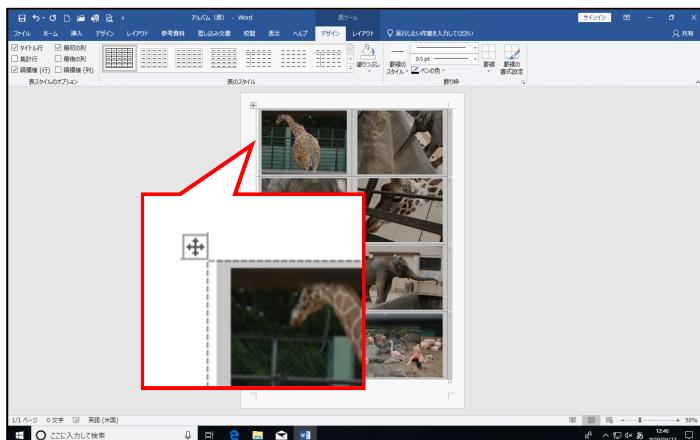


カチッ

表示された一覧から [枠なし(N)] にポイントし、クリックします。



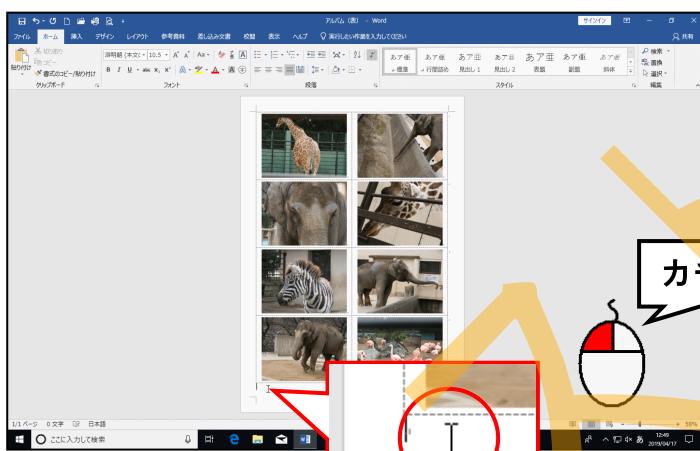
カチッ



● [枠なし(N)] をクリックすると、表の黒い枠線が消えて、グレーの点線が表示されます。このグレーの点線は、「表の線が消えましたよ」という印です。

グレーの点線が表示されていない方は、[表]ツールの[レイアウト]タブの[表]グループにある [グリッド線を表示] ボタンをクリックしてください。

表の下をクリックして、表全体の選択を解除します。



「アルバム（表）」を上書き保存して、ワードの画面を閉じておきましょう。

☆☆ここまでくれば、総合問題で理解度を試して下さい。☆☆

お疲れ様でした。
これで「ワードでアルバム作成」編は終了です。

◆[クイックアクセスツールバーにボタンを追加・削除する

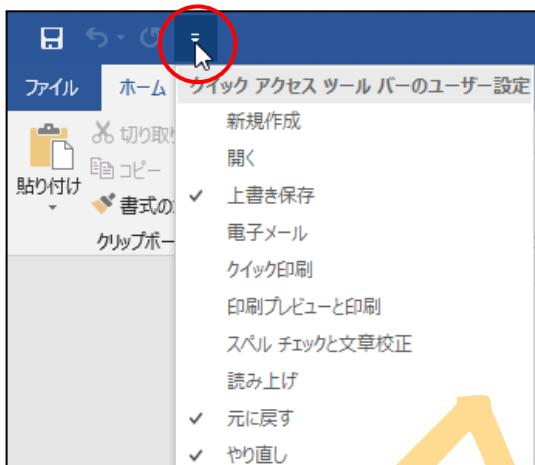
本テキストでは、前提条件として [クイックアクセス] ツールバーは [新規作成]、 [開く]、 [クイック印刷]、 [印刷プレビューと印刷] という非常によく使う4つのボタンが追加された状態でした。

ただし、一番最初にワード2019を開いた場合、初期状態として [上書き保存]、 [元に戻す]、 [繰り返し]（ [やり直し] になることもあります）の3つしか表示されません。ここでは、[クイックアクセス] ツールバーにそのほかのボタンの追加方法と削除方法について説明します。

■ [クイックアクセス] ツールバーにボタンを追加する

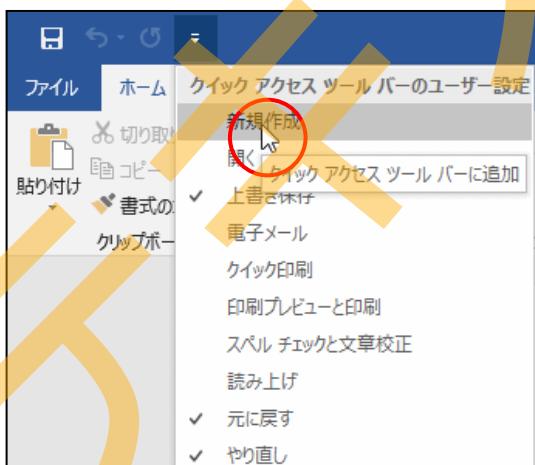
ここでは、[クイックアクセス] ツールバーに [新規作成] ボタンを追加してみましょう。

[クイックアクセス] ツールバーの右側にある [クイックアクセスツールバーのユーザー設定] ボタンにポイントし、クリックします。



をクリックすると、[クイックアクセス] ツールバーに追加できるボタンの一覧が表示されます。現在表示されているボタンには名前の左側に が表示されます。

「新規作成」にポイントし、クリックします。



[クイックアクセス] ツールバーに [新規作成] ボタンが追加されました。

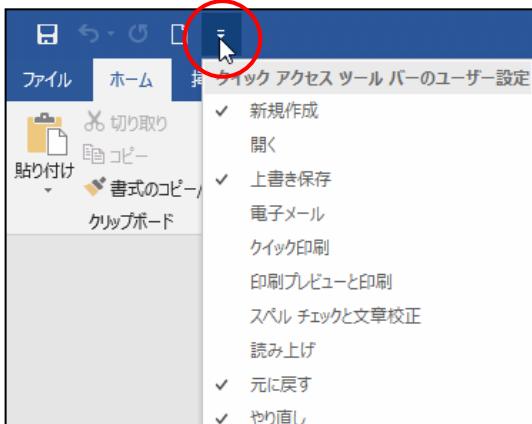


「新規作成」をクリックすると、左のように [クイックアクセス] ツールバー内に [新規作成] ボタンが追加されます。

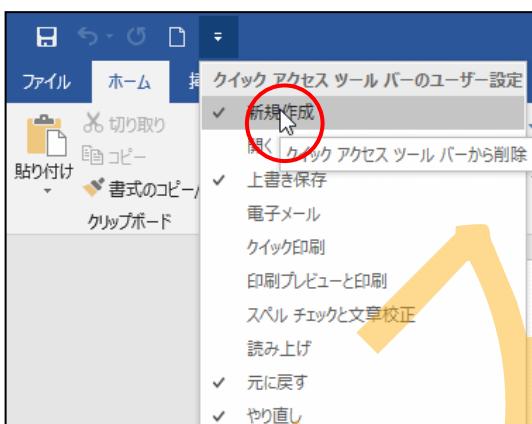
■ [クイックアクセス] ツールバーのボタンを削除する

先ほど追加した [新規作成] ボタンを削除してみましょう。

[クイックアクセス] ツールバーの右側にある [クイックアクセスツールバーのユーザー設定] ボタンにポイントし、クリックします。



「新規作成」にポイントし、クリックします。



[新規作成] ボタンが [クイックアクセス] ツールバーに表示されているため「新規作成」の左側には が表示されています。

[クイックアクセス] ツールバーから [新規作成] ボタンが削除されました。



「新規作成」をクリックすると、左のように [クイックアクセス] ツールバー内の [新規作成] ボタンが削除されます。

他の[クイックアクセス]ツールバーのボタンも同様の操作で追加と削除することができます。

◆リボンの表示オプションの変更

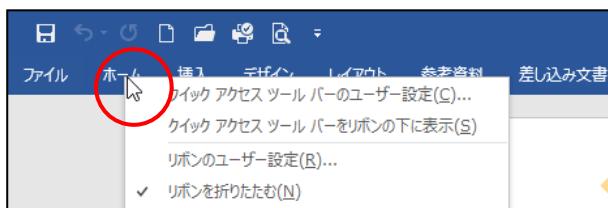
ワードでいろいろと操作をしているうちに、下のようにリボンが非表示になる場合があります。リボンが非表示になると、ボタンも押せなくなってしまうため、文字の書式設定やページ設定など様々な設定を行うときに大変不便です。

■非表示になったリボン

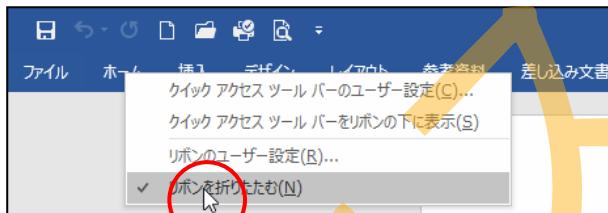


非表示になったリボンを元に戻すには、次のように操作します。

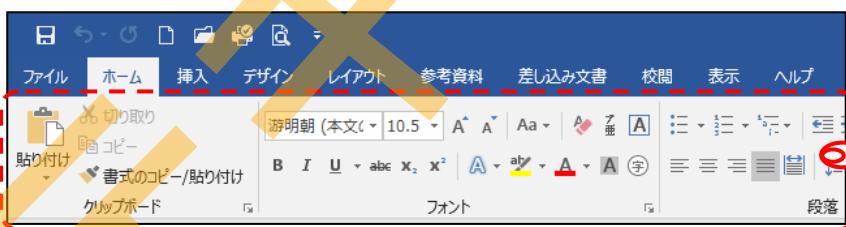
タブにポイントし、右クリックします。



表示された一覧から [リボンを折りたたむ(N)] をクリックします。



リボンが表示されました。



余裕があれば読んでね

下記のようにタブにポイントし、ダブルクリックする方法でも、リボンは表示されます。
(ダブルクリックするタブは、どのタブでも構いません。)

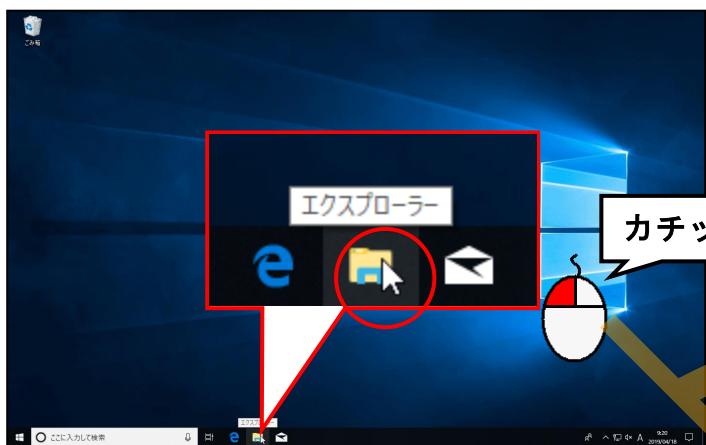


◆デジタルカメラの画像をパソコンに取り込む

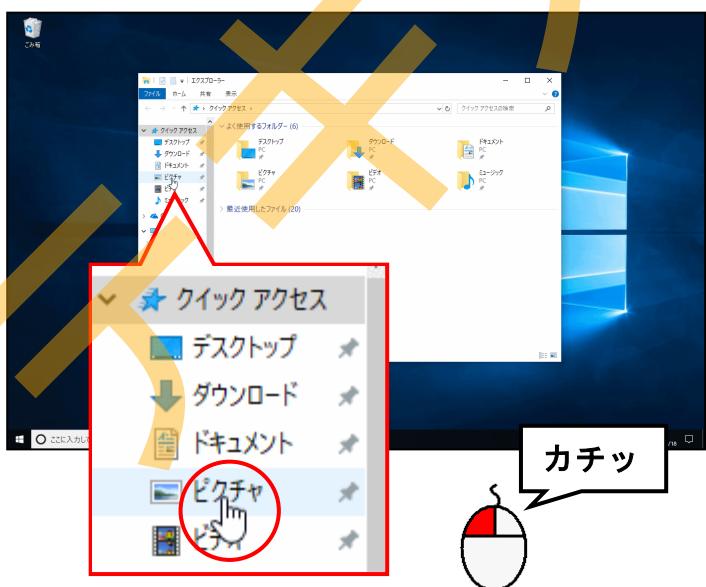
みなさんが、実際デジタルカメラで写真を撮って、それらを元にワードでアルバムを作成する場合、まずデジタルカメラとパソコンを接続しなければなりません。それ以外の方法は、SD カードなどのメモリーカードを直接パソコンに挿入して取り込む方法や、カードリーダーなどにカードを挿入してからパソコンと繋いで取り込む方法があります。ここではデジタルカメラとパソコンを接続した方法を説明します。

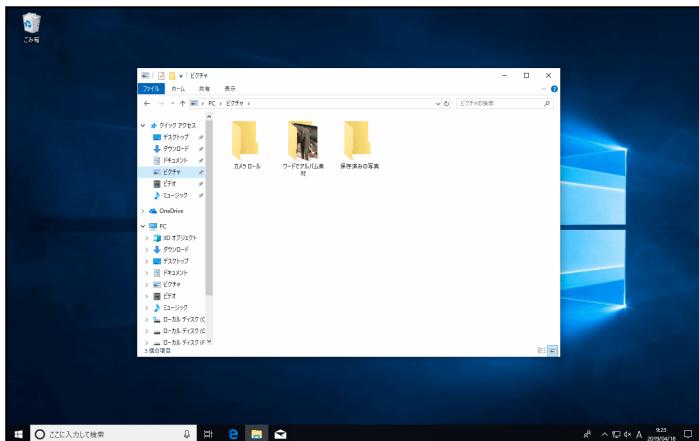
デジタルカメラの画像をパソコンに取り込むには、次のように操作します。

デスクトップ画面の左下にある  [エクスプローラー] ボタンにポイントし、クリックします。



表示された [エクスプローラー] ウィンドウで画面左の「ピクチャ」にポイントし、クリックします。

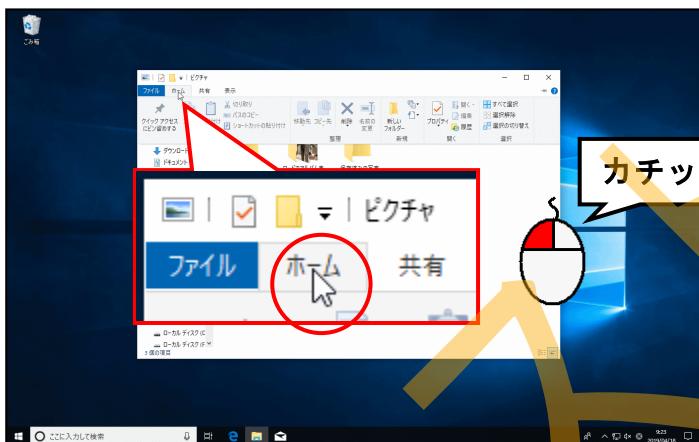




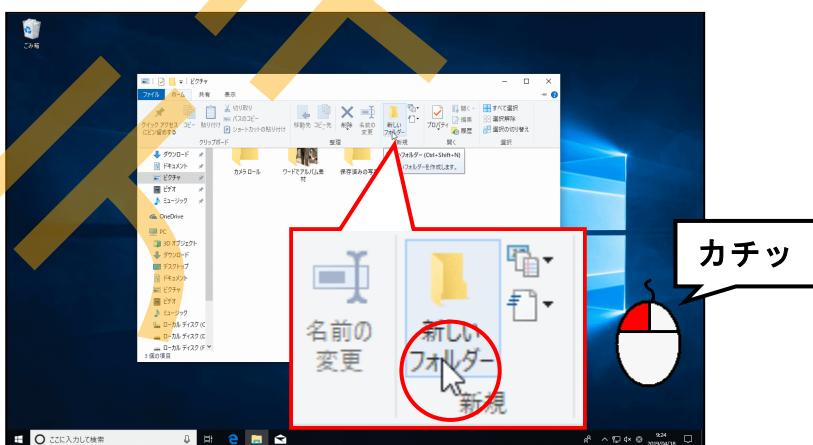
● [ピクチャ] の画面が最大化された状態で表示された方は、□ [元に戻す（縮小）] ボタンをクリックして画面を縮小しておきましょう。また、左図を参考にして画面の大きさも調整しておきましょう。

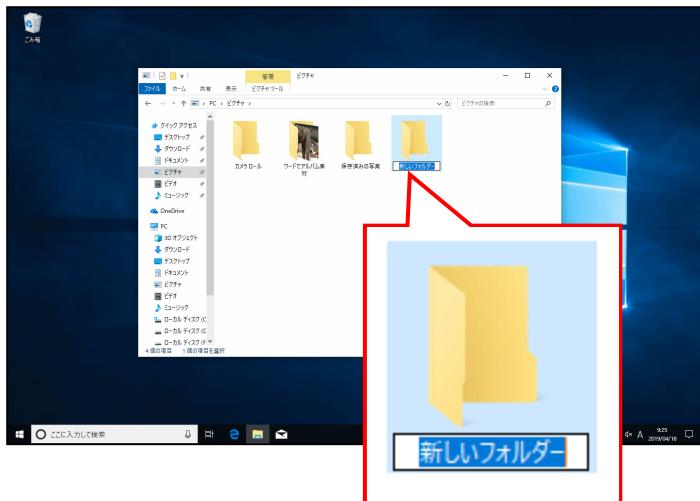
● お使いのパソコンによって画面の表示が左図と違うかもしれません。そのまま次に進みましょう。

[ホーム] タブにポイントし、クリックします。



[新しいフォルダー] ボタンにポイントし、クリックします。

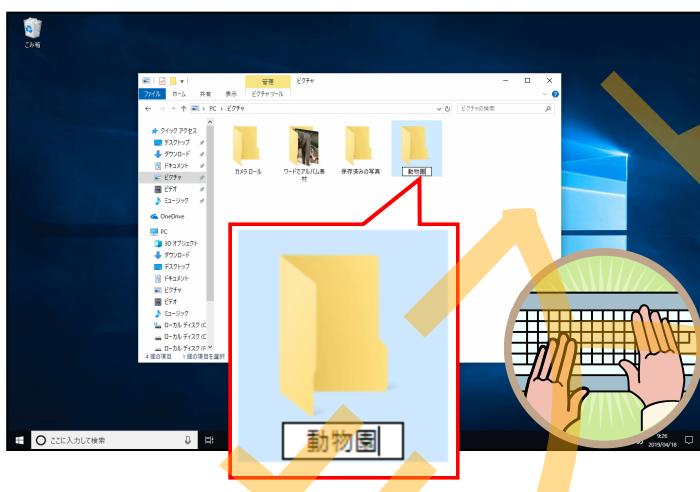




● [新しいフォルダー] ボタンをクリックすると、[ピクチャ] 内に [新しいフォルダー] が青く反転された状態で表示されます。



[新しいフォルダー] が青く反転された状態で「動物園」と入力し、文字を確定します。



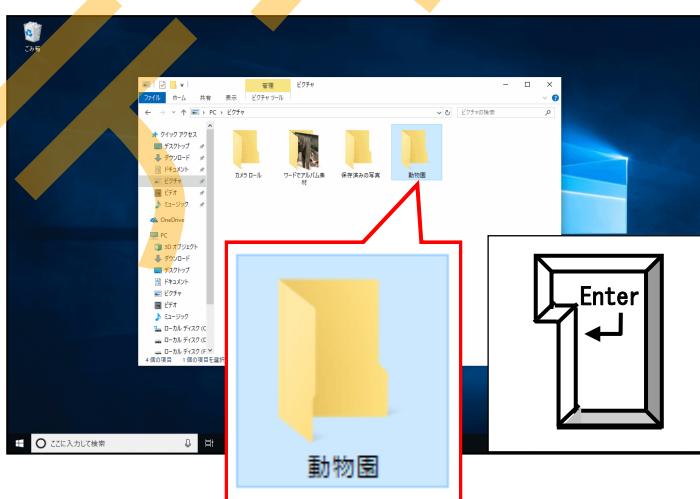
● ここでは、「動物園」と入力していますが、写真を取り込まれる際は、何の写真かわかるように名前を付けましょう。

例：旅行に行った時の写真

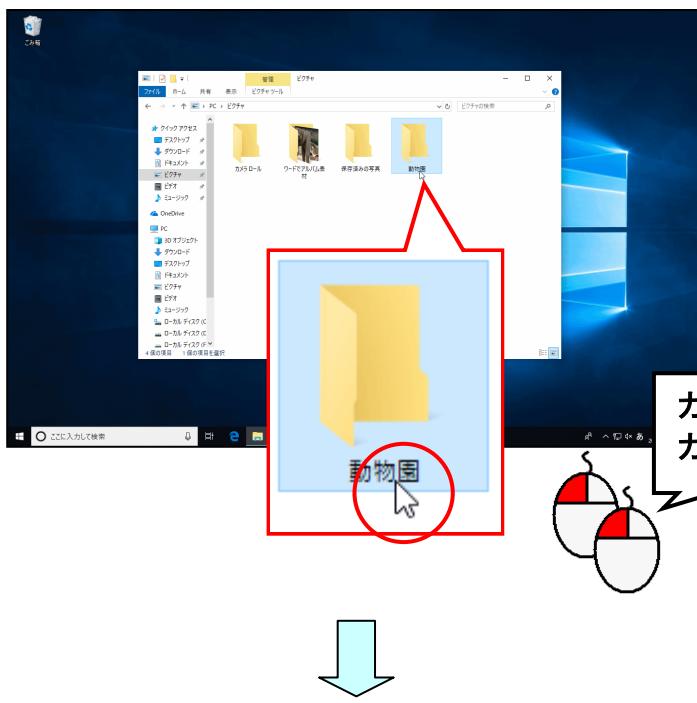


北海道旅行写真

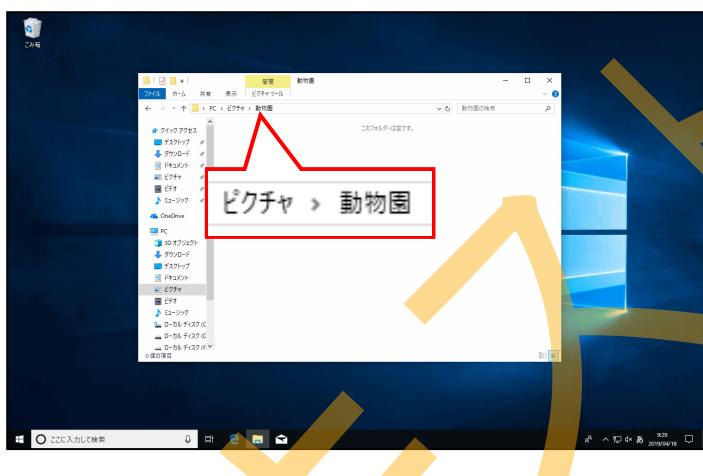
[Enter] キーを押して、フォルダ名を確定します。



[動物園] フォルダーにポイントし、ダブルクリックします。

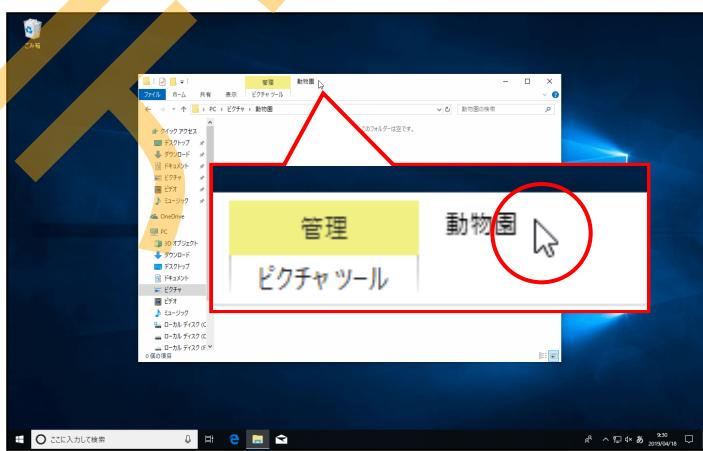


● 左では [動物園] フォルダーをダブルクリックしていますが、前操作で付けた名前のフォルダーをダブルクリックしてください。

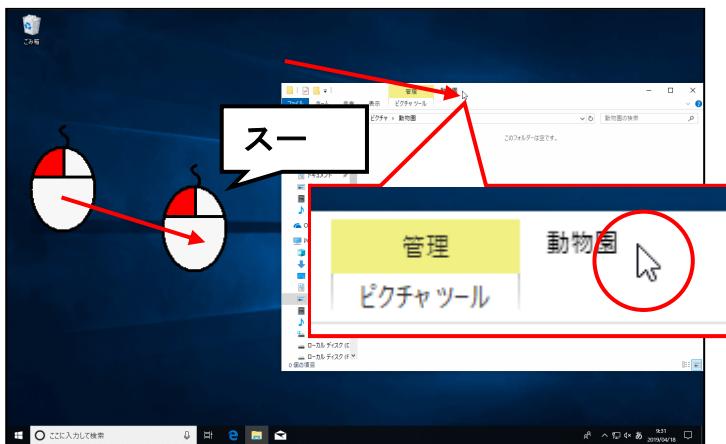


● [動物園] フォルダーの中身が表示されました。

タイトルバーの上にマウスポインターを移動します。

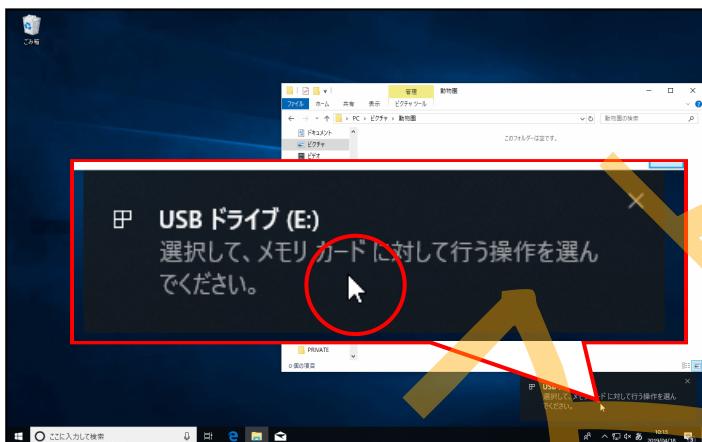


そのまま右側にドラッグします。



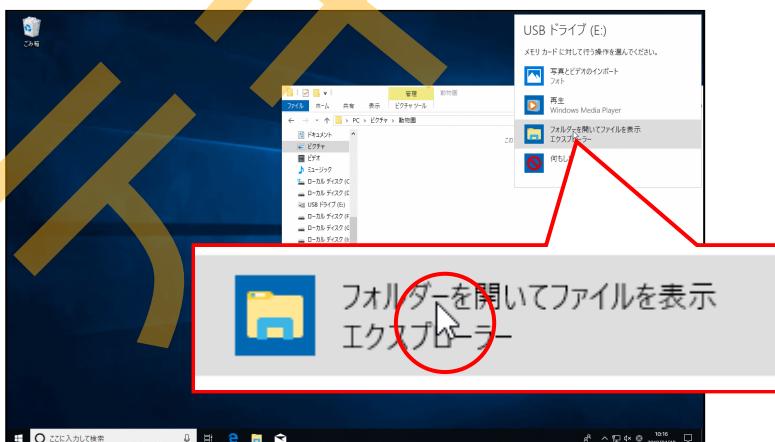
●後から左側に写真のデータが入っているフォルダーを開くので、ここではウィンドウを右に寄せています。

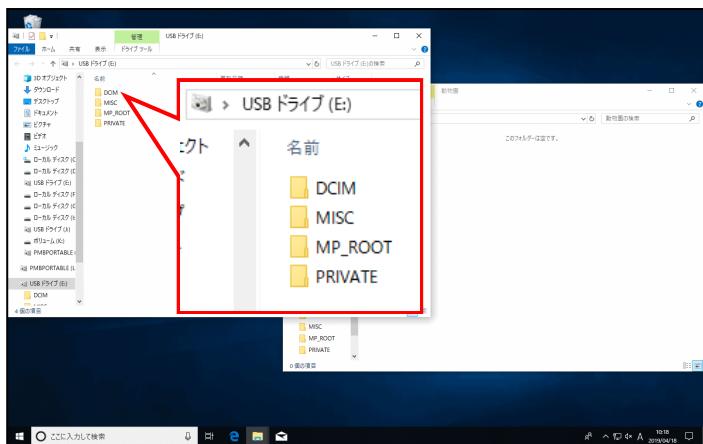
デジタルカメラとパソコンを接続し、次のような画面が表示されるので、右下の黒いメッセージにポイントし、クリックします。



●左のような画面が表示されずに、P252 真ん中のような画面が表示された方は、そこから操作を続けましょう。

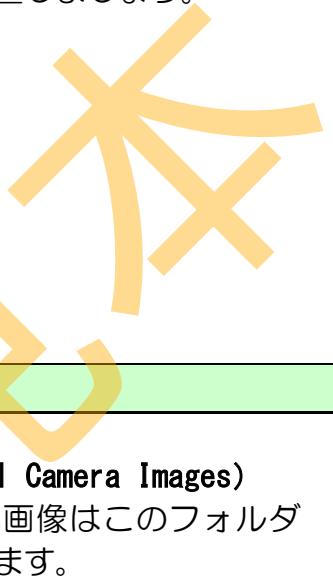
表示された一覧から「フォルダーを開いてファイルを表示」にポイントし、クリックします。



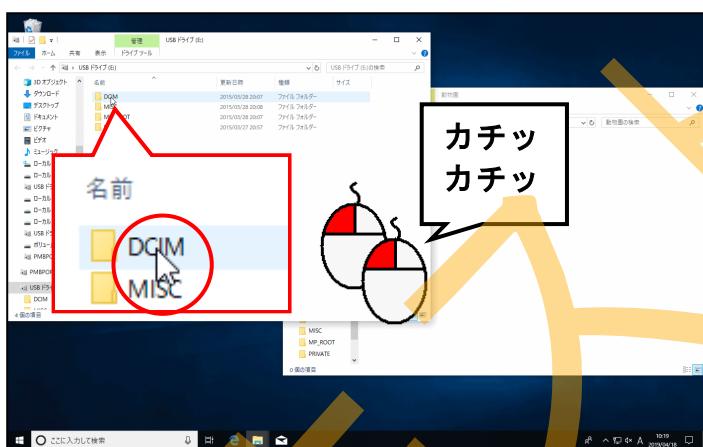


● デジタルカメラ内のデータが表示されるウィンドウが、表示されました。

● 左図と同じように、ウィンドウを左右に並べて配置しましょう。

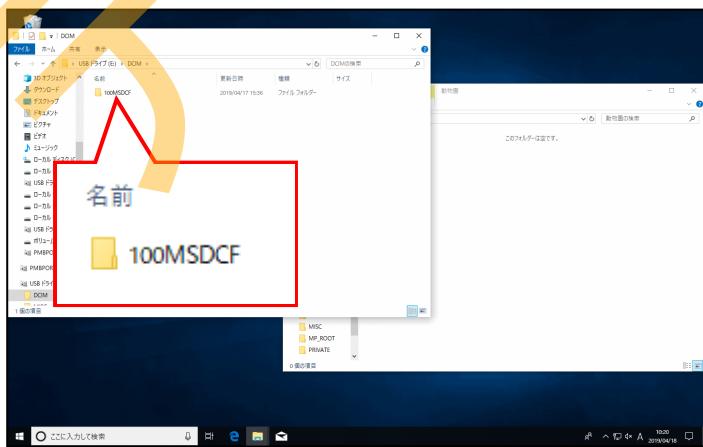


[DCIM] にポイントし、ダブルクリックします。

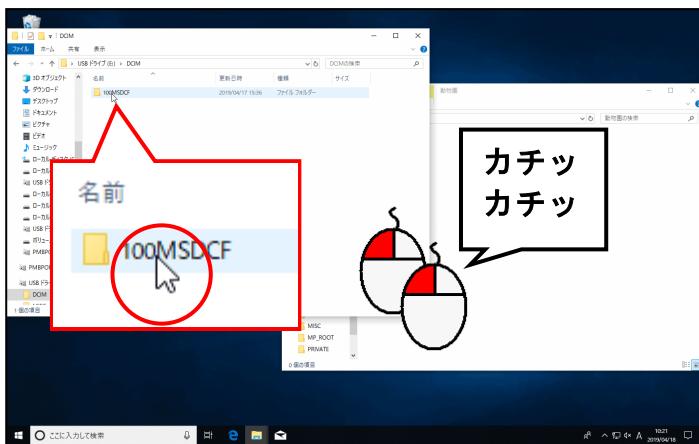


● DCIM (Digital Camera Images)

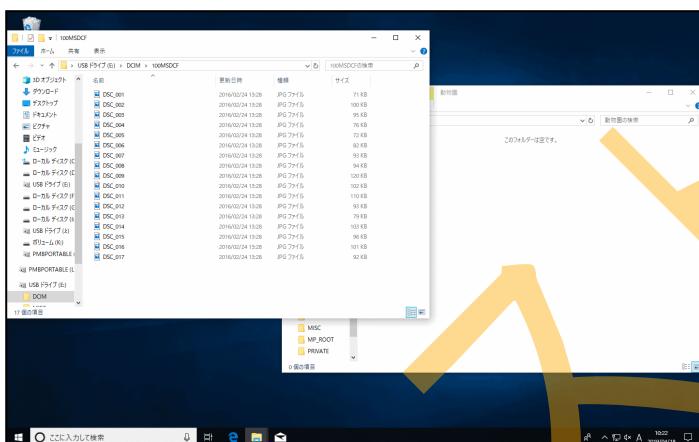
撮影した写真画像はこのフォルダーに保存されます。



[100MSDCF] にポイントし、ダブルクリックします。

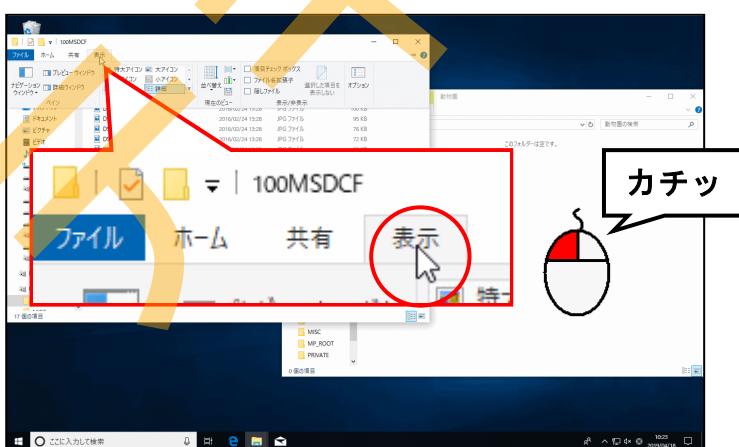


● フォルダー名は、デジタルカメラによって異なります。

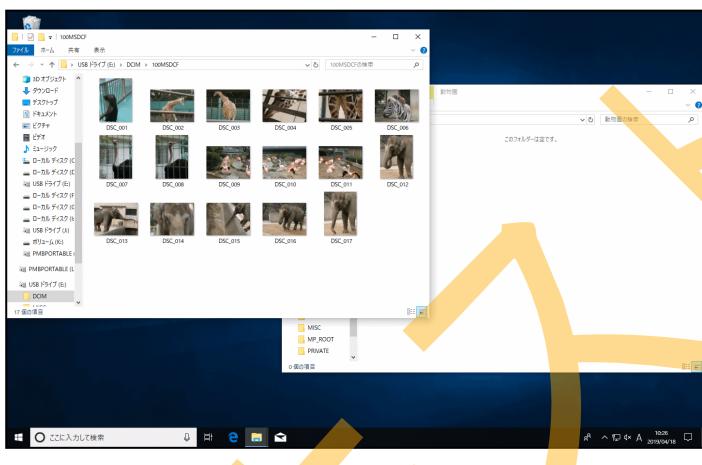
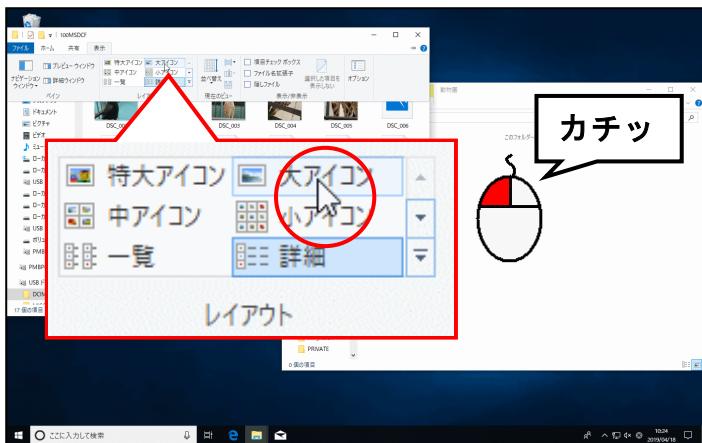


● デジタルカメラ内のデータが表示されました。

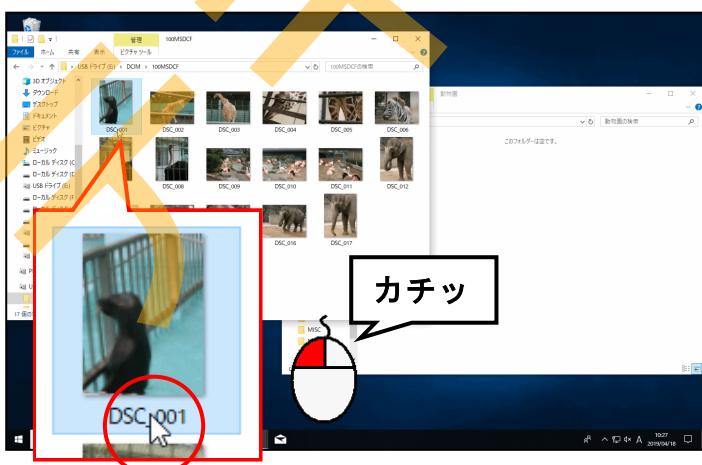
[表示] タブにポイントし、クリックします。



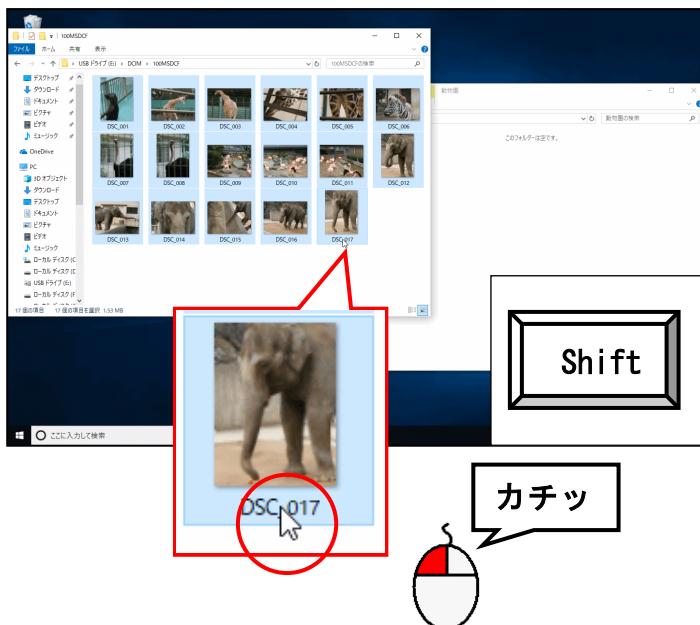
[レイアウト] グループにある 大アイコン [大アイコン] ボタンにポイントし、クリックします。



一番左上（最初）の写真にポイントし、クリックします。



一番右下（最後）の写真にポイントし、[Shift] キーを押した状態でクリックします。



●すべての写真が選択されました。

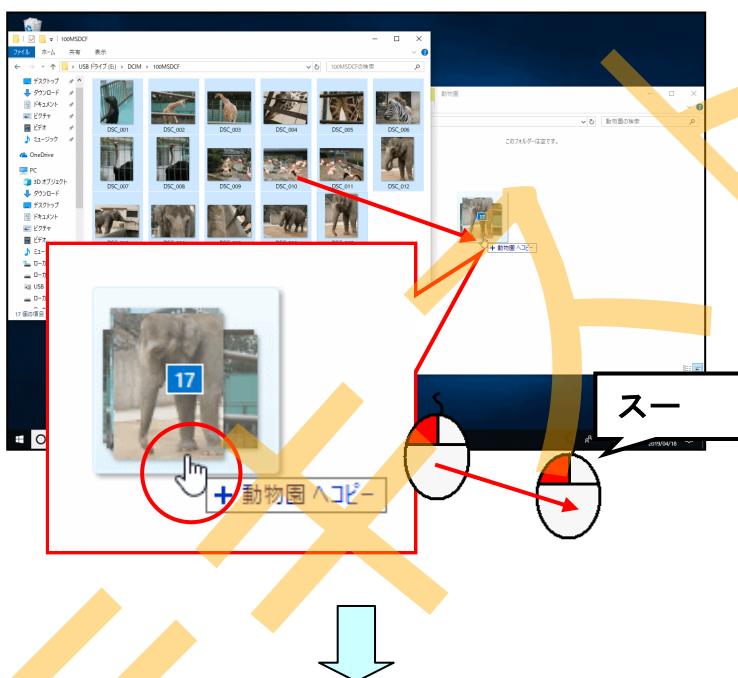
●最後の写真が表示されていない方は、画面をスクロールして表示しておきましょう。

余裕があれば読んでね

●[Ctrl] キーを押した状態で、[A] キーを押しても、すべての写真を選択することができます。

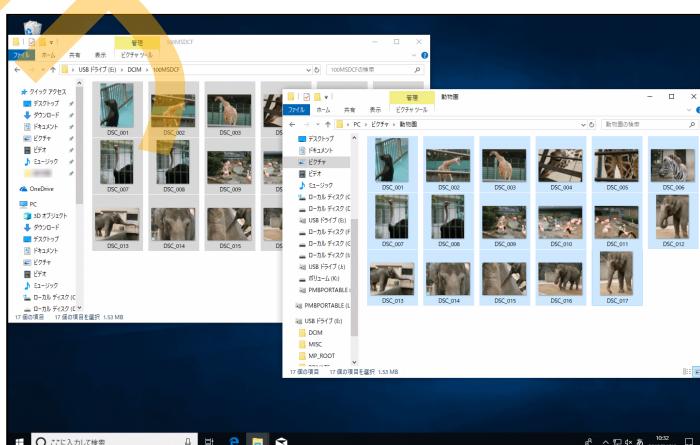
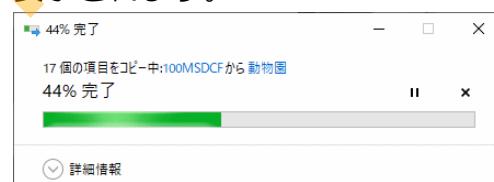
●離れた写真を選択する場合は、1枚目の写真はクリックして選択し、2枚目以降の写真は、[Ctrl] キーを押した状態でクリックします。

選択された写真（青く反転表示された写真）にポイントし、右側のウィンドウに向かってドラッグします。



●青く反転された写真であれば、どれにポイントしても構いません。

●コピーの間は、下図のようなものが表示されます。

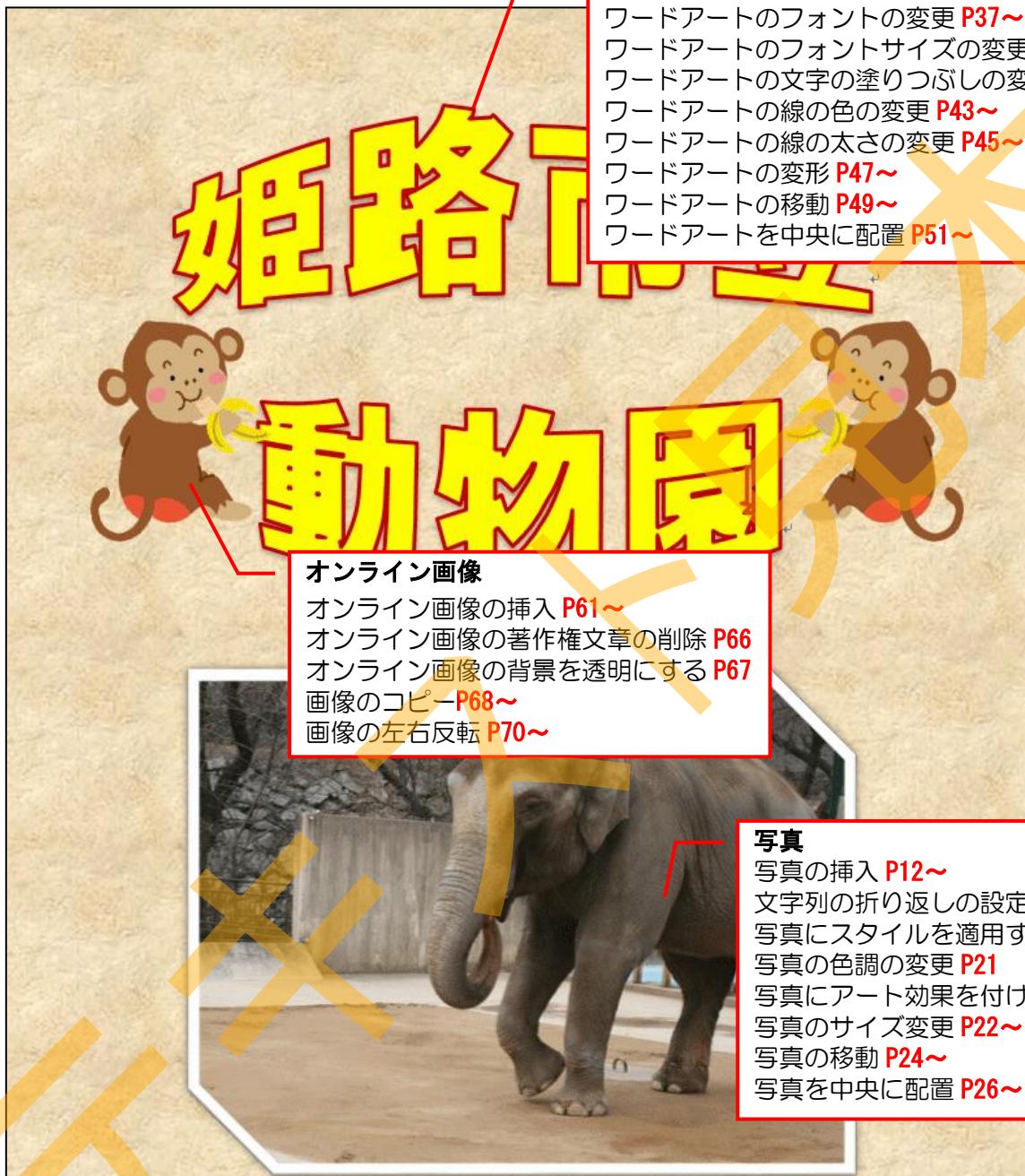


●デジタルカメラ内のデータが、パソコン（ここではピクチャ内の【動物園】フォルダー）に取り込まれました。

◆テキストの手引き

練習問題や実際にワードを使っていて、テキストで覚えたあの機能は何ページに書いてあったっけ？と迷われた時のためにテキスト内の成果物と機能についての該当ページを記載しています。

● 「アルバム動物園」表紙



ワードアート

ワードアートの挿入 P33～
ワードアートのフォントの変更 P37～
ワードアートのフォントサイズの変更 P39～
ワードアートの文字の塗りつぶしの変更 P41～
ワードアートの線の色の変更 P43～
ワードアートの線の太さの変更 P45～
ワードアートの変形 P47～
ワードアートの移動 P49～
ワードアートを中央に配置 P51～

オンライン画像

オンライン画像の挿入 P61～
オンライン画像の著作権文章の削除 P66
オンライン画像の背景を透明にする P67
画像のコピー P68～
画像の左右反転 P70～

写真

写真の挿入 P12～
文字列の折り返しの設定 P16～
写真にスタイルを適用する P19～
写真の色調の変更 P21
写真にアート効果を付ける P21
写真のサイズ変更 P22～
写真の移動 P24～
写真を中央に配置 P26～

ワードアート

グラデーションの設定 P55～

H31.1.5

2ページ目の作成 P7～

表示倍率の変更 P9～

アルバムの保存 P28～

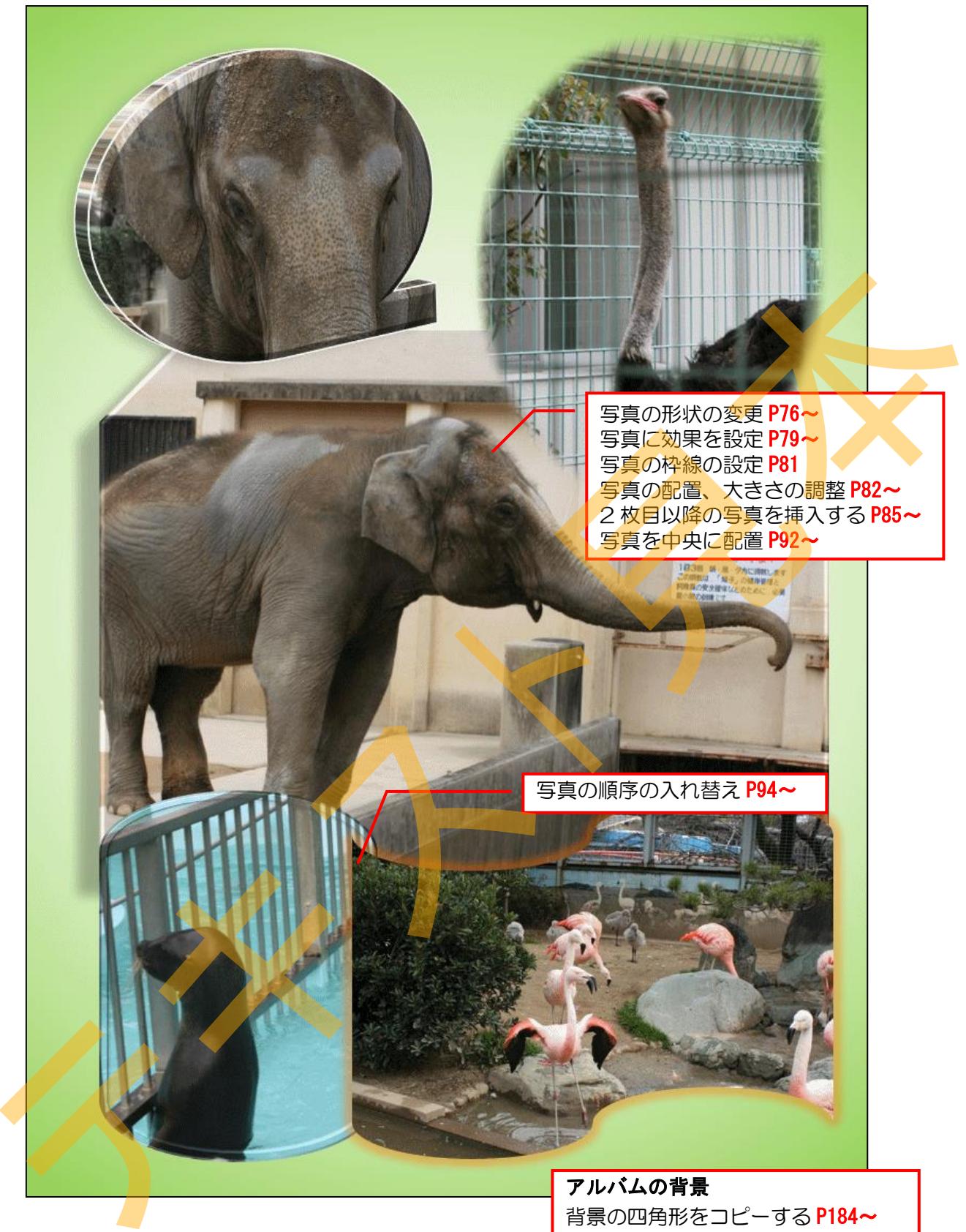
アルバムの上書き保存 P73

アルバムの背景

背景の四角形をコピーする P184～

表紙の背景をテクスチャに変更 P188～

● 「アルバム動物園」 2ページ目



● 「アルバム動物園」 3ページ目

図形の上下反転 P146～
縦長の写真の挿入 P148～
図形内の写真の上下反転 P149～
図形の順序の入れ替え P158～

図形を描く P99～
図形の中に写真を挿入 P103～
数値を入力してサイズ変更 P109～
ドラッグして図形のサイズ変更 P113～
図形の枠線の非表示 P116～
図形の移動 P118～

吹き出しを描く P190～
表示倍率を 100%に戻す P193～
吹き出しの中に文字を入力する P195～
図形にスタイルを適用する P197～
文字の書式設定 P199～
吹き出しのサイズ変更 P203～
吹き出しの移動 P206～
吹き出しの変形 P208～

ハート模様をもつ
キリンがいる動物園

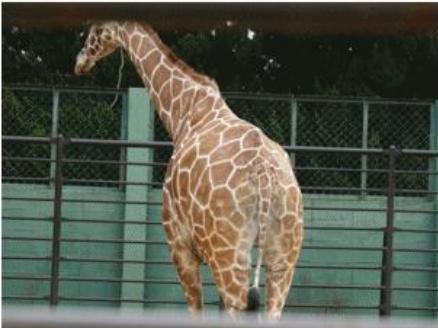
図形のコピー P124～
図形の中の写真を変更 P127～
図形の変更 P131～
図形の変形 P134～
図形の左右反転 P137～
図形の整列 P139～

不要なページの削除 P162～

印刷
印刷プレビューの表示 P211～
印刷の実行 P216～

アルバムの背景
背景の四角形を描く P164～
用紙の中央に配置 P167～
グラデーションの設定 P171～
枠線の非表示 P180～
最背面に配置 P182～
背景の四角形をコピーする P184～

● 「アルバム（表）」



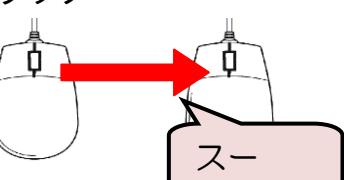
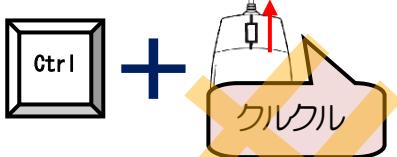
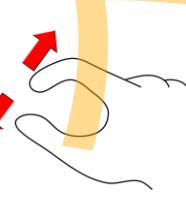
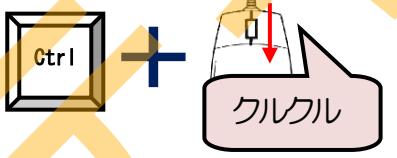
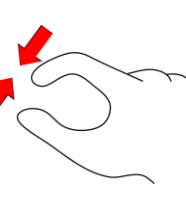
表の挿入 P231～
写真の挿入 P233～
写真のサイズ変更 P237～
表の中の写真の配置 P240～
表の枠線の非表示 P242～

ページ設定

用紙サイズの設定 P223～
印刷の向きの設定 P226～
余白の設定 P228～

◆タッチパネルの基本操作

■タッチパネルの操作において、マウスに相当する操作との対応表になります。

マウスに相当する操作	タッチパネルの操作	説明
クリック 	 タップ	マウス操作におけるクリックに相当し、画面を指で軽く叩く操作。
ダブルクリック 	 ダブルタップ	画面を指で軽く叩く「タップ」操作を2回繰り返す操作。 X
ドラッグ 	 ドラッグ	タッチしたまま、目的の場所まで指をすべらせる操作。 X
右クリック 	 ロングタップ (長押し)	長押しする操作で、長押しして指をはなすとショートカットメニューが表示されます。 X
[Ctrl]キー+ホイール 	 ピンチアウト	画面上の操作対象を広げるように2本の指を離していく、画面を拡大させる操作。 X
[Ctrl]キー+ホイール 	 ピンチイン	画面をつまむようにして2本の指を近づけ、画面を縮小させる操作。 X
フリックに該当するマウス操作がないため、表記していません。	 フリック	画面に触れた指を少しだけスライドさせる操作で、指で画面上を押してから、さっとはじくように動かす操作。

※上記のタッチパネル操作名は、様々な名称がありますが、本テキストではこの名前で表記しています

◆索引

あ行

アルバムの上書き保存	73
アルバムの作成工程の違い	96
アルバムの背景に色を付ける	164
アルバムの背景を単色で設定する	179
アルバムの保存	28
印刷に適した用紙	210
印刷の実行	216
印刷の向きの設定	226
印刷プレビューで次ページを確認する	213
印刷プレビューで複数ページを確認する	215
印刷プレビューの表示	211
オンライン画像（著作権文章の削除）	66
オンライン画像の位置を微調整する方法	72
オンライン画像のコピー	68
オンライン画像の左右反転	70
オンライン画像の挿入	61
オンライン画像の背景を透明にする	67

か行

回転ハンドル	22
画像の位置を微調整する方法	72
画像のコピー	68
画像の左右反転	70
画像（イラスト）の背景を透明にする	67
クリックアクセスツールバー	245
コメントの挿入	190

さ行

四角形にグラデーションを設定する	171
四角形の線の色を非表示にする	180
四角形を描く	164
四角形をコピーする	184
四角形を最背面に配置する	182
四角形を用紙の中央に配置する	167
写真にアート効果を付ける	21
写真にスタイルを適用する	19
写真の位置を微調整する方法	83
写真の移動	24
写真の回転方法	22
写真の形状の変更	76
写真の効果の設定	79
写真のサイズ変更	22
写真の削除方法	15
写真の色調の変更	21
写真の順序を入れ替える	94
写真の上下反転	149
写真の挿入	12
写真の文字列の折り返しの設定	16
写真の枠線の設定	81
写真を水平・垂直に移動する方法	24
写真を水平方向の中央に配置	26

数値を入力して図形をサイズ変更する	109
図形の回転に合わせて写真を回転しない	149
図形の位置を微調整する方法	119
図形の移動	118
図形の回転方法	113
図形のコピー	124
図形のサイズ変更（数値を入力）	109
図形のサイズ変更（ドラッグ）	113
図形のサイズ変更の注意点	108
図形の削除方法	101
図形の左右反転	137
図形の種類	102
図形の順序を入れ替える	158
図形の上下反転	146
図形の整列	139
図形の中に写真を挿入する	103
図形の中の写真を変更する	127
図形の変形	134
図形の変更	131
図形の枠線を非表示にする	116
図形を描く	99
図形を水平・垂直に移動する方法	119
図ツール [書式] タブ	16
[図の書式設定] ウィンドウ	149

た行

タッチパネルの基本操作	261
縦長の写真を挿入する	148
テキストのあらすじ	4
テキストの手引き	257
テクスチャ	188
デジタルカメラの画像を パソコンに取り込む	248
ドラッグして図形をサイズ変更する	113

な行

2ページ目(次のページ)を作成する	7
2枚目以降の写真を挿入する	85

は行

表紙の背景をテクスチャに変更する	188
表示倍率の変更	9
表示倍率を100%に戻す	193
表の挿入	231
表の中に写真を挿入する	233
表の中の写真の配置	240
表の中の写真をサイズ変更する	237
表の枠線を非表示にする	242
描画ツール[書式]タブ	103
吹き出しにスタイルを適用する	197
吹き出しの移動	206
吹き出しのサイズ変更	203

吹き出しの中に文字を入力する	195
吹き出しの変形	208
吹き出しを描く	190
不要なページの削除方法	162
変形できる図形、変形できない図形	134
変形ハンドル	134

ま行

文字の書式設定	199
---------	-----

や行

用紙サイズの設定	223
余白の設定	228

ら行

レイアウトオプションボタン	16
レイアウトの調整	92
リボンの表示オプションの変更	247

わ行

ワードアートの位置を微調整する方法	50
ワードアートの移動	49
ワードアートのグラデーションの設定	55
ワードアートの削除方法	36
ワードアートの線の色の変更	43
ワードアートの線の太さの変更	45
ワードアートの挿入	33
ワードアートのフォントサイズの変更	39
ワードアートのフォントの変更	37
ワードアートの太字・斜体の設定方法	38
ワードアートの変形	47
ワードアートの文字の効果	60
ワードアートの文字の塗りつぶしの変更	41
ワードアートを水平・垂直に移動する方法	50
ワードアートを中央に配置	51
ワードでアルバムを作成する際の注意点	3
ワードで作成したいいろいろなアルバム	2





ワードでアルバム作成編 2019

2019年 6月 12日

第1版

第1刷発行

本書の無断複写複製(コピー)は、特定の場合を除き、著者の権利侵害になります。

連絡先



- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。
- テキストに記載されている内容、仕様は予告なしに変更されることがあります。
- 本文中では、®や TM などのマークは省略しています。
- 本文中での挿絵は、フリーイラスト素材集「いらすとや」または「Pixabay」の、パブリックドメインのライセンスのものを利用しています。